

工 種	土工
-----	----

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p style="text-align: center;">② 土工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、施工パッケージによる土工に適用する。</p> <p style="border: 1px solid red;">1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 掘削 (1) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩の掘削 (2) 掘削深さが5m以内のバックホリ掘削の場合 (3) 陸上掘削でクラムシェルによる水中掘削積込を行う場合 (4) 破砕片除去を伴う際は、掘削面と機械基面の高低差が5mまでの場合 (5) 岩石の床掘りの場合</p> <p>1-1-2 土砂等運搬 (1) 自工区内の土砂等の運搬 (2) 土取場(仮置場)から採取する土砂等の運搬 (3) 構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬 (4) 掘削工で生じた残土の処分場又は他工区までの運搬</p> <p>1-1-3 整地 (1) 構造物築造のために行う作業土工で生じた土砂等又は掘削工で生じた土砂等の受入れ地(仮置場)、土取場での整地</p> <p>1-1-4 路体(築堤)盛土 (1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路体(築堤)盛土 (2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土 (3) 土取場(仮置場)で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路体(築堤)盛土 (4) 購入土を使用した路体(築堤)盛土</p> <p>1-1-5 路床盛土 (1) 自工区内で掘削又は作業土工により発生した土砂等を使用した路床盛土 (2) 他工区内で発生し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土 (3) 土取場(仮置場)で採取し運搬されてくる土砂等を使用した路床盛土 (4) 購入土を使用した路床盛土</p> <p>1-1-6 押土(ルーズ) (1) 運搬距離60m以下の押土による土砂等の運搬作業の場合 (2) 運搬距離30m以下の岩掘削後の集積用押土の場合</p> <p>1-1-7 積込(ルーズ) (1) 土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み (2) 仮置きされた土砂等の積込み (3) 破砕片除去の場合</p> <p>1-1-8 人力積込 (1) 仮置きされた土砂等の人力による積込み</p> <p>1-1-9 転石破砕 (1) 道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破砕</p> <p>1-1-10 土材料 (1) 道路土工、河川土工等における土材料(現場渡し単価又は土場渡し単価)を購入する場合</p> <p>1-1-11 残土等処分 (1) 残土運搬された土砂等の残土の処分場での処分 (2) 泥水運搬された汚泥、泥水等の受入れ地での処分</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">1-1 適用 出来る 範囲</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	5	5

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>1-2 適用できない範囲 (土木工事標準歩掛等により別途計上するもの)</p> <p>1-2-1 掘削</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 海上・水上作業におけるクラムシェル水中掘削積込 (2) クラムシェルによる床掘り(作業土工) (3) 深礎工, 鋼管矢板基礎工, 共同溝工, 地すべり防止工におけるクラムシェル掘削積込 (4) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削(土の状態を問わない)を行う場合 (5) 掘削(砂防) (6) 情報ボックス工の設置工事の掘削 (7) 掘削(トンネル工) (8) 電線共同溝工事における掘削 (9) 砂防, ダム, トンネルの本体工事の岩掘削及び水中掘削 <p>1-2-2 土砂等運搬</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 土砂等運搬(砂防) (2) 「河床等沈殿物, 底沼等軟弱土の除去」した後の運搬作業 (3) 機械運搬が使用出来ない箇所での人力運搬 <p>1-2-3 整地</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 締固めを含む場合 <p>1-2-4 路体(築堤)盛土</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 路床盛土工 <p>1-2-5 路床盛土</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 凍上抑制層を有する場合 (2) 路体盛土工 <p>1-2-6 押土(ルーズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地山の掘削を伴う押土の場合 (2) 押土(ルーズ)(砂防) <p>1-2-7 積込(ルーズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地山を掘削した土砂等を直接運搬車両等に投入する場合 (2) 積込(ルーズ)(砂防) (3) 人力による積込み <p>1-3 適用できない範囲 (別途考慮するもの)</p> <p>1-3-1 土砂等運搬</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自動車専用道路を利用する場合 (2) 運搬距離が60kmを超える場合 	<p>1-2 適用 出来ない 範囲 (土木工事標準歩掛等により別途計上するもの)</p> <p>1-3 適用 出来ない 範囲 (別途考慮するもの)</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
頁	6	6

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>2. 施 工 概 要</p> <p>2-1 施工フロー</p> <p>2-1-1 「掘削」「転石破碎」「押土(ルーズ)」「積込(ルーズ)」「人力積込」「土砂等運搬」</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 破砕片除去、集積押土は必要な場合計上する(岩石掘削においては条件区分「有」を選択し、転石破碎においては「積込(ルーズ)」または「押土(ルーズ)」を別途計上する)。 3. 積込、運搬は必要な場合計上する(積込については表「(参考) ダンプトラックによる土砂等運搬時に積込(ルーズ)の計上が必要な掘削の積算条件」による)。 4. 人力切崩は現場制約有り(機械施工ができない箇所の人力施工)に適用する。 5. 各作業の対象となる施工パッケージは「2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ」による。</p> <p>2-1-2 「路体(築堤)盛土」「路床盛土」「整地」</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 整地は土砂、中硬岩、硬岩 I に関わらず適用できる。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2-1-2 「路体(築堤)盛土」「路床盛土」「整地」</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 整地は土砂、中硬岩、硬岩 I に関わらず適用できる。</p>	<p>語句の修正</p>
頁	7	7

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考	
	<p>③水中掘削 土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で水中の掘削積込作業。</p> <p>④現場制約あり 機械施工が困難な場合。 土砂は、直接積み込みできない箇所の人力による片切部分等の切崩し作業。 岩石は、人力により片切掘削及び床掘した岩を距離 3m 程度までの範囲で投棄し、掘削面の法面整形を含む作業</p> <p>⑤上記以外 (小規模) ※注 1 標準：1箇所当りの施工土量が100m³以下、又は100m³以上で現場が狭隘な場合 注 2 標準以外：構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が50m³以下の場合</p> <p>4. 押土の有無 ①有り：土砂の場合は、60mまでの運搬を含む。ただし、軟岩のオープンカットかつ掘削土量500m³以上を選択した場合及び硬岩のオープンカットで火薬使用「可」を選択した場合、30mまでの押土を含む。</p> <p>5. 障害の有無 土質：土砂、岩塊・玉石の場合 ①無し：構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されず、連続掘削作業が出来る場合 ②有り：掘削作業において障害物等により施工条件に制限があり(例えば作業障害が多い場合)連続掘削作業が出来ない場合。掘削深さ 5m以内で掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削(溝掘り、基礎掘削)を行う場合 土質：軟岩の場合 ①無し：掘削量が500m³未満で掘削箇所に大型ブレーカが入り作業できる場合、もしくは掘削量が500m³以上の場合 ②有り：掘削量が500m³未満で掘削箇所に大型ブレーカが入れない場合で、掘削箇所の外から作業する場合 土質：硬岩の場合 ①無し：掘削箇所に大型ブレーカが入り作業できる場合、もしくは火薬を使用する場合 ②有り：掘削箇所に大型ブレーカが入れない場合で、掘削箇所の外から作業する場合</p>	<p>③水中掘削 土留・仮締切工の施工条件において掘削深さが5mを超える場合、又は掘削深さが5m以内でも土留・仮締切工の切梁等のためバックホウが使用出来ない場合で水中の掘削・積込作業。</p> <p>④現場制約あり 機械施工が困難な場合。 土砂は、直接積み込みできない箇所の人力による片切部分等の切崩し作業。 岩石は、人力により片切掘削及び床掘した岩を距離 3m 程度までの範囲で投棄し、掘削面の法面整形を含む作業</p> <p>⑤上記以外 (小規模) ※注 1 標準：1箇所当りの施工土量が100m³以下、又は100m³以上で現場が狭隘な場合 ※注 2 標準以外：構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な場合、又は1箇所当りの施工土量が50m³以下の場合</p>	<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	12	12		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																
<p>3-2 土砂等運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 土砂等運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>土砂等発現場</th> <th>積込機種・規格</th> <th>土質</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">標準</td> <td rowspan="6">バックホウ 山積 0.8m³(平積0.6m³)</td> <td rowspan="2">土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し</td> <td>(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.6)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">バックホウ 山積 1.4m³(平積1.0m³)</td> <td rowspan="2">土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">バックホウ 山積 0.45m³(平積0.35m³)</td> <td rowspan="2">土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">クラムシェル</td> <td rowspan="2">土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し</td> <td>(表3.11)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.12)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.11)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.12)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.11)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.12)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">小規模</td> <td>バックホウ 山積 0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し 有り</td> <td>(表3.13) (表3.14)</td> </tr> <tr> <td>バックホウ 山積 0.13m³(平積0.1m³)</td> <td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し 有り</td> <td>(表3.15) (表3.16)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">現場制約あり</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">人力</td> <td rowspan="2">土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td> <td>無し</td> <td>(表3.17)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.18)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.17)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.18)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">硬岩</td> <td>無し</td> <td>(表3.17)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.18)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、掘削工又は作業土工における土砂・軟岩・硬岩の運搬、路体・路床盛土工又は置換工等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の運搬、構造物築造のために行う作業土工で生じた残土の処分場までの運搬又は掘削工で生じた残土の処分場までの運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。</p> <p>2. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。</p> <p>3. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。</p> <p>4. 運搬土量は掘山の土量とする。</p> <p>5. 小規模は、1箇所当りの施工土量が100m³程度まで、又は平均施工幅が1m未満の場合とする。なお、「1箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。</p> <p>6. 現場制約有りととは、現場狭小のため機械搬入が不可な場合。</p> <p>7. 標準とは、「小規模」、「現場制約有り」に該当しない場合。</p>	土砂等発現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離	標準	バックホウ 山積 0.8m ³ (平積0.6m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.5)	有り	(表3.6)	軟岩	無し	(表3.5)	有り	(表3.6)	硬岩	無し	(表3.5)	有り	(表3.6)	バックホウ 山積 1.4m ³ (平積1.0m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.7)	有り	(表3.8)	軟岩	無し	(表3.7)	有り	(表3.8)	硬岩	無し	(表3.7)	有り	(表3.8)	バックホウ 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.9)	有り	(表3.10)	軟岩	無し	(表3.9)	有り	(表3.10)	硬岩	無し	(表3.9)	有り	(表3.10)	クラムシェル	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.11)	有り	(表3.12)	軟岩	無し	(表3.11)	有り	(表3.12)	硬岩	無し	(表3.11)	有り	(表3.12)	小規模	バックホウ 山積 0.28m ³ (平積0.2m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し 有り	(表3.13) (表3.14)	バックホウ 山積 0.13m ³ (平積0.1m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し 有り	(表3.15) (表3.16)	現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.17)	有り	(表3.18)	軟岩	無し	(表3.17)	有り	(表3.18)	硬岩	無し	(表3.17)	有り	(表3.18)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>5. 小規模は、1箇所当りの施工土量が100m³以下、又は100m³以上で現場が狭小な場合とする。また、<u>構造物及び建築物の隣接物により施工条件が制限されるような狭小な場合、又は1箇所当りの施工土量が、60m³以下の場合とする。</u></p> <p>6. 現場制約有りととは、現場狭小のため機械搬入が不可な場合。</p> <p>7. 標準とは、「小規模」、「現場制約有り」に該当しない場合。</p> </div>	<p>語句の修正</p>
土砂等発現場	積込機種・規格	土質	DID区間の有無	運搬距離																																																																																														
標準	バックホウ 山積 0.8m ³ (平積0.6m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.5)																																																																																														
			有り	(表3.6)																																																																																														
		軟岩	無し	(表3.5)																																																																																														
			有り	(表3.6)																																																																																														
		硬岩	無し	(表3.5)																																																																																														
			有り	(表3.6)																																																																																														
	バックホウ 山積 1.4m ³ (平積1.0m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.7)																																																																																														
			有り	(表3.8)																																																																																														
		軟岩	無し	(表3.7)																																																																																														
			有り	(表3.8)																																																																																														
		硬岩	無し	(表3.7)																																																																																														
			有り	(表3.8)																																																																																														
バックホウ 山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.9)																																																																																															
		有り	(表3.10)																																																																																															
	軟岩	無し	(表3.9)																																																																																															
		有り	(表3.10)																																																																																															
	硬岩	無し	(表3.9)																																																																																															
		有り	(表3.10)																																																																																															
クラムシェル	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.11)																																																																																															
		有り	(表3.12)																																																																																															
	軟岩	無し	(表3.11)																																																																																															
		有り	(表3.12)																																																																																															
	硬岩	無し	(表3.11)																																																																																															
		有り	(表3.12)																																																																																															
小規模	バックホウ 山積 0.28m ³ (平積0.2m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し 有り	(表3.13) (表3.14)																																																																																														
	バックホウ 山積 0.13m ³ (平積0.1m ³)	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し 有り	(表3.15) (表3.16)																																																																																														
現場制約あり	人力	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	無し	(表3.17)																																																																																														
			有り	(表3.18)																																																																																														
		軟岩	無し	(表3.17)																																																																																														
			有り	(表3.18)																																																																																														
硬岩	無し	(表3.17)																																																																																																
	有り	(表3.18)																																																																																																
頁	15	15																																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																
<p>3-7 積込(ルース)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.28 積込(ルース) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td>土量50,000m3未満</td> </tr> <tr> <td>土量50,000m3以上</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅1m以上2m未満</td> </tr> <tr> <td>1箇所100m3以下(標準) 1箇所100m3以下(標準以外)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩塊・玉石</td> <td>土量50,000m3未満</td> </tr> <tr> <td>土量50,000m3以上</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅1m以上2m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">破砕岩</td> <td>土量50,000m3未満</td> </tr> <tr> <td>土量50,000m3以上</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅1m以上2m未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、路体(築堤)盛土、路床盛土、電線共同溝工事等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた残土の仮置場での積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は地山土量とする。 3. 土量は1工事当りの数量とする。また、1工事当りの数量の取扱いには、表3.2によるものとする。 4. 施工内容における「1箇所」とは、目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。また、「(標準以外)」とは構造物及び建築物等の障害物により、制限されるような狭い箇所または1箇所当りの施工量が、50m3以下の箇所とする。 5. 岩石の床掘平均掘削幅2m未満の場合の積込み(ルース)は、平均施工幅1m以上2m未満を適用する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.29 積込(ルース) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td rowspan="4">K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>作業内容が土量50,000m3未満の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)</td> <td>作業内容が土量50,000m3以上の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)</td> <td>作業内容が1箇所100m3以下(標準)の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)</td> <td>作業内容が1箇所100m3以下(標準以外)の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td rowspan="4">R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	作業内容	土砂	土量50,000m3未満	土量50,000m3以上	平均施工幅1m以上2m未満	1箇所100m3以下(標準) 1箇所100m3以下(標準以外)	岩塊・玉石	土量50,000m3未満	土量50,000m3以上	平均施工幅1m以上2m未満	破砕岩	土量50,000m3未満	土量50,000m3以上	平均施工幅1m以上2m未満	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	作業内容が土量50,000m3未満の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)	作業内容が土量50,000m3以上の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)	作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準)の場合			小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準以外)の場合		K 2	—			K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		—		—		—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油		—		—		—		市場単価	S	—		<p>3-7 積込(ルース)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.28 積込(ルース) 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>作業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土砂</td> <td>土量50,000m3未満</td> </tr> <tr> <td>土量50,000m3以上</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅1m以上2m未満</td> </tr> <tr> <td>1箇所100m3以下(標準) 1箇所100m3以下(標準以外)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩塊・玉石</td> <td>土量50,000m3未満</td> </tr> <tr> <td>土量50,000m3以上</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅1m以上2m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">破砕岩</td> <td>土量50,000m3未満</td> </tr> <tr> <td>土量50,000m3以上</td> </tr> <tr> <td>平均施工幅1m以上2m未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、路体(築堤)盛土、路床盛土、電線共同溝工事等における土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込み、掘削工又は作業土工で生じた残土の仮置場での積込み等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 土量は地山土量とする。 3. 土量は1工事当りの数量とする。また、1工事当りの数量の取扱いには、表3.2によるものとする。 4. <u>(標準)とは1箇所当りの施工土量が100m3以下、又は100m3以上で現場が狭い場合とする。また、「(標準以外)」とは構造物及び建築物等の障害物により施工条件が制限されるような狭い場合、又は1箇所当りの施工土量が、50m3以下の場合とする。</u> 5. 岩石の床掘平均掘削幅2m未満の場合の積込み(ルース)は、平均施工幅1m以上2m未満を適用する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.29 積込(ルース) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td rowspan="4">K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>作業内容が土量50,000m3未満の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)</td> <td>作業内容が土量50,000m3以上の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)</td> <td>作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)</td> <td>作業内容が1箇所100m3以下(標準)の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)</td> <td>作業内容が1箇所100m3以下(標準以外)の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td rowspan="4">R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td rowspan="4">Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	作業内容	土砂	土量50,000m3未満	土量50,000m3以上	平均施工幅1m以上2m未満	1箇所100m3以下(標準) 1箇所100m3以下(標準以外)	岩塊・玉石	土量50,000m3未満	土量50,000m3以上	平均施工幅1m以上2m未満	破砕岩	土量50,000m3未満	土量50,000m3以上	平均施工幅1m以上2m未満	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	作業内容が土量50,000m3未満の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)	作業内容が土量50,000m3以上の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)	作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準)の場合			小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準以外)の場合		K 2	—			K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		—		—		—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油		—		—		—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
土質	作業内容																																																																																																																																	
土砂	土量50,000m3未満																																																																																																																																	
	土量50,000m3以上																																																																																																																																	
	平均施工幅1m以上2m未満																																																																																																																																	
	1箇所100m3以下(標準) 1箇所100m3以下(標準以外)																																																																																																																																	
岩塊・玉石	土量50,000m3未満																																																																																																																																	
	土量50,000m3以上																																																																																																																																	
	平均施工幅1m以上2m未満																																																																																																																																	
破砕岩	土量50,000m3未満																																																																																																																																	
	土量50,000m3以上																																																																																																																																	
	平均施工幅1m以上2m未満																																																																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	作業内容が土量50,000m3未満の場合																																																																																																																															
		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)	作業内容が土量50,000m3以上の場合																																																																																																																															
		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)	作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合																																																																																																																															
		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準)の場合																																																																																																																															
		小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準以外)の場合																																																																																																																															
	K 2	—																																																																																																																																
	K 3	—																																																																																																																																
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																
土質	作業内容																																																																																																																																	
土砂	土量50,000m3未満																																																																																																																																	
	土量50,000m3以上																																																																																																																																	
	平均施工幅1m以上2m未満																																																																																																																																	
	1箇所100m3以下(標準) 1箇所100m3以下(標準以外)																																																																																																																																	
岩塊・玉石	土量50,000m3未満																																																																																																																																	
	土量50,000m3以上																																																																																																																																	
	平均施工幅1m以上2m未満																																																																																																																																	
破砕岩	土量50,000m3未満																																																																																																																																	
	土量50,000m3以上																																																																																																																																	
	平均施工幅1m以上2m未満																																																																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)	作業内容が土量50,000m3未満の場合																																																																																																																															
		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)	作業内容が土量50,000m3以上の場合																																																																																																																															
		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)	作業内容が平均施工幅1m以上2m未満の場合																																																																																																																															
		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準)の場合																																																																																																																															
		小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.13m3(平積0.10m3)	作業内容が1箇所100m3以下(標準以外)の場合																																																																																																																															
	K 2	—																																																																																																																																
	K 3	—																																																																																																																																
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
		—																																																																																																																																
市場単価	S	—																																																																																																																																
頁	27	27																																																																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																																																																
<p>3-9 転石破碎</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.32 転石破碎 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th colspan="2">火薬使用の有無</th></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、道路、河川工事等の岩掘削に伴う転石破碎の他、火薬・雷管、さく岩機損料及びさく岩機用空気圧縮機の運転経費、さく岩機のロード・ピット及びチセルの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 転石の掘出し、破碎石の除去は含まない。</p> <p>3. 転石粒径が0.5m以上、及び作業範囲が施工幅4.0m以上の箇所で、機械走行面より上下に5.0m以内の場合は、火薬使用の有無「無し」を適用する。</p> <p style="border: 2px solid red;">4. 転石粒径が1.0m以上で、作業範囲が4.0m未満、または機械走行面より上下に5.0m超の場合は、火薬使用の有無「有り」を適用する。</p> <p>5. 火薬の標準的な使用量は、10m3 当り含水爆薬1.6kgとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表3.33 転石破碎 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火薬使用の有無</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">無し</td><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td></tr> <tr><td>K2</td><td>大型ブレーカ 油圧式 1,300kg 級</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手(特殊)</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油1. 2号 バトロール給油</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="13">有り</td><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>さく岩工</td></tr> <tr><td>R2</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R4</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> </div>	火薬使用の有無		無し	有り	火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考	無し	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	K2	大型ブレーカ 油圧式 1,300kg 級	K3	—	労務	R1	運転手(特殊)	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	軽油1. 2号 バトロール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	有り	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	さく岩工	R2	特殊作業員	R3	土木一般世話役	R4	普通作業員	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.33 転石破碎 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>火薬使用の有無</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">無し</td><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td></tr> <tr><td>K2</td><td>大型ブレーカ 油圧式 質量 1,300kg 級</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手(特殊)</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油1. 2号 バトロール給油</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="13">有り</td><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>さく岩工</td></tr> <tr><td>R2</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R3</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R4</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考	無し	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	K2	大型ブレーカ 油圧式 質量 1,300kg 級	K3	—	労務	R1	運転手(特殊)	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	軽油1. 2号 バトロール給油	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	有り	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	さく岩工	R2	特殊作業員	R3	土木一般世話役	R4	普通作業員	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p></p> <p style="text-align: center;">語句の追加</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
火薬使用の有無																																																																																																																																		
無し																																																																																																																																		
有り																																																																																																																																		
火薬使用の有無	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																															
無し	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)																																																																																																																															
		K2	大型ブレーカ 油圧式 1,300kg 級																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																															
	労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																															
		R2	—																																																																																																																															
		R3	—																																																																																																																															
		R4	—																																																																																																																															
	材料	Z1	軽油1. 2号 バトロール給油																																																																																																																															
		Z2	—																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																															
		Z4	—																																																																																																																															
	市場単価	S	—																																																																																																																															
	有り	機械	K1	—																																																																																																																														
K2			—																																																																																																																															
K3			—																																																																																																																															
労務		R1	さく岩工																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																															
		R3	土木一般世話役																																																																																																																															
		R4	普通作業員																																																																																																																															
材料		Z1	—																																																																																																																															
		Z2	—																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																															
		Z4	—																																																																																																																															
市場単価		S	—																																																																																																																															
火薬使用の有無		項目	代表機材規格	備考																																																																																																																														
無し	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)																																																																																																																															
		K2	大型ブレーカ 油圧式 質量 1,300kg 級																																																																																																																															
		K3	—																																																																																																																															
	労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																															
		R2	—																																																																																																																															
		R3	—																																																																																																																															
		R4	—																																																																																																																															
	材料	Z1	軽油1. 2号 バトロール給油																																																																																																																															
		Z2	—																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																															
		Z4	—																																																																																																																															
	市場単価	S	—																																																																																																																															
	有り	機械	K1	—																																																																																																																														
K2			—																																																																																																																															
K3			—																																																																																																																															
労務		R1	さく岩工																																																																																																																															
		R2	特殊作業員																																																																																																																															
		R3	土木一般世話役																																																																																																																															
		R4	普通作業員																																																																																																																															
材料		Z1	—																																																																																																																															
		Z2	—																																																																																																																															
		Z3	—																																																																																																																															
		Z4	—																																																																																																																															
市場単価		S	—																																																																																																																															
頁		29	29																																																																																																																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																																									
<p>3. 施工パッケージ 3-1 床掘り (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 床掘り 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>土質区分</th> <th>施工方法</th> <th>土留方式の種類</th> <th>障害の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18">土砂</td><td rowspan="6">標準</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td>自立式</td><td>無し</td></tr> <tr><td>自立式</td><td>有り</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>無し</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="6">平均施工幅 1m以上 2m未満</td><td rowspan="2">無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">自立式</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>自立式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">グラウンドアンカー式</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="4">掘削深さ 5m超 20m以下</td><td rowspan="2">グラウンドアンカー式</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">切梁腹起式</td><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td>切梁腹起式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">掘削深さ 20m超</td><td>グラウンドアンカー式</td><td>—</td></tr> <tr><td>切梁腹起式</td><td>—</td></tr> <tr><td>上記以外(小規模)</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>現場制約あり</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="18">岩塊・玉石</td><td rowspan="6">標準</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td>自立式</td><td>無し</td></tr> <tr><td>自立式</td><td>有り</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>無し</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="6">平均施工幅 1m以上 2m未満</td><td rowspan="2">無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">自立式</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>自立式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">グラウンドアンカー式</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="4">掘削深さ 5m超 20m以下</td><td rowspan="2">グラウンドアンカー式</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>グラウンドアンカー式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">切梁腹起式</td><td>無し</td><td>有り</td></tr> <tr><td>切梁腹起式</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="2">掘削深さ 20m超</td><td>グラウンドアンカー式</td><td>—</td></tr> <tr><td>切梁腹起式</td><td>—</td></tr> <tr><td>現場制約あり</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">(注) 1. 上表は、構造物の築造又は撤去を目的とした土砂、岩塊・玉石の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。なお、施工方法「上記以外(小規模)」の場合は床掘り作業における補助労務(基面整正、浮き石の除去)を含み、施工方法「現場制約あり(機械施工出来ない/箇所)の人力施工」の場合は基面整正を含む。</p>	土質区分	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	土砂	標準	無し	無し	無し	有り	自立式	無し	自立式	有り	グラウンドアンカー式	無し	グラウンドアンカー式	有り	平均施工幅 1m以上 2m未満	無し	無し	無し	無し	有り	自立式	無し	無し	自立式	有り	グラウンドアンカー式	無し	無し	グラウンドアンカー式	有り	掘削深さ 5m超 20m以下	グラウンドアンカー式	無し	無し	グラウンドアンカー式	有り	切梁腹起式	無し	有り	切梁腹起式	有り	掘削深さ 20m超	グラウンドアンカー式	—	切梁腹起式	—	上記以外(小規模)	—	—	現場制約あり	—	—	岩塊・玉石	標準	無し	無し	無し	有り	自立式	無し	自立式	有り	グラウンドアンカー式	無し	グラウンドアンカー式	有り	平均施工幅 1m以上 2m未満	無し	無し	無し	無し	有り	自立式	無し	無し	自立式	有り	グラウンドアンカー式	無し	無し	グラウンドアンカー式	有り	掘削深さ 5m超 20m以下	グラウンドアンカー式	無し	無し	グラウンドアンカー式	有り	切梁腹起式	無し	有り	切梁腹起式	有り	掘削深さ 20m超	グラウンドアンカー式	—	切梁腹起式	—	現場制約あり	—	—	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 20px;">(注) 1. 上表は、構造物の築造又は撤去を目的とした土砂、岩塊・玉石の掘削等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。なお、施工方法「上記以外(小規模)」の場合は床掘り作業における補助労務(基面整正、浮き石の除去)を含み、施工方法「現場制約あり(機械施工出来ない/箇所)の人力施工」の場合は基面整正を含む。</p>	<p>語句の修正</p>
土質区分	施工方法	土留方式の種類	障害の有無																																																																																																								
土砂	標準	無し	無し																																																																																																								
		無し	有り																																																																																																								
		自立式	無し																																																																																																								
		自立式	有り																																																																																																								
		グラウンドアンカー式	無し																																																																																																								
		グラウンドアンカー式	有り																																																																																																								
	平均施工幅 1m以上 2m未満	無し	無し	無し																																																																																																							
			無し	有り																																																																																																							
		自立式	無し	無し																																																																																																							
			自立式	有り																																																																																																							
		グラウンドアンカー式	無し	無し																																																																																																							
			グラウンドアンカー式	有り																																																																																																							
	掘削深さ 5m超 20m以下	グラウンドアンカー式	無し	無し																																																																																																							
			グラウンドアンカー式	有り																																																																																																							
		切梁腹起式	無し	有り																																																																																																							
			切梁腹起式	有り																																																																																																							
	掘削深さ 20m超	グラウンドアンカー式	—																																																																																																								
		切梁腹起式	—																																																																																																								
上記以外(小規模)	—	—																																																																																																									
現場制約あり	—	—																																																																																																									
岩塊・玉石	標準	無し	無し																																																																																																								
		無し	有り																																																																																																								
		自立式	無し																																																																																																								
		自立式	有り																																																																																																								
		グラウンドアンカー式	無し																																																																																																								
		グラウンドアンカー式	有り																																																																																																								
	平均施工幅 1m以上 2m未満	無し	無し	無し																																																																																																							
			無し	有り																																																																																																							
		自立式	無し	無し																																																																																																							
			自立式	有り																																																																																																							
		グラウンドアンカー式	無し	無し																																																																																																							
			グラウンドアンカー式	有り																																																																																																							
	掘削深さ 5m超 20m以下	グラウンドアンカー式	無し	無し																																																																																																							
			グラウンドアンカー式	有り																																																																																																							
		切梁腹起式	無し	有り																																																																																																							
			切梁腹起式	有り																																																																																																							
	掘削深さ 20m超	グラウンドアンカー式	—																																																																																																								
		切梁腹起式	—																																																																																																								
現場制約あり	—	—																																																																																																									
頁	34	34																																																																																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																								
<p>3. 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p>	<p>3. 施工パッケージ 3-1 安定処理 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p>																																																																									
<p>表3.1 安定処理 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1"><thead><tr><th>使用機種</th><th>施工箇所</th><th>混合深さ</th><th>固化材100㎡当り 使用量</th><th>混合回数</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">スタビライザ</td><td rowspan="2">-</td><td>0.6m以下</td><td rowspan="6">(実数入力)</td><td>1回</td></tr><tr><td rowspan="2">0.6mを超え1m以下</td><td>2回</td></tr><tr><td rowspan="2">バックホウ</td><td rowspan="2">路床</td><td>1m以下</td><td>-</td></tr><tr><td>1m以下</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">バックホウ</td><td rowspan="2">構造物基礎</td><td>1mを超え2m以下</td><td>-</td></tr><tr><td>1mを超え2m以下</td><td>-</td></tr></tbody></table> <p>(注)1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締め、養生中の飛散防止(シート掛け)、現場内小運搬(スタビライザは100m程度の位置場～現場、バックホウは50m程度の現場内小運搬)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. スタビライザ施工の混合回数は、消石灰・セメント系は1回、生石灰は2回を標準とする。ただし、土質状態により、これにより難しい場合は、別途考慮する。 3. 条件区分の「固化材100㎡当り使用量」は、実数量(材料ロスを含んだ数量)とする。</p>	使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材100㎡当り 使用量	混合回数	スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回	0.6mを超え1m以下	2回	バックホウ	路床	1m以下	-	1m以下	-	バックホウ	構造物基礎	1mを超え2m以下	-	1mを超え2m以下	-	<p>表3.1 安定処理 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1"><thead><tr><th>使用機種</th><th>施工箇所</th><th>混合深さ</th><th>固化材100㎡当り 使用量</th><th>混合回数</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">スタビライザ</td><td rowspan="2">-</td><td>0.6m以下</td><td rowspan="6">(実数入力)</td><td>1回</td></tr><tr><td rowspan="2">0.6mを超え1m以下</td><td>2回</td></tr><tr><td rowspan="2">バックホウ</td><td rowspan="2">路床</td><td>1m以下</td><td>-</td></tr><tr><td>1m以下</td><td>-</td></tr><tr><td rowspan="2">バックホウ</td><td rowspan="2">構造物基礎</td><td>1mを超え2m以下</td><td>-</td></tr><tr><td>1mを超え2m以下</td><td>-</td></tr></tbody></table> <p>(注)1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締め、養生中の飛散防止(シート掛け)、現場内小運搬(スタビライザは100m程度の位置場～現場、バックホウは50m程度の現場内小運搬)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. スタビライザ施工の混合回数は、消石灰・セメント系は1回、生石灰は2回を標準とする。ただし、土質状態により、これにより難しい場合は、別途考慮する。 3. 条件区分の「固化材100㎡当り使用量」は、実数量(材料ロスを含んだ数量)とする。</p>	使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材100㎡当り 使用量	混合回数	スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回	0.6mを超え1m以下	2回	バックホウ	路床	1m以下	-	1m以下	-	バックホウ	構造物基礎	1mを超え2m以下	-	1mを超え2m以下	-	語句の修正																								
使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材100㎡当り 使用量	混合回数																																																																						
スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回																																																																						
		0.6mを超え1m以下		2回																																																																						
バックホウ	路床			1m以下	-																																																																					
		1m以下		-																																																																						
バックホウ	構造物基礎	1mを超え2m以下		-																																																																						
		1mを超え2m以下		-																																																																						
使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材100㎡当り 使用量	混合回数																																																																						
スタビライザ	-	0.6m以下	(実数入力)	1回																																																																						
		0.6mを超え1m以下		2回																																																																						
バックホウ	路床			1m以下	-																																																																					
		1m以下		-																																																																						
バックホウ	構造物基礎	1mを超え2m以下		-																																																																						
		1mを超え2m以下		-																																																																						
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p>																																																																									
<p>表3.2 安定処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1"><thead><tr><th>使用機種</th><th>施工箇所</th><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="12">スタビライザ</td><td rowspan="12">-</td><td rowspan="3">機械</td><td>K1 スタビライザ [路床改良用] 幅2.0m 深0.6m</td><td>混合深さ0.6m以下 の場合</td></tr><tr><td>K1 スタビライザ [路床改良用] 幅2.0m 深1.2m</td><td>混合深さ0.6mを超 え1m以下の場合</td></tr><tr><td>K2 モータグレーダ [土工用] ブレード幅3.1m</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">R1 運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4 -</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">Z1 セメント系固化材 一般軟弱土 用・フレコン・1トンバック</td><td></td></tr><tr><td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3 -</td><td></td></tr><tr><td>Z4 -</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用] 幅2.0m 深0.6m	混合深さ0.6m以下 の場合	K1 スタビライザ [路床改良用] 幅2.0m 深1.2m	混合深さ0.6mを超 え1m以下の場合	K2 モータグレーダ [土工用] ブレード幅3.1m		K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		Z1 セメント系固化材 一般軟弱土 用・フレコン・1トンバック		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S	-		<p>表3.2 安定処理 代表機材規格一覧</p> <table border="1"><thead><tr><th>使用機種</th><th>施工箇所</th><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="12">スタビライザ</td><td rowspan="12">-</td><td rowspan="3">機械</td><td>K1 スタビライザ [路床改良用] 処理深さ0.6m×幅2.0m</td><td>混合深さ0.6m以下 の場合</td></tr><tr><td>K1 スタビライザ [路床改良用] 処理深さ1.2m×幅2.0m</td><td>混合深さ0.6mを超 え1m以下の場合</td></tr><tr><td>K2 モータグレーダ [土工用] ブレード幅3.1m</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">R1 運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R4 -</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">Z1 セメント系固化材 一般軟弱土 用・フレコン・1トンバック</td><td></td></tr><tr><td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z3 -</td><td></td></tr><tr><td>Z4 -</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>-</td><td></td></tr></tbody></table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用] 処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下 の場合	K1 スタビライザ [路床改良用] 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超 え1m以下の場合	K2 モータグレーダ [土工用] ブレード幅3.1m		K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t		R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		Z1 セメント系固化材 一般軟弱土 用・フレコン・1トンバック		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S	-		語句の修正
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																						
スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用] 幅2.0m 深0.6m	混合深さ0.6m以下 の場合																																																																						
			K1 スタビライザ [路床改良用] 幅2.0m 深1.2m	混合深さ0.6mを超 え1m以下の場合																																																																						
			K2 モータグレーダ [土工用] ブレード幅3.1m																																																																							
		K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																								
			R1 運転手(特殊)																																																																							
				R2 普通作業員																																																																						
				R3 土木一般世話役																																																																						
		R4 -																																																																								
		Z1 セメント系固化材 一般軟弱土 用・フレコン・1トンバック																																																																								
			Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																							
			Z3 -																																																																							
			Z4 -																																																																							
市場単価	S	-																																																																								
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																						
スタビライザ	-	機械	K1 スタビライザ [路床改良用] 処理深さ0.6m×幅2.0m	混合深さ0.6m以下 の場合																																																																						
			K1 スタビライザ [路床改良用] 処理深さ1.2m×幅2.0m	混合深さ0.6mを超 え1m以下の場合																																																																						
			K2 モータグレーダ [土工用] ブレード幅3.1m																																																																							
		K3 タイヤローラ [普通型・排出ガス対 策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t																																																																								
			R1 運転手(特殊)																																																																							
				R2 普通作業員																																																																						
				R3 土木一般世話役																																																																						
		R4 -																																																																								
		Z1 セメント系固化材 一般軟弱土 用・フレコン・1トンバック																																																																								
			Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																							
			Z3 -																																																																							
			Z4 -																																																																							
市場単価	S	-																																																																								
頁	55	55																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																																																																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16" style="text-align: center;">バックホウ</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">路床</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.45m³(平積0.35m³) 2.9t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16" style="text-align: center;">バックホウ</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">構造物基礎</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ【ハンドガイド式】質量0.8~1.1t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 2.9t吊	賃料	K2	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 8~20t		K3	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	賃料	労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	賃料	K2	振動ローラ【ハンドガイド式】質量0.8~1.1t	賃料	K3	—		労務	R1	土木一般世話役		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	普通作業員		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16" style="text-align: center;">バックホウ</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">路床</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.45m³(平積0.35m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16" style="text-align: center;">バックホウ</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">構造物基礎</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.8m³(平積0.6m³) 吊能力 2.9t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ (鋪設用)【ハンドガイド式】質量0.8~1.1t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考	バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 8~20t		K3	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	賃料	労務	R1	運転手(特殊)		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料	K2	振動ローラ (鋪設用) 【ハンドガイド式】質量0.8~1.1t	賃料	K3	—		労務	R1	土木一般世話役		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	普通作業員		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
使用機種	施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																
バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 2.9t吊	賃料																																																																																																																																																																															
			K2	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 8~20t																																																																																																																																																																																
			K3	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	賃料																																																																																																																																																																															
		労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																
			R2	普通作業員																																																																																																																																																																																
			R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																
			R4	—																																																																																																																																																																																
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック																																																																																																																																																																																
	Z2		軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
	Z3		—																																																																																																																																																																																	
	Z4		—																																																																																																																																																																																	
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																	
	バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊		賃料																																																																																																																																																																													
				K2	振動ローラ【ハンドガイド式】質量0.8~1.1t		賃料																																																																																																																																																																													
				K3	—																																																																																																																																																																															
			労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																															
R2				運転手(特殊)																																																																																																																																																																																
R3				特殊作業員																																																																																																																																																																																
R4				普通作業員																																																																																																																																																																																
材料			Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック																																																																																																																																																																																
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																																																																	
		Z4	—																																																																																																																																																																																	
市場単価		S	—																																																																																																																																																																																	
使用機種		施工箇所	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																															
バックホウ		路床	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																														
				K2	タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 8~20t																																																																																																																																																																															
				K3	バックホウ(クローラ型)【標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	賃料																																																																																																																																																																														
	労務		R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																
			R2	普通作業員																																																																																																																																																																																
			R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																
			R4	—																																																																																																																																																																																
	材料		Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック																																																																																																																																																																																
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																																																																	
		Z4	—																																																																																																																																																																																	
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																	
	バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																																																														
				K2	振動ローラ (鋪設用) 【ハンドガイド式】質量0.8~1.1t	賃料																																																																																																																																																																														
				K3	—																																																																																																																																																																															
			労務	R1	土木一般世話役																																																																																																																																																																															
R2				運転手(特殊)																																																																																																																																																																																
R3				特殊作業員																																																																																																																																																																																
R4				普通作業員																																																																																																																																																																																
材料			Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1トンパック																																																																																																																																																																																
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																	
		Z3	—																																																																																																																																																																																	
		Z4	—																																																																																																																																																																																	
市場単価		S	—																																																																																																																																																																																	
頁		56	56																																																																																																																																																																																	

(注) バックホウ及び振動ローラは賃料とする。

(注) バックホウ及び振動ローラは賃料とする。

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考
	⑦ コンクリートブロック積(張)工		
	1. 適用範囲 本資料は、コンクリートブロック積(張)に適用する。		
	1-1 適用できる範囲	1-1 適用 出来る 範囲	語句の修正
	1-1-1 コンクリートブロック積 (1) 間知ブロックの積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上2,600kg/個以下)の場合	現行どおり	
	1-1-2 間知ブロック張 (1) 間知ブロックの張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合		
	1-1-3 平ブロック張 (1) 平ブロックの張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合		
	1-1-4 連節ブロック張 (1) 連節ブロックの張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)の場合 (2) 連結方式が鉄筋又は鋼線による場合		
	1-1-5 緑化ブロック積 (1) 緑化ブロックの積工(勾配1割未満、ブロック質量980kg/個以下)の場合		
	1-1-6 胴込・裏込コンクリート (1) コンクリートブロック積(張)工における胴込・裏込コンクリート打設の場合		
	1-1-7 胴込・裏込材(砕石) (1) コンクリートブロック積(張)工における胴込・裏込材の投入転圧の場合 (2) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合		
	1-1-8 遮水シート張 (1) 間知ブロック平ブロック、連節ブロックの張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)における遮水シートの設置の場合 (2) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合		
	1-1-9 吸出し防止材(全面)設置 (1) 間知ブロックの積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個以上2,600kg/個以下)及び平ブロック、連節ブロックの張工(勾配1割以上、ブロック質量770kg/個以下)における吸出し防止材の設置の場合 (2) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合		
	1-1-10 縦槽 (1) 緑化ブロックの積工(勾配1割未満、ブロック質量980kg/個以下)の縦槽の場合		
	1-1-11 現場打基礎コンクリート (1) コンクリートブロック積(張)及び石積(張)における人力打設又はクレーン車打設の現場打基礎の場合 (2) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合	1-1-11 現場打基礎コンクリート (1) コンクリートブロック積(張)及び石積(張)における人力打設又はクレーン車打設の現場打基礎の場合 (2) クレーン車打設の場合は、コンクリート打設地上高さが2mを超え28m以下かつ水平打設距離20m以下の場合 (3) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合	記載の追記
	1-1-12 天端コンクリート (1) コンクリートブロック積(張)工及び石積(張)工における天端コンクリート(打設地上高28m以下)の場合 (2) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合		
	1-2 適用できない範囲	1-2 適用 出来ない 範囲	語句の修正
	1-2-1 コンクリートブロック積 (1) 市場単価方式による間知ブロック積工(勾配1割未満、ブロック質量150kg/個未満)の場合	現行どおり	
	1-2-2 連節ブロック張 (1) 連結金具を使用する場合		
	1-2-3 胴込・裏込コンクリート (1) 石積(張)における胴込・裏込コンクリート打設の場合		
	1-2-4 胴込・裏込材(砕石) (1) 石積(張)における砕石等の胴込・裏込材設置の場合		
	1-2-5 現場打基礎コンクリート (1) 練炭養生以外の特殊養生(ジェットヒーター養生)の場合		
		削除	記載の削除
頁	78	78	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考	
<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 2-1 コンクリートブロック積工</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー(コンクリートブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. また、() 書きは必要な場合計上する。 3. 水抜きパイプ設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。 4. 基礎コンクリート打設は、打設方法(人力、クレーン車)にかかわらず適用できる。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー(コンクリートブロック張工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. また、() 書きは必要な場合計上する。 3. 間知ブロック張は、吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。 4. 基礎コンクリート打設は、打設方法(人力、クレーン車)にかかわらず適用できる。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">図2-3 施工フロー(緑化ブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. また、() 書きは必要な場合計上する。 3. 基礎コンクリート打設は、打設方法(人力、クレーン車)にかかわらず適用できる。 4. 客土投入締固めの有無にかかわらず適用できる。</p> </div>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー(コンクリートブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. また、() 書きは必要な場合計上する。 3. 水抜きパイプ設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">図2-2 施工フロー(コンクリートブロック張工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. また、() 書きは必要な場合計上する。 3. 間知ブロック張は、吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">図2-3 施工フロー(緑化ブロック積工)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. また、() 書きは必要な場合計上する。 3. 客土投入締固めの有無にかかわらず適用出来る。</p> </div>	<p>削除</p> <p>削除</p> <p>削除</p> <p>削除</p> <p>削除</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
79	79		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																										
<p>3. 施工パッケージ 3-1 コンクリートブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリートブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">鉄筋規格</th> <th style="width: 50%;">鉄筋10m2 当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.2)</td> <td style="text-align: center;">0.1t 以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.1t を超え 0.2t 以下</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック (法勾配 1 割未満・ブロック質量 150kg/個以上 2,600kg/個以下) の設置、鉄筋 (加工・組立)、調整コンクリートの打設、現場内小運搬の他、水抜パイプ (水抜き孔用吸出し防止材を含む)、吊上 (下) げ作業 (間知ブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材) 等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 鉄筋の材料ロスを含む。 3. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上する。 4. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図参照)</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.2 鉄筋規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">鉄筋規格</td> <td style="text-align: center;">SD295A D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD295A D16</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D13</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SD345 D16~25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 各種</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリートブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25t 吊</td> <td style="text-align: center;">賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">間知ブロック 高 2 5 0 × 幅 4 0 0 × 厚 3 5 0 滑面</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">鉄筋コンクリート用棒鋼 SD 3 4 5 D 1 6</td> <td style="text-align: center;">鉄筋規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	鉄筋規格	鉄筋10m2 当り使用量	(表 3.2)	0.1t 以下	0.1t を超え 0.2t 以下	積算条件	区 分	鉄筋規格	SD295A D13	SD295A D16	SD345 D13	SD345 D16~25	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種		不要	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	-		K 3	-		労務	R 1	ブロック工		R 2	特殊作業員		R 3	普通作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	間知ブロック 高 2 5 0 × 幅 4 0 0 × 厚 3 5 0 滑面		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD 3 4 5 D 1 6	鉄筋規格「不要」の場合を除く	Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック (勾配 1 割未満・ブロック質量 150kg/個以上 2,600kg/個以下) の設置、鉄筋 (加工・組立)、<u>目地材の設置</u>、調整コンクリートの打設、現場内小運搬の他、水抜パイプ (水抜き孔用吸出し防止材を含む)、吊上 (下) げ作業 (間知ブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材) 等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 鉄筋の材料ロスを含む。 3. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上する。 <u>4. 目地材料費は必要量を別途計上する。</u> 5. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考資料 参考図 (コンクリートブロック積工 (調整コンクリート・小口止) 参照)</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
鉄筋規格	鉄筋10m2 当り使用量																																																											
(表 3.2)	0.1t 以下																																																											
	0.1t を超え 0.2t 以下																																																											
積算条件	区 分																																																											
鉄筋規格	SD295A D13																																																											
	SD295A D16																																																											
	SD345 D13																																																											
	SD345 D16~25																																																											
	鉄筋コンクリート用棒鋼 各種																																																											
	不要																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																										
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 次基準値)] 25t 吊	賃料																																																									
	K 2	-																																																										
	K 3	-																																																										
労務	R 1	ブロック工																																																										
	R 2	特殊作業員																																																										
	R 3	普通作業員																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																										
材料	Z 1	間知ブロック 高 2 5 0 × 幅 4 0 0 × 厚 3 5 0 滑面																																																										
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD 3 4 5 D 1 6	鉄筋規格「不要」の場合を除く																																																									
	Z 3	-																																																										
	Z 4	-																																																										
市場単価	S	-																																																										
頁	80	80																																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																				
<p>3-2 間知ブロック張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.4 間知ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位:m²)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>間知ブロック規格</th> <th>裏込材規格</th> <th>裏込材 10 m² 当り使用量</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>胴込・裏込コンクリート 10 m² 当り使用量</th> <th>遮水シートの有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">150kg未満 控え350(m²) 滑面タイプ</td> <td rowspan="5">(表3.5)</td> <td rowspan="5">-</td> <td rowspan="5">(表3.7)</td> <td rowspan="5">-</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>150kg以上 各種(m²)</td> <td>(表3.6)</td> <td>(表3.8)</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、調整コンクリートの打設、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、現場内小運搬(30m程度)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 裏込材、胴込・裏込コンクリート、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。 3. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図参照)</p> <p>4. 目的地が必要に応じて「2章④目的地・止水板設置工」により別途計上する。 5. 水抜きパイプが必要な場合には、設置手間・材料費を別途計上する。 6. 間知ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。</p> <p>表3.5 裏込材規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">裏込材規格</td> <td>再生砕石 RC-40</td> </tr> <tr> <td>再生砕石 RC-80</td> </tr> <tr> <td>砕石 C-40</td> </tr> <tr> <td>砕石 C-80</td> </tr> <tr> <td>砕石各種</td> </tr> <tr> <td>不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.6 裏込材 10 m² 当り使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">裏込材10m²当り使用量</td> <td>1m³以下</td> </tr> <tr> <td>1m³を超え3m³以下</td> </tr> <tr> <td>3m³を超え5m³以下</td> </tr> <tr> <td>5m³を超え7m³以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.7 胴込・裏込コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">胴込・裏込 コンクリート規格</td> <td>18-8-25(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-25(高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート各種</td> </tr> <tr> <td>不要</td> </tr> </tbody> </table>	間知ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10 m ² 当り使用量	胴込・裏込コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート 10 m ² 当り使用量	遮水シートの有無	150kg未満 控え350(m ²) 滑面タイプ	(表3.5)	-	(表3.7)	-	有り	無し	有り	無し	有り	150kg以上 各種(m ²)	(表3.6)	(表3.8)	無し	積算条件	区 分	裏込材規格	再生砕石 RC-40	再生砕石 RC-80	砕石 C-40	砕石 C-80	砕石各種	不要	積算条件	区 分	裏込材10m ² 当り使用量	1m ³ 以下	1m ³ を超え3m ³ 以下	3m ³ を超え5m ³ 以下	5m ³ を超え7m ³ 以下	積算条件	区 分	胴込・裏込 コンクリート規格	18-8-25(普通)	18-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	18-8-40(高炉)	生コンクリート各種	不要	<p>現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、間知ブロック(勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、調整コンクリートの打設、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、現場内小運搬(30m程度)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 裏込材、胴込・裏込コンクリート、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。 3. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、横帯、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考資料 参考図 (コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止)) 参照)</p> <p>現行どおり</p> <p>表3.6 裏込材 10 m² 当り使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">裏込材10m²当り使用量</td> <td>1.0m³以下</td> </tr> <tr> <td>1.0m³を超え3.0m³以下</td> </tr> <tr> <td>3.0m³を超え5.0m³以下</td> </tr> <tr> <td>5.0m³を超え7.0m³以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	積算条件	区 分	裏込材10m ² 当り使用量	1.0m ³ 以下	1.0m ³ を超え3.0m ³ 以下	3.0m ³ を超え5.0m ³ 以下	5.0m ³ を超え7.0m ³ 以下	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
間知ブロック規格	裏込材規格	裏込材 10 m ² 当り使用量	胴込・裏込コンクリート規格	胴込・裏込コンクリート 10 m ² 当り使用量	遮水シートの有無																																																	
150kg未満 控え350(m ²) 滑面タイプ	(表3.5)	-	(表3.7)	-	有り																																																	
					無し																																																	
有り																																																						
無し																																																						
有り																																																						
150kg以上 各種(m ²)	(表3.6)	(表3.8)	無し																																																			
積算条件	区 分																																																					
裏込材規格	再生砕石 RC-40																																																					
	再生砕石 RC-80																																																					
	砕石 C-40																																																					
	砕石 C-80																																																					
	砕石各種																																																					
	不要																																																					
積算条件	区 分																																																					
裏込材10m ² 当り使用量	1m ³ 以下																																																					
	1m ³ を超え3m ³ 以下																																																					
	3m ³ を超え5m ³ 以下																																																					
	5m ³ を超え7m ³ 以下																																																					
積算条件	区 分																																																					
胴込・裏込 コンクリート規格	18-8-25(普通)																																																					
	18-8-40(普通)																																																					
	18-8-25(高炉)																																																					
	18-8-40(高炉)																																																					
	生コンクリート各種																																																					
不要																																																						
積算条件	区 分																																																					
裏込材10m ² 当り使用量	1.0m ³ 以下																																																					
	1.0m ³ を超え3.0m ³ 以下																																																					
	3.0m ³ を超え5.0m ³ 以下																																																					
	5.0m ³ を超え7.0m ³ 以下																																																					
<p>頁</p> <p>81</p>	<p>81</p>																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																										
<p style="text-align: center;">表3. 8 胴込・裏込コンクリート 10 m2 当り使用量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 10㎡当り使用量</td><td>0.1m3 以上 0.5m3 以下</td></tr> <tr><td>0.5m3 を超え 0.9m3 以下</td></tr> <tr><td>0.9m3 を超え 1.3m3 以下</td></tr> <tr><td>1.3m3 を超え 1.7m3 以下</td></tr> <tr><td>1.7m3 を超え 2.1m3 以下</td></tr> <tr><td>2.1m3 を超え 2.3m3 以下(標準(150kg 未満))</td></tr> <tr><td>2.3m3 を超え 2.7m3 以下(標準(150kg 以上))</td></tr> <tr><td>2.7m3 を超え 3.1m3 以下</td></tr> <tr><td>3.1m3 を超え 3.5m3 以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3. 9 間知ブロック張 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr><td>R 2 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 3 ブロック工</td><td></td></tr> <tr><td>R 4 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面</td> <td>胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr><td>Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr> <tr><td>Z 3 再生クラッシュヤラン RC-40</td><td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td></tr> <tr><td>Z 4 遮水シート 厚1.0+10.0mm</td><td>遮水シート有りの場合</td></tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区 分	胴込・裏込コンクリート 10㎡当り使用量	0.1m3 以上 0.5m3 以下	0.5m3 を超え 0.9m3 以下	0.9m3 を超え 1.3m3 以下	1.3m3 を超え 1.7m3 以下	1.7m3 を超え 2.1m3 以下	2.1m3 を超え 2.3m3 以下(標準(150kg 未満))	2.3m3 を超え 2.7m3 以下(標準(150kg 以上))	2.7m3 を超え 3.1m3 以下	3.1m3 を超え 3.5m3 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 ブロック工		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 3 再生クラッシュヤラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合	市場単価	S -		<div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> <p>現行どおり</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3. 9 間知ブロック張 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr><td>R 2 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R 3 ブロック工</td><td></td></tr> <tr><td>R 4 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面</td> <td>胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr><td>Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr> <tr><td>Z 3 再生 <u>クラッシュヤラン</u> RC-40</td><td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td></tr> <tr><td>Z 4 遮水シート 厚1.0+10.0mm</td><td>遮水シート有りの場合</td></tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 ブロック工		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 3 再生 <u>クラッシュヤラン</u> RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合	市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
積算条件	区 分																																																																											
胴込・裏込コンクリート 10㎡当り使用量	0.1m3 以上 0.5m3 以下																																																																											
	0.5m3 を超え 0.9m3 以下																																																																											
	0.9m3 を超え 1.3m3 以下																																																																											
	1.3m3 を超え 1.7m3 以下																																																																											
	1.7m3 を超え 2.1m3 以下																																																																											
	2.1m3 を超え 2.3m3 以下(標準(150kg 未満))																																																																											
	2.3m3 を超え 2.7m3 以下(標準(150kg 以上))																																																																											
	2.7m3 を超え 3.1m3 以下																																																																											
3.1m3 を超え 3.5m3 以下																																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																																										
機械	K 1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																										
	K 2 -																																																																											
	K 3 -																																																																											
労務	R 1 普通作業員																																																																											
	R 2 特殊作業員																																																																											
	R 3 ブロック工																																																																											
	R 4 土木一般世話役																																																																											
材料	Z 1 間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く																																																																										
	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																											
	Z 3 再生クラッシュヤラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																										
	Z 4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合																																																																										
市場単価	S -																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																										
機械	K 1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																										
	K 2 -																																																																											
	K 3 -																																																																											
労務	R 1 普通作業員																																																																											
	R 2 特殊作業員																																																																											
	R 3 ブロック工																																																																											
	R 4 土木一般世話役																																																																											
材料	Z 1 間知ブロック 高250×幅400×控350 滑面	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く																																																																										
	Z 2 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																											
	Z 3 再生 <u>クラッシュヤラン</u> RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																										
	Z 4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合																																																																										
市場単価	S -																																																																											
頁	82	82																																																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																								
<p>3-3 平ブロック張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 平ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>ブロックの 質量</th> <th>平ブロック 規格</th> <th>裏込材 規格</th> <th>裏込材 10m² 当り使用量</th> <th>遮水シートの 有無</th> <th>吸出し防止 材の有無</th> <th>連結金具 の有無</th> <th>連結金具 10m² 当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">150kg/個 未満</td> <td rowspan="6">平ブロック 控 180(m²)</td> <td rowspan="12">(表 3.5)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="12">(表 3.12)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">平ブロック 控 120(m²)</td> <td rowspan="12">(表 3.5)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="12">(表 3.12)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">平ブロック 各種(m²)</td> <td rowspan="12">(表 3.5)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="12">(表 3.12)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">150kg/個 以上</td> <td rowspan="6">平ブロック 各種(m²)</td> <td rowspan="12">(表 3.5)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="12">(表 3.12)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">平ブロック 各種(m²)</td> <td rowspan="12">(表 3.5)</td> <td rowspan="12">(表 3.11)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> <td rowspan="12">(表 3.12)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、平ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、連結金具組立、裏込材(砕石)投入、調整コンクリートの打設、吊上(下)げ作業(コンクリートブロック、裏込材)、吸出し防止材、遮水・止水シート張、現場内小運搬の他、つき固め機械等の損料、目地モルタルを使用した場合の材料費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 裏込材、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。 3. 目地モルタルの有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。 4. 平ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 5. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図参照)</p>	ブロックの 質量	平ブロック 規格	裏込材 規格	裏込材 10m ² 当り使用量	遮水シートの 有無	吸出し防止 材の有無	連結金具 の有無	連結金具 10m ² 当り使用量	150kg/個 未満	平ブロック 控 180(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)	有り	有り	有り	(表 3.12)	無し	無し	有り	無し	有り	有り	有り	無し	無し	有り	無し	平ブロック 控 120(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)	有り	有り	有り	(表 3.12)	無し	無し	有り	無し	平ブロック 各種(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)	有り	有り	有り	(表 3.12)	無し	無し	有り	無し	150kg/個 以上	平ブロック 各種(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)	有り	有り	有り	(表 3.12)	無し	無し	有り	無し	平ブロック 各種(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)	有り	有り	有り	(表 3.12)	無し	無し	有り	無し	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
ブロックの 質量	平ブロック 規格	裏込材 規格	裏込材 10m ² 当り使用量	遮水シートの 有無	吸出し防止 材の有無	連結金具 の有無	連結金具 10m ² 当り使用量																																																																			
150kg/個 未満	平ブロック 控 180(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)	有り	有り	有り	(表 3.12)																																																																			
						無し																																																																				
					無し	有り																																																																				
						無し																																																																				
					有り	有り		有り																																																																		
								無し																																																																		
	無し			有り																																																																						
				無し																																																																						
	平ブロック 控 120(m ²)			(表 3.5)		(表 3.11)		有り		有り			有り	(表 3.12)																																																												
													無し																																																													
					無し				有り																																																																	
									無し																																																																	
平ブロック 各種(m ²)		(表 3.5)	(表 3.11)		有り		有り		有り	(表 3.12)																																																																
									無し																																																																	
	無し						有り																																																																			
							無し																																																																			
	150kg/個 以上						平ブロック 各種(m ²)	(表 3.5)	(表 3.11)		有り	有り	有り		(表 3.12)																																																											
													無し																																																													
無し					有り																																																																					
					無し																																																																					
平ブロック 各種(m ²)				(表 3.5)	(表 3.11)	有り						有り	有り	(表 3.12)																																																												
													無し																																																													
	無し						有り																																																																			
							無し																																																																			
	頁	83	83																																																																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																					
<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 表3.11 裏込材 10m2 当り使用量 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">裏込材10m2当り使用量</td> <td>1.0m3 以下</td> </tr> <tr> <td>1.0m3 を超え 3.0m3 以下</td> </tr> <tr> <td>3.0m3 を超え 5.0m3 以下</td> </tr> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 表3.12 連結金具 10 m2 当り使用量 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">連結金具10m2当り使用量</td> <td>5.0 個以下</td> </tr> <tr> <td>5.0 個を超え 15.0 個以下</td> </tr> <tr> <td>15.0 個を超え 20.0 個以下</td> </tr> </table> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">表3.13 平ブロック張 代表機材規格一覧</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>平ブロック 厚さ120mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8KN/m</td> <td>吸出し防止材有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td>遮水シート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	積算条件	区 分	裏込材10m2当り使用量	1.0m3 以下	1.0m3 を超え 3.0m3 以下	3.0m3 を超え 5.0m3 以下	積算条件	区 分	連結金具10m2当り使用量	5.0 個以下	5.0 個を超え 15.0 個以下	15.0 個を超え 20.0 個以下	表3.13 平ブロック張 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	ブロック工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	平ブロック 厚さ120mm		Z 2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 3	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8KN/m	吸出し防止材有りの場合	Z 4	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合	市場単価	S	—		<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>現行どおり</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 表3.13 平ブロック張 代表機材規格一覧 <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>平ブロック 厚さ120mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8KN/m</td> <td>吸出し防止材有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td>遮水シート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	ブロック工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	平ブロック 厚さ120mm		Z 2	再生 クラッシュラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 3	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8 KN /m	吸出し防止材有りの場合	Z 4	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合	市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
積算条件	区 分																																																																																																						
裏込材10m2当り使用量	1.0m3 以下																																																																																																						
	1.0m3 を超え 3.0m3 以下																																																																																																						
	3.0m3 を超え 5.0m3 以下																																																																																																						
積算条件	区 分																																																																																																						
連結金具10m2当り使用量	5.0 個以下																																																																																																						
	5.0 個を超え 15.0 個以下																																																																																																						
	15.0 個を超え 20.0 個以下																																																																																																						
表3.13 平ブロック張 代表機材規格一覧																																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																																					
機械	K 1	ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																					
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	ブロック工																																																																																																					
	R 3	土木一般世話役																																																																																																					
	R 4	特殊作業員																																																																																																					
材料	Z 1	平ブロック 厚さ120mm																																																																																																					
	Z 2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																				
	Z 3	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8KN/m	吸出し防止材有りの場合																																																																																																				
	Z 4	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																																					
機械	K 1	ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																					
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	ブロック工																																																																																																					
	R 3	土木一般世話役																																																																																																					
	R 4	特殊作業員																																																																																																					
材料	Z 1	平ブロック 厚さ120mm																																																																																																					
	Z 2	再生 クラッシュラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																				
	Z 3	吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8 KN /m	吸出し防止材有りの場合																																																																																																				
	Z 4	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シート有りの場合																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																					
頁	84	84																																																																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																					
<p>3-4 連節ブロック張 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.14 連節ブロック張 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロックの質量</th> <th>連節鉄筋(鋼線)規格</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>吸出し防止材の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">設置</td> <td rowspan="3">150kg/個未満</td> <td rowspan="6">(表 3.15)</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">150kg/個以上</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去</td> <td>150kg/個未満</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>150kg/個以上</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、連節ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置、連節鉄筋(鋼線)の加工・組立・溶接、調整コンクリートの打設、遮水シート、吸出し防止材、材料(コンクリートブロック、馴染・裏込コンクリート、馴染・裏込材、間隙充填材)の吊上(下)げ作業、現場内小運搬の他、溶接機、止水シート(基礎、隔壁、小口止の端部継手)及び接着剤等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 連節鉄筋(鋼線)、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。 3. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 4. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上する。 5. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図参照)</p> <p>表3.15 連節鉄筋(鋼線)規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">連節鉄筋(鋼線)規格</td> <td>亜鉛7%メッキ鋼線 径6mm</td> </tr> <tr> <td>亜鉛7%メッキ鋼線 径8mm</td> </tr> <tr> <td>SR235 径9mm</td> </tr> <tr> <td>SR235 径13mm</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼各種</td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	ブロックの質量	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無	設置	150kg/個未満	(表 3.15)	有り	有り	無し	無し	有り	無し	150kg/個以上	有り	有り	無し	無し	有り	撤去	150kg/個未満	-	-	-	150kg/個以上	-	-	-	積算条件	区 分	連節鉄筋(鋼線)規格	亜鉛7%メッキ鋼線 径6mm	亜鉛7%メッキ鋼線 径8mm	SR235 径9mm	SR235 径13mm	鉄筋コンクリート用棒鋼各種	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>語句の修正</p> <p>(注) 1. 上表は、連節ブロック(法勾配1割以上・ブロック質量770kg/個以下)の設置・撤去、連節鉄筋(鋼線)の加工・組立・溶接、調整コンクリートの打設、遮水シート、吸出し防止材、材料(コンクリートブロック、馴染・裏込コンクリート、馴染・裏込材、間隙充填材)の吊上(下)げ作業、現場内小運搬の他、溶接機、止水シート(基礎、隔壁、小口止の端部継手)及び接着剤等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 作業区分の「撤去」とは、再利用を前提とした撤去を行う場合に適用する。 3. 連節鉄筋(鋼線)、遮水シート、吸出し防止材の材料ロスを含む。 4. 連節ブロック張と遮水シート張は、同施工面積とする。 5. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上する。 6. 設計面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考資料 参考図(コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止))参照)</p>	
作業区分	ブロックの質量	連節鉄筋(鋼線)規格	遮水シートの有無	吸出し防止材の有無																																			
設置	150kg/個未満	(表 3.15)	有り	有り																																			
				無し																																			
			無し	有り																																			
	無し																																						
	150kg/個以上		有り	有り																																			
				無し																																			
無し		有り																																					
撤去	150kg/個未満	-	-	-																																			
	150kg/個以上	-	-	-																																			
積算条件	区 分																																						
連節鉄筋(鋼線)規格	亜鉛7%メッキ鋼線 径6mm																																						
	亜鉛7%メッキ鋼線 径8mm																																						
	SR235 径9mm																																						
	SR235 径13mm																																						
	鉄筋コンクリート用棒鋼各種																																						
頁	85	85																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																													
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.16 連節ブロック張 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>連節ブロック 厚さ220mm</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 S R 2 3 5 φ13</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td>遮水シートの有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8KN/m</td> <td>吸出し防止材有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 緑化ブロック積 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.17 緑化ブロック積 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>緑化ブロックの質量</th> <th>裏込材規格</th> <th>裏込材 10m2 当り使用量</th> <th>胴込・裏込コラー格</th> <th>胴込・裏込コラー格 10m2 当り使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150kg/個未満</td> <td>(表 3. 5)</td> <td>(表 3. 18)</td> <td>(表 3. 7)</td> <td>(表 3. 19)</td> </tr> <tr> <td>150kg/個以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(表 3. 20)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、緑化ブロック(法勾配1割未満・ブロック質量980kg/個以下)の設置、敷モルタル、裏込材(砕石)投入、調整コンクリートの打設、胴込・裏込コンクリートの吊上げ、吊下げ、胴込・裏込コンクリート打設、天端ブロック、調整コンクリート、客土投入・締固め、現場内小運搬の他、敷モルタル・目地モルタルの材料、つき固め機械等の損料及び油脂類の費用、コンクリートバケツ、コンクリートパイプ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、緑化ブロック及び天端ブロックの材料費は含まない。 2. 裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。 3. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上することができる。 4. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考図参照) 5. 緑化ブロック、天端ブロックの材料費は別途計上する。</p> <p>表3.18 裏込材 10m2 当り使用量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">裏込材 10m2 当り使用量</td> <td>2.0m3 以下</td> </tr> <tr> <td>2.0m3 を超え 4.0m3 以下</td> </tr> <tr> <td>4.0m3 を超え 6.0m3 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	ブロック工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	連節ブロック 厚さ220mm	設置の場合	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 S R 2 3 5 φ13	設置の場合	Z 3	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートの有りの場合	Z 4	吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8KN/m	吸出し防止材有りの場合	市場単価	S	—		緑化ブロックの質量	裏込材規格	裏込材 10m2 当り使用量	胴込・裏込コラー格	胴込・裏込コラー格 10m2 当り使用量	150kg/個未満	(表 3. 5)	(表 3. 18)	(表 3. 7)	(表 3. 19)	150kg/個以上				(表 3. 20)	積算条件	区 分	裏込材 10m2 当り使用量	2.0m3 以下	2.0m3 を超え 4.0m3 以下	4.0m3 を超え 6.0m3 以下	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.16 連節ブロック張 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>連節ブロック 厚さ220mm</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 S R 2 3 5 φ13</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td>遮水シートの有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8KN/m</td> <td>吸出し防止材有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、緑化ブロック(勾配1割未満・ブロック質量980kg/個以下)の設置、敷モルタル、裏込材(砕石)投入、調整コンクリートの打設、胴込・裏込コンクリートの吊上げ(下口作業)、胴込・裏込コンクリート打設、天端ブロック、調整コンクリート、客土投入・締固め、現場内小運搬の他、敷モルタル・目地モルタルの材料、つき固め機械等の損料及び油脂類の費用、コンクリートバケツ、コンクリートパイプ、電力に関する経費、型枠の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、緑化ブロック及び天端ブロックの材料費は含まない。 2. 裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。 3. 現場条件により特に足場が必要な場合は別途計上することができる。 4. 設置面積は調整コンクリートを含んだ面積とし、小口止、天端コンクリートは別途計上する。 (4. 参考資料 参考図(コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止))参照) 5. 緑化ブロック、天端ブロックの材料費は別途計上する。</p> <p>現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	ブロック工		R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	連節ブロック 厚さ220mm	設置の場合	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 S R 2 3 5 φ13	設置の場合	Z 3	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートの有りの場合	Z 4	吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8KN/m	吸出し防止材有りの場合	市場単価	S	—		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																												
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																												
	K 2	—																																																																																																													
	K 3	—																																																																																																													
労務	R 1	普通作業員																																																																																																													
	R 2	ブロック工																																																																																																													
	R 3	土木一般世話役																																																																																																													
	R 4	特殊作業員																																																																																																													
材料	Z 1	連節ブロック 厚さ220mm	設置の場合																																																																																																												
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 S R 2 3 5 φ13	設置の場合																																																																																																												
	Z 3	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートの有りの場合																																																																																																												
	Z 4	吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8KN/m	吸出し防止材有りの場合																																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																																													
緑化ブロックの質量	裏込材規格	裏込材 10m2 当り使用量	胴込・裏込コラー格	胴込・裏込コラー格 10m2 当り使用量																																																																																																											
150kg/個未満	(表 3. 5)	(表 3. 18)	(表 3. 7)	(表 3. 19)																																																																																																											
150kg/個以上				(表 3. 20)																																																																																																											
積算条件	区 分																																																																																																														
裏込材 10m2 当り使用量	2.0m3 以下																																																																																																														
	2.0m3 を超え 4.0m3 以下																																																																																																														
	4.0m3 を超え 6.0m3 以下																																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																																												
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																												
	K 2	—																																																																																																													
	K 3	—																																																																																																													
労務	R 1	普通作業員																																																																																																													
	R 2	ブロック工																																																																																																													
	R 3	土木一般世話役																																																																																																													
	R 4	特殊作業員																																																																																																													
材料	Z 1	連節ブロック 厚さ220mm	設置の場合																																																																																																												
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 S R 2 3 5 φ13	設置の場合																																																																																																												
	Z 3	遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートの有りの場合																																																																																																												
	Z 4	吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8KN/m	吸出し防止材有りの場合																																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																																													
頁	86	86																																																																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																												
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">表3.19 胴込・裏込コンクリート 10m2 当り使用量(150kg/個未満)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>積算条件</th><th>区 分</th></tr> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個未満)</td><td>0.7m3 以下</td></tr> <tr><td>0.7m3 を超え 1.7m3 以下</td></tr> <tr><td>1.7m3 を超え 2.7m3 以下(標準)</td></tr> <tr><td>2.7m3 を超え 3.7m3 以下</td></tr> <tr><td>3.7m3 を超え 4.7m3 以下</td></tr> <tr><td>4.7m3 を超え 6.0m3 以下</td></tr> </table> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">表3.20 胴込・裏込コンクリート 10m2 当り使用量(150kg/個以上)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>積算条件</th><th>区 分</th></tr> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個以上)</td><td>1.0m3 以下</td></tr> <tr><td>1.0m3 を超え 2.0m3 以下</td></tr> <tr><td>2.0m3 を超え 3.0m3 以下(標準)</td></tr> <tr><td>3.0m3 を超え 4.0m3 以下</td></tr> <tr><td>4.0m3 を超え 5.0m3 以下</td></tr> <tr><td>5.0m3 を超え 6.0m3 以下</td></tr> </table> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">表3.21 緑化ブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td>再生クラッシュヤラン RC-40</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">3-6 緑化ブロック(材料費) (1) 条件区分 緑化ブロック(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> <p style="font-size: x-small;">3-7 天端ブロック(材料費) (1) 条件区分 天端ブロック(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> </div>	積算条件	区 分	胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個未満)	0.7m3 以下	0.7m3 を超え 1.7m3 以下	1.7m3 を超え 2.7m3 以下(標準)	2.7m3 を超え 3.7m3 以下	3.7m3 を超え 4.7m3 以下	4.7m3 を超え 6.0m3 以下	積算条件	区 分	胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個以上)	1.0m3 以下	1.0m3 を超え 2.0m3 以下	2.0m3 を超え 3.0m3 以下(標準)	3.0m3 を超え 4.0m3 以下	4.0m3 を超え 5.0m3 以下	5.0m3 を超え 6.0m3 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	裏込材規格「不要」の場合を除く	K 3	-		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く	Z 2	再生クラッシュヤラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 3	軽油 1.2号 バトルール給油	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 4	-		市場単価	S	-		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">表3.19 胴込・裏込コンクリート 10m2 当り使用量(150kg/個未満)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>積算条件</th><th>区 分</th></tr> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個未満)</td><td>0.7m3 以下</td></tr> <tr><td>0.7m3 を超え 1.7m3 以下</td></tr> <tr><td>1.7m3 を超え 2.7m3 以下(標準)</td></tr> <tr><td>2.7m3 を超え 3.7m3 以下</td></tr> <tr><td>3.7m3 を超え 4.7m3 以下</td></tr> <tr><td>4.7m3 を超え 6.0m3 以下</td></tr> </table> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">表3.20 胴込・裏込コンクリート 10m2 当り使用量(150kg/個以上)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>積算条件</th><th>区 分</th></tr> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個以上)</td><td>1.0m3 以下</td></tr> <tr><td>1.0m3 を超え 2.0m3 以下</td></tr> <tr><td>2.0m3 を超え 3.0m3 以下(標準)</td></tr> <tr><td>3.0m3 を超え 4.0m3 以下</td></tr> <tr><td>4.0m3 を超え 5.0m3 以下</td></tr> <tr><td>5.0m3 を超え 6.0m3 以下</td></tr> </table> </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">表3.21 緑化ブロック積 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td>胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td>再生クラッシュヤラン RC-40</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">3-6 緑化ブロック(材料費) (1) 条件区分 緑化ブロック(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> <p style="font-size: x-small;">3-7 天端ブロック(材料費) (1) 条件区分 天端ブロック(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> </div>	積算条件	区 分	胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個未満)	0.7m3 以下	0.7m3 を超え 1.7m3 以下	1.7m3 を超え 2.7m3 以下(標準)	2.7m3 を超え 3.7m3 以下	3.7m3 を超え 4.7m3 以下	4.7m3 を超え 6.0m3 以下	積算条件	区 分	胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個以上)	1.0m3 以下	1.0m3 を超え 2.0m3 以下	2.0m3 を超え 3.0m3 以下(標準)	3.0m3 を超え 4.0m3 以下	4.0m3 を超え 5.0m3 以下	5.0m3 を超え 6.0m3 以下	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	裏込材規格「不要」の場合を除く	K 3	-		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く	Z 2	再生クラッシュヤラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 3	軽油 1.2号 バトルール給油	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="font-size: small;">語句の修正</p> <p style="font-size: small;">語句の修正</p>
積算条件	区 分																																																																																																																													
胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個未満)	0.7m3 以下																																																																																																																													
	0.7m3 を超え 1.7m3 以下																																																																																																																													
	1.7m3 を超え 2.7m3 以下(標準)																																																																																																																													
	2.7m3 を超え 3.7m3 以下																																																																																																																													
	3.7m3 を超え 4.7m3 以下																																																																																																																													
4.7m3 を超え 6.0m3 以下																																																																																																																														
積算条件	区 分																																																																																																																													
胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個以上)	1.0m3 以下																																																																																																																													
	1.0m3 を超え 2.0m3 以下																																																																																																																													
	2.0m3 を超え 3.0m3 以下(標準)																																																																																																																													
	3.0m3 を超え 4.0m3 以下																																																																																																																													
	4.0m3 を超え 5.0m3 以下																																																																																																																													
5.0m3 を超え 6.0m3 以下																																																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																											
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																																											
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	K 3	-																																																																																																																												
労務	R 1	ブロック工																																																																																																																												
	R 2	普通作業員																																																																																																																												
	R 3	特殊作業員																																																																																																																												
	R 4	土木一般世話役																																																																																																																												
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	Z 2	再生クラッシュヤラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	Z 3	軽油 1.2号 バトルール給油	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	Z 4	-																																																																																																																												
市場単価	S	-																																																																																																																												
積算条件	区 分																																																																																																																													
胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個未満)	0.7m3 以下																																																																																																																													
	0.7m3 を超え 1.7m3 以下																																																																																																																													
	1.7m3 を超え 2.7m3 以下(標準)																																																																																																																													
	2.7m3 を超え 3.7m3 以下																																																																																																																													
	3.7m3 を超え 4.7m3 以下																																																																																																																													
4.7m3 を超え 6.0m3 以下																																																																																																																														
積算条件	区 分																																																																																																																													
胴込・裏込コンクリート 10m2 当り 使用量(150kg/個以上)	1.0m3 以下																																																																																																																													
	1.0m3 を超え 2.0m3 以下																																																																																																																													
	2.0m3 を超え 3.0m3 以下(標準)																																																																																																																													
	3.0m3 を超え 4.0m3 以下																																																																																																																													
	4.0m3 を超え 5.0m3 以下																																																																																																																													
5.0m3 を超え 6.0m3 以下																																																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																											
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																																																											
	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	K 3	-																																																																																																																												
労務	R 1	ブロック工																																																																																																																												
	R 2	普通作業員																																																																																																																												
	R 3	特殊作業員																																																																																																																												
	R 4	土木一般世話役																																																																																																																												
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	胴込・裏込コンクリート規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	Z 2	再生クラッシュヤラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	Z 3	軽油 1.2号 バトルール給油	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																											
	Z 4	-																																																																																																																												
市場単価	S	-																																																																																																																												
87	87	現行どおり																																																																																																																												
頁	87																																																																																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																				
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.25 胴込・裏込材(砕石) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>緑化ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>緑化ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>再生クラッシャーラン RC-40</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1. 2号 バトル給油</td> <td>緑化ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-10 遮水シート張 (1) 条件区分 遮水シート張の積算条件区分はない。 積算単位はm²とする。 (注) 1. コンクリートブロック張における遮水シートの設置、基礎・隔壁・小口止部の止水シートの設置の他、止水シート(基礎・隔壁・小口止継手)及び接着剤の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 遮水シートの材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.26 遮水シート張 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	緑化ブロックの場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手(特殊)	緑化ブロックの場合	R 4	—		材料	Z 1	再生クラッシャーラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 2	軽油 1. 2号 バトル給油	緑化ブロックの場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	遮水シート 厚1.0+10.0mm		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.25 胴込・裏込材(砕石) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>緑化ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>緑化ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td><u>再生クラッシャーラン</u> RC-40</td> <td>裏込材規格「不要」の場合を除く</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1. 2号 バトル給油</td> <td>緑化ブロックの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-10 遮水シート張 (1) 条件区分 遮水シート張の積算条件区分はない。 積算単位はm²とする。 (注) 1. コンクリートブロック張における遮水シートの設置、基礎・隔壁・小口止部の止水シートの設置の他、止水シート(基礎・隔壁・小口止継手)及び接着剤の費用等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 遮水シートの材料ロスを含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	緑化ブロックの場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手(特殊)	緑化ブロックの場合	R 4	—		材料	Z 1	<u>再生クラッシャーラン</u> RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く	Z 2	軽油 1. 2号 バトル給油	緑化ブロックの場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																			
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	緑化ブロックの場合																																																																																																																																			
	K 2	—																																																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																				
	R 2	特殊作業員																																																																																																																																				
	R 3	運転手(特殊)	緑化ブロックの場合																																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																																				
材料	Z 1	再生クラッシャーラン RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																																			
	Z 2	軽油 1. 2号 バトル給油	緑化ブロックの場合																																																																																																																																			
	Z 3	—																																																																																																																																				
	Z 4	—																																																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																																																				
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																			
機械	K 1	—																																																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																				
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																																				
	R 3	—																																																																																																																																				
	R 4	—																																																																																																																																				
材料	Z 1	遮水シート 厚1.0+10.0mm																																																																																																																																				
	Z 2	—																																																																																																																																				
	Z 3	—																																																																																																																																				
	Z 4	—																																																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																																																				
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																			
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	緑化ブロックの場合																																																																																																																																			
	K 2	—																																																																																																																																				
	K 3	—																																																																																																																																				
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																				
	R 2	特殊作業員																																																																																																																																				
	R 3	運転手(特殊)	緑化ブロックの場合																																																																																																																																			
	R 4	—																																																																																																																																				
材料	Z 1	<u>再生クラッシャーラン</u> RC-40	裏込材規格「不要」の場合を除く																																																																																																																																			
	Z 2	軽油 1. 2号 バトル給油	緑化ブロックの場合																																																																																																																																			
	Z 3	—																																																																																																																																				
	Z 4	—																																																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																																																				
頁	89	89																																																																																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																						
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3-11 吸出し防止材(全面)設置</p> <p>(1) 条件区分 吸出し防止材(全面)設置の積算条件区分はない。 積算単位はm²とする。 (注)1. コンクリートブロック積・張の吸出し防止材(全面)の設置等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 吸出し防止材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は, 当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。 表3.27 吸出し防止材(全面)設置 代表機勞材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>吸出し防止材 合織不織布 t=1.0mm 9.8KN/m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>3-12 植樹</p> <p>(1) 条件区分 植樹の積算条件区分はない。 積算単位は本とする。 (注)1. 樹木の植穴掘り, 植付け, 埋戻し, 養生, 現場内小運搬等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし, 土壌改良に要する費用は含まない。 2. 樹高は, 50cm以下とする。 3. 新植樹木の植栽にも適用できる。ただし, 移植及び根廻し工事にかかわるものは除く。 4. 植樹割増しの有無にかかわらず適用できる。</p> <p>(2) 代表機勞材規格 下表機勞材は, 当該施工パッケージで使用されている機勞材の代表的な規格である。 表3.28 植樹 代表機勞材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機勞材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>造園工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>サツキツツジ樹高30cm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機勞材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	—		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	吸出し防止材 合織不織布 t=1.0mm 9.8KN/m		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機勞材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	造園工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	サツキツツジ樹高30cm		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目	代表機勞材規格		備考																																																																																					
機械	K 1	—																																																																																						
	K 2	—																																																																																						
	K 3	—																																																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																																																						
	R 2	—																																																																																						
	R 3	—																																																																																						
	R 4	—																																																																																						
材料	Z 1	吸出し防止材 合織不織布 t=1.0mm 9.8KN/m																																																																																						
	Z 2	—																																																																																						
	Z 3	—																																																																																						
	Z 4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						
項目	代表機勞材規格		備考																																																																																					
機械	K 1	—																																																																																						
	K 2	—																																																																																						
	K 3	—																																																																																						
労務	R 1	造園工																																																																																						
	R 2	普通作業員																																																																																						
	R 3	土木一般世話役																																																																																						
	R 4	—																																																																																						
材料	Z 1	サツキツツジ樹高30cm																																																																																						
	Z 2	—																																																																																						
	Z 3	—																																																																																						
	Z 4	—																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																						

} 現行どおり

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																						
<p>3-13 現場打基礎コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.29 現場打基礎コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">18-8-25(普通)</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰)</td> </tr> <tr> <td>養生なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">18-8-40(普通)</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰)</td> </tr> <tr> <td>養生なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">18-8-25(高炉)</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰)</td> </tr> <tr> <td>養生なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">18-8-40(高炉)</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰)</td> </tr> <tr> <td>養生なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生コンクリート各種</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰)</td> </tr> <tr> <td>養生なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート、基礎材、目地板、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリート打設機器損料、コンクリート打設、養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。 3. 基礎砕石の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。 4. 目地の有無、材料の種類にかかわらず本施工パッケージを適用できる。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 現場打基礎コンクリート 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1、2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	生コンクリート規格	養生工の種類	18-8-25(普通)	一般養生・特殊養生(練灰)	養生なし	18-8-40(普通)	一般養生・特殊養生(練灰)	養生なし	18-8-25(高炉)	一般養生・特殊養生(練灰)	養生なし	18-8-40(高炉)	一般養生・特殊養生(練灰)	養生なし	生コンクリート各種	一般養生・特殊養生(練灰)	養生なし	項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z 2 軽油 1、2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>3-13 現場打基礎コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.29 現場打基礎コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>生コンクリート規格</th> <th>コンクリート打設条件</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">(表3.30)</td> <td rowspan="2">打設地上高さ2m以下</td> <td>有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打設地上高さ2m超28m以下 かつ 水平距離 20m 以内</td> <td>有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート、基礎材、目地板、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離剤、電気ドリル、電動ノコギリ、コンクリート打設機器損料、コンクリート打設、養生等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。 3. 基礎砕石の厚は標高 35cm 以下、要込のコンクリート厚さ 150mm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 目地の有無、材料の種類にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。 5. 特殊養生(ジェットヒーター養生)の場合は、養生工の種類を「養生なし」として、「3 表(生コンクリート)」により別途計上すること。 6. 表1.コンクリートは別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 生コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">生コンクリート規格</td> <td>18-8-25(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-25(高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40(高炉)</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.31 現場打基礎コンクリート 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 台</td> <td>・打設地上高さ2m 超 28m 以下 かつ 水平距離 20m 以内の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1、2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	生コンクリート規格	コンクリート打設条件	基礎砕石の有無	養生工の種類	(表3.30)	打設地上高さ2m以下	有り	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし	無し	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし	打設地上高さ2m超28m以下 かつ 水平距離 20m 以内	有り	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし	無し	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし	積算条件	区 分	生コンクリート規格	18-8-25(普通)	18-8-40(普通)	18-8-25(高炉)	18-8-40(高炉)	生コンクリート各種	項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 台	・打設地上高さ2m 超 28m 以下 かつ 水平距離 20m 以内の場合 ・賃料	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z 2 軽油 1、2号 バトロール給油		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>条件区分の改定</p> <p>記載の追記</p> <p>条件区分の改定</p>
生コンクリート規格	養生工の種類																																																																																																							
18-8-25(普通)	一般養生・特殊養生(練灰)																																																																																																							
	養生なし																																																																																																							
18-8-40(普通)	一般養生・特殊養生(練灰)																																																																																																							
	養生なし																																																																																																							
18-8-25(高炉)	一般養生・特殊養生(練灰)																																																																																																							
	養生なし																																																																																																							
18-8-40(高炉)	一般養生・特殊養生(練灰)																																																																																																							
	養生なし																																																																																																							
生コンクリート各種	一般養生・特殊養生(練灰)																																																																																																							
	養生なし																																																																																																							
項目	代表機材材規格	備考																																																																																																						
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																																						
	K 2 -																																																																																																							
	K 3 -																																																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																																																							
	R 2 型わく工																																																																																																							
	R 3 土木一般世話役																																																																																																							
	R 4 特殊作業員																																																																																																							
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																							
	Z 2 軽油 1、2号 バトロール給油																																																																																																							
	Z 3 -																																																																																																							
	Z 4 -																																																																																																							
市場単価	S -																																																																																																							
生コンクリート規格	コンクリート打設条件	基礎砕石の有無	養生工の種類																																																																																																					
(表3.30)	打設地上高さ2m以下	有り	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし																																																																																																					
		無し	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし																																																																																																					
	打設地上高さ2m超28m以下 かつ 水平距離 20m 以内	有り	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし																																																																																																					
		無し	一般養生・特殊養生(練灰) 養生なし																																																																																																					
積算条件	区 分																																																																																																							
生コンクリート規格	18-8-25(普通)																																																																																																							
	18-8-40(普通)																																																																																																							
	18-8-25(高炉)																																																																																																							
	18-8-40(高炉)																																																																																																							
	生コンクリート各種																																																																																																							
項目	代表機材材規格	備考																																																																																																						
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 台	・打設地上高さ2m 超 28m 以下 かつ 水平距離 20m 以内の場合 ・賃料																																																																																																						
	K 2 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																																						
	K 3 -																																																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																																																							
	R 2 型わく工																																																																																																							
	R 3 土木一般世話役																																																																																																							
	R 4 特殊作業員																																																																																																							
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																							
	Z 2 軽油 1、2号 バトロール給油																																																																																																							
	Z 3 -																																																																																																							
	Z 4 -																																																																																																							
市場単価	S -																																																																																																							
頁	91	91, 92																																																																																																						

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																															
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.32 天端コンクリート 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>・打設地上高さ 2m 超 28m 以下 かつ水平距離 20m 以内の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止)参考図</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	・打設地上高さ 2m 超 28m 以下 かつ水平距離 20m 以内の場合 ・賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 特殊作業員		R4 土木一般世話役		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <p>4. <u>参考資料 参考図</u>(コンクリートブロック積工(調整コンクリート・小口止))<u>参考図</u></p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																															
機械	K1 ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊	・打設地上高さ 2m 超 28m 以下 かつ水平距離 20m 以内の場合 ・賃料																															
	K2 -																																
	K3 -																																
労務	R1 普通作業員																																
	R2 型わく工																																
	R3 特殊作業員																																
	R4 土木一般世話役																																
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																
	Z2 -																																
	Z3 -																																
	Z4 -																																
市場単価	S -																																
頁	93	94																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

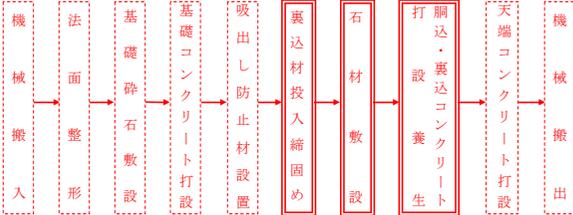
現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑧ 石積(張)工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、玉石及び雑割石(控長25cm～50cm)の積工(勾配1割未満)及び張工(勾配1割以上)であって、胴込・裏込コンクリートは、打設高さが18m以下かつ水平打設距離10m以下の場合に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 石積(練石)(複合)</p> <p>(1) 表1. 1に示す条件に該当する場合</p> <p>1-1-2 石張(複合)</p> <p>(1) 表1. 2に示す条件に該当する場合</p> <p>なお、1-1-1あるいは1-1-2が適用できない場合は、石積(張)、胴込・裏込コンクリート、裏込材(クラッシュラン)を適用する。</p> </div>	<p>⑧ 石積(張)工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、玉石及び雑割石(控長25cm～50cm)の積工(勾配1割未満)及び張工(勾配1割以上) であって、 <u>胴込・裏込コンクリートは、打設高さが18m以下かつ水平打設距離10m以下の場合に適用する。</u></p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 石積(練石)(複合)</p> <p>(1) 表1. 1に示す条件に該当する場合</p> <p>1-1-2 石張(複合)</p> <p>(1) 表1. <u>3</u>に示す条件に該当する場合</p> <p>なお、1-1-1あるいは1-1-2が適用できない場合は、石積(張)、胴込・裏込コンクリート、裏込材(クラッシュラン)を適用する。</p>	<p>語句の修正</p>
頁 94	95	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行		改 定		備 考																																																																																																																						
<table border="1"> <caption>表1.1 石積(練石)(複合)の適用範囲</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">控長 (cm)</th> <th rowspan="2">直高 (m)</th> <th rowspan="2">前面勾配</th> <th colspan="2">胴込・裏込コンクリート使用量 (m³/10m²)</th> <th rowspan="2">裏込材使用量 (m³/10m²)</th> </tr> <tr> <th>玉石の場合</th> <th>雑割石の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">35cm</td> <td>1.0m以上1.2m以下</td> <td rowspan="3">1:0.3~0.5</td> <td>2.23以上2.60以下</td> <td>2.81以上3.18以下</td> <td>2.12以上3.08以下</td> </tr> <tr> <td>1.2mを超え1.4m以下</td> <td>2.44を超え2.83以下</td> <td>3.02を超え3.41以下</td> <td>2.91を超え3.95以下</td> </tr> <tr> <td>1.4mを超え1.6m以下</td> <td>2.65を超え3.05以下</td> <td>3.23を超え3.63以下</td> <td>3.73を超え4.86以下</td> </tr> <tr> <td>1.6mを超え1.8m以下</td> <td rowspan="6">1:0.4~0.5</td> <td>2.95を超え3.27以下</td> <td>3.53を超え3.85以下</td> <td>4.72を超え5.82以下</td> </tr> <tr> <td>1.8mを超え2.0m以下</td> <td>3.16を超え3.49以下</td> <td>3.74を超え4.07以下</td> <td>5.64を超え6.81以下</td> </tr> <tr> <td>2.0mを超え2.2m以下</td> <td>3.38を超え3.72以下</td> <td>3.96を超え4.30以下</td> <td>6.61を超え7.84以下</td> </tr> <tr> <td>2.2mを超え2.4m以下</td> <td>3.59を超え3.94以下</td> <td>4.17を超え4.52以下</td> <td>7.62を超え8.91以下</td> </tr> <tr> <td>2.4mを超え2.6m以下</td> <td>3.81を超え4.16以下</td> <td>4.39を超え4.74以下</td> <td>8.66を超え10.02以下</td> </tr> <tr> <td>2.6mを超え2.8m以下</td> <td>4.02を超え4.39以下</td> <td>4.60を超え4.97以下</td> <td>9.75を超え11.17以下</td> </tr> <tr> <td>2.8mを超え3.0m以下</td> <td rowspan="8">1:0.5</td> <td>4.24を超え4.61以下</td> <td>4.82を超え5.19以下</td> <td>10.87を超え12.36以下</td> </tr> <tr> <td>3.0mを超え3.3m以下</td> <td>6.35を超え6.85以下</td> <td>6.93を超え7.43以下</td> <td>12.04を超え14.22以下</td> </tr> <tr> <td>3.3mを超え3.5m以下</td> <td>6.85を超え7.19以下</td> <td>7.43を超え7.77以下</td> <td>14.22を超え15.51以下</td> </tr> <tr> <td>3.5mを超え3.7m以下</td> <td>7.19を超え7.53以下</td> <td>7.77を超え8.11以下</td> <td>15.51を超え16.84以下</td> </tr> <tr> <td>3.7mを超え3.9m以下</td> <td>7.53を超え7.86以下</td> <td>8.11を超え8.44以下</td> <td>16.84を超え18.21以下</td> </tr> <tr> <td>3.9mを超え4.1m以下</td> <td>7.86を超え8.20以下</td> <td>8.44を超え8.78以下</td> <td>18.21を超え19.63以下</td> </tr> <tr> <td>4.1mを超え4.4m以下</td> <td>8.20を超え8.70以下</td> <td>8.78を超え9.28以下</td> <td>19.63を超え21.82以下</td> </tr> <tr> <td>4.4mを超え4.7m以下</td> <td>8.70を超え9.21以下</td> <td>9.28を超え9.79以下</td> <td>21.82を超え24.10以下</td> </tr> <tr> <td>4.7mを超え5.0m以下</td> <td>9.21を超え9.71以下</td> <td>9.79を超え10.29以下</td> <td>24.10を超え26.47以下</td> </tr> </tbody> </table>		控長 (cm)	直高 (m)	前面勾配	胴込・裏込コンクリート使用量 (m ³ /10m ²)		裏込材使用量 (m ³ /10m ²)	玉石の場合	雑割石の場合	35cm	1.0m以上1.2m以下	1:0.3~0.5	2.23以上2.60以下	2.81以上3.18以下	2.12以上3.08以下	1.2mを超え1.4m以下	2.44を超え2.83以下	3.02を超え3.41以下	2.91を超え3.95以下	1.4mを超え1.6m以下	2.65を超え3.05以下	3.23を超え3.63以下	3.73を超え4.86以下	1.6mを超え1.8m以下	1:0.4~0.5	2.95を超え3.27以下	3.53を超え3.85以下	4.72を超え5.82以下	1.8mを超え2.0m以下	3.16を超え3.49以下	3.74を超え4.07以下	5.64を超え6.81以下	2.0mを超え2.2m以下	3.38を超え3.72以下	3.96を超え4.30以下	6.61を超え7.84以下	2.2mを超え2.4m以下	3.59を超え3.94以下	4.17を超え4.52以下	7.62を超え8.91以下	2.4mを超え2.6m以下	3.81を超え4.16以下	4.39を超え4.74以下	8.66を超え10.02以下	2.6mを超え2.8m以下	4.02を超え4.39以下	4.60を超え4.97以下	9.75を超え11.17以下	2.8mを超え3.0m以下	1:0.5	4.24を超え4.61以下	4.82を超え5.19以下	10.87を超え12.36以下	3.0mを超え3.3m以下	6.35を超え6.85以下	6.93を超え7.43以下	12.04を超え14.22以下	3.3mを超え3.5m以下	6.85を超え7.19以下	7.43を超え7.77以下	14.22を超え15.51以下	3.5mを超え3.7m以下	7.19を超え7.53以下	7.77を超え8.11以下	15.51を超え16.84以下	3.7mを超え3.9m以下	7.53を超え7.86以下	8.11を超え8.44以下	16.84を超え18.21以下	3.9mを超え4.1m以下	7.86を超え8.20以下	8.44を超え8.78以下	18.21を超え19.63以下	4.1mを超え4.4m以下	8.20を超え8.70以下	8.78を超え9.28以下	19.63を超え21.82以下	4.4mを超え4.7m以下	8.70を超え9.21以下	9.28を超え9.79以下	21.82を超え24.10以下	4.7mを超え5.0m以下	9.21を超え9.71以下	9.79を超え10.29以下	24.10を超え26.47以下	<table border="1"> <caption>表1.1 石積(練石)(複合)の適用範囲</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">控長 (cm)</th> <th rowspan="2">直高 (m)</th> <th rowspan="2">前面勾配</th> <th colspan="2">胴込・裏込コンクリート使用量 (m³/10m²)</th> <th rowspan="2">裏込材使用量 (m³/10m²)</th> </tr> <tr> <th>玉石の場合</th> <th>雑割石の場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">35cm</td> <td>1.0m以上1.5m以下</td> <td>1:0.3~0.5</td> <td>2.25以上2.42以下</td> <td>2.83以上3.05以下</td> <td>2.24以上2.95以下</td> </tr> <tr> <td>1.5mを超え2.0m以下</td> <td>1:0.4~0.5</td> <td>2.25以上2.35以下</td> <td>2.83以上2.98以下</td> <td>2.81以上3.83以下</td> </tr> <tr> <td>2.0mを超え2.5m以下</td> <td>1:0.4~0.5</td> <td>2.23以上2.31以下</td> <td>2.81以上2.94以下</td> <td>3.21以上4.33以下</td> </tr> <tr> <td>2.5mを超え3.0m以下</td> <td>1:0.4~0.5</td> <td>2.22以上2.29以下</td> <td>2.80以上2.92以下</td> <td>3.53以上4.70以下</td> </tr> <tr> <td>3.0mを超え5.0m以下</td> <td>1:0.5</td> <td>2.73以上2.82以下</td> <td>3.31以上3.45以下</td> <td>3.81以上5.02以下</td> </tr> </tbody> </table>		控長 (cm)	直高 (m)	前面勾配	胴込・裏込コンクリート使用量 (m ³ /10m ²)		裏込材使用量 (m ³ /10m ²)	玉石の場合	雑割石の場合	35cm	1.0m以上1.5m以下	1:0.3~0.5	2.25以上2.42以下	2.83以上3.05以下	2.24以上2.95以下	1.5mを超え2.0m以下	1:0.4~0.5	2.25以上2.35以下	2.83以上2.98以下	2.81以上3.83以下	2.0mを超え2.5m以下	1:0.4~0.5	2.23以上2.31以下	2.81以上2.94以下	3.21以上4.33以下	2.5mを超え3.0m以下	1:0.4~0.5	2.22以上2.29以下	2.80以上2.92以下	3.53以上4.70以下	3.0mを超え5.0m以下	1:0.5	2.73以上2.82以下	3.31以上3.45以下	3.81以上5.02以下	区分の改定
控長 (cm)	直高 (m)				前面勾配	胴込・裏込コンクリート使用量 (m ³ /10m ²)		裏込材使用量 (m ³ /10m ²)																																																																																																																		
		玉石の場合	雑割石の場合																																																																																																																							
35cm	1.0m以上1.2m以下	1:0.3~0.5	2.23以上2.60以下	2.81以上3.18以下	2.12以上3.08以下																																																																																																																					
	1.2mを超え1.4m以下		2.44を超え2.83以下	3.02を超え3.41以下	2.91を超え3.95以下																																																																																																																					
	1.4mを超え1.6m以下		2.65を超え3.05以下	3.23を超え3.63以下	3.73を超え4.86以下																																																																																																																					
	1.6mを超え1.8m以下	1:0.4~0.5	2.95を超え3.27以下	3.53を超え3.85以下	4.72を超え5.82以下																																																																																																																					
	1.8mを超え2.0m以下		3.16を超え3.49以下	3.74を超え4.07以下	5.64を超え6.81以下																																																																																																																					
	2.0mを超え2.2m以下		3.38を超え3.72以下	3.96を超え4.30以下	6.61を超え7.84以下																																																																																																																					
	2.2mを超え2.4m以下		3.59を超え3.94以下	4.17を超え4.52以下	7.62を超え8.91以下																																																																																																																					
	2.4mを超え2.6m以下		3.81を超え4.16以下	4.39を超え4.74以下	8.66を超え10.02以下																																																																																																																					
	2.6mを超え2.8m以下		4.02を超え4.39以下	4.60を超え4.97以下	9.75を超え11.17以下																																																																																																																					
	2.8mを超え3.0m以下	1:0.5	4.24を超え4.61以下	4.82を超え5.19以下	10.87を超え12.36以下																																																																																																																					
	3.0mを超え3.3m以下		6.35を超え6.85以下	6.93を超え7.43以下	12.04を超え14.22以下																																																																																																																					
	3.3mを超え3.5m以下		6.85を超え7.19以下	7.43を超え7.77以下	14.22を超え15.51以下																																																																																																																					
	3.5mを超え3.7m以下		7.19を超え7.53以下	7.77を超え8.11以下	15.51を超え16.84以下																																																																																																																					
	3.7mを超え3.9m以下		7.53を超え7.86以下	8.11を超え8.44以下	16.84を超え18.21以下																																																																																																																					
	3.9mを超え4.1m以下		7.86を超え8.20以下	8.44を超え8.78以下	18.21を超え19.63以下																																																																																																																					
	4.1mを超え4.4m以下		8.20を超え8.70以下	8.78を超え9.28以下	19.63を超え21.82以下																																																																																																																					
4.4mを超え4.7m以下	8.70を超え9.21以下		9.28を超え9.79以下	21.82を超え24.10以下																																																																																																																						
4.7mを超え5.0m以下	9.21を超え9.71以下	9.79を超え10.29以下	24.10を超え26.47以下																																																																																																																							
控長 (cm)	直高 (m)	前面勾配	胴込・裏込コンクリート使用量 (m ³ /10m ²)		裏込材使用量 (m ³ /10m ²)																																																																																																																					
			玉石の場合	雑割石の場合																																																																																																																						
35cm	1.0m以上1.5m以下	1:0.3~0.5	2.25以上2.42以下	2.83以上3.05以下	2.24以上2.95以下																																																																																																																					
	1.5mを超え2.0m以下	1:0.4~0.5	2.25以上2.35以下	2.83以上2.98以下	2.81以上3.83以下																																																																																																																					
	2.0mを超え2.5m以下	1:0.4~0.5	2.23以上2.31以下	2.81以上2.94以下	3.21以上4.33以下																																																																																																																					
	2.5mを超え3.0m以下	1:0.4~0.5	2.22以上2.29以下	2.80以上2.92以下	3.53以上4.70以下																																																																																																																					
	3.0mを超え5.0m以下	1:0.5	2.73以上2.82以下	3.31以上3.45以下	3.81以上5.02以下																																																																																																																					
		<table border="1"> <caption>表1.2 「参考図 石積(練石)(複合)の断面図」の寸法</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">H(直高) (m)</th> <th colspan="3">L (のり長) (mm)</th> <th rowspan="2">控長 (mm)</th> <th rowspan="2">裏込め コンク リート厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="3">N 1 (前面勾配)</th> </tr> <tr> <td></td> <th>1:0.3</th> <th>1:0.4</th> <th>1:0.5</th> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.00</td> <td>1044</td> <td>1077</td> <td>1118</td> <td>350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>1.50</td> <td>1566</td> <td>1616</td> <td>1677</td> <td>350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2.00</td> <td>—</td> <td>2154</td> <td>2236</td> <td>350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>2.50</td> <td>—</td> <td>2693</td> <td>2795</td> <td>350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3.00</td> <td>—</td> <td>3231</td> <td>3354</td> <td>350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>3.50</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3913</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>4.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4472</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>4.50</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5031</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>5.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5590</td> <td>350</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>		H(直高) (m)	L (のり長) (mm)			控長 (mm)	裏込め コンク リート厚さ (mm)	N 1 (前面勾配)				1:0.3	1:0.4	1:0.5			1.00	1044	1077	1118	350	100	1.50	1566	1616	1677	350	100	2.00	—	2154	2236	350	100	2.50	—	2693	2795	350	100	3.00	—	3231	3354	350	100	3.50	—	—	3913	350	150	4.00	—	—	4472	350	150	4.50	—	—	5031	350	150	5.00	—	—	5590	350	150																																																		
H(直高) (m)	L (のり長) (mm)				控長 (mm)	裏込め コンク リート厚さ (mm)																																																																																																																				
	N 1 (前面勾配)																																																																																																																									
	1:0.3	1:0.4	1:0.5																																																																																																																							
1.00	1044	1077	1118	350	100																																																																																																																					
1.50	1566	1616	1677	350	100																																																																																																																					
2.00	—	2154	2236	350	100																																																																																																																					
2.50	—	2693	2795	350	100																																																																																																																					
3.00	—	3231	3354	350	100																																																																																																																					
3.50	—	—	3913	350	150																																																																																																																					
4.00	—	—	4472	350	150																																																																																																																					
4.50	—	—	5031	350	150																																																																																																																					
5.00	—	—	5590	350	150																																																																																																																					
頁	95	95																																																																																																																								

工 種	石積(張)工
-----	--------

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div data-bbox="197 392 943 663" style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。</p> <p style="text-align: center;">図 2-1 施工フロー</p>	<p>施工フローの追加</p>
<p>頁</p>	<p>97</p>	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																					
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 石積(練石)(複合)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p style="text-align: center;">条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 石積(練石)(複合) 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>石の種類</th> <th>直高</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>裏込材規格</th> </tr> <tr> <td>玉石</td> <td>(表 2.2)</td> <td>(表 2.3)</td> <td>(表 2.4)</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積工における石材の設置、胴込・裏込コンクリートの打設、裏込材の設置、水抜パイプ及び吸出し防止材の設置の他、コンクリートバケット損料、パイプレータ損料、型枠等の費用、つき締め機械等の損料、油脂類の費用、据付時の石材の微調整、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、人力による現場内小運搬(運搬距離 20m程度)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。</p> <p>2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「2章④吸出し防止材設置工」により別途計上する。</p> <p>3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。</p> <p>4. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「2章⑦コンクリートブロック積(張)工」による。</p> <p>5. 胴込・裏込コンクリート、裏込材の材料ロスを含む。</p> <p>6. 養生が必要な場合は、「3章①コンクリート工」による。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 直高</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="vertical-align: middle;">直 高</td><td>1.0m以上1.2m以下</td></tr> <tr><td>1.2mを超え1.4m以下</td></tr> <tr><td>1.4mを超え1.6m以下</td></tr> <tr><td>1.6mを超え1.8m以下</td></tr> <tr><td>1.8mを超え2.0m以下</td></tr> <tr><td>2.0mを超え2.2m以下</td></tr> <tr><td>2.2mを超え2.4m以下</td></tr> <tr><td>2.4mを超え2.6m以下</td></tr> <tr><td>2.6mを超え2.8m以下</td></tr> <tr><td>2.8mを超え3.0m以下</td></tr> <tr><td>3.0mを超え3.3m以下</td></tr> <tr><td>3.3mを超え3.5m以下</td></tr> <tr><td>3.5mを超え3.7m以下</td></tr> <tr><td>3.7mを超え3.9m以下</td></tr> <tr><td>3.9mを超え4.1m以下</td></tr> <tr><td>4.1mを超え4.4m以下</td></tr> <tr><td>4.4mを超え4.7m以下</td></tr> <tr><td>4.7mを超え5.0m以下</td></tr> </tbody> </table> </div>	石の種類	直高	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材規格	玉石	(表 2.2)	(表 2.3)	(表 2.4)	雑割石				積算条件	区分	直 高	1.0m以上1.2m以下	1.2mを超え1.4m以下	1.4mを超え1.6m以下	1.6mを超え1.8m以下	1.8mを超え2.0m以下	2.0mを超え2.2m以下	2.2mを超え2.4m以下	2.4mを超え2.6m以下	2.6mを超え2.8m以下	2.8mを超え3.0m以下	3.0mを超え3.3m以下	3.3mを超え3.5m以下	3.5mを超え3.7m以下	3.7mを超え3.9m以下	3.9mを超え4.1m以下	4.1mを超え4.4m以下	4.4mを超え4.7m以下	4.7mを超え5.0m以下	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 石積(練石)(複合)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p style="text-align: center;">条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 石積(練石)(複合) 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>石の種類</th> <th>直高</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>裏込材規格</th> </tr> <tr> <td>玉石</td> <td>(表 3.2)</td> <td>(表 3.3)</td> <td>(表 3.4)</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積工における石材の設置、胴込・裏込コンクリートの打設、裏込材の設置、水抜パイプ(水抜き孔用吸出し防止材含む)及び吸出し防止材の設置の他、コンクリートバケット損料、パイプレータ損料、<u>ポンプ等の費用電力に関する経費</u>、締固め機械等の損料、油脂類の費用、据付時の石材の微調整、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、<u>人力による現場内小運搬(バケット作業)</u>、<u>振動コンパクタによる締固め作業</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。</p> <p>2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「2章④吸出し防止材設置工」により別途計上する。</p> <p>3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。</p> <p>4. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「2章⑦コンクリートブロック積(張)工」による。</p> <p>5. 胴込・裏込コンクリート、裏込材の材料ロスを含む。</p> <p>6. 養生が必要な場合は、「3章①コンクリート工」による。</p> <p>7. <u>水抜きパイプ・吸出し防止材の材料は別途計上する。</u></p> <p style="text-align: center;">表3.2 直高</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">直 高</td><td><u>1.0m以上1.5m以下</u></td></tr> <tr><td><u>1.5mを超え2.0m以下</u></td></tr> <tr><td><u>2.0mを超え2.5m以下</u></td></tr> <tr><td><u>2.0mを超え3.0m以下</u></td></tr> <tr><td><u>3.0mを超え5.0m以下</u></td></tr> </tbody> </table> </div>	石の種類	直高	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材規格	玉石	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)	雑割石				積算条件	区分	直 高	<u>1.0m以上1.5m以下</u>	<u>1.5mを超え2.0m以下</u>	<u>2.0mを超え2.5m以下</u>	<u>2.0mを超え3.0m以下</u>	<u>3.0mを超え5.0m以下</u>	<p>備考</p> <p style="margin-top: 100px;">語句の修正</p> <p style="margin-top: 100px;">区分の改定</p>
石の種類	直高	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材規格																																																				
玉石	(表 2.2)	(表 2.3)	(表 2.4)																																																				
雑割石																																																							
積算条件	区分																																																						
直 高	1.0m以上1.2m以下																																																						
	1.2mを超え1.4m以下																																																						
	1.4mを超え1.6m以下																																																						
	1.6mを超え1.8m以下																																																						
	1.8mを超え2.0m以下																																																						
	2.0mを超え2.2m以下																																																						
	2.2mを超え2.4m以下																																																						
	2.4mを超え2.6m以下																																																						
	2.6mを超え2.8m以下																																																						
	2.8mを超え3.0m以下																																																						
	3.0mを超え3.3m以下																																																						
	3.3mを超え3.5m以下																																																						
	3.5mを超え3.7m以下																																																						
	3.7mを超え3.9m以下																																																						
	3.9mを超え4.1m以下																																																						
	4.1mを超え4.4m以下																																																						
4.4mを超え4.7m以下																																																							
4.7mを超え5.0m以下																																																							
石の種類	直高	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材規格																																																				
玉石	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.4)																																																				
雑割石																																																							
積算条件	区分																																																						
直 高	<u>1.0m以上1.5m以下</u>																																																						
	<u>1.5mを超え2.0m以下</u>																																																						
	<u>2.0mを超え2.5m以下</u>																																																						
	<u>2.0mを超え3.0m以下</u>																																																						
	<u>3.0mを超え5.0m以下</u>																																																						
頁	97	98																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																		
<p style="text-align: center;">表2.3 胴込・裏込コンクリート規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">胴込・裏込コンクリート規格</td><td>18-8-25</td></tr> <tr><td>18-8-40</td></tr> <tr><td>19.5-8-40</td></tr> <tr><td>21-8-25</td></tr> <tr><td>18-8-25 (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>19.5-8-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25 (高炉)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2.4 裏込材規格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="5">裏込材規格</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td></tr> <tr><td>再生クラッシュラン RC-80</td></tr> <tr><td>クラッシュラン C-40</td></tr> <tr><td>クラッシュラン C-80</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 石積(緑石)複合) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1 トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 16t吊</td><td></td></tr> <tr><td>K2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K3 -</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2 石工</td><td></td></tr> <tr><td>R3 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R4 運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr> <tr><td>Z2 再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr> <tr><td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z4 -</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S -</td><td></td></tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	胴込・裏込コンクリート規格	18-8-25	18-8-40	19.5-8-40	21-8-25	18-8-25 (高炉)	18-8-40 (高炉)	19.5-8-40 (高炉)	21-8-25 (高炉)	各種	積算条件	区分	裏込材規格	再生クラッシュラン RC-40	再生クラッシュラン RC-80	クラッシュラン C-40	クラッシュラン C-80	各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 16t吊		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 石工		R3 特殊作業員		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 再生クラッシュラン RC-40		Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">表3.3 胴込・裏込コンクリート規格</p> <p style="text-align: center;">表3.4 裏込材規格</p> <p style="text-align: center;">表3.5 石積(緑石)複合) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1 <u>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付; 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28m³(平積 0.2m³) 1.7t吊</u></td><td>賃料</td></tr> <tr><td>K2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K3 -</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R2 石工</td><td></td></tr> <tr><td>R3 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R4 運転手(特殊)</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td></td></tr> <tr><td>Z2 <u>再生クラッシュラン</u> RC-40</td><td></td></tr> <tr><td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z4 -</td><td></td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S -</td><td></td></tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 <u>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付; 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28m³(平積 0.2m³) 1.7t吊</u>	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 石工		R3 特殊作業員		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 <u>再生クラッシュラン</u> RC-40		Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>適用機械の改定</p>
積算条件	区分																																																																																			
胴込・裏込コンクリート規格	18-8-25																																																																																			
	18-8-40																																																																																			
	19.5-8-40																																																																																			
	21-8-25																																																																																			
	18-8-25 (高炉)																																																																																			
	18-8-40 (高炉)																																																																																			
	19.5-8-40 (高炉)																																																																																			
	21-8-25 (高炉)																																																																																			
	各種																																																																																			
	積算条件	区分																																																																																		
裏込材規格	再生クラッシュラン RC-40																																																																																			
	再生クラッシュラン RC-80																																																																																			
	クラッシュラン C-40																																																																																			
	クラッシュラン C-80																																																																																			
	各種																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																		
機械	K1 トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 16t吊																																																																																			
	K2 -																																																																																			
	K3 -																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																			
	R2 石工																																																																																			
	R3 特殊作業員																																																																																			
	R4 運転手(特殊)																																																																																			
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																			
	Z2 再生クラッシュラン RC-40																																																																																			
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																			
	Z4 -																																																																																			
市場単価	S -																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																		
機械	K1 <u>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付; 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28m³(平積 0.2m³) 1.7t吊</u>	賃料																																																																																		
	K2 -																																																																																			
	K3 -																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																			
	R2 石工																																																																																			
	R3 特殊作業員																																																																																			
	R4 運転手(特殊)																																																																																			
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																			
	Z2 <u>再生クラッシュラン</u> RC-40																																																																																			
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																			
	Z4 -																																																																																			
市場単価	S -																																																																																			
頁	98	99																																																																																		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																								
<p>2-2 石張(複合) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.6 石張(複合) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>構造区分</th> <th>玉石控</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>裏込材の有無</th> <th>胴込・裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>練石</td> <td rowspan="2">(表 2.7)</td> <td rowspan="2">(表 2.3)</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表 2.8)</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石張工における石材の設置、胴込・裏込コンクリートの打設、胴込・裏込材の設置、水抜きパイプ及び吸出し防止材の設置の他、コンクリートバケット損料、パイプレタ損料、型枠等の費用、つき締め機械等の損料、油脂類の費用、据付時の石材の微調整、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、人力による現場内小運搬(運搬距離20m程度)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「2章④吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。 4. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「2章⑦コンクリートブロック積(張)工」による。 5. 胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材の材料ロスを含む。 6. 養生が必要な場合には、「3章①コンクリート工」による。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>表2.7 玉石控</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">玉石控</td> <td>25cm以上35cm以下</td> </tr> <tr> <td>30cm以上40cm以下</td> </tr> <tr> <td>35cm以上45cm以下</td> </tr> <tr> <td>40cm以上50cm以下</td> </tr> <tr> <td>45cm以上50cm以下</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>表2.8 胴込・裏込材規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">胴込・裏込材規格</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン RC-80</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン C-40</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン C-80</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	構造区分	玉石控	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材の有無	胴込・裏込材規格	練石	(表 2.7)	(表 2.3)	有り	(表 2.8)	空石	無し	積算条件	区分	玉石控	25cm以上35cm以下	30cm以上40cm以下	35cm以上45cm以下	40cm以上50cm以下	45cm以上50cm以下	積算条件	区分	胴込・裏込材規格	再生クラッシュラン RC-40	再生クラッシュラン RC-80	クラッシュラン C-40	クラッシュラン C-80	各 種	<p>3-2 石張(複合) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 石張(複合) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>構造区分</th> <th>玉石控</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> <th>裏込材の有無</th> <th>胴込・裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>練石</td> <td rowspan="2">(表 2.7)</td> <td rowspan="2">(表 2.3)</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表 2.8)</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石張工における石材の設置、胴込・裏込コンクリートの打設、胴込・裏込材の設置、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材含む)及び吸出し防止材の設置の他、コンクリートバケット損料、パイプレタ損料、型枠等の費用電力に関する経費、締め機械等の損料、油脂類の費用、据付時の石材の微調整、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、人力による現場内小運搬(バケット作業)、振動コンパクタによる締め作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「2章④吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。 4. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「2章⑦コンクリートブロック積(張)工」による。 5. 胴込・裏込コンクリート、胴込・裏込材の材料ロスを含む。 6. 養生が必要な場合には、「3章①コンクリート工」による。 7. 水抜きパイプ・吸出し防止材の材料費は別途計上する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>表3.7 玉石控</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">玉石控</td> <td>25cm以上35cm以下</td> </tr> <tr> <td>30cm以上40cm以下</td> </tr> <tr> <td>35cm以上45cm以下</td> </tr> <tr> <td>40cm以上50cm以下</td> </tr> <tr> <td>45cm以上50cm以下</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>表3.8 胴込・裏込材規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">胴込・裏込材規格</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン RC-80</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン C-40</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン C-80</td> </tr> <tr> <td>各 種</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	構造区分	玉石控	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材の有無	胴込・裏込材規格	練石	(表 2.7)	(表 2.3)	有り	(表 2.8)	空石	無し	積算条件	区分	玉石控	25cm以上35cm以下	30cm以上40cm以下	35cm以上45cm以下	40cm以上50cm以下	45cm以上50cm以下	積算条件	区分	胴込・裏込材規格	再生クラッシュラン RC-40	再生クラッシュラン RC-80	クラッシュラン C-40	クラッシュラン C-80	各 種	<p>語句の修正</p>
構造区分	玉石控	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材の有無	胴込・裏込材規格																																																						
練石	(表 2.7)	(表 2.3)	有り	(表 2.8)																																																						
空石			無し																																																							
積算条件	区分																																																									
玉石控	25cm以上35cm以下																																																									
	30cm以上40cm以下																																																									
	35cm以上45cm以下																																																									
	40cm以上50cm以下																																																									
	45cm以上50cm以下																																																									
積算条件	区分																																																									
胴込・裏込材規格	再生クラッシュラン RC-40																																																									
	再生クラッシュラン RC-80																																																									
	クラッシュラン C-40																																																									
	クラッシュラン C-80																																																									
	各 種																																																									
構造区分	玉石控	胴込・裏込コンクリート規格	裏込材の有無	胴込・裏込材規格																																																						
練石	(表 2.7)	(表 2.3)	有り	(表 2.8)																																																						
空石			無し																																																							
積算条件	区分																																																									
玉石控	25cm以上35cm以下																																																									
	30cm以上40cm以下																																																									
	35cm以上45cm以下																																																									
	40cm以上50cm以下																																																									
	45cm以上50cm以下																																																									
積算条件	区分																																																									
胴込・裏込材規格	再生クラッシュラン RC-40																																																									
	再生クラッシュラン RC-80																																																									
	クラッシュラン C-40																																																									
	クラッシュラン C-80																																																									
	各 種																																																									
頁	99	100																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.9 石張(複合) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 16t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 16t吊		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	石工		R3	運転手(特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合	Z3	軽油 1.2号 バトル給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 石張(複合) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 2.9t吊]</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 2.9t吊]	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	石工		R3	運転手(特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合	Z3	軽油 1.2号 バトル給油		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	トラッククレーン [油圧伸縮ジブ型] 16t吊																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	石工																																																																																								
	R3	運転手(特殊)																																																																																								
	R4	土木一般世話役																																																																																								
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																								
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合																																																																																							
	Z3	軽油 1.2号 バトル給油																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8m3(平積 0.6m3) 2.9t吊]	賃料																																																																																							
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労務	R1	普通作業員																																																																																								
	R2	石工																																																																																								
	R3	運転手(特殊)																																																																																								
	R4	土木一般世話役																																																																																								
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																								
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合																																																																																							
	Z3	軽油 1.2号 バトル給油																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	100	101																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																										
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2-3 石積(張)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.10 石積(張) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>構造区分</th> <th>石の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">積工</td> <td rowspan="2">練石</td> <td>玉石</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">張工</td> <td rowspan="2">練石</td> <td>玉石</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>玉石</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における石材の設置、据付時の石材の微調整、水抜きパイプ及び吸出し防止材の設置、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、人力による現場内小運搬(バケツ作業)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「2章④吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.11 石積(張) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラッククレーン【油圧伸縮ジブ型】16t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>2-4 石積(張)(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>石積(張)(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 石積(練石)(複合)は、控長35cmのみ適用できる。 2. 石張(複合)は、玉石のみ適用できる。</p> </div>	積張の区分	構造区分	石の種類	積工	練石	玉石	雑割石	張工	練石	玉石	雑割石	空石	玉石	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラッククレーン【油圧伸縮ジブ型】16t吊		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	石工		R3	運転手(特殊)		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-3 石積(張)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 石積(張) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>構造区分</th> <th>石の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">積工</td> <td rowspan="2">練石</td> <td>玉石</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">張工</td> <td rowspan="2">練石</td> <td>玉石</td> </tr> <tr> <td>雑割石</td> </tr> <tr> <td>空石</td> <td>玉石</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における石材の設置、据付時の石材の微調整、水抜きパイプ(水抜き孔用吸出し防止材含む)及び吸出し防止材の設置、吊上げ・吊下げ作業(石材、胴込材、裏込材等)、<u>人力による現場内小運搬(バケツ作業)</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石積(張)(材料費)は含まない。 2. 吸出し防止材を全面に設置する場合は、「2章④吸出し防止材設置工」により別途計上する。 3. 石材の加工を行う場合は加工手間を別途計上する。 <u>4. 水抜きパイプ・吸出し防止材の材料費は別途計上する。</u></p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 石積(張) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="3">K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機付付・<u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u>】 山積 0.28m³(平積 0.2m³) 1.7t吊</td> <td>・<u>賃料</u> ・<u>積工の場合</u></td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機付付・<u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u>】 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 2.9t吊</td> <td>・<u>賃料</u> ・<u>積工の場合</u></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td rowspan="4">R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>3-4 石積(張)(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>石積(張)(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 石積(練石)(複合)は、控長35cmのみ適用できる。 2. 石張(複合)は、玉石のみ適用できる。</p> </div>	積張の区分	構造区分	石の種類	積工	練石	玉石	雑割石	張工	練石	玉石	雑割石	空石	玉石	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機付付・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> 】 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 1.7t吊	・ <u>賃料</u> ・ <u>積工の場合</u>	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機付付・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> 】 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9t吊	・ <u>賃料</u> ・ <u>積工の場合</u>	—		労務	R1	普通作業員		石工		運転手(特殊)		土木一般世話役		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		—		—		—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p> <p>代表機材の改定</p> <p>語句の修正</p>
積張の区分	構造区分	石の種類																																																																																																										
積工	練石	玉石																																																																																																										
		雑割石																																																																																																										
張工	練石	玉石																																																																																																										
		雑割石																																																																																																										
	空石	玉石																																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																																									
機械	K1	トラッククレーン【油圧伸縮ジブ型】16t吊																																																																																																										
	K2	—																																																																																																										
	K3	—																																																																																																										
労務	R1	普通作業員																																																																																																										
	R2	石工																																																																																																										
	R3	運転手(特殊)																																																																																																										
	R4	土木一般世話役																																																																																																										
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																										
	Z2	—																																																																																																										
	Z3	—																																																																																																										
	Z4	—																																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																																										
積張の区分	構造区分	石の種類																																																																																																										
積工	練石	玉石																																																																																																										
		雑割石																																																																																																										
張工	練石	玉石																																																																																																										
		雑割石																																																																																																										
	空石	玉石																																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																																									
機械	K1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機付付・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> 】 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 1.7t吊	・ <u>賃料</u> ・ <u>積工の場合</u>																																																																																																									
		バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機付付・ <u>排出ガス対策型(第2次基準値)</u> 】 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 2.9t吊	・ <u>賃料</u> ・ <u>積工の場合</u>																																																																																																									
		—																																																																																																										
労務	R1	普通作業員																																																																																																										
		石工																																																																																																										
		運転手(特殊)																																																																																																										
		土木一般世話役																																																																																																										
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																										
		—																																																																																																										
		—																																																																																																										
		—																																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																																										
頁	101	102																																																																																																										

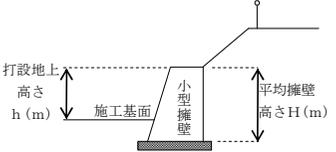
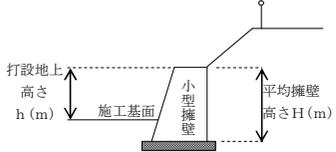
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																								
<p>2-5 胴込・裏込コンクリート</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.12 胴込・裏込コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 2.3)</td> </tr> <tr> <td>張工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における胴込・裏込コンクリートの打設の他、コンクリートバケット損料、パイププレート損料、型枠等の費用、人力による現場内小運搬(運搬距離 20m程度)等、その施工に必要な全て機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「2章⑦コンクリートブロック積(張)工」による。</p> <p>3. 胴込コンクリート量は、玉石の場合は面積に控長の1/3を、雑割石の場合は1/2を乗じたものとする。</p> <p>4. 胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。</p> <p>5. 養生が必要な場合には、「3章①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.13 胴込・裏込コンクリート 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	積張の区分	胴込・裏込コンクリート規格	積工	(表 2.3)	張工	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	特殊作業員	R3	—	R4	—	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>3-5 胴込・裏込コンクリート</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 胴込・裏込コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>張工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における胴込・裏込コンクリートの打設の他、コンクリートバケット損料、パイププレート損料、<u>型枠等の費用電力に関する経費、人力による現場内小運搬(運搬距離 20m程度)等</u>、その施工に必要な全て機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 胴込・裏込コンクリート 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t <u>・賃料</u> <u>・積工の場合</u></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t <u>・賃料</u> <u>・張工の場合</u></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td><u>運転手(特殊)</u></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td><u>軽油 1.2号 バトロール給油</u></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	積張の区分	胴込・裏込コンクリート規格	積工	(表 3.3)	張工	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t <u>・賃料</u> <u>・積工の場合</u>	K2	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t <u>・賃料</u> <u>・張工の場合</u>	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	特殊作業員	R3	<u>運転手(特殊)</u>	R4	—	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z2	<u>軽油 1.2号 バトロール給油</u>	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>代表機労材の改定</p>
積張の区分	胴込・裏込コンクリート規格																																																																									
積工	(表 2.3)																																																																									
張工																																																																										
項目	代表機労材規格	備考																																																																								
機械	K1	—																																																																								
	K2	—																																																																								
	K3	—																																																																								
労務	R1	普通作業員																																																																								
	R2	特殊作業員																																																																								
	R3	—																																																																								
	R4	—																																																																								
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																								
	Z2	—																																																																								
	Z3	—																																																																								
	Z4	—																																																																								
市場単価	S	—																																																																								
積張の区分	胴込・裏込コンクリート規格																																																																									
積工	(表 3.3)																																																																									
張工																																																																										
項目	代表機労材規格	備考																																																																								
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.28m3 (平積 0.2m3) 吊能力 1.7t <u>・賃料</u> <u>・積工の場合</u>																																																																								
	K2	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3) 吊能力 2.9t <u>・賃料</u> <u>・張工の場合</u>																																																																								
	K3	—																																																																								
労務	R1	普通作業員																																																																								
	R2	特殊作業員																																																																								
	R3	<u>運転手(特殊)</u>																																																																								
	R4	—																																																																								
材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																								
	Z2	<u>軽油 1.2号 バトロール給油</u>																																																																								
	Z3	—																																																																								
	Z4	—																																																																								
市場単価	S	—																																																																								
102	103																																																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																			
<p>2-6 裏込材(クラッシュラン)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2. 14 裏込材(クラッシュラン) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td rowspan="2">(表2.4)</td> </tr> <tr> <td>張工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における裏込材(クラッシュラン)の設置の他、つき固め機械等の損料、油脂類の費用、人力による現場内小運搬(運搬距離20m程度)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 空石張の胴込材の量は、面積に玉石の控長の1/3を乗じたものとする。</p> <p>3. 裏込材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表2. 15 裏込材(クラッシュラン) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	積張の区分	裏込材規格	積工	(表2.4)	張工	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>3-6 裏込材(クラッシュラン)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3. 14 裏込材(クラッシュラン) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積張の区分</th> <th>裏込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積工</td> <td rowspan="2">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>張工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、石積(張)工における裏込材(クラッシュラン)の設置の他、<u>つき固め機械</u>等の損料、油脂類の費用、<u>人力による現場内小運搬(運搬距離20m程度)</u>、<u>振動コンパクトによる締固め作業</u>等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 空石張の胴込材の量は、面積に玉石の控長の1/3を乗じたものとする。</p> <p>3. 裏込材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3. 15 裏込材(クラッシュラン) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28m³(平積 0.2m³) 吊能力 1.7t]</td> <td>・賃料 ・積工の場合</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8m³(平積 0.6m³) 吊能力 2.9t]</td> <td>・賃料 ・張工の場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1、2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	積張の区分	裏込材規格	積工	(表3.4)	張工	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t]	・賃料 ・積工の場合	K2	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t]	・賃料 ・張工の場合	K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	—		R4	—		材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40		Z2	軽油 1、2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—	<p>語句の修正</p> <p>代表機材の改定</p>
積張の区分	裏込材規格																																																																																				
積工	(表2.4)																																																																																				
張工																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																			
機械	K1	—																																																																																			
	K2	—																																																																																			
	K3	—																																																																																			
労務	R1	普通作業員																																																																																			
	R2	—																																																																																			
	R3	—																																																																																			
	R4	—																																																																																			
材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																			
	Z2	—																																																																																			
	Z3	—																																																																																			
	Z4	—																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																			
積張の区分	裏込材規格																																																																																				
積工	(表3.4)																																																																																				
張工																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																			
機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³) 吊能力 1.7t]	・賃料 ・積工の場合																																																																																		
	K2	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t]	・賃料 ・張工の場合																																																																																		
	K3	—																																																																																			
労務	R1	普通作業員																																																																																			
	R2	運転手(特殊)																																																																																			
	R3	—																																																																																			
	R4	—																																																																																			
材料	Z1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																			
	Z2	軽油 1、2号 バトロール給油																																																																																			
	Z3	—																																																																																			
	Z4	—																																																																																			
市場単価	S	—																																																																																			
103	104																																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p style="text-align: center;">⑨ 場所打擁壁工(1)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁(A) (1) 平均擁壁高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁 (2) コンクリート打設地上高さが2m以下の場合</p> <p>1-1-2 小型擁壁(B) (1) 平均擁壁高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁 (2) コンクリート打設地上高さが2mを超え2.8m以下かつ水平打設距離20m以下の場合</p> <p>1-1-3 重力式擁壁 (1) 平均擁壁高さが1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-4 もたれ式擁壁 (1) 平均擁壁高さが3.0m以上8.0m以下のもたれ式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-5 逆T型擁壁 (1) 平均擁壁高さが3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-6 L型擁壁 (1) 平均擁壁高さが3.0m以上7.0m以下のL型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、2章共通工⑩現場打擁壁工(2)を適用する。</p> 	<p style="text-align: center;">⑨ 場所打擁壁工(1)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 小型擁壁(A) (1) <u>擁壁平均高さ</u>が0.5m以上1.0m以下の小型擁壁 (2) コンクリート打設地上高さが2m以下の場合</p> <p>1-1-2 小型擁壁(B) (1) <u>擁壁平均高さ</u>が0.5m以上1.0m以下の小型擁壁 (2) コンクリート打設地上高さが2mを超え2.8m以下かつ水平打設距離20m以下の場合</p> <p>1-1-3 重力式擁壁 (1) <u>擁壁平均高さ</u>が1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-4 もたれ式擁壁 (1) <u>擁壁平均高さ</u>が3.0m以上8.0m以下のもたれ式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-5 逆T型擁壁 (1) <u>擁壁平均高さ</u>が3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-6 L型擁壁 (1) <u>擁壁平均高さ</u>が3.0m以上7.0m以下のL型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、2章共通工⑩現場打擁壁工(2)を適用する。</p> 	<p>語句の修正</p>
頁	104	105

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考
	<p>2. 施 工 概 要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 小型擁壁(A)及び(B)</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は, 必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無によらず適用できる。</p>	<p>現行どおり</p> <p>3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無によらず適用出来る。</p>	
頁	105	106	語句の修正

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>2-2 重力式擁壁, もたれ式擁壁</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は, 必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無によらず適用できる。</p>	<p>現行どおり</p> <p>3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無によらず適用出来る。</p>	<p>語句の修正</p>
<p>頁</p> <p style="text-align: center;">106</p>	<p style="text-align: center;">107</p>	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>2-3 逆T型擁壁, L型擁壁</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は, 必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無によらず適用できる。 4. ガス圧接が必要な場合は市場単価「鉄筋工(ガス圧接)」により, 別途計上する。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出防止材は施工の有無によらず適用出来る。 4. ガス圧接が必要な場合は市場単価「鉄筋工(ガス圧接)」により, 別途計上する。</p>	<p>語句の修正</p>
頁 107	108	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																					
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 小型擁壁(A)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 小型擁壁(A) 積算条件区分一覧</p> <p style="text-align: right;">(積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">(表 3.2)</td> <td rowspan="8">(表 3.3)</td> <td rowspan="4">無し</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">無し</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">有り</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">養生工無し</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、小型擁壁(平均擁壁高さ 0.5m 以上 1.0m 以下)のコンクリート、型枠 (はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材 (点在)、養生 (一般養生、特殊養生 (練炭)、特殊養生 (ジェットヒータ))、現場内小運搬(5m 以内)、シュート・ホッパの仮設移設、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具 (コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等) の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> </div> <p>2. コンクリートのロスを含む。</p> <p>3. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>4. ペーラインコンクリートの材料費については、3-9ペーラインコンクリート (材料費) により別途計上すること。</p> <p>5. 足場が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>6. 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 擁壁平均高さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">擁壁平均高さ</td> <td>0.5m以上0.6m未満</td> </tr> <tr> <td>0.6m以上0.8m未満</td> </tr> <tr> <td>0.8m以上1.0m以下</td> </tr> </tbody> </table>	擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		有り	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し		積算条件	区分	擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満	0.6m以上0.8m未満	0.8m以上1.0m以下	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																			
(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																			
				特殊養生(ジェットヒータ)																																			
			養生工無し																																				
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																			
		特殊養生(ジェットヒータ)																																					
		養生工無し																																					
		有り	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																		
					特殊養生(ジェットヒータ)																																		
養生工無し																																							
有り	有り		一般養生・特殊養生(練炭)																																				
		特殊養生(ジェットヒータ)																																					
養生工無し																																							
積算条件	区分																																						
擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満																																						
	0.6m以上0.8m未満																																						
	0.8m以上1.0m以下																																						
頁	108	109																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																
<p style="text-align: center;">表3.3 コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">積算条件</th> <th style="width: 40%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>27-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>18-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>21-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>24-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>24-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>18-8-25(高炉)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 小型擁壁(A) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・特殊養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr><td>R 2 型わく工</td><td></td></tr> <tr><td>R 3 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R 4 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr><td>Z 2 灯油 白灯油 業務用 ミノローリー</td><td>特殊養生の場合</td></tr> <tr><td>Z 3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z 4 -</td><td></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	積算条件	区分	コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	24-8-25(20) (普通)	27-8-25(20) (普通)	18-8-40(普通)	21-8-40(普通)	24-8-40(普通)	21-8-25(20) (高炉)	24-8-25(20) (高炉)	18-8-40(高炉)	21-8-40(高炉)	24-8-40(高炉)	21-8-25 (早強)	24-8-25 (早強)	18-8-25(高炉)	各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・特殊養生の場合 ・賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 灯油 白灯油 業務用 ミノローリー	特殊養生の場合	Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">表3.3 コンクリート規格</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 小型擁壁(A) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 ジェットヒータ 126MJ <u>△h</u> (30,100kcal/<u>△h</u>)</td> <td>・特殊養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr><td>R 2 型わく工</td><td></td></tr> <tr><td>R 3 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R 4 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr><td>Z 2 灯油 白灯油 業務用 ミノローリー</td><td>特殊養生の場合</td></tr> <tr><td>Z 3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z 4 -</td><td></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ジェットヒータ 126MJ <u>△h</u> (30,100kcal/ <u>△h</u>)	・特殊養生の場合 ・賃料	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 灯油 白灯油 業務用 ミノローリー	特殊養生の場合	Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																	
コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)																																																																																	
	24-8-25(20) (普通)																																																																																	
	27-8-25(20) (普通)																																																																																	
	18-8-40(普通)																																																																																	
	21-8-40(普通)																																																																																	
	24-8-40(普通)																																																																																	
	21-8-25(20) (高炉)																																																																																	
	24-8-25(20) (高炉)																																																																																	
	18-8-40(高炉)																																																																																	
	21-8-40(高炉)																																																																																	
	24-8-40(高炉)																																																																																	
	21-8-25 (早強)																																																																																	
	24-8-25 (早強)																																																																																	
	18-8-25(高炉)																																																																																	
	各種																																																																																	
	項目	代表機材規格	備考																																																																															
機械	K 1 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・特殊養生の場合 ・賃料																																																																																
	K 2 -																																																																																	
	K 3 -																																																																																	
労務	R 1 普通作業員																																																																																	
	R 2 型わく工																																																																																	
	R 3 土木一般世話役																																																																																	
	R 4 特殊作業員																																																																																	
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																	
	Z 2 灯油 白灯油 業務用 ミノローリー	特殊養生の場合																																																																																
	Z 3 -																																																																																	
	Z 4 -																																																																																	
市場単価	S -																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K 1 ジェットヒータ 126MJ <u>△h</u> (30,100kcal/ <u>△h</u>)	・特殊養生の場合 ・賃料																																																																																
	K 2 -																																																																																	
	K 3 -																																																																																	
労務	R 1 普通作業員																																																																																	
	R 2 型わく工																																																																																	
	R 3 土木一般世話役																																																																																	
	R 4 特殊作業員																																																																																	
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																	
	Z 2 灯油 白灯油 業務用 ミノローリー	特殊養生の場合																																																																																
	Z 3 -																																																																																	
	Z 4 -																																																																																	
市場単価	S -																																																																																	
頁	109	110																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																			
<p>3-2 小型擁壁(B) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 小型擁壁(B) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>施工条件</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">(表 3.2)</td> <td rowspan="8">(表 3.3)</td> <td rowspan="8">(表 3.6)</td> <td rowspan="4">無し</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">有り</td> <td rowspan="2">無し</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、小型擁壁(平均擁壁高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びクレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、運搬バケットへのコンクリート積込作業、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>2. コンクリートの機械打設に使用するバケット容量は0.6m3を標準とする。</p> <p>3. コンクリートのロスを含む。</p> <p>4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-9ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。</p> <p>6. 足場が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>7. 基礎碎石の数均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p>8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 施工条件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">施工条件</td> <td>打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下</td> </tr> <tr> <td>打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下</td> </tr> <tr> <td>水平打設距離 30m 以下</td> </tr> </tbody> </table>	擁壁平均高さ	コンクリート規格	施工条件	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.6)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し	有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無し	積算条件	区分	施工条件	打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下	打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下	打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下	打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下	水平打設距離 30m 以下	<p style="text-align: center;">(注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びクレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、運搬バケットへのコンクリート積込作業、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p style="text-align: center;">(注) 1. 上表は、小型擁壁(擁壁平均高さ0.5m以上1.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びクレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ))、運搬バケットへのコンクリート積込作業、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)。ただし、化粧型枠は含まない。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
擁壁平均高さ	コンクリート規格	施工条件	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																
(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.6)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																
					特殊養生(ジェットヒータ)																																
				養生工無し																																	
				一般養生・特殊養生(練炭)																																	
			特殊養生(ジェットヒータ)																																		
			養生工無し																																		
			有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																
					特殊養生(ジェットヒータ)																																
養生工無し																																					
有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																				
特殊養生(ジェットヒータ)																																					
養生工無し																																					
積算条件	区分																																				
施工条件	打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下																																				
	打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下																																				
	打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下																																				
	打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下																																				
	水平打設距離 30m 以下																																				
頁	110	111																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																		
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 小型擁壁(B) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラークレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊</td> <td>・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>水平打設距離 30m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料	クローラークレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊	・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料	K2	ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料	K3	—		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合	Z3 軽油 1. 2号 バトロール給油	水平打設距離 30m 以下の場合	Z4 —		市場単価	S —		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 小型擁壁(B) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">機械</td> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>クローラークレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊</td> <td>・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ジェットヒータ 126MJ <u>1/h</u> (30,100kcal/<u>h</u>)</td> <td>・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>水平打設距離 30m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料	クローラークレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊	・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料	K2	ジェットヒータ 126MJ <u>1/h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料	K3	—		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合	Z3 軽油 1. 2号 バトロール給油	水平打設距離 30m 以下の場合	Z4 —		市場単価	S —		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																		
機械	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	クローラークレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊	・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
K2	ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料																																																																																		
K3	—																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																			
	R2 型わく工																																																																																			
	R3 土木一般世話役																																																																																			
	R4 特殊作業員																																																																																			
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																			
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合																																																																																		
	Z3 軽油 1. 2号 バトロール給油	水平打設距離 30m 以下の場合																																																																																		
	Z4 —																																																																																			
市場単価	S —																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																		
機械	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 16t 吊	・打設高 17m 以下・水平打設距離 17m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 20t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 18m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・打設高 25m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 35t 吊	・打設高 28m 以下・水平打設距離 20m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
	クローラークレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型] 50t 吊	・水平打設距離 30m 以下の場合 ・賃料																																																																																		
K2	ジェットヒータ 126MJ <u>1/h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合 ・賃料																																																																																		
K3	—																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																			
	R2 型わく工																																																																																			
	R3 土木一般世話役																																																																																			
	R4 特殊作業員																																																																																			
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																																			
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀ)の場合																																																																																		
	Z3 軽油 1. 2号 バトロール給油	水平打設距離 30m 以下の場合																																																																																		
	Z4 —																																																																																			
市場単価	S —																																																																																			
頁	111	112																																																																																		

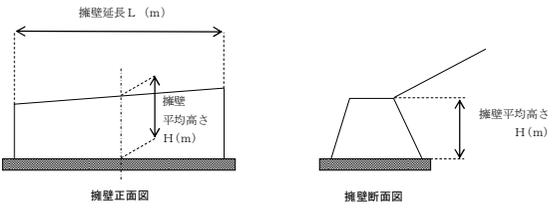
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行		改定	備考																																																																																				
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3-3 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均擁壁高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">1m超 2m未満</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="6">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2m以上 5m以下</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="6">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2m以上 5m以下</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="6">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、重力式擁壁(平均擁壁高さ1.0m以上5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(平均擁壁高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(平均擁壁高さが2m以上の場合)、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> <p>2. コンクリートのロス率を含む。 3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章◎型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-9ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> </div>	平均擁壁高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1m超 2m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	2m以上 5m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	2m以上 5m以下	(表 3.3)	有り	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	→	<p>3-3 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th><u>擁壁平均高さ</u></th> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">1m超 2m未満</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="6">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2m以上 5m以下</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="6">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2m以上 5m以下</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="6">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、重力式擁壁(<u>擁壁平均高さ</u>1.0m以上5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(<u>擁壁平均高さ</u>が2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(<u>擁壁平均高さ</u>が2m以上の場合)、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p>	<u>擁壁平均高さ</u>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1m超 2m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	養生工無	2m以上 5m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	2m以上 5m以下	(表 3.3)	有り	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	<p>語句の修正</p> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 上表は、重力式擁壁(平均擁壁高さ1.0m以上5.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、一般足場(平均擁壁高さが2m未満の場合)、手摺先行型枠組足場(平均擁壁高さが2m以上の場合)、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p>
平均擁壁高さ	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																																		
1m超 2m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																																		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				養生工無																																																																																			
			有り	一般養生																																																																																			
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				養生工無																																																																																			
2m以上 5m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																																		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																			
			有り	養生工無																																																																																			
				一般養生																																																																																			
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
2m以上 5m以下	(表 3.3)	有り	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																																		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																			
			有り	養生工無																																																																																			
				一般養生																																																																																			
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
<u>擁壁平均高さ</u>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																																																																		
1m超 2m未満	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																																		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				養生工無																																																																																			
			有り	一般養生																																																																																			
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				養生工無																																																																																			
2m以上 5m以下	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																																		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																			
			有り	養生工無																																																																																			
				一般養生																																																																																			
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
2m以上 5m以下	(表 3.3)	有り	無し	一般養生	(表 3.9)																																																																																		
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																																																																			
			有り	養生工無																																																																																			
				一般養生																																																																																			
				特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																																																																																			
<p>現行どおり</p>			<p>語句の修正</p>																																																																																				
頁	112	113																																																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																			
<p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内ゾレヒケ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「土木工事標準歩掛 6章仮設工 ①-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 圧送管延長距離区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">圧送管延長距離区分</td> <td>延長無し</td> </tr> <tr> <td>90m未満</td> </tr> <tr> <td>90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td>180m以上280m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.10 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均擁壁高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1m超2m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m³/h</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2m以上5m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m³/h</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 2.7/3kVA</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div>	積算条件	区分	圧送管延長距離区分	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	平均擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考	1m超2m未満	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	型わく工	R3	土木一般世話役	R4	特殊作業員	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	2m以上5m以下	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h	K2	ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	K3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 2.7/3kVA	労務	R1	普通作業員	R2	型わく工	R3	土木一般世話役	R4	とび工 特殊作業員	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	Z4	-	市場単価	S	-	<div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> <p>現行どおり</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.10 重力式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>擁壁平均高さ</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1m超2m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m³/h</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2m以上5m以下</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m³/h</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ジェットヒータ 126MJ/h (30,100kcal/h)</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 <u>定格容量 (50/60kVA), 2.7/3kVA</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>型わく工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>とび工 特殊作業員</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考	1m超2m未満	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h	K2	-	K3	-	労務	R1	普通作業員	R2	型わく工	R3	土木一般世話役	R4	特殊作業員	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	2m以上5m以下	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h	K2	ジェットヒータ 126MJ/h (30,100kcal/h)	K3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 <u>定格容量 (50/60kVA), 2.7/3kVA</u>	労務	R1	普通作業員	R2	型わく工	R3	土木一般世話役	R4	とび工 特殊作業員	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	Z4	-	市場単価	S	-	<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																																																																				
圧送管延長距離区分	延長無し																																																																																																																																				
	90m未満																																																																																																																																				
	90m以上180m未満																																																																																																																																				
	180m以上280m以下																																																																																																																																				
平均擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																		
1m超2m未満	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h																																																																																																																																		
		K2	-																																																																																																																																		
		K3	-																																																																																																																																		
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																		
		R2	型わく工																																																																																																																																		
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																		
		R4	特殊作業員																																																																																																																																		
	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																																																		
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																		
		Z3	-																																																																																																																																		
Z4		-																																																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																																																			
2m以上5m以下	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h																																																																																																																																		
		K2	ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)																																																																																																																																		
		K3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 2.7/3kVA																																																																																																																																		
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																		
		R2	型わく工																																																																																																																																		
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																		
		R4	とび工 特殊作業員																																																																																																																																		
	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																																																		
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																		
		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー																																																																																																																																		
Z4		-																																																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																																																			
擁壁平均高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																		
1m超2m未満	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h																																																																																																																																		
		K2	-																																																																																																																																		
		K3	-																																																																																																																																		
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																		
		R2	型わく工																																																																																																																																		
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																		
		R4	特殊作業員																																																																																																																																		
	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																																																		
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																		
		Z3	-																																																																																																																																		
Z4		-																																																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																																																			
2m以上5m以下	機械	K1	コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕圧送能力90～110m ³ /h																																																																																																																																		
		K2	ジェットヒータ 126MJ/h (30,100kcal/h)																																																																																																																																		
		K3	発動発電機〔ディーゼルエンジン駆動〕 <u>定格容量 (50/60kVA), 2.7/3kVA</u>																																																																																																																																		
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																		
		R2	型わく工																																																																																																																																		
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																		
		R4	とび工 特殊作業員																																																																																																																																		
	材料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																																																		
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																		
		Z3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー																																																																																																																																		
Z4		-																																																																																																																																			
市場単価	S	-																																																																																																																																			
頁	113	114																																																																																																																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																												
<p>[参考図] 擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さ H (m) $H = A / L$ (m) A = 正面図での擁壁面積 (㎡) L = 擁壁延長 (m)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p>3-4 もたれ式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>養生工無し</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td>養生工無し</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(平均擁壁高さ 3.0m 以上 8.0m 以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びクレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(練炭)、特殊養生(ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中水モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> </div>	コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無し	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	無し	養生工無し	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	有り	一般養生	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無し	}	現行どおり	語句の修正
コンクリート規格	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																										
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																										
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
			仮囲い内ジェットヒータ養生																											
		養生工無し																												
		有り	一般養生																											
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
	仮囲い内ジェットヒータ養生																													
	有り	無し	養生工無し																											
			一般養生																											
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
		有り	一般養生																											
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)																											
仮囲い内ジェットヒータ養生																														
養生工無し																														
頁	114	115																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																													
<p>2. コンクリートのロスを含む。</p> <p>3. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。</p> <p>4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。</p> <p>5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-9ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。</p> <p>6. 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <p>7. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。</p> <p>8. 「仮囲い内シールド養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「土木工事標準歩掛 6章仮設工 ⑩-2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">表3.12 もたれ式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・仮囲い内シールド養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内シールド養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役 とび工</td> <td>一般、特殊養生の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td>仮囲い内シールド養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内シールド養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・仮囲い内シールド養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内シールド養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内シールド養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内シールド養生の場合	Z 4 -		市場単価	S	-	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>→</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.12 もたれ式擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126MJ <u>J/h</u> (30,100kcal<u>/h</u>)</td> <td>・仮囲い内シールド養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内シールド養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役 とび工</td> <td>一般、特殊養生の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td>仮囲い内シールド養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内シールド養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2 ジェットヒータ 126MJ <u>J/h</u> (30,100kcal <u>/h</u>)	・仮囲い内シールド養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> 2.7/3kVA	仮囲い内シールド養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内シールド養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内シールド養生の場合	Z 4 -		市場単価	S	-
項目	代表機材規格	備考																																																													
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																														
	K 2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・仮囲い内シールド養生の場合 ・賃料																																																													
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内シールド養生の場合																																																													
労務	R 1 普通作業員																																																														
	R 2 型わく工																																																														
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																													
	R 4 特殊作業員	仮囲い内シールド養生の場合																																																													
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																														
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																														
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内シールド養生の場合																																																													
	Z 4 -																																																														
市場単価	S	-																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																													
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																														
	K 2 ジェットヒータ 126MJ <u>J/h</u> (30,100kcal <u>/h</u>)	・仮囲い内シールド養生の場合 ・賃料																																																													
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> 2.7/3kVA	仮囲い内シールド養生の場合																																																													
労務	R 1 普通作業員																																																														
	R 2 型わく工																																																														
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																													
	R 4 特殊作業員	仮囲い内シールド養生の場合																																																													
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																														
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																														
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内シールド養生の場合																																																													
	Z 4 -																																																														
市場単価	S	-																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																												
<p>3-5 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="12">(表 3.14)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、逆T型擁壁(平均擁壁高さ3.0m以上10.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> </div> <p>2. コンクリート・鉄筋のロスを含む。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「3章②型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、3-9ペーラインコンクリート(材料費)により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「市場単価 鉄筋工(ガス圧接)」により別途計上する。 7. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「土木工事標準歩掛 6章仮設工 ④-2雪寒仮囲い工」により別途計上する。</p>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																									
(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																									
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																										
			有り	一般養生																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																										
		有り	無し	無し		一般養生																								
						特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																								
						仮囲い内 ジェットヒータ養生																								
			有り	一般養生																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																										
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																										
頁	116	117																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<p style="text-align: center;">表3.14 鉄筋量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">鉄筋量</td> <td style="text-align: center;">0.04t/m³ 以上 0.06t/m³ 未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.06t/m³ 以上 0.08t/m³ 未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.08t/m³ 以上 0.10t/m³ 未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.10t/m³ 以上 0.12t/m³ 未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.12t/m³ 以上 0.14t/m³ 未満</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">(注) 条件区分の鉄筋量はロスを含まない数量とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">表3.15 逆T型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 とび工 特殊作業員</td> <td>一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋量が 0.04t/m³ 以上 0.06t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td>鉄筋量が 0.06t/m³ 以上 0.08t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td>鉄筋量が 0.08t/m³ 以上 0.10t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td>鉄筋量が 0.10t/m³ 以上 0.12t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td>鉄筋量が 0.12t/m³ 以上 0.14t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	積算条件	区分	鉄筋量	0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満	0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満	0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満	0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満	0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		<div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">→</div> <p style="text-align: center;">表3.15 逆T型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126MJ/分 (30,100kcal/分)</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 とび工 特殊作業員</td> <td>一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋量が 0.04t/m³ 以上 0.06t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td>鉄筋量が 0.06t/m³ 以上 0.08t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td>鉄筋量が 0.08t/m³ 以上 0.10t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td>鉄筋量が 0.10t/m³ 以上 0.12t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td>鉄筋量が 0.12t/m³ 以上 0.14t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2 ジェットヒータ 126MJ/分 (30,100kcal/分)	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																									
鉄筋量	0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満																																																																																									
	0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満																																																																																									
	0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満																																																																																									
	0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満																																																																																									
	0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																								
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																									
	K 2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																								
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
労務	R 1 普通作業員																																																																																									
	R 2 型わく工																																																																																									
	R 3 土木一般世話役																																																																																									
	R 4 とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%																																																																																									
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																																																							
	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																								
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																									
	K 2 ジェットヒータ 126MJ/分 (30,100kcal/分)	・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																								
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
労務	R 1 普通作業員																																																																																									
	R 2 型わく工																																																																																									
	R 3 土木一般世話役																																																																																									
	R 4 とび工 特殊作業員	一般、特殊養生の場合 仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%																																																																																									
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																																																							
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																																																							
	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																									
	Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																								
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																									
頁	117	118																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																											
<p>3-6 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">(表 3.3)</td> <td rowspan="12">(表 3.14)</td> <td rowspan="6">無し</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> <td rowspan="12">(表 3.9)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">有り</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>一般養生</td> </tr> <tr> <td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、L型擁壁(平均擁壁高さ3.0m以上7.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p> </div>	コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、L型擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上7.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材、水抜パイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生、特殊養生(練炭・ジェットヒータ)、仮囲い内ジェットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。</p>	<p style="text-align: center;">語句の修正</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																								
(表 3.3)	(表 3.14)	無し	無し	一般養生	(表 3.9)																								
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																									
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																									
			有り	一般養生																									
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																									
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																									
		有り	無し	一般養生																									
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																									
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																									
			有り	一般養生																									
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																									
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																									
頁	118	119																											

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下記機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 17 L型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126MJ (30, 100kcal)</td> <td>・仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役 とび工</td> <td>一般、特殊養生の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td>仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋量が 0.04t/m³ 以上 0.06t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td>鉄筋量が 0.06t/m³ 以上 0.08t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td>鉄筋量が 0.08t/m³ 以上 0.10t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td>鉄筋量が 0.10t/m³ 以上 0.12t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td>鉄筋量が 0.12t/m³ 以上 0.14t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価 S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2 ジェットヒータ 126MJ (30, 100kcal)	・仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合	市場単価 S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		<p>(2) 代表機材規格 下記機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 17 L型擁壁 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126MJ <u>1/h</u> (30, 100kcal<u>1/h</u>)</td> <td>・仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u>, 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役 とび工</td> <td>一般、特殊養生の場合</td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td>仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">Z 2</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>鉄筋量が 0.04t/m³ 以上 0.06t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19</td> <td>鉄筋量が 0.06t/m³ 以上 0.08t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25</td> <td>鉄筋量が 0.08t/m³ 以上 0.10t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29</td> <td>鉄筋量が 0.10t/m³ 以上 0.12t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32</td> <td>鉄筋量が 0.12t/m³ 以上 0.14t/m³ 未満の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内^ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価 S</td> <td>鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K 2 ジェットヒータ 126MJ <u>1/h</u> (30, 100kcal <u>1/h</u>)	・仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合 ・賃料	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> , 2.7/3kVA	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合	R 4 特殊作業員	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合	市場単価 S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																	
	K 2 ジェットヒータ 126MJ (30, 100kcal)	・仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合																																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																																	
	R 2 型わく工																																																																																	
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																																
	R 4 特殊作業員	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合																																																																																
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%																																																																																	
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																																															
	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																	
	Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合																																																																																
市場単価 S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K 1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																	
	K 2 ジェットヒータ 126MJ <u>1/h</u> (30, 100kcal <u>1/h</u>)	・仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合 ・賃料																																																																																
	K 3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz)</u> , 2.7/3kVA	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合																																																																																
労務	R 1 普通作業員																																																																																	
	R 2 型わく工																																																																																	
	R 3 土木一般世話役 とび工	一般、特殊養生の場合																																																																																
	R 4 特殊作業員	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合																																																																																
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%																																																																																	
	Z 2	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	鉄筋量が 0.04t/m ³ 以上 0.06t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D19	鉄筋量が 0.06t/m ³ 以上 0.08t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D25	鉄筋量が 0.08t/m ³ 以上 0.10t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29	鉄筋量が 0.10t/m ³ 以上 0.12t/m ³ 未満の場合																																																																															
		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D32	鉄筋量が 0.12t/m ³ 以上 0.14t/m ³ 未満の場合																																																																															
	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																	
Z 4 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内 ^ジ ェットヒータ養生の場合																																																																																	
市場単価 S	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物																																																																																	
頁	119	120																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																						
<p>3-7 化粧型枠 「3章②型枠工3-2化粧型枠」による。</p> <p>3-8 化粧型枠(材料費) 「3章②型枠工3-3化粧型枠(材料費)」による。</p> <p>3-9 ベーラインコンクリート(材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.18 ベーラインコンクリート(材料費)積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">擁壁種類</th> <th style="width: 50%;">コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型擁壁</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>重力式・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>逆T型・L型擁壁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 上表は場所打擁壁工におけるベーラインコンクリートの材料費(ロス等含む)を含む。 なお、施工費は各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.19 ロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">材料</th> <th style="width: 30%;">擁壁種類</th> <th style="width: 50%;">ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ベーラインコンクリート</td> <td style="text-align: center;">小型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重力式・もたれ式擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">逆T型・L型擁壁</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-10 止水板設置 止水板が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3-11 裏込砕石 裏込砕石が必要な場合は、「2章⑥基礎・裏込砕石工、基礎・裏込栗石工」により別途計上する。</p>	擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3.3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	材料	擁壁種類	ロス率	ベーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06	重力式・もたれ式擁壁	+0.04	逆T型・L型擁壁	+0.02	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.18 ベーラインコンクリート(材料費)積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">擁壁種類</th> <th style="width: 50%;">コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型擁壁</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>重力式・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>逆T型・L型擁壁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) <u>ベーラインコンクリートのロス率は、次表を標準とする。</u> 上表は場所打擁壁工におけるベーラインコンクリートの材料費(ロス等含む)を含む。 なお、施工費は各種擁壁工の積算条件区分に含まれる。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	擁壁種類	コンクリート規格	小型擁壁	(表 3.3)	重力式・もたれ式擁壁	逆T型・L型擁壁	<p>語句の修正</p>
擁壁種類	コンクリート規格																							
小型擁壁	(表 3.3)																							
重力式・もたれ式擁壁																								
逆T型・L型擁壁																								
材料	擁壁種類	ロス率																						
ベーラインコンクリート	小型擁壁	+0.06																						
	重力式・もたれ式擁壁	+0.04																						
	逆T型・L型擁壁	+0.02																						
擁壁種類	コンクリート規格																							
小型擁壁	(表 3.3)																							
重力式・もたれ式擁壁																								
逆T型・L型擁壁																								
頁	120	121																						

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																			
<p>⑩ 場所打擁壁工(2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、場所打擁壁工(1)の適用範囲を外れた擁壁工(表1.1)のコンクリート打設に適用する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">表1.1 場所打擁壁工(1)の適用範囲を外れた擁壁工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重力式擁壁[擁壁平均高さ5mを超えるもの] ・もたれ式擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、或いは8mを超えるもの] ・逆T型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、或いは10mを超えるもの] ・L型擁壁[擁壁平均高さ1mを超え3m未満のもの、或いは7mを超えるもの] ・重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁以外の形式の現場打擁壁 </div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1-1 適用できる範囲 (1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (2) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> </div> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 コンクリート(場所打擁壁)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">表2.1 コンクリート(場所打擁壁) 積算条件区分一覧 (積算単位: m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">生コンクリート規格</th> <th style="width: 30%;">養生工の種類</th> <th style="width: 50%;">圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表2.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">一般養生</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上280m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上280m以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">仮囲い内ジェットヒータ養生</td> <td style="text-align: center;">延長無し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90m以上180m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">180m以上280m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 上表は、場所打擁壁のコンクリート打設、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務、養生、圧送管組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、パイプレタ損料及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. コンクリートのロスを含む。 3. ペーラインコンクリートの材料費については、「2章⑩場所打擁壁工(1) 3-9 ペーラインコンクリート(材料費)」により別途計上する。 4. 作業範囲(30m)を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を90m未満、90m以上180m未満、180m以上280m以下から該当する区分を選択する。 5. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断する。</p>	生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表2.2)	一般養生	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (2) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分																			
(表2.2)	一般養生	延長無し																			
		90m未満																			
		90m以上180m未満																			
		180m以上280m以下																			
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	延長無し																			
		90m未満																			
		90m以上180m未満																			
		180m以上280m以下																			
	仮囲い内ジェットヒータ養生	延長無し																			
		90m未満																			
		90m以上180m未満																			
		180m以上280m以下																			
頁	121	122																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																				
<p style="text-align: center;">表2.2 生コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">積算条件</th> <th style="width: 40%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17" style="text-align: center;">生コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>27-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>18-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>21-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>24-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>24-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>18-8-25(高炉)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">表2.3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 5.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">- 121 - (2・0・2)</p>	積算条件	区分	生コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	24-8-25(20) (普通)	27-8-25(20) (普通)	18-8-40(普通)	21-8-40(普通)	24-8-40(普通)	21-8-25(20) (高炉)	24-8-25(20) (高炉)	18-8-40(高炉)	21-8-40(高炉)	24-8-40(高炉)	21-8-25 (早強)	24-8-25 (早強)	18-8-25(高炉)	各種	表2.3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	K3 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 5.5%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価 S -		<div style="text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">表2.3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ / <u>h</u> (30,100kcal/<u>h</u>)</td> <td>・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</u></td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 5.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表2.3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 ジェットヒータ 126MJ / <u>h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 5.5%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価 S -		<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																					
生コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)																																																																																					
	24-8-25(20) (普通)																																																																																					
	27-8-25(20) (普通)																																																																																					
	18-8-40(普通)																																																																																					
	21-8-40(普通)																																																																																					
	24-8-40(普通)																																																																																					
	21-8-25(20) (高炉)																																																																																					
	24-8-25(20) (高炉)																																																																																					
	18-8-40(高炉)																																																																																					
	21-8-40(高炉)																																																																																					
	24-8-40(高炉)																																																																																					
	21-8-25 (早強)																																																																																					
	24-8-25 (早強)																																																																																					
	18-8-25(高炉)																																																																																					
	各種																																																																																					
	表2.3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧																																																																																					
	項目	代表機材規格	備考																																																																																			
機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																					
	K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																				
	K3 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																																					
	R2 特殊作業員																																																																																					
	R3 土木一般世話役																																																																																					
	R4 運転手(特殊)																																																																																					
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 5.5%																																																																																					
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																				
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																					
	Z4 -																																																																																					
	市場単価 S -																																																																																					
表2.3 コンクリート(場所打擁壁) 代表機材規格一覧																																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																																				
機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																																					
	K2 ジェットヒータ 126MJ / <u>h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・賃料 ・仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																				
	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																				
労務	R1 普通作業員																																																																																					
	R2 特殊作業員																																																																																					
	R3 土木一般世話役																																																																																					
	R4 運転手(特殊)																																																																																					
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 5.5%																																																																																					
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																																																				
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																					
	Z4 -																																																																																					
	市場単価 S -																																																																																					
122	123																																																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																								
<p style="text-align: center;">⑫ ジオテキスタイル工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ジオテキスタイル(ジオグリッド、ジオネット、織布、不織布)を用いた補強土壁工及び盛土補強工に適用する。ただし、軟弱地盤における敷設材工法及び盛土の補強工法は適用範囲外とする。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 ジオテキスタイル敷設・まき出し・敷均し・締固め (1) ジオテキスタイル工1段当りの施工高さが1.5mまでの場合</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 壁面材別施工フロー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">(鋼製ユニットの場合)</th> <th style="text-align: center;">(土のうの場合)</th> <th style="text-align: center;">(植生マットの場合)</th> <th style="text-align: center;">(壁面材なしの場合)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(壁面材組立・設置)</td> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> <td style="text-align: center;">(壁面材組立・設置)</td> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> <td style="text-align: center;">(壁面材設置)</td> <td style="text-align: center;">巻込み作業 (必要な場合に施工)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> <td style="text-align: center;">巻込み作業 (必要な場合に施工)</td> <td style="text-align: center;">巻込み作業 (必要な場合に施工)</td> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージに対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 壁面材組立・設置は必要な場合に計上する。 3. 巻込み作業の施工の有無にかかわらず適用出来る。</p>	(鋼製ユニットの場合)	(土のうの場合)	(植生マットの場合)	(壁面材なしの場合)	機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入	(壁面材組立・設置)	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	(壁面材組立・設置)	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	締 固 め	締 固 め	締 固 め	締 固 め	(壁面材設置)	巻込み作業 (必要な場合に施工)	壁面上端処理	巻込み作業 (必要な場合に施工)	巻込み作業 (必要な場合に施工)	壁面上端処理	機械搬出	壁面上端処理	壁面上端処理	機械搬出		機械搬出	機械搬出		<p style="text-align: center;">2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 壁面材別施工フロー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">(鋼製ユニットの場合)</th> <th style="text-align: center;">(土のうの場合)</th> <th style="text-align: center;">(植生マットの場合)</th> <th style="text-align: center;">(壁面材なしの場合)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> <td style="text-align: center;">機械・材料搬入</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(壁面材組立・設置)</td> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ジオテキスタイル敷</td> <td style="text-align: center;">(壁面材組立・設置)</td> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> <td style="text-align: center;">まき出し・敷均し</td> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> <td style="text-align: center;">締 固 め</td> <td style="text-align: center;">(壁面材組立・設置)</td> <td style="text-align: center;">巻込み作業 (必要な場合に施工)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> <td style="text-align: center;">巻込み作業 (必要な場合に施工)</td> <td style="text-align: center;">巻込み作業 (必要な場合に施工)</td> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> <td style="text-align: center;">壁面上端処理</td> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> <td style="text-align: center;">機械搬出</td> <td></td> </tr> </table>	(鋼製ユニットの場合)	(土のうの場合)	(植生マットの場合)	(壁面材なしの場合)	機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入	(壁面材組立・設置)	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	(壁面材組立・設置)	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	締 固 め	締 固 め	締 固 め	締 固 め	(壁面材組立・設置)	巻込み作業 (必要な場合に施工)	壁面上端処理	巻込み作業 (必要な場合に施工)	巻込み作業 (必要な場合に施工)	壁面上端処理	機械搬出	壁面上端処理	壁面上端処理	機械搬出		機械搬出	機械搬出		<p>現行どおり</p> <p>語句の修正</p> <p>現行どおり</p>
(鋼製ユニットの場合)	(土のうの場合)	(植生マットの場合)	(壁面材なしの場合)																																																																							
機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入																																																																							
(壁面材組立・設置)	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷																																																																							
ジオテキスタイル敷	(壁面材組立・設置)	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し																																																																							
まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	締 固 め	締 固 め																																																																							
締 固 め	締 固 め	(壁面材設置)	巻込み作業 (必要な場合に施工)																																																																							
壁面上端処理	巻込み作業 (必要な場合に施工)	巻込み作業 (必要な場合に施工)	壁面上端処理																																																																							
機械搬出	壁面上端処理	壁面上端処理	機械搬出																																																																							
	機械搬出	機械搬出																																																																								
(鋼製ユニットの場合)	(土のうの場合)	(植生マットの場合)	(壁面材なしの場合)																																																																							
機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入	機械・材料搬入																																																																							
(壁面材組立・設置)	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷	ジオテキスタイル敷																																																																							
ジオテキスタイル敷	(壁面材組立・設置)	まき出し・敷均し	まき出し・敷均し																																																																							
まき出し・敷均し	まき出し・敷均し	締 固 め	締 固 め																																																																							
締 固 め	締 固 め	(壁面材組立・設置)	巻込み作業 (必要な場合に施工)																																																																							
壁面上端処理	巻込み作業 (必要な場合に施工)	巻込み作業 (必要な場合に施工)	壁面上端処理																																																																							
機械搬出	壁面上端処理	壁面上端処理	機械搬出																																																																							
	機械搬出	機械搬出																																																																								
頁	126	127																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																									
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">壁面材種類</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">鋼製ユニット</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土のう(植生土のう)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">植生マット</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">鋼製ユニット+土のう(植生土のう)</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工の壁面材(鋼製ユニット、土のう(植生土のう含む)、植生マット)の組立・設置等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル壁面材(材料費)は含まない。</p> <p>2. ジオテキスタイル壁面材の材料費は別途計上する。</p> <p>3. 適用される壁面材の種類は表3. 3のとおりとする。</p> <p>4. 施工量は鋼製ユニット及び土のう(植生土のうを含む)の場合は、直面積(壁高×施工延長)とし、植生マットの場合は斜面積(壁面長×施工延長)とする(図3. 1参考図参照)。</p> <p>5. コンクリートブロック積は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td></tr> <tr><td>K2</td><td>—</td></tr> <tr><td>K3</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td></tr> <tr><td>R3</td><td>—</td></tr> <tr><td>R4</td><td>—</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>—</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>—</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	壁面材種類	鋼製ユニット	土のう(植生土のう)	植生マット	鋼製ユニット+土のう(植生土のう)	項目	代表機材材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<div style="text-align: center;"> <p>現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">壁面材種類</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">鋼製ユニット</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">土のう(植生土のう を含む)</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">植生マット</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">鋼製ユニット+土のう(植生土のう を含む)</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>現行どおり</p> </div>	壁面材種類	鋼製ユニット	土のう(植生土のう を含む)	植生マット	鋼製ユニット+土のう(植生土のう を含む)	<p>語句の修正</p>
壁面材種類																																											
鋼製ユニット																																											
土のう(植生土のう)																																											
植生マット																																											
鋼製ユニット+土のう(植生土のう)																																											
項目	代表機材材規格	備考																																									
機械	K1	—																																									
	K2	—																																									
	K3	—																																									
労務	R1	普通作業員																																									
	R2	—																																									
	R3	—																																									
	R4	—																																									
材料	Z1	—																																									
	Z2	—																																									
	Z3	—																																									
	Z4	—																																									
市場単価	S	—																																									
壁面材種類																																											
鋼製ユニット																																											
土のう(植生土のう を含む)																																											
植生マット																																											
鋼製ユニット+土のう(植生土のう を含む)																																											
頁	127	128																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																																	
<p style="text-align: center;">施工法別施工歩掛適用表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">適用 施工法(工法)</th> <th colspan="3">壁 面 材 設 置 ・ 組 立</th> <th rowspan="2">ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し 締 固 め</th> </tr> <tr> <th>鋼製ユニット</th> <th>土 の う (植生土のう)</th> <th>植生マット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製ユニット工法 図A</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>巻き込み工法 (植生土のう) 図B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>巻き込み工法 (植生マット) 図C</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>鋼製ユニット +植生土のう工法 図D</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>巻き込み工法 (壁面材なし) 図E</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>普通敷設工法 (壁面材なし) 図F</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 鋼製ユニット 壁面材の実面積(直面積)100m²当り鋼製ユニット使用量は、次表を参考とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 鋼製ユニット標準使用量 ((直面積)100m² 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>壁面材種類</th> <th>タイプ</th> <th>一層当り施工高</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼製ユニット</td> <td>タイプA</td> <td>500mm以下</td> <td rowspan="4">個</td> <td>100</td> <td rowspan="4">図①</td> </tr> <tr> <td>タイプB</td> <td>600mm以下</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>タイプC</td> <td>600mm以下</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>タイプD</td> <td>600mm以下</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 土のう(植生土のう含む) 壁面材の実面積(直面積)100m²当り土のう(植生土のう含む)使用量は、次表を参考とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 土のう(植生土のう含む)標準使用量 ((直面積)100m² 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>壁面材種類</th> <th>規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土のう (植生土のう)</td> <td>長620×幅480×高100</td> <td rowspan="3">袋</td> <td>2,200</td> <td rowspan="3">図②</td> </tr> <tr> <td>長600×幅400×高100</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>長400×幅400×高200</td> <td>1,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 植生マット 実面積(斜面積)100m²当り植生マット使用量は、次表を参考とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 植生マット標準使用量 ((斜面積)100m² 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>壁面材種類</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植生マット</td> <td>各 種</td> <td>m²</td> <td>100</td> <td>図③</td> </tr> </tbody> </table>	適用 施工法(工法)	壁 面 材 設 置 ・ 組 立			ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し 締 固 め	鋼製ユニット	土 の う (植生土のう)	植生マット	鋼製ユニット工法 図A	○	×	×	○	巻き込み工法 (植生土のう) 図B	×	○	×	○	巻き込み工法 (植生マット) 図C	×	×	○	○	鋼製ユニット +植生土のう工法 図D	○	○	×	○	巻き込み工法 (壁面材なし) 図E	×	×	×	○	普通敷設工法 (壁面材なし) 図F	×	×	×	○	壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単 位	数 量	標準図	鋼製ユニット	タイプA	500mm以下	個	100	図①	タイプB	600mm以下	83	タイプC	600mm以下	167	タイプD	600mm以下	139	壁面材種類	規 格	単 位	数 量	標準図	土のう (植生土のう)	長620×幅480×高100	袋	2,200	図②	長600×幅400×高100	2,500	長400×幅400×高200	1,250	壁面材種類	規 格	単 位	数 量	標準図	植生マット	各 種	m ²	100	図③	<div style="text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>壁面材種類</th> <th>規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土のう (植生土のう <u>含む</u>)</td> <td>長620×幅480×高100</td> <td rowspan="3">袋</td> <td>2,200</td> <td rowspan="3">図②</td> </tr> <tr> <td>長600×幅400×高100</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>長400×幅400×高200</td> <td>1,250</td> </tr> </tbody> </table>	壁面材種類	規 格	単 位	数 量	標準図	土のう (植生土のう <u>含む</u>)	長620×幅480×高100	袋	2,200	図②	長600×幅400×高100	2,500	長400×幅400×高200	1,250	<p>語句の修正</p>
適用 施工法(工法)		壁 面 材 設 置 ・ 組 立				ジオテキスタイル敷設 まき出し・敷均し 締 固 め																																																																																													
	鋼製ユニット	土 の う (植生土のう)	植生マット																																																																																																
鋼製ユニット工法 図A	○	×	×	○																																																																																															
巻き込み工法 (植生土のう) 図B	×	○	×	○																																																																																															
巻き込み工法 (植生マット) 図C	×	×	○	○																																																																																															
鋼製ユニット +植生土のう工法 図D	○	○	×	○																																																																																															
巻き込み工法 (壁面材なし) 図E	×	×	×	○																																																																																															
普通敷設工法 (壁面材なし) 図F	×	×	×	○																																																																																															
壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単 位	数 量	標準図																																																																																														
鋼製ユニット	タイプA	500mm以下				個	100	図①																																																																																											
	タイプB	600mm以下	83																																																																																																
	タイプC	600mm以下	167																																																																																																
	タイプD	600mm以下	139																																																																																																
壁面材種類	規 格	単 位	数 量	標準図																																																																																															
土のう (植生土のう)	長620×幅480×高100				袋	2,200	図②																																																																																												
	長600×幅400×高100	2,500																																																																																																	
	長400×幅400×高200	1,250																																																																																																	
壁面材種類	規 格	単 位	数 量	標準図																																																																																															
植生マット	各 種	m ²	100	図③																																																																																															
壁面材種類	規 格	単 位	数 量	標準図																																																																																															
土のう (植生土のう <u>含む</u>)	長620×幅480×高100				袋	2,200	図②																																																																																												
	長600×幅400×高100	2,500																																																																																																	
	長400×幅400×高200	1,250																																																																																																	
頁	132	133																																																																																																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p style="text-align: center;">⑬ 排水構造物工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。</p> <p style="border: 1px solid red; display: inline-block;">1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 ヒューム管 (B形管) (1) ヒューム管, B形管 (ソケット管) の据付, 撤去, 据付・撤去の場合 (2) ヒューム管, B形管 (ソケット管) を仮設に使用する場合</p> <p>1-1-2 ボックスカルバート (1) 1ブロックを1部材で構成するプレキャスト製ボックスカルバート (内空断面が台形タイプの物を含む) の据付, 撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>1-1-3 暗渠排水管 (1) 硬質塩化ビニル管, ポリエチレン管等の有孔・無孔管の据付, 撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>1-1-4 フィルター材 (1) 暗渠排水管の敷設に伴うフィルター材 (クラッシュヤラン・単粒度砕石等) の敷設の場合</p> <p>1-1-5 管 (函) 渠型側溝 (1) 車道部, 歩道部等の側溝を兼ねた排水構造物の据付, 撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>1-1-6 プレキャスト集水樹 (1) プレキャスト製集水樹の据付, 撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>1-1-7 鉄筋コンクリート台付管 (1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって, かつ, 管断面の外側の下部もしくは上下部の一部がフラットになっている (管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む) プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付, 撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>1-1-8 プレキャストL形側溝 (1) プレキャスト製L形側溝の据付, 撤去, 据付・撤去の場合</p> <p>1-1-9 プレキャストマンホール (1) プレキャスト製マンホールの据付, 撤去, 据付・撤去の場合 (2) プレキャスト製マンホールの内径が1,500mm以下の場合</p> <p>1-1-10 PC管 (1) PC管の据付, 撤去, 据付・撤去の場合 (2) PC管を仮設に使用する場合</p> <p>1-1-11 コルゲートパイプ (1) コルゲートパイプの据付, 撤去, 据付・撤去の場合 (2) コルゲートパイプを仮設に使用する場合</p> <p>1-1-12 コルゲートフリュウム (1) コルゲートフリュウムの据付, 撤去, 据付・撤去の場合 (2) コルゲートフリュウムを仮設に使用する場合</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">1-1 適用 出来る 範囲</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	134	135

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 ヒューム管 (B形管) (1) 巻きコンクリート (固定基礎) を含む撤去、据付・撤去の場合</p> <p>1-2-2 ボックスカルバート (1) グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施工の場合 (2) 製品長 1.0m/個で縦締を行う場合 (3) 曲線部における縦締め施工の場合</p> <p>1-2-3 暗渠排水管 (1) 持上げ高が 2m 以上の場合 (2) 埋設を行わない地上露出配管の敷設の場合</p> <p>1-2-4 フィルター材 (1) 暗渠排水管の敷設を行わない場合</p> <p>1-2-5 管 (函) 渠型側溝 (1) 土中に全体埋設される場合</p> <p>1-2-6 プレキャスト集水枿 (1) 質量 80 kg/基以下で、持上げ高が 2m 以上の場合</p> <p>1-2-7 プレキャストマンホール (1) 円形断面以外の基礎砕石の場合</p> <p>1-2-8 PC管 (1) 巻きコンクリート (固定基礎) を含む撤去、据付・撤去の場合</p> <p>1-2-9 コルゲートパイプ (1) 持上げ高が 2m 以上の場合 (2) 規格が「フランジ型」で型式が「アーチ形」の場合</p> <p>1-2-10 コルゲートフリューム (1) 持上げ高が 2m 以上の場合</p>	<p>1-2 適用 出来ない 範囲</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
<p>頁</p> <p style="text-align: center;">135</p>	<p style="text-align: center;">136</p>	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																										
<p>3. 施工パッケージ 3-1 ヒューム管 (B形管) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ヒューム管(B形管) 積算条件区分一覧 (積算単位:m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管径</th> <th>固定基礎</th> <th>基礎砕石</th> <th>規格</th> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">据付</td> <td rowspan="6">(表3.2)</td> <td rowspan="3">90°巻き</td> <td rowspan="6">(表3.4)</td> <td>外圧管1種</td> <td rowspan="12">(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">180°巻き</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">360°巻き</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(表3.3)</td> <td rowspan="3">90°巻き</td> <td rowspan="6">(表3.4)</td> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">180°巻き</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">無し</td> <td rowspan="3">—</td> <td>外圧管1種</td> </tr> <tr> <td>外圧管2種</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>(表3.2) (表3.3)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>(表3.2) (表3.3)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>外圧管1種 外圧管2種 各種</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ヒューム管の設置、基礎砕石、鉄筋、連続距離30m程度までの現場内小運搬、基礎コンクリート、コンクリート、型枠(剥離材塗布及びケレン作業を含む)の他、緊結用器具、コンクリートカット運転、目地モルタルの費用、ヒューム管損失分の費用、カットブレードの消耗費、レバブロック損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 砕石、鉄筋、コンクリートのロスを含む。 3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 4. 基礎砕石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。 5. 固定基礎無しは、基礎砕石を含まないため必要な場合は別途計上する。 6. 撤去作業、据付・撤去作業は、ヒューム管のみを対象としている。 7. コンクリートの養生は、一般養生及び特殊養生にかかわらず適用出来る。</p>	作業区分	管径	固定基礎	基礎砕石	規格	生コンクリート規格	据付	(表3.2)	90°巻き	(表3.4)	外圧管1種	(表3.5)	外圧管2種	各種	外圧管1種	外圧管2種	各種	180°巻き	—	外圧管1種	外圧管2種	各種	360°巻き	—	外圧管1種	外圧管2種	各種	(表3.3)	90°巻き	(表3.4)	外圧管1種	外圧管2種	各種	外圧管1種	外圧管2種	各種	180°巻き	—	外圧管1種	外圧管2種	各種	無し	—	外圧管1種	外圧管2種	各種	撤去	(表3.2) (表3.3)	—	—	—	—	据付・撤去	(表3.2) (表3.3)	—	—	外圧管1種 外圧管2種 各種	—	<p>現行どおり</p>	
作業区分	管径	固定基礎	基礎砕石	規格	生コンクリート規格																																																							
据付	(表3.2)	90°巻き	(表3.4)	外圧管1種	(表3.5)																																																							
				外圧管2種																																																								
				各種																																																								
		外圧管1種																																																										
		外圧管2種																																																										
		各種																																																										
	180°巻き	—	外圧管1種																																																									
			外圧管2種																																																									
			各種																																																									
	360°巻き	—	外圧管1種																																																									
			外圧管2種																																																									
			各種																																																									
(表3.3)	90°巻き	(表3.4)	外圧管1種																																																									
			外圧管2種																																																									
			各種																																																									
	外圧管1種																																																											
	外圧管2種																																																											
	各種																																																											
180°巻き	—	外圧管1種																																																										
		外圧管2種																																																										
		各種																																																										
無し	—	外圧管1種																																																										
		外圧管2種																																																										
		各種																																																										
撤去	(表3.2) (表3.3)	—	—	—	—																																																							
据付・撤去	(表3.2) (表3.3)	—	—	外圧管1種 外圧管2種 各種	—																																																							
<p style="text-align: center;">表3.2 管径①</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14" style="text-align: center;">管径</td><td>200mm</td></tr> <tr><td>250mm</td></tr> <tr><td>300mm</td></tr> <tr><td>350mm</td></tr> <tr><td>400mm</td></tr> <tr><td>450mm</td></tr> <tr><td>500mm</td></tr> <tr><td>600mm</td></tr> <tr><td>700mm</td></tr> <tr><td>800mm</td></tr> <tr><td>900mm</td></tr> <tr><td>1,000mm</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.3 管径②</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">管径</td> <td>1,100mm</td> </tr> <tr> <td>1,200mm</td> </tr> <tr> <td>1,350mm</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">8. 基面修正は含まない。</p>	積算条件	区分	管径	200mm	250mm	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	積算条件	区分	管径	1,100mm	1,200mm	1,350mm	<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>																																					
積算条件	区分																																																											
管径	200mm																																																											
	250mm																																																											
	300mm																																																											
	350mm																																																											
	400mm																																																											
	450mm																																																											
	500mm																																																											
	600mm																																																											
	700mm																																																											
	800mm																																																											
	900mm																																																											
	1,000mm																																																											
	積算条件	区分																																																										
	管径	1,100mm																																																										
1,200mm																																																												
1,350mm																																																												
頁	138	139																																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表3.4 基礎砕石</caption> <tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr> <tr><td>基礎砕石</td><td>有り</td></tr> <tr><td></td><td>無し</td></tr> </table> <table border="1" style="font-size: small;"> <caption>表3.5 生コンクリート規格</caption> <tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr> <tr><td rowspan="4">生コンクリート規格</td><td>18-8-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40 (普通)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </table> </div> <p>(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <caption>表3.6 ヒューム管(B形管) 代表機劣材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機劣材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が 1,100~1,350mm の場合 管径が 200~1,000mm の場合</td> </tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td>作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合</td> </tr> <tr><td>R 2 型わく工 運転手 (特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr><td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr><td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">材料</td> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 200mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 250mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 300mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 350mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 400mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 450mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 500mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 600mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 700mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 800mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 900mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 1,000mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	基礎砕石	有り		無し	積算条件	区分	生コンクリート規格	18-8-40 (高炉)	18-8-25(20) (高炉)	18-8-40 (普通)	各種	項目	代表機劣材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	・賃料 ・管径が 1,100~1,350mm の場合 管径が 200~1,000mm の場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合	R 2 型わく工 運転手 (特殊)	上記以外の場合	R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 200mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 250mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 300mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 350mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 400mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 450mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 500mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 600mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 700mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 800mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 900mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 1,000mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合	<p>現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <caption>表3.6 ヒューム管(B形管) 代表機劣材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機劣材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35 m³) 吊能力 2.9 t</td> <td>・賃料 ・管径が 1,100~1,350mm の場合 管径が 200~1,000mm の場合</td> </tr> <tr><td>K 2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K 3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td>作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合</td> </tr> <tr><td>R 2 型わく工 運転手 (特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr><td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr><td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">材料</td> <td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 200mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 250mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 300mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 350mm×長さ 2,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 400mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 450mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 500mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 600mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 700mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 800mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 900mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合</td> </tr> <tr><td>Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 1,000mm×長さ 2,430mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機劣材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 吊能力 2.9 t	・賃料 ・管径が 1,100~1,350mm の場合 管径が 200~1,000mm の場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合	R 2 型わく工 運転手 (特殊)	上記以外の場合	R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 200mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 250mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 300mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 350mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 400mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 450mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 500mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 600mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 700mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 800mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 900mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 1,000mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合	<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																																						
基礎砕石	有り																																																																																																						
	無し																																																																																																						
積算条件	区分																																																																																																						
生コンクリート規格	18-8-40 (高炉)																																																																																																						
	18-8-25(20) (高炉)																																																																																																						
	18-8-40 (普通)																																																																																																						
	各種																																																																																																						
項目	代表機劣材規格	備考																																																																																																					
機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊	・賃料 ・管径が 1,100~1,350mm の場合 管径が 200~1,000mm の場合																																																																																																					
	K 2 -																																																																																																						
	K 3 -																																																																																																						
労務	R 1 普通作業員	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合																																																																																																					
	R 2 型わく工 運転手 (特殊)	上記以外の場合																																																																																																					
	R 3 土木一般世話役																																																																																																						
	R 4 特殊作業員																																																																																																						
材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 200mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 250mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 300mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 350mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 400mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 450mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 500mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 600mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 700mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 800mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 900mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 1,000mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合																																																																																																					
	項目	代表機劣材規格	備考																																																																																																				
	機械	K 1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25t 吊 バックホウ (クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 吊能力 2.9 t	・賃料 ・管径が 1,100~1,350mm の場合 管径が 200~1,000mm の場合																																																																																																				
K 2 -																																																																																																							
K 3 -																																																																																																							
労務	R 1 普通作業員	作業区分が据付で、固定基礎が有りの場合																																																																																																					
	R 2 型わく工 運転手 (特殊)	上記以外の場合																																																																																																					
	R 3 土木一般世話役																																																																																																						
	R 4 特殊作業員																																																																																																						
材料	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 200mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 250mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 300mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 350mm×長さ 2,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 400mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 450mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 500mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 600mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 700mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 800mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 900mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合																																																																																																					
	Z 1 ヒューム管 外圧管 B形 1種 径 1,000mm×長さ 2,430mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合																																																																																																					
	頁	139	140																																																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">作業区分</th> <th style="width: 15%;">製品長</th> <th style="width: 15%;">内空幅・内空高(m)</th> <th style="width: 15%;">基礎材種別</th> <th style="width: 15%;">PC鋼材による縦締め</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">据付・撤去</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">1.0m/個</td> <td>1.25m<B≤2.5m</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.8)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>1.25m<H≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>2.5m<B≤3.75m</td> </tr> <tr> <td>1.25m≤H≤2.5m</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">1.5m/個</td> <td>1.25m<B≤2.5m</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.8)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>1.25m<H≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>0m<H≤1.25m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<H≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>2.5m<B≤3.75m</td> </tr> <tr> <td>1.25m≤H≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>2.5m<B≤3.75m</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">2.0m/個</td> <td>0m<B≤1.25m</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.8)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>0m<H≤1.25m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>0m<H≤1.25m</td> </tr> <tr> <td>0m<B≤1.25m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<H≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<B≤2.5m</td> </tr> <tr> <td>1.25m<H≤2.5m</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 上表は、ボックスカルバートの設置、PC鋼材による縦締め、基礎材、均しコンクリート、型枠(剥離材塗布及びケレン作業を含む)、養生、敷モルタル、目地モルタル、グラウト、運搬距離30m程度までの現場内小運搬、レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)、グラウトポンプ、ミキサーの損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、PC鋼材材料費、定着金具材料費は含まない。 2. 対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートである。 3. 内空断面が台形タイプの場合やインパネ形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。 4. PC鋼材、定着金具は、別途必要量を計上する。 5. 縦締めは、直線部のみ適用する。 6. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 7. 基礎碎石、均しコンクリートの材料は、種別・規格にかかわらず適用出来る。 8. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 9. 製品長が1個あたり1.0mの場合、PC鋼材による縦締めの費用は含まない。</p>	作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め	据付・撤去	1.0m/個	1.25m<B≤2.5m	(表3.8)	-	1.25m<H≤2.5m	2.5m<B≤3.75m	1.25m≤H≤2.5m	1.5m/個	1.25m<B≤2.5m	(表3.8)	(表3.9)	1.25m<H≤2.5m	0m<H≤1.25m	1.25m<B≤2.5m	1.25m<H≤2.5m	2.5m<B≤3.75m	1.25m≤H≤2.5m	2.5m<B≤3.75m	2.0m/個	0m<B≤1.25m	(表3.8)	(表3.9)	0m<H≤1.25m	1.25m<B≤2.5m	0m<H≤1.25m	0m<B≤1.25m	1.25m<H≤2.5m	1.25m<B≤2.5m	1.25m<H≤2.5m	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="font-size: 1.2em;">現行どおり</p>	<p style="font-size: 1.2em;">語句の修正</p>
作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め																																	
据付・撤去	1.0m/個	1.25m<B≤2.5m	(表3.8)	-																																	
		1.25m<H≤2.5m																																			
		2.5m<B≤3.75m																																			
		1.25m≤H≤2.5m																																			
	1.5m/個	1.25m<B≤2.5m	(表3.8)	(表3.9)																																	
		1.25m<H≤2.5m																																			
		0m<H≤1.25m																																			
		1.25m<B≤2.5m																																			
		1.25m<H≤2.5m																																			
		2.5m<B≤3.75m																																			
		1.25m≤H≤2.5m																																			
		2.5m<B≤3.75m																																			
2.0m/個	0m<B≤1.25m	(表3.8)	(表3.9)																																		
	0m<H≤1.25m																																				
	1.25m<B≤2.5m																																				
	0m<H≤1.25m																																				
	0m<B≤1.25m																																				
	1.25m<H≤2.5m																																				
	1.25m<B≤2.5m																																				
	1.25m<H≤2.5m																																				
<p style="font-size: small; color: red; text-decoration: underline;">10. 基面修正は含まない。</p>	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="font-size: 1.2em;">現行どおり</p>																																				
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">表3.8 基礎材種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">基礎材種別</td> <td>基礎碎石+均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石</td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p style="font-size: small;">表3.9 PC鋼材による縦締め</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">PC鋼材による縦締め</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table>	<p style="font-size: small;">表3.8 基礎材種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">基礎材種別</td> <td>基礎碎石+均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石</td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	基礎材種別	基礎碎石+均しコンクリート	基礎碎石	均しコンクリート	無し	<p style="font-size: small;">表3.9 PC鋼材による縦締め</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">PC鋼材による縦締め</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	PC鋼材による縦締め	無し	有り	142	143																					
<p style="font-size: small;">表3.8 基礎材種別</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">基礎材種別</td> <td>基礎碎石+均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石</td> </tr> <tr> <td>均しコンクリート</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	基礎材種別		基礎碎石+均しコンクリート	基礎碎石	均しコンクリート	無し	<p style="font-size: small;">表3.9 PC鋼材による縦締め</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">PC鋼材による縦締め</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分		PC鋼材による縦締め	無し	有り																						
積算条件	区分																																				
基礎材種別	基礎碎石+均しコンクリート																																				
	基礎碎石																																				
	均しコンクリート																																				
	無し																																				
積算条件	区分																																				
PC鋼材による縦締め	無し																																				
	有り																																				
頁	142	143																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																	
<p>3-3 暗渠排水管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 暗渠排水管 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管種別</th> <th>呼び径</th> <th>継手材料費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">据付</td> <td rowspan="2">直管</td> <td>50 ~ 150mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>200 ~ 400mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">波状管及び網状管</td> <td>50 ~ 150mm</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>200 ~ 400mm</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>450 ~ 600mm</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>450 ~ 600mm</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去</td> <td rowspan="2">直管</td> <td>50 ~ 150mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>200 ~ 400mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">波状管及び網状管</td> <td>50 ~ 150mm</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>200 ~ 400mm</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>450 ~ 600mm</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>450 ~ 600mm</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">据付・撤去</td> <td rowspan="2">直管</td> <td>50 ~ 150mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>200 ~ 400mm</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">波状管及び網状管</td> <td>50 ~ 150mm</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>200 ~ 400mm</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>450 ~ 600mm</td> <td>要</td> </tr> <tr> <td>450 ~ 600mm</td> <td>不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、暗渠排水管(浅層地下排水除去のために行う)の敷設、継手材料、運搬距離100m程度まで現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の敷設は別途考慮する。 3. 暗渠排水管の切断ロスを含む。 4. 継手材料費は継手接合の場合であり、継手を必要としない場合及び排水管価格に含む場合は計上しない。</p>	作業区分	管種別	呼び径	継手材料費	据付	直管	50 ~ 150mm	—	200 ~ 400mm	—	波状管及び網状管	50 ~ 150mm	要	200 ~ 400mm	不要	450 ~ 600mm	要	450 ~ 600mm	不要	撤去	直管	50 ~ 150mm	—	200 ~ 400mm	—	波状管及び網状管	50 ~ 150mm	要	200 ~ 400mm	不要	450 ~ 600mm	要	450 ~ 600mm	不要	据付・撤去	直管	50 ~ 150mm	—	200 ~ 400mm	—	波状管及び網状管	50 ~ 150mm	要	200 ~ 400mm	不要	450 ~ 600mm	要	450 ~ 600mm	不要	<p>現行どおり</p>	
作業区分	管種別	呼び径	継手材料費																																																
据付	直管	50 ~ 150mm	—																																																
		200 ~ 400mm	—																																																
	波状管及び網状管	50 ~ 150mm	要																																																
		200 ~ 400mm	不要																																																
		450 ~ 600mm	要																																																
		450 ~ 600mm	不要																																																
撤去	直管	50 ~ 150mm	—																																																
		200 ~ 400mm	—																																																
	波状管及び網状管	50 ~ 150mm	要																																																
		200 ~ 400mm	不要																																																
		450 ~ 600mm	要																																																
		450 ~ 600mm	不要																																																
据付・撤去	直管	50 ~ 150mm	—																																																
		200 ~ 400mm	—																																																
	波状管及び網状管	50 ~ 150mm	要																																																
		200 ~ 400mm	不要																																																
		450 ~ 600mm	要																																																
		450 ~ 600mm	不要																																																
<p>5. 基面整正は含まない。</p>	<p>5. 基面整正は含まない。</p>	<p>語句の修正</p>																																																	
頁	145	146																																																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																					
<p>3-4 フィルター材 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 フィルター材 積算条件区分一覧 (積算単位：m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr><th colspan="2">フィルター材の種類</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>クラッシュラン</td><td>C 80</td></tr> <tr><td>〃</td><td>C 40</td></tr> <tr><td>〃</td><td>C 30</td></tr> <tr><td>粒度調整砕石</td><td>M 40</td></tr> <tr><td>〃</td><td>M 30</td></tr> <tr><td>〃</td><td>M 25</td></tr> <tr><td>コンクリート用骨材 砕石 40-5</td><td></td></tr> <tr><td>単粒度砕石 4号</td><td>30-20</td></tr> <tr><td>再生クラッシュラン</td><td>RC 80</td></tr> <tr><td>〃</td><td>RC 40</td></tr> <tr><td>〃</td><td>RC 30</td></tr> <tr><td>各 種</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、暗渠排水管敷設に伴うフィルター材(クラッシュラン及び単粒度砕石等)の設置、締固め、運搬距離30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)。 2. フィルター材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.14 フィルター材 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35 m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>再生クラッシュラン RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	フィルター材の種類		クラッシュラン	C 80	〃	C 40	〃	C 30	粒度調整砕石	M 40	〃	M 30	〃	M 25	コンクリート用骨材 砕石 40-5		単粒度砕石 4号	30-20	再生クラッシュラン	RC 80	〃	RC 40	〃	RC 30	各 種		項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³)		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手(特殊)		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40		Z 2	軽油 1.2号 バトル給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p style="color: red;">3. 基面整正は含まない。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>
フィルター材の種類																																																																							
クラッシュラン	C 80																																																																						
〃	C 40																																																																						
〃	C 30																																																																						
粒度調整砕石	M 40																																																																						
〃	M 30																																																																						
〃	M 25																																																																						
コンクリート用骨材 砕石 40-5																																																																							
単粒度砕石 4号	30-20																																																																						
再生クラッシュラン	RC 80																																																																						
〃	RC 40																																																																						
〃	RC 30																																																																						
各 種																																																																							
項目	代表機労材規格	備考																																																																					
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³)																																																																					
	K 2	—																																																																					
	K 3	—																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																					
	R 2	土木一般世話役																																																																					
	R 3	運転手(特殊)																																																																					
	R 4	特殊作業員																																																																					
材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40																																																																					
	Z 2	軽油 1.2号 バトル給油																																																																					
	Z 3	—																																																																					
	Z 4	—																																																																					
市場単価	S	—																																																																					
頁	147	148																																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																													
<p>3-5 管(函)渠型側溝</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15 管(函)渠型側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>内径又は内空幅(mm)</th> <th>基礎砕石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据付</td> <td>200mm 以上 400mm以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>400mmを超え600mm以下</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去</td> <td>200mm 以上 400mm以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>400mmを超え600mm以下</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>200mm 以上 400mm以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>400mmを超え600mm以下</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト製管(函)渠型側溝の設置、基礎材、運搬距離50m程度までの現場 内小運搬の他、コンクリートカット運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、カットパ レードの消耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。 4. 基礎砕石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 管(函)渠型側溝 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 1.7 t 吊 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 2.9 t 吊</td> <td>・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1</td> <td>円形側溝 縦断用 内径 300mm T-25 円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去で、 内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合 作業区分が据付又は据付・撤去で、 内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1.2号 バトル給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	内径又は内空幅(mm)	基礎砕石の有無	据付	200mm 以上 400mm以下	有り	400mmを超え600mm以下	無し	撤去	200mm 以上 400mm以下	有り	400mmを超え600mm以下	無し	据付・撤去	200mm 以上 400mm以下	有り	400mmを超え600mm以下	無し	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 1.7 t 吊 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 2.9 t 吊	・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	円形側溝 縦断用 内径 300mm T-25 円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、 内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合 作業区分が据付又は据付・撤去で、 内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合	Z 2	軽油 1.2号 バトル給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">5. 基面修正は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
作業区分	内径又は内空幅(mm)	基礎砕石の有無																																																													
据付	200mm 以上 400mm以下	有り																																																													
	400mmを超え600mm以下	無し																																																													
撤去	200mm 以上 400mm以下	有り																																																													
	400mmを超え600mm以下	無し																																																													
据付・撤去	200mm 以上 400mm以下	有り																																																													
	400mmを超え600mm以下	無し																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.28m3(平積 0.2m3) 1.7 t 吊 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・ 排出ガス対策型(第2次基準値)】 山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 2.9 t 吊	・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合																																																												
	K 2	—																																																													
	K 3	—																																																													
労務	R 1	普通作業員																																																													
	R 2	土木一般世話役																																																													
	R 3	特殊作業員																																																													
	R 4	運転手(特殊)																																																													
材料	Z 1	円形側溝 縦断用 内径 300mm T-25 円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、 内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合 作業区分が据付又は据付・撤去で、 内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合																																																												
	Z 2	軽油 1.2号 バトル給油																																																													
	Z 3	—																																																													
	Z 4	—																																																													
	市場単価	S	—																																																												
頁	148	149																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																			
<p>3-6 プレキャスト集水樹</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 プレキャスト集水樹 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>製品質量(kg/基)</th> <th>基礎碎石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.18)</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、プレキャスト集水樹の設置、基礎材、敷砂又は敷モルタル、運搬距離30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、集水樹(材料費)は含まない。 2. 蓋版の有無にかかわらず適用出来る。 3. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 5. 基礎碎石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。 6. 集水樹の材料費は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.18 製品質量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">製品質量(kg/基)</td> <td>50 kg 以上 80 kg 以下</td> </tr> <tr> <td>80 kg を超え 400 kg 以下</td> </tr> <tr> <td>400 kg を超え 800 kg 以下</td> </tr> <tr> <td>800 kg を超え 1,200 kg 以下</td> </tr> <tr> <td>1,200 kg を超え 1,600 kg 以下</td> </tr> <tr> <td>1,600 kg を超え 2,200 kg 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.19 プレキャスト集水樹 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35m³) 2.9 t 吊</td> <td>製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無	据付	(表3.18)	有り	撤去	無し	据付・撤去	有り		無し	積算条件	区分	製品質量(kg/基)	50 kg 以上 80 kg 以下	80 kg を超え 400 kg 以下	400 kg を超え 800 kg 以下	800 kg を超え 1,200 kg 以下	1,200 kg を超え 1,600 kg 以下	1,600 kg を超え 2,200 kg 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合	材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合	Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">7. 基面整正は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.19 プレキャスト集水樹 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35m³) <u>吊能力 2.9 t</u></td> <td>製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) <u>吊能力 2.9 t</u>	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合	K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合	材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合	Z 2 -		Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p></p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無																																																																																			
据付	(表3.18)	有り																																																																																			
撤去		無し																																																																																			
据付・撤去		有り																																																																																			
		無し																																																																																			
積算条件	区分																																																																																				
製品質量(kg/基)	50 kg 以上 80 kg 以下																																																																																				
	80 kg を超え 400 kg 以下																																																																																				
	400 kg を超え 800 kg 以下																																																																																				
	800 kg を超え 1,200 kg 以下																																																																																				
	1,200 kg を超え 1,600 kg 以下																																																																																				
1,600 kg を超え 2,200 kg 以下																																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																																			
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合																																																																																			
	K 2 -																																																																																				
	K 3 -																																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																																				
	R 2 土木一般世話役																																																																																				
	R 3 特殊作業員																																																																																				
	R 4 運転手(特殊)	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合																																																																																			
材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合																																																																																			
	Z 2 -																																																																																				
	Z 3 -																																																																																				
	Z 4 -																																																																																				
市場単価	S -																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																			
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) <u>吊能力 2.9 t</u>	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合																																																																																			
	K 2 -																																																																																				
	K 3 -																																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																																				
	R 2 土木一般世話役																																																																																				
	R 3 特殊作業員																																																																																				
	R 4 運転手(特殊)	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合																																																																																			
材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油	製品質量が80kgを超え2,200kg/基以下の場合																																																																																			
	Z 2 -																																																																																				
	Z 3 -																																																																																				
	Z 4 -																																																																																				
市場単価	S -																																																																																				
頁	149	150																																																																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																				
<p>3-7 プレキャスト集水樹 (材料費) (1) 条件区分 プレキャスト集水樹 (材料費) の条件区分はない。 積算単位は基とする。</p> <p>3-8 鉄筋コンクリート台付管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.20 鉄筋コンクリート台付管 積算条件区分一覧 (積算単位: m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管 径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据 付</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.21)</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、鉄筋コンクリート台付管の設置、基礎砕石、運搬距離30m程度までの現場内小運搬、緊結用器具、コンクリートカッタ運転、目地モルタル、コンクリートカッタブレードの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 断面が卵形の場合の管径は内幅とする。 3. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。 5. 基礎砕石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。</p>	作業区分	管 径	据 付	(表3.21)	撤 去	据付・撤去	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">6. 基面整正は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>														
作業区分	管 径																					
据 付	(表3.21)																					
撤 去																						
据付・撤去																						
<p style="text-align: center;">表3.21 管径</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="7" style="text-align: center;">管 径</td><td>200mm</td></tr> <tr><td>250mm</td></tr> <tr><td>300mm</td></tr> <tr><td>350mm</td></tr> <tr><td>400mm</td></tr> <tr><td>450mm</td></tr> <tr><td>500mm</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="7" style="text-align: center;">管 径</td><td>600mm</td></tr> <tr><td>700mm</td></tr> <tr><td>800mm</td></tr> <tr><td>900mm</td></tr> <tr><td>1,000mm</td></tr> <tr><td>1,100mm</td></tr> <tr><td>1,200mm</td></tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	管 径	200mm	250mm	300mm	350mm	400mm	450mm	500mm	積算条件	区分	管 径	600mm	700mm	800mm	900mm	1,000mm	1,100mm	1,200mm	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	
積算条件	区分																					
管 径	200mm																					
	250mm																					
	300mm																					
	350mm																					
	400mm																					
	450mm																					
	500mm																					
積算条件	区分																					
管 径	600mm																					
	700mm																					
	800mm																					
	900mm																					
	1,000mm																					
	1,100mm																					
	1,200mm																					
頁	150	151																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.22 鉄筋コンクリート台付管 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 2.9 t 吊</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm</td> <td>・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が200～300mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が350～500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が600～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が900～1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 2.9 t 吊	管径が200～800mmの場合	K 2 -			K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)	管径が200～800mmの場合	材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が200～300mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が350～500mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が600～800mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が900～1,200mmの場合	Z 2 軽油 1.2号 バトルール給油	管径が200～800mmの場合	Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.22 鉄筋コンクリート台付管 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 吊能力2.9 t</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm</td> <td>・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が200～300mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が350～500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が600～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm</td> <td>・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が900～1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td>管径が200～800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 吊能力2.9 t	管径が200～800mmの場合	K 2 -			K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)	管径が200～800mmの場合	材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が200～300mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が350～500mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が600～800mmの場合	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が900～1,200mmの場合	Z 2 軽油 1.2号 バトルール給油	管径が200～800mmの場合	Z 3 -		Z 4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K 1 ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合																																																																																
	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 2.9 t 吊	管径が200～800mmの場合																																																																																
	K 2 -																																																																																	
	K 3 -																																																																																	
労務	R 1 普通作業員																																																																																	
	R 2 土木一般世話役																																																																																	
	R 3 特殊作業員																																																																																	
	R 4 運転手(特殊)	管径が200～800mmの場合																																																																																
材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が200～300mmの場合																																																																																
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が350～500mmの場合																																																																																
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が600～800mmの場合																																																																																
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が900～1,200mmの場合																																																																																
	Z 2 軽油 1.2号 バトルール給油	管径が200～800mmの場合																																																																																
	Z 3 -																																																																																	
Z 4 -																																																																																		
市場単価	S -																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K 1 ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が900～1,200mmの場合																																																																																
	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.45m3(平積 0.35 m3) 吊能力2.9 t	管径が200～800mmの場合																																																																																
	K 2 -																																																																																	
	K 3 -																																																																																	
労務	R 1 普通作業員																																																																																	
	R 2 土木一般世話役																																																																																	
	R 3 特殊作業員																																																																																	
	R 4 運転手(特殊)	管径が200～800mmの場合																																																																																
材料	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm	・1m当たり0.5本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が200～300mmの場合																																																																																
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径450mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が350～500mmの場合																																																																																
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径600mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が600～800mmの場合																																																																																
	鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径1,000mm×長さ2,500mm	・1m当たり0.4本 ・作業区分が据付又は据付・撤去で、 管径が900～1,200mmの場合																																																																																
	Z 2 軽油 1.2号 バトルール給油	管径が200～800mmの場合																																																																																
	Z 3 -																																																																																	
Z 4 -																																																																																		
市場単価	S -																																																																																	
頁	151	152																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																					
<p>3-9 プレキャストL形側溝 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.23 プレキャストL形側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>L形側溝の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据 付</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表3.24)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤 去</td> <td>—</td> <td rowspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表3.24)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、プレキャスト製品によるL型側溝の設置、基礎砕石、運搬距離30m程度までの現場内小運搬の他、コンクリートカット運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、コンクリートカットブレードの損耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。 4. 基礎砕石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">表3.24 プレキャストL形側溝の種類 区分</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>呼び名</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">L形側溝の種類</td> <td>C250A</td> <td>コンクリートL形(350×175×600)</td> </tr> <tr> <td>C250B</td> <td>コンクリートL形(450×175×600)</td> </tr> <tr> <td>250A</td> <td>鉄筋コンクリートL形(350×155×600)</td> </tr> <tr> <td>250B</td> <td>鉄筋コンクリートL形(450×155×600)</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>鉄筋コンクリートL形(500×155×600)</td> </tr> <tr> <td>350</td> <td>鉄筋コンクリートL形(550×155×600)</td> </tr> <tr> <td>500A</td> <td>鉄筋コンクリートL形(665×270×600)</td> </tr> <tr> <td>500B</td> <td>鉄筋コンクリートL形(700×320×600)</td> </tr> <tr> <td>500C</td> <td>鉄筋コンクリートL形(705×370×600)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.25 プレキャストL形側溝 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 鉄筋コンクリートL形 300(500×155×600)</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	基礎砕石の有無	L形側溝の種類	据 付	有り	(表3.24)	無し	撤 去	—	—	有り	据付・撤去	有り	(表3.24)	無し	積算条件	呼び名	種類	L形側溝の種類	C250A	コンクリートL形(350×175×600)	C250B	コンクリートL形(450×175×600)	250A	鉄筋コンクリートL形(350×155×600)	250B	鉄筋コンクリートL形(450×155×600)	300	鉄筋コンクリートL形(500×155×600)	350	鉄筋コンクリートL形(550×155×600)	500A	鉄筋コンクリートL形(665×270×600)	500B	鉄筋コンクリートL形(700×320×600)	500C	鉄筋コンクリートL形(705×370×600)	—	各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊		K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手(特殊)		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 鉄筋コンクリートL形 300(500×155×600)	作業区分が据付又は据付・撤去の場合	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; color: red;">5. 基面整正は含まない</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.25 プレキャストL形側溝 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m³(平積 0.35 m³) <u>品能力</u> 2.9 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 鉄筋コンクリートL形 300(500×155×600)</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) <u>品能力</u> 2.9 t		K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手(特殊)		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 鉄筋コンクリートL形 300(500×155×600)	作業区分が据付又は据付・撤去の場合	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
作業区分	基礎砕石の有無	L形側溝の種類																																																																																																					
据 付	有り	(表3.24)																																																																																																					
	無し																																																																																																						
撤 去	—	—																																																																																																					
	有り																																																																																																						
据付・撤去	有り	(表3.24)																																																																																																					
	無し																																																																																																						
積算条件	呼び名	種類																																																																																																					
L形側溝の種類	C250A	コンクリートL形(350×175×600)																																																																																																					
	C250B	コンクリートL形(450×175×600)																																																																																																					
	250A	鉄筋コンクリートL形(350×155×600)																																																																																																					
	250B	鉄筋コンクリートL形(450×155×600)																																																																																																					
	300	鉄筋コンクリートL形(500×155×600)																																																																																																					
	350	鉄筋コンクリートL形(550×155×600)																																																																																																					
	500A	鉄筋コンクリートL形(665×270×600)																																																																																																					
	500B	鉄筋コンクリートL形(700×320×600)																																																																																																					
	500C	鉄筋コンクリートL形(705×370×600)																																																																																																					
	—	各種																																																																																																					
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																				
	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊																																																																																																					
K 2 —																																																																																																							
K 3 —																																																																																																							
労務	R 1 普通作業員																																																																																																						
	R 2 土木一般世話役																																																																																																						
	R 3 運転手(特殊)																																																																																																						
	R 4 特殊作業員																																																																																																						
材料	Z 1 鉄筋コンクリートL形 300(500×155×600)	作業区分が据付又は据付・撤去の場合																																																																																																					
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																						
	Z 3 —																																																																																																						
	Z 4 —																																																																																																						
市場単価	S																																																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																																																					
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) <u>品能力</u> 2.9 t																																																																																																						
	K 2 —																																																																																																						
	K 3 —																																																																																																						
労務	R 1 普通作業員																																																																																																						
	R 2 土木一般世話役																																																																																																						
	R 3 運転手(特殊)																																																																																																						
	R 4 特殊作業員																																																																																																						
材料	Z 1 鉄筋コンクリートL形 300(500×155×600)	作業区分が据付又は据付・撤去の場合																																																																																																					
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																						
	Z 3 —																																																																																																						
	Z 4 —																																																																																																						
市場単価	S																																																																																																						
頁	152	153																																																																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																									
<p>3-10 プレキャストマンホール (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.26 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>製品質量</th> <th>基礎砕石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据付</td> <td>2,000kg/基以下</td> <td>有り(円形断面)</td> </tr> <tr> <td>2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下</td> <td>無しまたは円形断面以外</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去</td> <td>2,000kg/基以下</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>2,000kg/基以下</td> <td>有り(円形断面)</td> </tr> <tr> <td>2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下</td> <td>無しまたは円形断面以外</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、マンホールの設置、蓋、基礎砕石、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬の他、敷砂又は敷セラル等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 基礎砕石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考案する。 3. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。 4. 基礎砕石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。</p>	作業区分	製品質量	基礎砕石の有無	据付	2,000kg/基以下	有り(円形断面)	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	無しまたは円形断面以外	撤去	2,000kg/基以下	—	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	—	据付・撤去	2,000kg/基以下	有り(円形断面)	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	無しまたは円形断面以外	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;"><u>5. 基面整正は含まない。</u></p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.27 プレキャストマンホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)】 山積 0.45m³(平積 0.35 m³) 2.9 t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)】 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊		K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)		材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基以下の場合	Z 2 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下の場合	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4 —		Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4 —		市場単価	S —		<p style="text-align: center;">5. 基面整正は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.27 プレキャストマンホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)】 山積 0.45m³(平積 0.35 m³) <u>吊能力 2.9 t</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">材料</td> <td>Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4 —</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)】 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) <u>吊能力 2.9 t</u>		K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手(特殊)		材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基以下の場合	Z 2 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下の場合	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油		市場単価	S —		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
作業区分	製品質量	基礎砕石の有無																																																																																									
据付	2,000kg/基以下	有り(円形断面)																																																																																									
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	無しまたは円形断面以外																																																																																									
撤去	2,000kg/基以下	—																																																																																									
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	—																																																																																									
据付・撤去	2,000kg/基以下	有り(円形断面)																																																																																									
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	無しまたは円形断面以外																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																									
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)】 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) 2.9 t 吊																																																																																										
	K 2 —																																																																																										
	K 3 —																																																																																										
労務	R 1 普通作業員																																																																																										
	R 2 土木一般世話役																																																																																										
	R 3 特殊作業員																																																																																										
	R 4 運転手(特殊)																																																																																										
材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基以下の場合																																																																																									
	Z 2 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下の場合																																																																																									
	Z 3 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 4 —																																																																																										
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 4 —																																																																																										
市場単価	S —																																																																																										
項目	代表機材規格	備考																																																																																									
機械	K 1 バックホウ(クローラ型)【標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)】 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³) <u>吊能力 2.9 t</u>																																																																																										
	K 2 —																																																																																										
	K 3 —																																																																																										
労務	R 1 普通作業員																																																																																										
	R 2 土木一般世話役																																																																																										
	R 3 特殊作業員																																																																																										
	R 4 運転手(特殊)																																																																																										
材料	Z 1 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×300mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基以下の場合																																																																																									
	Z 2 下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(斜壁 600×750×600mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(直壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(管取付け壁 750×1800mm) ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種(底版)	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が 2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下の場合																																																																																									
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																										
	Z 3 —																																																																																										
	Z 4 —																																																																																										
	Z 2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																										
市場単価	S —																																																																																										
頁	153	154																																																																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																	
<p>3-11 PC管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.28 PC管 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>管 径</th> <th>固定基礎</th> <th>生コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">据 付</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.29)</td> <td>90° 巻き</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(表3.5)</td> </tr> <tr> <td>180° 巻き</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> <td>無 し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、PC管の設置、基礎砕石、巻きコンクリート(コンクリート、型枠)、運搬距離30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 撤去作業、据付・撤去作業は、PC管のみを対象としている。</p>	作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格	据 付	(表3.29)	90° 巻き	(表3.5)	180° 巻き	撤 去	無 し	-	据付・撤去	-	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>		
作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格																
据 付	(表3.29)	90° 巻き	(表3.5)																
		180° 巻き																	
撤 去		無 し	-																
据付・撤去		-	-																
<p style="text-align: center;">表3.29 管径</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">管 径</td> <td>600mm</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">管 径</td> <td>1,200mm</td> </tr> <tr> <td>700mm</td> <td>1,350mm</td> </tr> <tr> <td>800mm</td> <td>1,500mm</td> </tr> <tr> <td>900mm</td> <td>1,650mm</td> </tr> <tr> <td>1,000mm</td> <td>1,800mm</td> </tr> <tr> <td>1,100mm</td> <td>2,000mm</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="color: red; font-size: small;">3. 基面修正は含まない。 4. 砕石、コンクリートのロスを含む。</p>	積算条件	区分	積算条件	区分	管 径	600mm	管 径	1,200mm	700mm	1,350mm	800mm	1,500mm	900mm	1,650mm	1,000mm	1,800mm	1,100mm	2,000mm	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
積算条件	区分	積算条件	区分																
管 径	600mm	管 径	1,200mm																
	700mm		1,350mm																
	800mm		1,500mm																
	900mm		1,650mm																
	1,000mm		1,800mm																
	1,100mm		2,000mm																
頁	154	155																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

頁	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																
155	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 65%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">機 械</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">K 1</td> <td>トラクタレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が700mm~1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,500mm~1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td>型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="20" style="text-align: center;">材 料</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">Z 1</td> <td>PC管 1種 外圧S形 管径600mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径700mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が700mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径800mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径900mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が900mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,000mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,100mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,100mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,200mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,350mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,500mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,650mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,800mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径2,000mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25(20)W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td>軽油 1. 2号 バトルール給油</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機 械	K 1	トラクタレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊	・賃料 ・管径が700mm~1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm~1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊	・賃料 ・管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K 3	—	—	労 務	R 1	普通作業員	—	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	R 3	運転手(特殊)	上記以外の場合	R 4	土木一般世話役	—	材 料	Z 1	PC管 1種 外圧S形 管径600mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が600mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径700mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が700mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が800mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径900mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が900mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,000mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,100mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,100mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,200mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,200mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,350mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,350mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,500mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,500mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,650mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,650mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,800mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径2,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が2,000mmの場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25(20)W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 3	軽油 1. 2号 バトルール給油	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.30 PC管 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 65%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">機 械</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">K 1</td> <td>トラクタレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が700mm~1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,500mm~1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊</td> <td>・賃料 ・管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td>普通作業員</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td>型わく工</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>上記以外の場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="text-align: center;">材 料</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">Z 1</td> <td>PC管 1種 外圧S形 管径600mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が600mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径700mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が700mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径800mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径900mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が900mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,000mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,100mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,100mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,200mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,200mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,350mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,350mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,500mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,500mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,650mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,650mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径1,800mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,800mmの場合</td> </tr> <tr> <td>PC管 1種 外圧S形 管径2,000mm×長さ4,000mm</td> <td>作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が2,000mmの場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25(20)W/C 60%</td> <td>固定基礎が有る場合</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td>軽油 1. 2号 バトルール給油</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機 械	K 1	トラクタレーン[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊	・賃料 ・管径が700mm~1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm~1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊	・賃料 ・管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K 3	—	—	労 務	R 1	普通作業員	—	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	R 3	運転手(特殊)	上記以外の場合	R 4	土木一般世話役	—	材 料	Z 1	PC管 1種 外圧S形 管径600mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が600mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径700mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が700mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が800mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径900mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が900mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,000mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,100mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,100mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,200mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,200mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,350mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,350mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,500mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,500mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,650mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,650mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径1,800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,800mmの場合	PC管 1種 外圧S形 管径2,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が2,000mmの場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25(20)W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 3	軽油 1. 2号 バトルール給油	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																	
機 械	K 1	トラクタレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊	・賃料 ・管径が700mm~1,350mmの場合																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm~1,650mmの場合																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																																																																																
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊	・賃料 ・管径が2,000mmの場合																																																																																																																																																
K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																																																																																																																																	
K 3	—	—																																																																																																																																																	
労 務	R 1	普通作業員	—																																																																																																																																																
	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																																																																																
	R 3	運転手(特殊)	上記以外の場合																																																																																																																																																
	R 4	土木一般世話役	—																																																																																																																																																
材 料	Z 1	PC管 1種 外圧S形 管径600mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が600mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径700mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が700mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が800mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径900mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が900mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,000mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,100mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,100mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,200mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,200mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,350mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,350mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,500mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,500mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,650mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,650mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,800mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径2,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が2,000mmの場合																																																																																																																																																
		Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25(20)W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																																																																															
		Z 3	軽油 1. 2号 バトルール給油	—																																																																																																																																															
		Z 4	—	—																																																																																																																																															
	市場単価	S	—																																																																																																																																																
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																
	機 械	K 1	トラクタレーン[油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合																																																																																																																																															
			ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]16t 吊	・賃料 ・管径が700mm~1,350mmの場合																																																																																																																																															
			ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm~1,650mmの場合																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊			・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊			・賃料 ・管径が2,000mmの場合																																																																																																																																																
K 2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																																																																																																																																	
K 3	—	—																																																																																																																																																	
労 務	R 1	普通作業員	—																																																																																																																																																
	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																																																																																																																
	R 3	運転手(特殊)	上記以外の場合																																																																																																																																																
	R 4	土木一般世話役	—																																																																																																																																																
材 料	Z 1	PC管 1種 外圧S形 管径600mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が600mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径700mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が700mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が800mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径900mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が900mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,000mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,100mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,100mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,200mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,200mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,350mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,350mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,500mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,500mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,650mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,650mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径1,800mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が1,800mmの場合																																																																																																																																																
		PC管 1種 外圧S形 管径2,000mm×長さ4,000mm	作業区分が据付又は据付・撤去、 管径が2,000mmの場合																																																																																																																																																
		Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25(20)W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																																																																																																															
		Z 3	軽油 1. 2号 バトルール給油	—																																																																																																																																															
		Z 4	—	—																																																																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																																																																																	
156																																																																																																																																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																													
<p>3-12 コルゲートパイプ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.31 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> <th>パイプ径</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">フランジ型</td> <td>250～600mm</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">円形</td> </tr> <tr> <td>750～900mm</td> </tr> <tr> <td>1,000～1,200mm</td> </tr> <tr> <td>1,300mm</td> </tr> <tr> <td>1,500～1,600mm</td> </tr> <tr> <td>1,800～2,200mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">(表 3. 32)</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">ラップ型</td> <td>2,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>2,500mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>3,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>3,500mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> <tr> <td>4,500mm</td> <td>円形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アーチ形</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コルゲートパイプの設置、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬及び組立等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="border: 1px solid red; display: inline-block; padding: 2px;">表3.32 作業区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">作業区分</td> <td style="text-align: center;">据 付</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤 去</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">据付・撤去</td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	規格	パイプ径	型式		フランジ型	250～600mm	円形	750～900mm	1,000～1,200mm	1,300mm	1,500～1,600mm	1,800～2,200mm	(表 3. 32)	ラップ型	2,000mm	円形		アーチ形	2,500mm	円形		アーチ形	3,000mm	円形		アーチ形	3,500mm	円形		アーチ形	4,000mm	円形		アーチ形	4,500mm	円形		アーチ形	積算条件	区分	作業区分	据 付	撤 去	据付・撤去	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">2. 基面修正は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
作業区分	規格	パイプ径	型式																																												
	フランジ型	250～600mm	円形																																												
		750～900mm																																													
		1,000～1,200mm																																													
		1,300mm																																													
		1,500～1,600mm																																													
		1,800～2,200mm																																													
(表 3. 32)	ラップ型	2,000mm	円形																																												
			アーチ形																																												
		2,500mm	円形																																												
			アーチ形																																												
		3,000mm	円形																																												
			アーチ形																																												
		3,500mm	円形																																												
			アーチ形																																												
		4,000mm	円形																																												
			アーチ形																																												
4,500mm	円形																																														
	アーチ形																																														
積算条件	区分																																														
作業区分	据 付																																														
	撤 去																																														
	据付・撤去																																														
頁	156	157																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																								
<p>3-13 コルゲートフリューム (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.34 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作業区分</th> <th style="text-align: center;">規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.32)</td> <td style="text-align: center;">350×350</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">400×400</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">500×500</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">600×600</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">700×700</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">800×750</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">900×800</td> </tr> <tr><td style="text-align: center;">1,000×850</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、コルゲートフリュームの設置、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬及び組立等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(増料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.35 コルゲートフリューム 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td><td style="text-align: center;">K 1</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">K 2</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">K 3</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td><td style="text-align: center;">R 1</td><td style="text-align: center;">普通作業員</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R 2</td><td style="text-align: center;">土木一般世帯役</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R 3</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R 4</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td rowspan="12" style="text-align: center;">材料</td><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が400×400の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が500×500の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が600×600の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が700×700の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が800×750の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が900×800の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が1,000×850の場合</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 2</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 3</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Z 4</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">市場単価</td><td style="text-align: center;">S</td><td style="text-align: center;">—</td></tr> </tbody> </table>	作業区分	規格	(表3.32)	350×350	400×400	500×500	600×600	700×700	800×750	900×800	1,000×850	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世帯役	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が400×400の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が500×500の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が600×600の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が700×700の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が800×750の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が900×800の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が1,000×850の場合	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<div style="text-align: center; margin-top: 50px;"> <p>現行どおり</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>2. 基面修正は含まない</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 50px;"> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>
作業区分	規格																																																									
(表3.32)	350×350																																																									
	400×400																																																									
	500×500																																																									
	600×600																																																									
	700×700																																																									
	800×750																																																									
	900×800																																																									
	1,000×850																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																								
機械	K 1	—																																																								
	K 2	—																																																								
	K 3	—																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																								
	R 2	土木一般世帯役																																																								
	R 3	—																																																								
	R 4	—																																																								
材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 350×350mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 400×400mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が400×400の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 500×500mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が500×500の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 600×600mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が600×600の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形 700×700mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が700×700の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 800×750mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が800×750の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 900×800mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が900×800の場合																																																								
	Z 1	コルゲートU型フリュームB形 1,000×850mm 板厚 1.6mm 作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が1,000×850の場合																																																								
	Z 2	—																																																								
	Z 3	—																																																								
	Z 4	—																																																								
	市場単価	S	—																																																							
頁	158	159																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考	
<div data-bbox="203 400 893 603" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑭ 排水構造物工 現場打ち水路(本体)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現場打ちのU型側溝(本体)に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 現場打ちのU型側溝(落蓋型を含む)の設置</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) プレキャスト製品の場合 (2) U型側溝(本体)の10m当りのコンクリート使用量が3.0m³未満、または9.0m³を超える場合</p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="443 679 633 1230" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <pre> graph TD A[床 掘] --> B[資 機 材 搬 入] B --> C[基礎砕石敷均し・転圧] C --> D[均し型枠製作・設置] D --> E[均しコンクリート打設・養生] E --> F[均し型枠撤去] F --> G[鉄筋加工・組立] G --> H[型枠製作・設置] H --> I[目地材設置] I --> J[コンクリート打設・養生] J --> K[型枠撤去] K --> L[資 機 材 搬 出] L --> M[埋 戻] </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. 基礎砕石、均しコンクリート、目地材の有無にかかわらず適用できる。</p>	<div data-bbox="1099 400 1736 616" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑭ 排水構造物工 現場打ち水路(本体)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現場打ちのU型側溝(本体)に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 現場打ちのU型側溝(落蓋型を含む)の設置</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) プレキャスト製品の場合 (2) U型側溝(本体)の10m当りのコンクリート使用量が3.0m³未満、または9.0m³を超える場合</p> </div> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>	
頁	159	160	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考															
<p>3. 施工パッケージ 3-1 現場打ち水路(本体) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 現場打ち水路(本体) 積算条件区分一覧 (積算単位: m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>内空高</th> <th>10m 当り コンクリート使用量</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.0m 以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒーテ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.0m 超</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.4)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒーテ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、現場打ちによるU型側溝のコンクリート打設、現場内小運搬(15m以内)、シュート・ホッパの架設・移動、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業を含む)、鉄筋、基礎砕石、均しコンクリート、養生、目地材の施工の他、雑機械器具(シュート・ホッパ・バイブレータ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材、電気ドリル、電気ノコギリ、つき固め機械等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. コンクリート、型枠、鉄筋、基礎砕石の材料ロスを含む。 3. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 雪寒仮囲いの養生が必要な場合は、「養生工無」を選択し別途計上する。 5. 蓋版は別途計上する。 6. 止水板が必要な場合は別途計上する。</p>	コンクリート規格	内空高	10m 当り コンクリート使用量	養生工の種類	(表3.2)	1.0m 以下	(表3.3)	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒーテ)	養生工無	1.0m 超	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒーテ)	養生工無	<div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p><u>7. 基面整正は含まない。</u></p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div>	<p>注意書きを追加</p>
コンクリート規格	内空高	10m 当り コンクリート使用量	養生工の種類														
(表3.2)	1.0m 以下	(表3.3)	一般養生・特殊養生(練炭)														
			特殊養生(ジェットヒーテ)														
			養生工無														
	1.0m 超	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)														
			特殊養生(ジェットヒーテ)														
			養生工無														
<p>160</p>	<p>161</p>																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																											
<p style="text-align: center;">表3.3 コンクリート使用量(内空高 1.0m 以下)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16" style="text-align: center;">10m当り コンクリート使用量</td><td>3.0m³/10m以上3.3m³/10m以下</td></tr> <tr><td>3.3m³/10m超3.6m³/10m以下</td></tr> <tr><td>3.6m³/10m超3.9m³/10m以下</td></tr> <tr><td>3.9m³/10m超4.2m³/10m以下</td></tr> <tr><td>4.2m³/10m超4.5m³/10m以下</td></tr> <tr><td>4.5m³/10m超4.8m³/10m以下</td></tr> <tr><td>4.8m³/10m超5.2m³/10m以下</td></tr> <tr><td>5.2m³/10m超5.6m³/10m以下</td></tr> <tr><td>5.6m³/10m超6.0m³/10m以下</td></tr> <tr><td>6.0m³/10m超6.4m³/10m以下</td></tr> <tr><td>6.4m³/10m超6.9m³/10m以下</td></tr> <tr><td>6.9m³/10m超7.4m³/10m以下</td></tr> <tr><td>7.4m³/10m超7.9m³/10m以下</td></tr> <tr><td>7.9m³/10m超8.4m³/10m以下</td></tr> <tr><td>8.4m³/10m超9.0m³/10m以下</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.4 コンクリート使用量(内空高 1.0m 超)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="text-align: center;">10m当り コンクリート使用量</td><td>5.5m³/10m以上5.8m³/10m以下</td></tr> <tr><td>5.8m³/10m超6.1m³/10m以下</td></tr> <tr><td>6.1m³/10m超6.4m³/10m以下</td></tr> <tr><td>6.4m³/10m超6.7m³/10m以下</td></tr> <tr><td>6.7m³/10m超7.0m³/10m以下</td></tr> <tr><td>7.0m³/10m超7.3m³/10m以下</td></tr> <tr><td>7.3m³/10m超7.7m³/10m以下</td></tr> <tr><td>7.7m³/10m超8.1m³/10m以下</td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126M J (30,100kcal)</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>内空高が 1.0m 超の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>内空高が 1.0m 超の場合</td> </tr> </tbody> </table> </div>	積算条件	区分	10m当り コンクリート使用量	3.0m ³ /10m以上3.3m ³ /10m以下	3.3m ³ /10m超3.6m ³ /10m以下	3.6m ³ /10m超3.9m ³ /10m以下	3.9m ³ /10m超4.2m ³ /10m以下	4.2m ³ /10m超4.5m ³ /10m以下	4.5m ³ /10m超4.8m ³ /10m以下	4.8m ³ /10m超5.2m ³ /10m以下	5.2m ³ /10m超5.6m ³ /10m以下	5.6m ³ /10m超6.0m ³ /10m以下	6.0m ³ /10m超6.4m ³ /10m以下	6.4m ³ /10m超6.9m ³ /10m以下	6.9m ³ /10m超7.4m ³ /10m以下	7.4m ³ /10m超7.9m ³ /10m以下	7.9m ³ /10m超8.4m ³ /10m以下	8.4m ³ /10m超9.0m ³ /10m以下	積算条件	区分	10m当り コンクリート使用量	5.5m ³ /10m以上5.8m ³ /10m以下	5.8m ³ /10m超6.1m ³ /10m以下	6.1m ³ /10m超6.4m ³ /10m以下	6.4m ³ /10m超6.7m ³ /10m以下	6.7m ³ /10m超7.0m ³ /10m以下	7.0m ³ /10m超7.3m ³ /10m以下	7.3m ³ /10m超7.7m ³ /10m以下	7.7m ³ /10m超8.1m ³ /10m以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2 ジェットヒータ 126M J (30,100kcal)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	内空高が 1.0m 超の場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 軽油 1. 2号 バトロール給油		市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	内空高が 1.0m 超の場合	<div style="font-size: 2em; margin-left: 20px; margin-bottom: 20px;">}</div> <p style="margin-left: 20px;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 現場打ち水路(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2 ジェットヒータ 126M J /h (30,100kca1/h)</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13</td> <td>内空高が 1.0m 超の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物</td> <td>内空高が 1.0m 超の場合</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2 ジェットヒータ 126M J /h (30,100kca1/h)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 型わく工		R 3 土木一般世話役		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	内空高が 1.0m 超の場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z 4 軽油 1. 2号 バトロール給油		市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	内空高が 1.0m 超の場合	<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																												
10m当り コンクリート使用量	3.0m ³ /10m以上3.3m ³ /10m以下																																																																																												
	3.3m ³ /10m超3.6m ³ /10m以下																																																																																												
	3.6m ³ /10m超3.9m ³ /10m以下																																																																																												
	3.9m ³ /10m超4.2m ³ /10m以下																																																																																												
	4.2m ³ /10m超4.5m ³ /10m以下																																																																																												
	4.5m ³ /10m超4.8m ³ /10m以下																																																																																												
	4.8m ³ /10m超5.2m ³ /10m以下																																																																																												
	5.2m ³ /10m超5.6m ³ /10m以下																																																																																												
	5.6m ³ /10m超6.0m ³ /10m以下																																																																																												
	6.0m ³ /10m超6.4m ³ /10m以下																																																																																												
	6.4m ³ /10m超6.9m ³ /10m以下																																																																																												
	6.9m ³ /10m超7.4m ³ /10m以下																																																																																												
	7.4m ³ /10m超7.9m ³ /10m以下																																																																																												
	7.9m ³ /10m超8.4m ³ /10m以下																																																																																												
	8.4m ³ /10m超9.0m ³ /10m以下																																																																																												
	積算条件	区分																																																																																											
10m当り コンクリート使用量	5.5m ³ /10m以上5.8m ³ /10m以下																																																																																												
	5.8m ³ /10m超6.1m ³ /10m以下																																																																																												
	6.1m ³ /10m超6.4m ³ /10m以下																																																																																												
	6.4m ³ /10m超6.7m ³ /10m以下																																																																																												
	6.7m ³ /10m超7.0m ³ /10m以下																																																																																												
	7.0m ³ /10m超7.3m ³ /10m以下																																																																																												
	7.3m ³ /10m超7.7m ³ /10m以下																																																																																												
	7.7m ³ /10m超8.1m ³ /10m以下																																																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																																																											
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																											
	K 2 ジェットヒータ 126M J (30,100kcal)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																											
	K 3 -																																																																																												
労務	R 1 普通作業員																																																																																												
	R 2 型わく工																																																																																												
	R 3 土木一般世話役																																																																																												
	R 4 特殊作業員																																																																																												
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																												
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	内空高が 1.0m 超の場合																																																																																											
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																											
	Z 4 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																												
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	内空高が 1.0m 超の場合																																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																																											
機械	K 1 バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																											
	K 2 ジェットヒータ 126M J /h (30,100kca1/h)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																											
	K 3 -																																																																																												
労務	R 1 普通作業員																																																																																												
	R 2 型わく工																																																																																												
	R 3 土木一般世話役																																																																																												
	R 4 特殊作業員																																																																																												
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																												
	Z 2 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	内空高が 1.0m 超の場合																																																																																											
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																											
	Z 4 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																												
市場単価	S 鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	内空高が 1.0m 超の場合																																																																																											
頁	161	162																																																																																											

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑮ 排水構造物工 現場打ち集水樹・街渠樹(本体)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現場打ちの集水樹・街渠樹(本体)に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 現場打ちの集水樹・街渠樹の設置</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) プレキャスト製品の場合 (2) コンクリート打設地上高さが2mを超える場合 (3) 集水樹・街渠樹(本体)の1箇所当りのコンクリート使用量が0.30m³未満、または3.42m³を超える場合</p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[床掘] --> B[資機材搬入] B --> C[基礎砕石敷均し・転圧] C --> D[型枠製作・設置] D --> E[コンクリート打設・養生] E --> F[型枠撤去] F --> G[資機材搬出] G --> H[埋戻] </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは二重実線部分のみである。 2. 基礎砕石の有無にかかわらず適用できる。</p>	<p>⑮ 排水構造物工 現場打ち集水樹・街渠樹(本体)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現場打ちの集水樹・街渠樹(本体)に適用する。</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲 (1) 現場打ちの集水樹・街渠樹の設置</p> <p>1-2 適用 <u>出来ない</u> 範囲 (1) プレキャスト製品の場合 (2) コンクリート打設地上高さが2mを超える場合 (3) 集水樹・街渠樹(本体)の1箇所当りのコンクリート使用量が0.30m³未満、または3.42m³を超える場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁 162	頁 163	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																			
<p>3. 施工パッケージ 3-1 現場打ち集水樹・街渠樹(本体) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 積算条件区分一覧 (積算単位:箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">コンクリート規格</th> <th style="width: 20%;">1箇所当り コンクリート使用量</th> <th style="width: 50%;">養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td style="text-align: center;">一般養生・特殊養生(雑炭)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、現場打ちによる集水樹・街渠樹のコンクリート打設、現場内小運搬(15m以内)、シュート・ホッパの架設・移動、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業を含む)、基礎砕石、養生の施工の他、雑機械器具(シュート・ホッパ・パイプレタ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材、電気ドリル、電気ノコギリ、つき固め機械等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. コンクリート、型枠、基礎砕石の材料ロスを含む。 3. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 雪寒仮囲いの養生が必要な場合は、「養生工無」を選択し別途計上する。 5. 蓋版は別途計上する。</p>	コンクリート規格	1箇所当り コンクリート使用量	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	一般養生・特殊養生(雑炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	<div style="text-align: center; margin-top: 50px;"> <p>現行どおり</p> </div> <div style="margin-top: 100px;"> <p>6. 足掛け金物は別途計上する。 7. 基面整正は含まない。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 50px;"> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>											
コンクリート規格	1箇所当り コンクリート使用量	養生工の種類																			
(表3.2)	(表3.3)	一般養生・特殊養生(雑炭)																			
		特殊養生(ジェットヒータ)																			
		養生工無																			
<p style="text-align: center;">表3.2 コンクリート規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">積算条件</th> <th style="width: 40%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="18" style="text-align: center;">コンクリート規格</td><td>21-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>27-8-25(20) (普通)</td></tr> <tr><td>18-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>21-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>24-8-40(普通)</td></tr> <tr><td>21-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-25(20) (高炉)</td></tr> <tr><td>18-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-40(高炉)</td></tr> <tr><td>21-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>24-8-25 (早強)</td></tr> <tr><td>18-8-25(高炉)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)	24-8-25(20) (普通)	27-8-25(20) (普通)	18-8-40(普通)	21-8-40(普通)	24-8-40(普通)	21-8-25(20) (高炉)	24-8-25(20) (高炉)	18-8-40(高炉)	21-8-40(高炉)	24-8-40(高炉)	21-8-25 (早強)	24-8-25 (早強)	18-8-25(高炉)	各種	<p style="text-align: center;">163</p>	<p style="text-align: center;">164</p>	<p>頁</p>
積算条件	区分																				
コンクリート規格	21-8-25(20) (普通)																				
	24-8-25(20) (普通)																				
	27-8-25(20) (普通)																				
	18-8-40(普通)																				
	21-8-40(普通)																				
	24-8-40(普通)																				
	21-8-25(20) (高炉)																				
	24-8-25(20) (高炉)																				
	18-8-40(高炉)																				
	21-8-40(高炉)																				
	24-8-40(高炉)																				
	21-8-25 (早強)																				
	24-8-25 (早強)																				
	18-8-25(高炉)																				
	各種																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																	
<p style="text-align: center;">表3.3 1箇所当りコンクリート使用量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">積算条件</th> <th style="width: 15%;">区分</th> <th style="width: 15%;">積算条件</th> <th style="width: 15%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20" style="text-align: center;">1箇所当り コンクリート使用量</td><td>0.30m3以上0.32m3以下</td><td rowspan="20" style="text-align: center;">1箇所当り コンクリート使用量</td><td>1.09m3超1.15m3以下</td></tr> <tr><td>0.32m3超0.34m3以下</td><td>1.15m3超1.22m3以下</td></tr> <tr><td>0.34m3超0.36m3以下</td><td>1.22m3超1.29m3以下</td></tr> <tr><td>0.36m3超0.38m3以下</td><td>1.29m3超1.36m3以下</td></tr> <tr><td>0.38m3超0.40m3以下</td><td>1.36m3超1.44m3以下</td></tr> <tr><td>0.40m3超0.43m3以下</td><td>1.44m3超1.52m3以下</td></tr> <tr><td>0.43m3超0.46m3以下</td><td>1.52m3超1.61m3以下</td></tr> <tr><td>0.46m3超0.49m3以下</td><td>1.61m3超1.70m3以下</td></tr> <tr><td>0.49m3超0.52m3以下</td><td>1.70m3超1.80m3以下</td></tr> <tr><td>0.52m3超0.55m3以下</td><td>1.80m3超1.90m3以下</td></tr> <tr><td>0.55m3超0.58m3以下</td><td>1.90m3超2.00m3以下</td></tr> <tr><td>0.58m3超0.61m3以下</td><td>2.00m3超2.11m3以下</td></tr> <tr><td>0.61m3超0.65m3以下</td><td>2.11m3超2.23m3以下</td></tr> <tr><td>0.65m3超0.69m3以下</td><td>2.23m3超2.35m3以下</td></tr> <tr><td>0.69m3超0.73m3以下</td><td>2.35m3超2.48m3以下</td></tr> <tr><td>0.73m3超0.77m3以下</td><td>2.48m3超2.62m3以下</td></tr> <tr><td>0.77m3超0.82m3以下</td><td>2.62m3超2.77m3以下</td></tr> <tr><td>0.82m3超0.87m3以下</td><td>2.77m3超2.92m3以下</td></tr> <tr><td>0.87m3超0.92m3以下</td><td>2.92m3超3.08m3以下</td></tr> <tr><td>0.92m3超0.97m3以下</td><td>3.08m3超3.25m3以下</td></tr> <tr><td>0.97m3超1.03m3以下</td><td>3.25m3超3.42m3以下</td></tr> <tr><td>1.03m3超1.09m3以下</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.4 現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	積算条件	区分	1箇所当り コンクリート使用量	0.30m3以上0.32m3以下	1箇所当り コンクリート使用量	1.09m3超1.15m3以下	0.32m3超0.34m3以下	1.15m3超1.22m3以下	0.34m3超0.36m3以下	1.22m3超1.29m3以下	0.36m3超0.38m3以下	1.29m3超1.36m3以下	0.38m3超0.40m3以下	1.36m3超1.44m3以下	0.40m3超0.43m3以下	1.44m3超1.52m3以下	0.43m3超0.46m3以下	1.52m3超1.61m3以下	0.46m3超0.49m3以下	1.61m3超1.70m3以下	0.49m3超0.52m3以下	1.70m3超1.80m3以下	0.52m3超0.55m3以下	1.80m3超1.90m3以下	0.55m3超0.58m3以下	1.90m3超2.00m3以下	0.58m3超0.61m3以下	2.00m3超2.11m3以下	0.61m3超0.65m3以下	2.11m3超2.23m3以下	0.65m3超0.69m3以下	2.23m3超2.35m3以下	0.69m3超0.73m3以下	2.35m3超2.48m3以下	0.73m3超0.77m3以下	2.48m3超2.62m3以下	0.77m3超0.82m3以下	2.62m3超2.77m3以下	0.82m3超0.87m3以下	2.77m3超2.92m3以下	0.87m3超0.92m3以下	2.92m3超3.08m3以下	0.92m3超0.97m3以下	3.08m3超3.25m3以下	0.97m3超1.03m3以下	3.25m3超3.42m3以下	1.03m3超1.09m3以下	-	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料	K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">表3.4 現場打ち集水樹・街渠樹(本体) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ / <u>h</u> (30,100kcal/<u>h</u>)</td> <td>・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>特殊養生(ジェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料	K2 ジェットヒータ 126MJ / <u>h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 型わく工		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合	Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積算条件	区分	積算条件	区分																																																																																																																
1箇所当り コンクリート使用量	0.30m3以上0.32m3以下	1箇所当り コンクリート使用量	1.09m3超1.15m3以下																																																																																																																
	0.32m3超0.34m3以下		1.15m3超1.22m3以下																																																																																																																
	0.34m3超0.36m3以下		1.22m3超1.29m3以下																																																																																																																
	0.36m3超0.38m3以下		1.29m3超1.36m3以下																																																																																																																
	0.38m3超0.40m3以下		1.36m3超1.44m3以下																																																																																																																
	0.40m3超0.43m3以下		1.44m3超1.52m3以下																																																																																																																
	0.43m3超0.46m3以下		1.52m3超1.61m3以下																																																																																																																
	0.46m3超0.49m3以下		1.61m3超1.70m3以下																																																																																																																
	0.49m3超0.52m3以下		1.70m3超1.80m3以下																																																																																																																
	0.52m3超0.55m3以下		1.80m3超1.90m3以下																																																																																																																
	0.55m3超0.58m3以下		1.90m3超2.00m3以下																																																																																																																
	0.58m3超0.61m3以下		2.00m3超2.11m3以下																																																																																																																
	0.61m3超0.65m3以下		2.11m3超2.23m3以下																																																																																																																
	0.65m3超0.69m3以下		2.23m3超2.35m3以下																																																																																																																
	0.69m3超0.73m3以下		2.35m3超2.48m3以下																																																																																																																
	0.73m3超0.77m3以下		2.48m3超2.62m3以下																																																																																																																
	0.77m3超0.82m3以下		2.62m3超2.77m3以下																																																																																																																
	0.82m3超0.87m3以下		2.77m3超2.92m3以下																																																																																																																
	0.87m3超0.92m3以下		2.92m3超3.08m3以下																																																																																																																
	0.92m3超0.97m3以下		3.08m3超3.25m3以下																																																																																																																
0.97m3超1.03m3以下	3.25m3超3.42m3以下																																																																																																																		
1.03m3超1.09m3以下	-																																																																																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																	
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料																																																																																																																	
	K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																																																	
	K3 -																																																																																																																		
労務	R1 普通作業員																																																																																																																		
	R2 型わく工																																																																																																																		
	R3 土木一般世話役																																																																																																																		
	R4 特殊作業員																																																																																																																		
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																																		
	Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																																		
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																																																	
	Z4 -																																																																																																																		
市場単価	S -																																																																																																																		
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																	
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	賃料																																																																																																																	
	K2 ジェットヒータ 126MJ / <u>h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・特殊養生(ジェットヒータ)の場合 ・賃料																																																																																																																	
	K3 -																																																																																																																		
労務	R1 普通作業員																																																																																																																		
	R2 型わく工																																																																																																																		
	R3 土木一般世話役																																																																																																																		
	R4 特殊作業員																																																																																																																		
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																																																																																		
	Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																																		
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ジェットヒータ)の場合																																																																																																																	
	Z4 -																																																																																																																		
市場単価	S -																																																																																																																		
頁	164	165																																																																																																																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>⑰ 軟弱地盤処理工(粉体噴射攪拌工(DJM工法))</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射攪拌工(改良材がセメント系及び石灰系の場合)に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 粉体噴射攪拌 以下のいずれかの条件に該当する場合 (1) 杭径1,000mm、打設長が3mを超え33m以下で軸間距離800mmから1,500mmの二軸施工の場合 (2) 杭径1,000mm、打設長が3mを超え20m以下で下記条件のいずれかに該当する単軸施工の場合 ・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合 ・杭の配列により二軸施工が困難な場合 ・地盤条件により二軸施工が困難な場合</p> <p>1-1-2 粉体噴射攪拌(移設) 以下のいずれかの条件に該当する場合 (1) 施工範囲が改良材供給機を中心に半径約75mを超え、改良材供給設備を移設しなければならない場合 (2) 同一現場内に施工箇所が2カ所以上あり、改良材供給設備を移設しなければならない場合</p> <p>1-1-3 粉体噴射攪拌(軸間変更) (1) 二軸施工の場合に同一現場において、粉体噴射攪拌機の軸間変更を必要とする場合</p> <p>2. 施工概要 (1) 施工フロー</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	167	168

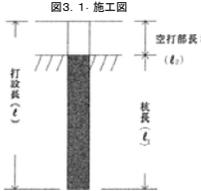
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																														
<p>3. 施工パッケージ 3-1 粉体噴射攪拌 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 粉体噴射攪拌 積算条件区分一覧 (積算単位:本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現場制約の有無</th> <th>打設長</th> <th>杭長</th> <th>改良材使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">有り</td> <td rowspan="6">3m 超え 6m 未満</td> <td>2m 未満</td> <td rowspan="18">実数入力 (t/m)</td> </tr> <tr><td>2m 以上 3m 未満</td></tr> <tr><td>3m 以上 4m 未満</td></tr> <tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr> <tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr> <tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="6">6m 以上 10m 未満</td> <td>5m 以上 6m 未満</td> </tr> <tr><td>6m 以上 7m 未満</td></tr> <tr><td>7m 以上 8m 未満</td></tr> <tr><td>8m 以上 9m 未満</td></tr> <tr><td>9m 以上 10m 未満</td></tr> <tr><td>8m 以上 9m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="6">10m 以上 14m 未満</td> <td>9m 以上 10m 未満</td> </tr> <tr><td>10m 以上 12m 未満</td></tr> <tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr> <tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr> <tr><td>14m 以上 15m 未満</td></tr> <tr><td>15m 以上 17m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="6">14m 以上 17m 未満</td> <td>15m 以上 17m 未満</td> </tr> <tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr> <tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr> <tr><td>2m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">3m 超え 6m 未満</td> <td>2m 以上 3m 未満</td> </tr> <tr><td>3m 以上 4m 未満</td></tr> <tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr> <tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr> <tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr> </tbody> </table>	現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量	有り	3m 超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)	2m 以上 3m 未満	3m 以上 4m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	4m 以上 5m 未満	6m 以上 10m 未満	5m 以上 6m 未満	6m 以上 7m 未満	7m 以上 8m 未満	8m 以上 9m 未満	9m 以上 10m 未満	8m 以上 9m 未満	10m 以上 14m 未満	9m 以上 10m 未満	10m 以上 12m 未満	12m 以上 14m 未満	12m 以上 14m 未満	14m 以上 15m 未満	15m 以上 17m 未満	14m 以上 17m 未満	15m 以上 17m 未満	17m 以上 20m 以下	17m 以上 20m 以下	2m 未満	無し	3m 超え 6m 未満	2m 以上 3m 未満	3m 以上 4m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	5m 以上 6m 未満	<p>現行どおり</p> <p>表3.1 粉体噴射攪拌 積算条件区分一覧 (積算単位:本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現場制約の有無</th> <th>打設長</th> <th>杭長</th> <th>改良材使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18">有り</td> <td rowspan="6">3m を超え 6m 未満</td> <td>2m 未満</td> <td rowspan="18">実数入力 (t/m)</td> </tr> <tr><td>2m 以上 3m 未満</td></tr> <tr><td>3m 以上 4m 未満</td></tr> <tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr> <tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr> <tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="6">6m 以上 10m 未満</td> <td>5m 以上 6m 未満</td> </tr> <tr><td>6m 以上 7m 未満</td></tr> <tr><td>7m 以上 8m 未満</td></tr> <tr><td>8m 以上 9m 未満</td></tr> <tr><td>9m 以上 10m 未満</td></tr> <tr><td>8m 以上 9m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="6">10m 以上 14m 未満</td> <td>9m 以上 10m 未満</td> </tr> <tr><td>10m 以上 12m 未満</td></tr> <tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr> <tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr> <tr><td>14m 以上 15m 未満</td></tr> <tr><td>15m 以上 17m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="6">14m 以上 17m 未満</td> <td>15m 以上 17m 未満</td> </tr> <tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr> <tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr> <tr><td>2m 未満</td></tr> <tr> <td rowspan="5">無し</td> <td rowspan="5">3m を超え 6m 未満</td> <td>2m 以上 3m 未満</td> </tr> <tr><td>3m 以上 4m 未満</td></tr> <tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr> <tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr> <tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr> </tbody> </table>	現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量	有り	3m を 超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)	2m 以上 3m 未満	3m 以上 4m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	4m 以上 5m 未満	6m 以上 10m 未満	5m 以上 6m 未満	6m 以上 7m 未満	7m 以上 8m 未満	8m 以上 9m 未満	9m 以上 10m 未満	8m 以上 9m 未満	10m 以上 14m 未満	9m 以上 10m 未満	10m 以上 12m 未満	12m 以上 14m 未満	12m 以上 14m 未満	14m 以上 15m 未満	15m 以上 17m 未満	14m 以上 17m 未満	15m 以上 17m 未満	17m 以上 20m 以下	17m 以上 20m 以下	2m 未満	無し	3m を 超え 6m 未満	2m 以上 3m 未満	3m 以上 4m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	5m 以上 6m 未満	<p>語句の修正</p>
現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量																																																																													
有り	3m 超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)																																																																													
		2m 以上 3m 未満																																																																														
		3m 以上 4m 未満																																																																														
		4m 以上 5m 未満																																																																														
		5m 以上 6m 未満																																																																														
		4m 以上 5m 未満																																																																														
	6m 以上 10m 未満	5m 以上 6m 未満																																																																														
		6m 以上 7m 未満																																																																														
		7m 以上 8m 未満																																																																														
		8m 以上 9m 未満																																																																														
		9m 以上 10m 未満																																																																														
		8m 以上 9m 未満																																																																														
	10m 以上 14m 未満	9m 以上 10m 未満																																																																														
		10m 以上 12m 未満																																																																														
		12m 以上 14m 未満																																																																														
		12m 以上 14m 未満																																																																														
		14m 以上 15m 未満																																																																														
		15m 以上 17m 未満																																																																														
14m 以上 17m 未満	15m 以上 17m 未満																																																																															
	17m 以上 20m 以下																																																																															
	17m 以上 20m 以下																																																																															
	2m 未満																																																																															
	無し	3m 超え 6m 未満	2m 以上 3m 未満																																																																													
			3m 以上 4m 未満																																																																													
4m 以上 5m 未満																																																																																
5m 以上 6m 未満																																																																																
5m 以上 6m 未満																																																																																
現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量																																																																													
有り	3m を 超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)																																																																													
		2m 以上 3m 未満																																																																														
		3m 以上 4m 未満																																																																														
		4m 以上 5m 未満																																																																														
		5m 以上 6m 未満																																																																														
		4m 以上 5m 未満																																																																														
	6m 以上 10m 未満	5m 以上 6m 未満																																																																														
		6m 以上 7m 未満																																																																														
		7m 以上 8m 未満																																																																														
		8m 以上 9m 未満																																																																														
		9m 以上 10m 未満																																																																														
		8m 以上 9m 未満																																																																														
	10m 以上 14m 未満	9m 以上 10m 未満																																																																														
		10m 以上 12m 未満																																																																														
		12m 以上 14m 未満																																																																														
		12m 以上 14m 未満																																																																														
		14m 以上 15m 未満																																																																														
		15m 以上 17m 未満																																																																														
14m 以上 17m 未満	15m 以上 17m 未満																																																																															
	17m 以上 20m 以下																																																																															
	17m 以上 20m 以下																																																																															
	2m 未満																																																																															
	無し	3m を 超え 6m 未満	2m 以上 3m 未満																																																																													
			3m 以上 4m 未満																																																																													
4m 以上 5m 未満																																																																																
5m 以上 6m 未満																																																																																
5m 以上 6m 未満																																																																																
頁	168	169																																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">現場制約の有無</th> <th style="width: 15%;">打設長</th> <th style="width: 15%;">杭長</th> <th style="width: 15%;">改良材使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">無し</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">6m以上10m未満</td> <td style="text-align: center;">4m以上5m未満</td> <td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">実数入力 (t/m)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5m以上6m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6m以上7m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7m以上8m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8m以上9m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">10m以上15m未満</td> <td style="text-align: center;">9m以上10m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8m以上9m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9m以上10m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10m以上12m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12m以上14m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">15m以上20m以下</td> <td style="text-align: center;">14m以上15m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15m以上17m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17m以上20m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17m以上20m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20m超え27m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">27m以上33m以下</td> <td style="text-align: center;">20m超え23m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23m以上27m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23m以上27m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">27m以上32m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">32m以上33m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 上表は、粉体改良材の噴射攪拌による改良柱の形成、施工機械用及び改良材供給設備用足場材(敷鉄板)の設置・撤去、改良後の整地、足場材資料、空気圧縮機の資料及び運転経費、特許使用料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等)を含む。</p> <p style="font-size: small;">2. 攪拌翼が貫入できない場合や引抜きに障害となる転石等の除去は、掘削の施工パッケージを別途計上する。</p> <p style="font-size: small;">3. 現場制約の有無について 有り：下記の条件のいずれかに該当する場合に選択 ・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合 ・杭の配列により二軸施工が困難な場合 ・地盤条件により二軸施工が困難な場合</p> <p style="font-size: small;">4. 打設長(m)は次式による。 打設長(m) = 空打部長さ + 杭長</p> <p style="font-size: small;">5. 安定処理工(土木用安定シートも含む)の施工経費は、別途計上する。</p> <p style="font-size: small;">6. 改良材使用量 改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。なお、改良材のロス(損失+杭頭・着底部処理を含む)を含んでいるので、改良材使用量は実数量(ロスによる割増をしない数量)とする。</p> <p style="font-size: small;">7. 施工本数は杭間の移動、位置決め、貫入、引抜き(改良材噴射)までの一連の作業のものである。</p> <p style="font-size: small;">8. 現場内移設に伴い、粉体噴射攪拌機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立費を別途計上する。</p> <p style="font-size: small;">9. 改良材供給設備の現場内移設は、3-2粉体噴射攪拌(移設)より別途計上する。</p> <p style="font-size: small;">10. 軸間変更を行う場合は、3-3粉体噴射攪拌(軸間変更)より別途計上する。</p>	現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量	無し	6m以上10m未満	4m以上5m未満	実数入力 (t/m)	5m以上6m未満	6m以上7m未満	7m以上8m未満	8m以上9m未満	10m以上15m未満	9m以上10m未満	8m以上9m未満	9m以上10m未満	10m以上12m未満	12m以上14m未満	15m以上20m以下	14m以上15m未満	15m以上17m未満	17m以上20m以下	17m以上20m以下	20m超え27m未満	27m以上33m以下	20m超え23m未満	23m以上27m未満	23m以上27m未満	27m以上32m未満	32m以上33m以下	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">現場制約の有無</th> <th style="width: 15%;">打設長</th> <th style="width: 15%;">杭長</th> <th style="width: 15%;">改良材使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">無し</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">6m以上10m未満</td> <td style="text-align: center;">4m以上5m未満</td> <td rowspan="20" style="text-align: center; vertical-align: middle;">実数入力 (t/m)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5m以上6m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6m以上7m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7m以上8m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8m以上9m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">10m以上15m未満</td> <td style="text-align: center;">9m以上10m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8m以上9m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9m以上10m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10m以上12m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12m以上14m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">15m以上20m以下</td> <td style="text-align: center;">14m以上15m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15m以上17m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17m以上20m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">17m以上20m以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20m超え27m未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">27m以上33m以下</td> <td style="text-align: center;">20m超え23m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23m以上27m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23m以上27m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">27m以上32m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">32m以上33m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; text-align: center;">現行どおり</p>	現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量	無し	6m以上10m未満	4m以上5m未満	実数入力 (t/m)	5m以上6m未満	6m以上7m未満	7m以上8m未満	8m以上9m未満	10m以上15m未満	9m以上10m未満	8m以上9m未満	9m以上10m未満	10m以上12m未満	12m以上14m未満	15m以上20m以下	14m以上15m未満	15m以上17m未満	17m以上20m以下	17m以上20m以下	20m超え27m未満	27m以上33m以下	20m超え23m未満	23m以上27m未満	23m以上27m未満	27m以上32m未満	32m以上33m以下	<p>語句の修正</p>
現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量																																																											
無し	6m以上10m未満	4m以上5m未満	実数入力 (t/m)																																																											
		5m以上6m未満																																																												
		6m以上7m未満																																																												
		7m以上8m未満																																																												
		8m以上9m未満																																																												
	10m以上15m未満	9m以上10m未満																																																												
		8m以上9m未満																																																												
		9m以上10m未満																																																												
		10m以上12m未満																																																												
		12m以上14m未満																																																												
	15m以上20m以下	14m以上15m未満																																																												
		15m以上17m未満																																																												
		17m以上20m以下																																																												
		17m以上20m以下																																																												
		20m超え27m未満																																																												
	27m以上33m以下	20m超え23m未満																																																												
		23m以上27m未満																																																												
		23m以上27m未満																																																												
		27m以上32m未満																																																												
		32m以上33m以下																																																												
現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量																																																											
無し	6m以上10m未満	4m以上5m未満	実数入力 (t/m)																																																											
		5m以上6m未満																																																												
		6m以上7m未満																																																												
		7m以上8m未満																																																												
		8m以上9m未満																																																												
	10m以上15m未満	9m以上10m未満																																																												
		8m以上9m未満																																																												
		9m以上10m未満																																																												
		10m以上12m未満																																																												
		12m以上14m未満																																																												
	15m以上20m以下	14m以上15m未満																																																												
		15m以上17m未満																																																												
		17m以上20m以下																																																												
		17m以上20m以下																																																												
		20m超え27m未満																																																												
	27m以上33m以下	20m超え23m未満																																																												
		23m以上27m未満																																																												
		23m以上27m未満																																																												
		27m以上32m未満																																																												
		32m以上33m以下																																																												
頁	169	170																																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																								
<div style="text-align: center;">  <p>図3.1. 施工図</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.2 粉体噴射攪拌 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="3">K 1</td> <td>粉体噴射攪拌機 [単軸(油圧)・スキッド式] 攪拌機形式油圧 117 19.6kN・m×1台 最大改良深度2.0m</td> <td>現場制約有りの場合</td> </tr> <tr> <td>粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式電動 5.5 kW×2台 最大改良深度2.6m</td> <td>現場制約無し (打設長20m以下)の場合</td> </tr> <tr> <td>粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式電動 9.0 kW×2台 最大改良深度3.3m</td> <td>現場制約無し (打設長20m超え)の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>セメント 高炉B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1, 2号 バトロール給油</td> <td>現場制約無しの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 粉体噴射攪拌(移設) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.3 粉体噴射攪拌(移設) 積算条件区分一覧</caption> <thead> <tr> <th>積算単位(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工方法</td> </tr> <tr> <td>単軸施工</td> </tr> <tr> <td>二軸施工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は粉体噴射攪拌における改良材供給機、改良材貯蔵槽、発動発電機、空気圧縮機、圧縮空気除湿機、空気槽、制御室、ホース及びケーブル等の設備の移設、制御室移設後の調整費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等)を含む。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	粉体噴射攪拌機 [単軸(油圧)・スキッド式] 攪拌機形式油圧 117 19.6kN・m×1台 最大改良深度2.0m	現場制約有りの場合	粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式電動 5.5 kW×2台 最大改良深度2.6m	現場制約無し (打設長20m以下)の場合	粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式電動 9.0 kW×2台 最大改良深度3.3m	現場制約無し (打設長20m超え)の場合		K 2	—			K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手(特殊)		R 4	普通作業員		材料	Z 1	セメント 高炉B		Z 2	軽油 1, 2号 バトロール給油	現場制約無しの場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		積算単位(回)	施工方法	単軸施工	二軸施工	<div style="text-align: center;"> <p>現行どおり</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>表3.2 粉体噴射攪拌 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td rowspan="3">K 1</td> <td>粉体噴射攪拌機 [単軸(油圧)・スキッド式] 攪拌機形式 117 19.6kN・m×1台 最大改良深度2.0m</td> <td>現場制約有りの場合</td> </tr> <tr> <td>粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式 5.5 kW×2台 最大改良深度2.6m</td> <td>現場制約無し (打設長20m以下)の場合</td> </tr> <tr> <td>粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式 9.0 kW×2台 最大改良深度3.3m</td> <td>現場制約無し (打設長20m超え)の場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>セメント 高炉B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1, 2号 バトロール給油</td> <td>現場制約無しの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;"> <p>現行どおり</p> </div> <p style="text-align: right;">語句の修正</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	粉体噴射攪拌機 [単軸(油圧)・スキッド式] 攪拌機形式 117 19.6kN・m×1台 最大改良深度2.0m	現場制約有りの場合	粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式 5.5 kW×2台 最大改良深度2.6m	現場制約無し (打設長20m以下)の場合	粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式 9.0 kW×2台 最大改良深度3.3m	現場制約無し (打設長20m超え)の場合		K 2	—			K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手(特殊)		R 4	普通作業員		材料	Z 1	セメント 高炉B		Z 2	軽油 1, 2号 バトロール給油	現場制約無しの場合	Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		
項目	代表機材規格		備考																																																																																																							
機械	K 1	粉体噴射攪拌機 [単軸(油圧)・スキッド式] 攪拌機形式油圧 117 19.6kN・m×1台 最大改良深度2.0m	現場制約有りの場合																																																																																																							
		粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式電動 5.5 kW×2台 最大改良深度2.6m	現場制約無し (打設長20m以下)の場合																																																																																																							
		粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式電動 9.0 kW×2台 最大改良深度3.3m	現場制約無し (打設長20m超え)の場合																																																																																																							
	K 2	—																																																																																																								
	K 3	—																																																																																																								
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																																								
	R 3	運転手(特殊)																																																																																																								
	R 4	普通作業員																																																																																																								
材料	Z 1	セメント 高炉B																																																																																																								
	Z 2	軽油 1, 2号 バトロール給油	現場制約無しの場合																																																																																																							
	Z 3	—																																																																																																								
	Z 4	—																																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																																								
積算単位(回)																																																																																																										
施工方法																																																																																																										
単軸施工																																																																																																										
二軸施工																																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																																							
機械	K 1	粉体噴射攪拌機 [単軸(油圧)・スキッド式] 攪拌機形式 117 19.6kN・m×1台 最大改良深度2.0m	現場制約有りの場合																																																																																																							
		粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式 5.5 kW×2台 最大改良深度2.6m	現場制約無し (打設長20m以下)の場合																																																																																																							
		粉体噴射攪拌機 [二軸(電動)・クローラ式] 攪拌機形式 9.0 kW×2台 最大改良深度3.3m	現場制約無し (打設長20m超え)の場合																																																																																																							
	K 2	—																																																																																																								
	K 3	—																																																																																																								
労務	R 1	特殊作業員																																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																																								
	R 3	運転手(特殊)																																																																																																								
	R 4	普通作業員																																																																																																								
材料	Z 1	セメント 高炉B																																																																																																								
	Z 2	軽油 1, 2号 バトロール給油	現場制約無しの場合																																																																																																							
	Z 3	—																																																																																																								
	Z 4	—																																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																																								
頁	170	171																																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 グラウト注入(アンカー) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>普通ポルトランドセメント 25kg 袋入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 ボーリングマシン移設 (アンカー)</p> <p>(1) 条件区分 ボーリングマシン移設 (アンカー) における積算条件区分はない。 積算単位は回とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 ボーリングマシン移設(アンカー) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">(注) 1. スキッド型ボーリングマシンの据付・撤去及び上下移動 (移設) 等、その他の施工に必要な全 ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。 2. 横移動は、3-1 削孔 (アンカー) に含む。</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	—																																																																																								
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																								
	R 3	特殊作業員																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	賃料																																																																																							
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																								
	R 3	特殊作業員																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	—																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	177	178																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>② か ご 工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設におけるかご工を除くかご工のうち、じゃかご（径45、60cm）及びふとんかご（パネル式、高さ40～60cm、幅120cm）の施工に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> <p>(1) じゃかご</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>(2) ふとんかご（スロープ式）</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>(3) ふとんかご（階段式）</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">なお、地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における場合には本資料は適用せず、「土木工事標準歩掛 第10章 地すべり防止工（かご工）」による。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	適用範囲を明確化
頁	187	188

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																												
<p>3. 施工パッケージ 3-1 ジャかご (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ジャかご 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ジャかご径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">設置</td> <td>径 45cm</td> </tr> <tr> <td>径 60cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去</td> <td>径 45cm</td> </tr> <tr> <td>径 60cm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ジャかご据付のための法面整形、床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・据付け、詰石、かご緊結、埋戻し及び現場内小運搬(平均運搬距離 30m程度まで)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 吸出し防止材は全面設置、厚さは10mmを標準とする。 3. 止杭を必要とする場合は、「3-3 止杭打込」を別途計上すること。 4. 吸出し防止材、詰石材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ジャかご 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 詰石 割ぐり石 150-200mm</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Z 3</td> <td>鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-7 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 45cm</td> <td>・撤去は除く ・ジャかご径 45cm の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-3 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 60cm</td> <td>・撤去は除く ・ジャかご径 60cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	ジャかご径	設置	径 45cm	径 60cm	撤去	径 45cm	径 60cm	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)		K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手(特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 2 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く	Z 3	鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-7 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 45cm	・撤去は除く ・ジャかご径 45cm の場合	鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-3 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 60cm	・撤去は除く ・ジャかご径 60cm の場合	Z 4 吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く	市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ジャかご 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m³(平積 0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 詰石 割ぐり石 150-200mm</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">Z 3</td> <td>鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-7 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 45cm</td> <td>・撤去は除く ・ジャかご径 45cm の場合</td> </tr> <tr> <td>鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-3 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 60cm</td> <td>・撤去は除く ・ジャかご径 60cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">語句の修正</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)		K 2 -		K 3 -		労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 運転手(特殊)		R 4 土木一般世話役		材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 2 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く	Z 3	鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-7 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 45cm	・撤去は除く ・ジャかご径 45cm の場合	鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-3 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 60cm	・撤去は除く ・ジャかご径 60cm の場合	Z 4 吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く	市場単価	S -		
作業区分	ジャかご径																																																																													
設置	径 45cm																																																																													
	径 60cm																																																																													
撤去	径 45cm																																																																													
	径 60cm																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																																																																													
	K 2 -																																																																													
	K 3 -																																																																													
労務	R 1 普通作業員																																																																													
	R 2 特殊作業員																																																																													
	R 3 運転手(特殊)																																																																													
	R 4 土木一般世話役																																																																													
材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																													
	Z 2 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く																																																																												
	Z 3	鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-7 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 45cm	・撤去は除く ・ジャかご径 45cm の場合																																																																											
		鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-3 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 60cm	・撤去は除く ・ジャかご径 60cm の場合																																																																											
	Z 4 吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く																																																																												
市場単価	S -																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K 1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)																																																																													
	K 2 -																																																																													
	K 3 -																																																																													
労務	R 1 普通作業員																																																																													
	R 2 特殊作業員																																																																													
	R 3 運転手(特殊)																																																																													
	R 4 土木一般世話役																																																																													
材料	Z 1 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																													
	Z 2 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く																																																																												
	Z 3	鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-7 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 45cm	・撤去は除く ・ジャかご径 45cm の場合																																																																											
		鉄線ジャかご 円筒形ジャかご GS-3 線径 4.0mm (#8) 網目 13cm 径 60cm	・撤去は除く ・ジャかご径 60cm の場合																																																																											
	Z 4 吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く																																																																												
市場単価	S -																																																																													
頁	188	189																																																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																													
<p>3-2 ふとんかご (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 ふとんかご 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ふとんかご種別</th> <th>ふとんかご規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">設置</td> <td rowspan="3">スロープ式</td> <td>40cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>50cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>60cm×120cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">階段式</td> <td>40cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>50cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>60cm×120cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">撤去</td> <td rowspan="3">スロープ式</td> <td>40cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>50cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>60cm×120cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">階段式</td> <td>40cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>50cm×120cm</td> </tr> <tr> <td>60cm×120cm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、ふとんかご据付のための床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・据付け、詰石、蓋設置、埋戻し(階段式のみ)及び現場内小運搬(平均運搬距離 30m程度まで)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 吸出し防止材は全面設置、厚さは10mmを標準とする。本パッケージはふとんかご(階段式)の段数によらず適用できる。 3. 吸出し防止材、詰石材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ふとんかご 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z2</td> <td>ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 40cm×120cm</td> <td>・撤去は除く ・ふとんかご規格 40cm×120cm の場合</td> </tr> <tr> <td>ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 50cm×120cm</td> <td>・撤去は除く ・ふとんかご規格 50cm×120cm の場合</td> </tr> <tr> <td>ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 60cm×120cm</td> <td>・撤去は除く ・ふとんかご規格 60cm×120cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 詰石 割ぐり石 150-200mm</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>Z4 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	ふとんかご種別	ふとんかご規格	設置	スロープ式	40cm×120cm	50cm×120cm	60cm×120cm	階段式	40cm×120cm	50cm×120cm	60cm×120cm	撤去	スロープ式	40cm×120cm	50cm×120cm	60cm×120cm	階段式	40cm×120cm	50cm×120cm	60cm×120cm	項目	代表機材材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z2	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 40cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 40cm×120cm の場合	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 50cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 50cm×120cm の場合	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 60cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 60cm×120cm の場合	Z3 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く	Z4 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く	市場単価	S -		<div style="text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注)1. 上表は、ふとんかご据付のための床拵え、吸出し防止材の設置、かご組立・据付け、詰石、蓋設置、埋戻し(階段式のみ)及び現場内小運搬(平均運搬距離 30m程度まで)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 吸出し防止材は全面設置、厚さは10mmを標準とする。本パッケージはふとんかご(階段式)の段数によらず適用 <u>出表を</u>。 3. 吸出し防止材、詰石材の材料ロスを含む。</p> <p>(2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ふとんかご 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z2</td> <td>ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 40cm×120cm</td> <td>・撤去は除く ・ふとんかご規格 40cm×120cm の場合</td> </tr> <tr> <td>ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 50cm×120cm</td> <td>・撤去は除く ・ふとんかご規格 50cm×120cm の場合</td> </tr> <tr> <td>ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 60cm×120cm</td> <td>・撤去は除く ・ふとんかご規格 60cm×120cm の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 詰石 割ぐり石 150-200mm</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>Z4 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m</td> <td>撤去は除く</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)		K2 -		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z2	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 40cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 40cm×120cm の場合	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 50cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 50cm×120cm の場合	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 60cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 60cm×120cm の場合	Z3 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く	Z4 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く	市場単価	S -		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
作業区分	ふとんかご種別	ふとんかご規格																																																																																													
設置	スロープ式	40cm×120cm																																																																																													
		50cm×120cm																																																																																													
		60cm×120cm																																																																																													
	階段式	40cm×120cm																																																																																													
		50cm×120cm																																																																																													
		60cm×120cm																																																																																													
撤去	スロープ式	40cm×120cm																																																																																													
		50cm×120cm																																																																																													
		60cm×120cm																																																																																													
	階段式	40cm×120cm																																																																																													
		50cm×120cm																																																																																													
		60cm×120cm																																																																																													
項目	代表機材材規格	備考																																																																																													
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)																																																																																														
	K2 -																																																																																														
	K3 -																																																																																														
労務	R1 普通作業員																																																																																														
	R2 土木一般世話役																																																																																														
	R3 特殊作業員																																																																																														
	R4 運転手(特殊)																																																																																														
材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																														
	Z2	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 40cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 40cm×120cm の場合																																																																																												
		ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 50cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 50cm×120cm の場合																																																																																												
		ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 60cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 60cm×120cm の場合																																																																																												
	Z3 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く																																																																																													
	Z4 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く																																																																																													
	市場単価	S -																																																																																													
項目	代表機材材規格	備考																																																																																													
機械	K1 バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積 0.8m3(平積 0.6m3)																																																																																														
	K2 -																																																																																														
	K3 -																																																																																														
労務	R1 普通作業員																																																																																														
	R2 土木一般世話役																																																																																														
	R3 特殊作業員																																																																																														
	R4 運転手(特殊)																																																																																														
材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																														
	Z2	ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 40cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 40cm×120cm の場合																																																																																												
		ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 50cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 50cm×120cm の場合																																																																																												
		ふとんかご 角形パネルタイプ GS-3 線径 4.0mm(#8) 網目 13cm 60cm×120cm	・撤去は除く ・ふとんかご規格 60cm×120cm の場合																																																																																												
	Z3 詰石 割ぐり石 150-200mm	撤去は除く																																																																																													
	Z4 吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m	撤去は除く																																																																																													
	市場単価	S -																																																																																													
頁	189	190																																																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考
	<p>⑬ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p> <p>1. 適用範囲 超軽量材としての発泡スチロール材を盛土、擁壁及び橋台等の抗土圧構造物の裏込め等に使用する発泡スチロール工を人力で施工する場合に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート床版</p> <p>(1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が150m以下の場合</p> <p>(2) 圧送コンクリートのスランブ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-2 支柱設置</p> <p>(1) ベースプレート式H形鋼支柱を基礎コンクリートにアンカーボルトで固定する工法を標準とし, H形鋼規格がH300mm×300mm以下, 長さ9m以下の場合</p> <p>1-1-3 壁面材設置</p> <p>(1) 壁面材1枚当りの規格が, 長さ2.5m以下, 幅0.6m以下, 質量170kg以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート床版</p> <p>(1) コンクリート床版にグラウンドアンカー等を結合する場合</p>	<p>⑬ 発泡スチロールを用いた超軽量盛土工</p> <p>1. 適用範囲 <u>本資料は</u>, 超軽量材としての発泡スチロール材を盛土, 擁壁及び橋台等の抗土圧構造物の裏込め等に使用する発泡スチロール工を人力で施工する場合に適用する。</p> <p>1-1 適用<u>出来る</u>範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート床版</p> <p>(1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が150m以下の場合</p> <p>(2) 圧送コンクリートのスランブ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p> <p>1-1-2 支柱設置</p> <p>(1) ベースプレート式H形鋼支柱を基礎コンクリートにアンカーボルトで固定する工法を標準とし, H形鋼規格がH300mm×300mm以下, 長さ9m以下の場合</p> <p>1-1-3 壁面材設置</p> <p>(1) 壁面材1枚当りの規格が, 長さ2.5m以下, 幅0.6m以下, 質量170kg以下の場合</p> <p>1-2 適用<u>出来ない</u>範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート床版</p> <p>(1) コンクリート床版に<u>グラウンドアンカー</u>等を結合する場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	192	193	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																			
<p>4. 作業範囲 (30m) を超えて圧送管を延長する場合は、超えた部分の延長距離を 50m 未満、50m 以上 100m 未満、100m 以上 150m 以下から該当する区分を選択する。</p> <p>5. コンクリート及び溶接金網の材料ロスを含む。</p> <p style="text-align: center;">表3. 6 生コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">生コンクリート規格</td> <td>24-8-25(20) (普通)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (普通)</td> </tr> <tr> <td>24-8-25(20) (高炉)</td> </tr> <tr> <td>18-8-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td>24-8-25 (早強)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">各種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3. 7 溶接金網規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">溶接金網規格</td> <td>G3551 径 6.0×150×150</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">各種</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 8 コンクリート床版 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 鉄筋工</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 丸鉄線溶接金網 G3551 線径 6.0×網目 150×150mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 支柱結合アンカー (材料費) (1) 条件区分 支柱結合アンカー (材料費) に条件区分はない。 積算単位は m³ とする。 (注) 使用量は、コンクリート床版 m³ 当りの必要量を計上する。</p>	積算条件	区分	生コンクリート規格	24-8-25(20) (普通)	18-8-40 (普通)	24-8-25(20) (高炉)	18-8-40 (高炉)	24-8-25 (早強)	各種		積算条件	区分	溶接金網規格	G3551 径 6.0×150×150	各種	項目	代表機材規格	備考	機 械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 -		K3 -		労 務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 型わく工		R4 鉄筋工		材 料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%		Z2 丸鉄線溶接金網 G3551 線径 6.0×網目 150×150mm		Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p>現行どおり</p> <div style="margin: 20px 0;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">溶接金網規格</td> <td>G3551 線径 6.0×網目 150×150mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">各種</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>現行どおり</p>	積算条件	区分	溶接金網規格	G3551 線径 6.0×網目 150×150mm	各種	<p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																				
生コンクリート規格	24-8-25(20) (普通)																																																				
	18-8-40 (普通)																																																				
	24-8-25(20) (高炉)																																																				
	18-8-40 (高炉)																																																				
	24-8-25 (早強)																																																				
各種																																																					
積算条件	区分																																																				
溶接金網規格	G3551 径 6.0×150×150																																																				
	各種																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																			
機 械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																				
	K2 -																																																				
	K3 -																																																				
労 務	R1 普通作業員																																																				
	R2 土木一般世話役																																																				
	R3 型わく工																																																				
	R4 鉄筋工																																																				
材 料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%																																																				
	Z2 丸鉄線溶接金網 G3551 線径 6.0×網目 150×150mm																																																				
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																				
	Z4 -																																																				
市場単価	S -																																																				
積算条件	区分																																																				
溶接金網規格	G3551 線径 6.0×網目 150×150mm																																																				
	各種																																																				
頁	197	198																																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">㊦ 函 渠 工 (1)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、 1-1 適用できる範囲 1-1-1 函渠工(以下のいずれかの条件に該当する場合) (1) 土被り範囲9m以下で1層の現場打ちボックスカルバート(アーチ等形状は問わない) (2) 土被り範囲9m以下で1層2連の現場打ちボックスカルバート (3) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が340m以下の場合 1-2 適用できない範囲 (1) 河川工事で施工する樋門・樋管、水路等 (2) アーチ型の場合で、支保にセントルを使用する場合 また、本項の適用を外れる現場打カルバート工については、「2章共通工㊦函渠工(2)」を適用する。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p style="font-size: small;">(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去・均しコンクリート打設・養生, 目地材設置, 止水板設置は、必要に応じて計上する。</p> </div>	<p style="text-align: center;">㊦ 函 渠 工 (1)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、 1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲 1-1-1 函渠工(以下のいずれかの条件に該当する場合) (1) 土被り範囲9m以下で1層の現場打ちボックスカルバート(アーチ・<u>門型</u>等形状は問わない) (2) 土被り範囲9m以下で1層2連の現場打ちボックスカルバート (3) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が340m以下の場合 1-2 適用 <u>出来ない</u> 範囲 (1) 河川工事で施工する樋門・樋管、水路等 (2) アーチ型の場合で、支保にセントルを使用する場合 また、本項の適用を外れる現場打カルバート工については、「2章共通工㊦函渠工(2)」を適用する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	205	206

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考																																																														
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 函渠 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータの場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20)W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施 工 歩 掛 4-1 鉄筋工 鉄筋工は市場単価により別途計上する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・仮囲い内ジェットヒータの場合 ・賃料	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータの場合	労務	R1 型わく工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 とび工		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20)W/C 55%		Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータの場合	Z4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 函渠 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ /h (30,100kcal/h)</td> <td>・仮囲い内ジェットヒータの場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</u></td> <td>仮囲い内ジェットヒータの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20)W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>仮囲い内ジェットヒータの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>3-2 鉄筋工</u> 鉄筋工は市場単価により別途計上する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h		K2 ジェットヒータ 126MJ /h (30,100kcal/h)	・仮囲い内ジェットヒータの場合 ・賃料	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータの場合	労務	R1 型わく工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 とび工		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20)W/C 55%		Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油		Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータの場合	Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																
	K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・仮囲い内ジェットヒータの場合 ・賃料																																																															
	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータの場合																																																															
労務	R1 型わく工																																																																
	R2 普通作業員																																																																
	R3 土木一般世話役																																																																
	R4 とび工																																																																
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20)W/C 55%																																																																
	Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータの場合																																																															
	Z4 -																																																																
市場単価	S -																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																															
機械	K1 コンクリートポンプ車 [トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m ³ /h																																																																
	K2 ジェットヒータ 126MJ /h (30,100kcal/h)	・仮囲い内ジェットヒータの場合 ・賃料																																																															
	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</u>	仮囲い内ジェットヒータの場合																																																															
労務	R1 型わく工																																																																
	R2 普通作業員																																																																
	R3 土木一般世話役																																																																
	R4 とび工																																																																
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25(20)W/C 55%																																																																
	Z2 軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																
	Z3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	仮囲い内ジェットヒータの場合																																																															
	Z4 -																																																																
市場単価	S -																																																																
頁	209	210																																																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考				
<p>㊦ 函渠工 (2)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、函渠工(1)の適用範囲を外れた函渠工コンクリート打設に適用する。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 函渠工(1)の適用範囲を外れた函渠工</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">河川工事で施工する函渠</th> <th style="text-align: center;">道路工事で施工する函渠</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・樋門・樋管(函渠(門柱等含む)、翼壁、水叩)、ボックス形式の水路等 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ボックスカルバート以外の函渠 ・1層又は1層2連以外の函渠 ・土被りが9mを超える函渠 ・「㊦-1 函渠工(1)、図3.1函渠工内空寸法区分」の適用範囲を外れる函渠 </td> </tr> </table> <p>1-1 適用できる範囲 (1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が340m以下の場合 (2) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p>	河川工事で施工する函渠	道路工事で施工する函渠	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門・樋管(函渠(門柱等含む)、翼壁、水叩)、ボックス形式の水路等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボックスカルバート以外の函渠 ・1層又は1層2連以外の函渠 ・土被りが9mを超える函渠 ・「㊦-1 函渠工(1)、図3.1函渠工内空寸法区分」の適用範囲を外れる函渠 	<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が340m以下の場合 (2) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm, 粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合</p>	<p>語句の修正</p>
河川工事で施工する函渠	道路工事で施工する函渠					
<ul style="list-style-type: none"> ・樋門・樋管(函渠(門柱等含む)、翼壁、水叩)、ボックス形式の水路等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボックスカルバート以外の函渠 ・1層又は1層2連以外の函渠 ・土被りが9mを超える函渠 ・「㊦-1 函渠工(1)、図3.1函渠工内空寸法区分」の適用範囲を外れる函渠 					
頁 210	211					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 コンクリート(場所打函渠) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>・賃料 ・一般養生を除く</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>一般養生を除く</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1, 2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-2 型枠工 型枠工は、「3章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。</p> <p>2-3 鉄筋工 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p> <p>2-4 足場工 足場工は、「土木工事標準歩掛 6章仮設工⑤足場工」により別途計上する。</p> <p>2-5 支保工 支保工は、「土木工事標準歩掛 6章仮設工⑥支保工」により別途計上する。</p> <p>2-6 その他 上記以外で必要なものについては、該当する各工種により別途計上する。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m ³ /h		K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・賃料 ・一般養生を除く	K3 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	一般養生を除く	Z3 軽油 1, 2号 バトルール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 コンクリート(場所打函渠) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ジェットヒータ 126MJ <u>J/h</u> (30,100kcal/<u>h</u>)</td> <td>・賃料 ・一般養生を除く</td> </tr> <tr> <td>K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量(50/60Hz)</u> 2.7/3kVA</td> <td>仮囲い内ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>一般養生を除く</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1, 2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m ³ /h		K2 ジェットヒータ 126MJ <u>J/h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・賃料 ・一般養生を除く	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量(50/60Hz)</u> 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合	労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%		Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	一般養生を除く	Z3 軽油 1, 2号 バトルール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m ³ /h																																																															
	K2 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	・賃料 ・一般養生を除く																																																														
	K3 発動発電機[ディーゼルエンジン駆動] 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																														
労務	R1 普通作業員																																																															
	R2 特殊作業員																																																															
	R3 土木一般世話役																																																															
	R4 運転手(特殊)																																																															
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%																																																															
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	一般養生を除く																																																														
	Z3 軽油 1, 2号 バトルール給油																																																															
	Z4 -																																																															
市場単価	S -																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m ³ /h																																																															
	K2 ジェットヒータ 126MJ <u>J/h</u> (30,100kcal/ <u>h</u>)	・賃料 ・一般養生を除く																																																														
	K3 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] <u>定格容量(50/60Hz)</u> 2.7/3kVA	仮囲い内ジェットヒータ養生の場合																																																														
労務	R1 普通作業員																																																															
	R2 特殊作業員																																																															
	R3 土木一般世話役																																																															
	R4 運転手(特殊)																																																															
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%																																																															
	Z2 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	一般養生を除く																																																														
	Z3 軽油 1, 2号 バトルール給油																																																															
	Z4 -																																																															
市場単価	S -																																																															
頁	212	213																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考								
<p>3章. コンクリート工</p> <p>① コンクリート工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、一般的な構造物（無筋構造物、鉄筋構造物、小型構造物）の人力及び機械によるコンクリート打設、及び人力によるモルタル練に適用する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1 適用できる範囲（以下のいずれかの条件に該当する場合）</p> <p>(1) 無筋構造物（表 1.1 を参照）</p> <p>(2) 鉄筋構造物（表 1.1 を参照）</p> <p>(3) 小型構造物（表 1.1 を参照）</p> <p>(4) モルタル練</p> </div> <p>1-2 適用できない範囲（以下のいずれかの条件に該当する場合）</p> <p>(1) ダムコンクリート、トンネル覆工コンクリート、砂防コンクリート、コンクリート舗装、消波根固めブロック、コンクリート桁及び軽量コンクリート等の特殊コンクリート打設、並びに、橋梁床版の養生工</p> <p>(2) 場所打擁壁工</p> <p>(3) 函渠工</p> <p>(4) 共同溝工 ただし、現場打ちの電線共同溝（C・C・BOX）を除く。</p> <p>(5) 橋台・橋脚工</p> <div style="text-align: center;"> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分である。</p> </div> <p style="text-align: center;">表 1.1 コンクリート構造物の分類</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">構造物種別</th> <th>コンクリート構造物の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無筋構造物</td> <td>マシブな構造物、比較的単純な鉄筋を有する構造物、均しコンクリート等</td> </tr> <tr> <td>鉄筋構造物</td> <td>水路、水門、ポンプ場下部工、栈橋上部コンクリート、橋梁床版、壁高欄等の鉄筋量の多い構造物</td> </tr> <tr> <td>小型構造物</td> <td>コンクリート断面積が1㎡以下の連続している側溝、笠コンクリート等、コンクリート量が1㎡以下の点在する集水桝、照明基礎、標識基礎等</td> </tr> </tbody> </table>	構造物種別	コンクリート構造物の分類	無筋構造物	マシブな構造物、比較的単純な鉄筋を有する構造物、均しコンクリート等	鉄筋構造物	水路、水門、ポンプ場下部工、栈橋上部コンクリート、橋梁床版、壁高欄等の鉄筋量の多い構造物	小型構造物	コンクリート断面積が1㎡以下の連続している側溝、笠コンクリート等、コンクリート量が1㎡以下の点在する集水桝、照明基礎、標識基礎等	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲（以下のいずれかの条件に該当する場合）</p> <p>(1) 無筋構造物（表 1.1 を参照）</p> <p>(2) 鉄筋構造物（表 1.1 を参照）</p> <p>(3) 小型構造物（表 1.1 を参照）</p> <p>(4) モルタル練</p> <p>1-2 適用 <u>出来ない</u> 範囲（以下のいずれかの条件に該当する場合）</p> <p>(1) ダムコンクリート、トンネル覆工コンクリート、砂防コンクリート、コンクリート舗装、消波根固めブロック、コンクリート桁及び軽量コンクリート等の特殊コンクリート打設、並びに、橋梁床版の養生工</p> <p>(2) 場所打擁壁工</p> <p>(3) 函渠工</p> <p>(4) 共同溝工 ただし、現場打ちの電線共同溝（C・C・BOX）を除く。</p> <p>(5) 橋台・橋脚工</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
構造物種別	コンクリート構造物の分類									
無筋構造物	マシブな構造物、比較的単純な鉄筋を有する構造物、均しコンクリート等									
鉄筋構造物	水路、水門、ポンプ場下部工、栈橋上部コンクリート、橋梁床版、壁高欄等の鉄筋量の多い構造物									
小型構造物	コンクリート断面積が1㎡以下の連続している側溝、笠コンクリート等、コンクリート量が1㎡以下の点在する集水桝、照明基礎、標識基礎等									
頁	221	221								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p style="margin: 0;">3. 施工パッケージ 3-1 コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">表3.1 コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造物 種別</th> <th rowspan="2">施工条件</th> <th rowspan="2">コンクリ ート規格</th> <th rowspan="2">設計日 打設量</th> <th rowspan="2">養生工の 種類</th> <th colspan="2">圧送管 延長距離区分</th> <th rowspan="2">現場内小運搬 の有無</th> <th rowspan="2">打設高さ、 水平距離</th> </tr> <tr> <th>延長無し</th> <th>60m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15" style="text-align: center;">無筋・ 鉄筋 構造物</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">打設量 10m3/日 以上又は 打設地上高 さ2m超</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">10m3以上 300m3未満</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m超 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m超 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m超 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">一般養生</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m超 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m超 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m超 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m超 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m超 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m超 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">300m3以上 600m3未満</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般養生</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">小型 構造物</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">打設地上高さ 2m超 28m以下 水平距離 30m以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">(表 3.4)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m超 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m超 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m超 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">打設地上 高さ2m 以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> </tbody> </table>	構造物 種別	施工条件	コンクリ ート規格	設計日 打設量	養生工の 種類	圧送管 延長距離区分		現場内小運搬 の有無	打設高さ、 水平距離	延長無し	60m以下	無筋・ 鉄筋 構造物	打設量 10m3/日 以上又は 打設地上高 さ2m超	(表 3.3)	10m3以上 300m3未満	養生無し	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m超 120m以下	—	—	—	120m超 180m以下	—	—	—	180m超 240m以下	—	—	—	一般養生	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m超 120m以下	—	—	—	120m超 180m以下	—	—	—	180m超 240m以下	—	—	—	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m超 120m以下	—	—	—	120m超 180m以下	—	—	—	180m超 240m以下	—	—	—	300m3以上 600m3未満	(表 3.3)	—	—	養生無し	延長無し	—	—	—	240m以下	—	—	—	一般養生	延長無し	—	—	—	240m以下	—	—	—	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—	240m以下	—	—	—	小型 構造物	打設地上高さ 2m超 28m以下 水平距離 30m以下	(表 3.4)	—	養生無し	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m超 120m以下	—	—	—	120m超 180m以下	—	—	—	180m超 240m以下	—	—	—	打設地上 高さ2m 以下	(表 3.3)	—	—	養生無し	有り	—	—	—	無し	—	—	—	有り	—	—	—	無し	—	—	—	有り	—	—	—	<p style="margin: 0;">3. 施工パッケージ 3-1 コンクリート (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">表3.1 コンクリート 積算条件区分一覧 (積算単位: m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造物 種別</th> <th rowspan="2">施工条件</th> <th rowspan="2">コンクリ ート規格</th> <th rowspan="2">設計日 打設量</th> <th rowspan="2">養生工の 種類</th> <th colspan="2">圧送管 延長距離区分</th> <th rowspan="2">現場内 小運搬 の有無</th> <th rowspan="2">打設高さ、 水平距離</th> </tr> <tr> <th>延長無し</th> <th>60m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15" style="text-align: center;">無筋・ 鉄筋 構造物</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">打設量 10m3/日 以上又は 打設地上高 さ2m超</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="15" style="text-align: center;">10m3以上 300m3未満</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m を超え 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m を超え 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m を超え 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">一般養生</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m を超え 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m を超え 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m を超え 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m を超え 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m を超え 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m を超え 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">300m3以上 600m3未満</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般養生</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">小型 構造物</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">打設地上高さ 2m超 28m以下 水平距離 30m以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">(表 3.4)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>延長無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>60m を超え 120m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>120m を超え 180m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>180m を超え 240m以下</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">打設地上 高さ2m 以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">(表 3.3)</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">養生無し</td> <td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>無し</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td> </tr> </tbody> </table>	構造物 種別	施工条件	コンクリ ート規格	設計日 打設量	養生工の 種類	圧送管 延長距離区分		現場内 小運搬 の有無	打設高さ、 水平距離	延長無し	60m以下	無筋・ 鉄筋 構造物	打設量 10m3/日 以上又は 打設地上高 さ2m超	(表 3.3)	10m3以上 300m3未満	養生無し	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m を 超え 120m以下	—	—	—	120m を 超え 180m以下	—	—	—	180m を 超え 240m以下	—	—	—	一般養生	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m を 超え 120m以下	—	—	—	120m を 超え 180m以下	—	—	—	180m を 超え 240m以下	—	—	—	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m を 超え 120m以下	—	—	—	120m を 超え 180m以下	—	—	—	180m を 超え 240m以下	—	—	—	300m3以上 600m3未満	(表 3.3)	—	—	養生無し	延長無し	—	—	—	240m以下	—	—	—	一般養生	延長無し	—	—	—	240m以下	—	—	—	特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—	240m以下	—	—	—	小型 構造物	打設地上高さ 2m超 28m以下 水平距離 30m以下	(表 3.4)	—	養生無し	延長無し	—	—	—	60m以下	—	—	—	60m を 超え 120m以下	—	—	—	120m を 超え 180m以下	—	—	—	180m を 超え 240m以下	—	—	—	打設地上 高さ2m 以下	(表 3.3)	—	—	養生無し	有り	—	—	—	無し	—	—	—	有り	—	—	—	無し	—	—	—	有り	—	—	—	<p>語句の修正</p>
構造物 種別						施工条件	コンクリ ート規格			設計日 打設量	養生工の 種類						圧送管 延長距離区分		現場内小運搬 の有無	打設高さ、 水平距離																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	延長無し	60m以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
無筋・ 鉄筋 構造物	打設量 10m3/日 以上又は 打設地上高 さ2m超	(表 3.3)	10m3以上 300m3未満	養生無し	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m超 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m超 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m超 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				一般養生	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m超 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m超 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m超 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m超 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m超 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m超 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
300m3以上 600m3未満	(表 3.3)	—	—	養生無し	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					一般養生	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
小型 構造物	打設地上高さ 2m超 28m以下 水平距離 30m以下	(表 3.4)	—	養生無し	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m超 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m超 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m超 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
打設地上 高さ2m 以下	(表 3.3)	—	—	養生無し	有り	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					有り	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					有り	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
構造物 種別	施工条件	コンクリ ート規格	設計日 打設量	養生工の 種類	圧送管 延長距離区分		現場内 小運搬 の有無	打設高さ、 水平距離																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					延長無し	60m以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
無筋・ 鉄筋 構造物	打設量 10m3/日 以上又は 打設地上高 さ2m超	(表 3.3)	10m3以上 300m3未満	養生無し	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m を 超え 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m を 超え 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m を 超え 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				一般養生	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m を 超え 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m を 超え 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m を 超え 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m を 超え 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m を 超え 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m を 超え 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
300m3以上 600m3未満	(表 3.3)	—	—	養生無し	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					一般養生	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						特殊養生 (練炭、ジェットヒータ)	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
小型 構造物	打設地上高さ 2m超 28m以下 水平距離 30m以下	(表 3.4)	—	養生無し	延長無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					60m を 超え 120m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					120m を 超え 180m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					180m を 超え 240m以下	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
打設地上 高さ2m 以下	(表 3.3)	—	—	養生無し	有り	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					有り	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					無し	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					有り	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
頁	223	223																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																												
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 コンクリート 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 75%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m³/h</td> <td>無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50 t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)</td> <td>ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1,2号 バトロール給油</td> <td>無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、または小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下の場合	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50 t 吊	・賃料 ・小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合	K 3 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	ジェットヒータ養生の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C55%		Z 2 軽油 1,2号 バトロール給油	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、または小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	ジェットヒータ養生の場合	Z 4 -		市場単価 S	-	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 コンクリート 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 75%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">機械</td> <td>K 1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m³/h</td> <td>無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50 t 吊</td> <td>・賃料 ・小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>K 3 ジェットヒータ 126MJ/h (30,100kcal/h)</td> <td>無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(補 嵌、ジェットヒータ)の場合、ま たは小型構造物で、特殊養生(ジ ェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R 1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4 運転手(特殊)</td> <td>無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C55%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2 軽油 1,2号 バトロール給油</td> <td>無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(補 嵌、ジェットヒータ)の場合、ま たは小型構造物で、特殊養生(ジ ェットヒータ)の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td> <td>ジェットヒータ養生の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下の場合	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下の場合	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50 t 吊	・賃料 ・小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合	K 3 ジェットヒータ 126MJ/h (30,100kcal/h)	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(補 嵌、ジェットヒータ)の場合、ま たは小型構造物で、特殊養生(ジ ェットヒータ)の場合	労務	R 1 普通作業員		R 2 特殊作業員		R 3 土木一般世話役		R 4 運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合	材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C55%		Z 2 軽油 1,2号 バトロール給油	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(補 嵌、ジェットヒータ)の場合、ま たは小型構造物で、特殊養生(ジ ェットヒータ)の場合	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	ジェットヒータ養生の場合	Z 4 -		市場単価 S	-	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K 1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下の場合																																																																												
	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50 t 吊	・賃料 ・小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合																																																																												
K 3 ジェットヒータ 126MJ (30,100kcal)	ジェットヒータ養生の場合																																																																													
労務	R 1 普通作業員																																																																													
	R 2 特殊作業員																																																																													
	R 3 土木一般世話役																																																																													
	R 4 運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合																																																																												
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C55%																																																																													
	Z 2 軽油 1,2号 バトロール給油	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合、または小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合																																																																												
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	ジェットヒータ養生の場合																																																																												
	Z 4 -																																																																													
	市場単価 S	-																																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																																												
機械	K 1 コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90～110m ³ /h	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 16t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 17m 以下、水平距離約 17m 以下の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 20t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 18m 以下の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 25t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 25m 以下、水平距離約 20m 以下の場合																																																																												
	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 35t 吊	・賃料 ・小型構造物で、打設高さ約 28m 以下、水平距離約 20m 以下の場合																																																																												
	クローラクレーン [油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型]50 t 吊	・賃料 ・小型構造物で、水平距離約 30m 以下の場合																																																																												
K 3 ジェットヒータ 126MJ/h (30,100kcal/h)	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(補 嵌、ジェットヒータ)の場合、ま たは小型構造物で、特殊養生(ジ ェットヒータ)の場合																																																																													
労務	R 1 普通作業員																																																																													
	R 2 特殊作業員																																																																													
	R 3 土木一般世話役																																																																													
	R 4 運転手(特殊)	無筋・鉄筋構造物ポンプ車打設の場合																																																																												
材料	Z 1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C55%																																																																													
	Z 2 軽油 1,2号 バトロール給油	無筋・鉄筋構造物で、特殊養生(補 嵌、ジェットヒータ)の場合、ま たは小型構造物で、特殊養生(ジ ェットヒータ)の場合																																																																												
	Z 3 灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	ジェットヒータ養生の場合																																																																												
	Z 4 -																																																																													
	市場単価 S	-																																																																												
頁	225	225																																																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																							
<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 圧送管組立、撤去</p> <p>4-1-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表4.1に示す施工パッケージ以外で、コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合の、超えた部分の圧送管延長分の組立・撤去に適用する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; color: red;">表4.1 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・函渠(1)</td> <td>・重力式擁壁</td> <td>・もたれ式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> <td>・コンクリート</td> </tr> </table> </div> <p>4-1-2 圧送管組立、撤去歩掛</p> <p>コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合は、超えた部分の圧送管延長分について、次表の労務を、組立・撤去歩掛として計上する。</p> <p>なお、これにより難い場合は別途考慮する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <caption style="text-align: center;">表4.2 圧送管組立、撤去歩掛 (10m当り)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>組 立 労 務</th> <th>撤 去 労 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.26</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 圧送管の固定足場(受枠)を必要とする場合は、別途計上する。</p> <p>4-2 養 生 工</p> <p>4-2-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表4.3に示す施工パッケージ以外の養生工に適用する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; color: red;">表4.3 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ヒューム管(B形管)</td> <td>・函渠(1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁(B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> </table> </div> <p>4-2-2 一般養生工</p> <p>一般養生工における歩掛は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <caption style="text-align: center;">表4.4 養生歩掛 (10 m³ 当り)</caption> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無 筋 構 造 物</th> <th>鉄 筋 構 造 物</th> <th>小 型 構 造 物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.16</td> <td>0.69</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>17</td> <td>33</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、シート・養生マット・角材・パイプ、散水等に使用する機械の燃料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-3 養生工(特殊養生)</p> <p>4-3-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表4.5に示す施工パッケージ以外の河川、海岸、道路工事における寒中コンクリートの養生に適用する。なお、養生方法は給熱養生を標準とし、鉄筋構造物はジェットヒータ養生、鉄筋構造物以外は練炭養生を原則とする。</p> <p>また、異形ブロック製作における養生は、適用しない。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; color: red;">表4.5 本歩掛が適用できない施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ヒューム管(B形管)</td> <td>・函渠(1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁(B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> </table> </div>	・函渠(1)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート	名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務	普 通 作 業 員	人	0.26	0.20	・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	名 称	単 位	無 筋 構 造 物	鉄 筋 構 造 物	小 型 構 造 物	普 通 作 業 員	人	0.3	0.16	0.69	諸 雑 費 率	%	17	33	19	・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">→ 表4.1 本歩掛が適用 出来ない 施工パッケージ</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4-2 養 生 工</p> <p>4-2-1 適用範囲</p> <p>本歩掛は、表4.3に示す施工パッケージ以外の養生工に適用する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; color: red;">表4.3 本歩掛が適用 出来ない 施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ヒューム管(B形管)</td> <td>・函渠(1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁(B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; color: red;">表4.5 本歩掛が適用 出来ない 施工パッケージ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ヒューム管(B形管)</td> <td>・函渠(1)</td> <td>・現場打基礎コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・天端コンクリート</td> <td>・小型擁壁(B)</td> <td>・重力式擁壁</td> </tr> <tr> <td>・もたれ式擁壁</td> <td>・逆T型擁壁</td> <td>・L型擁壁</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・ コンクリート			・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート	・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁	・ コンクリート			<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
・函渠(1)	・重力式擁壁	・もたれ式擁壁																																																																							
・逆T型擁壁	・L型擁壁	・コンクリート																																																																							
名 称	単 位	組 立 労 務	撤 去 労 務																																																																						
普 通 作 業 員	人	0.26	0.20																																																																						
・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート																																																																							
・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁																																																																							
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																							
名 称	単 位	無 筋 構 造 物	鉄 筋 構 造 物	小 型 構 造 物																																																																					
普 通 作 業 員	人	0.3	0.16	0.69																																																																					
諸 雑 費 率	%	17	33	19																																																																					
・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート																																																																							
・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁																																																																							
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																							
・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート																																																																							
・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁																																																																							
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																							
・ コンクリート																																																																									
・ヒューム管(B形管)	・函渠(1)	・現場打基礎コンクリート																																																																							
・天端コンクリート	・小型擁壁(B)	・重力式擁壁																																																																							
・もたれ式擁壁	・逆T型擁壁	・L型擁壁																																																																							
・ コンクリート																																																																									
頁	227	227																																																																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																			
<p>4-3-2 特殊養生工</p> <p>4-3-2-1 特殊養生工(練炭養生)</p> <p>練炭による特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.6 特殊養生歩掛(練炭養生) (10 m³ 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.88</td> <td>0.54</td> <td>1.56</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、練炭、コンロ、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 養生のための足場は、別途計上する。</p> <p>4-3-2-2 特殊養生工(ジェットヒータ養生)</p> <p>(1) 機種の選定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表4.7 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジ ェ ッ ト ヒ ー タ</td> <td>126MJ (30,100kcal)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工歩掛</p> <p>ジェットヒータによる特殊養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表4.8 特殊養生歩掛(ジェットヒータ養生) (10 m² 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td>0.74</td> <td>0.43</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ運転</td> <td>h</td> <td>30</td> <td>28</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>28</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ジェットヒータは、賃料とする。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、シート、養生マット、角材、パイプ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 養生のための足場は、別途計上する。</p> <p>(3) 運転時間</p> <p>ジェットヒータによる特殊養生に要する施工機械運転日当り運転時間は、次表を標準とする。</p> <p>表4.9 施工機械運転日当り運転時間 (h/日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>無筋構造物</th> <th>鉄筋構造物</th> <th>小型構造物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジ ェ ッ ト ヒ ー タ 運 転</td> <td>18.5</td> <td>15.2</td> <td>20.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ジェットヒータの運転時間当り燃料消費量は、灯油 3.6ℓ/hとする。</p>	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普 通 作 業 員	人	0.88	0.54	1.56	諸 雑 費 率	%	25	25	32	機 械 名	規 格	ジ ェ ッ ト ヒ ー タ	126MJ (30,100kcal)	名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	普 通 作 業 員	人	0.74	0.43	2.4	ジェットヒータ運転	h	30	28	157	諸 雑 費 率	%	13	28	33	名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物	ジ ェ ッ ト ヒ ー タ 運 転	18.5	15.2	20.1	<p>現行どおり</p> <p>表4.7 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジ ェ ッ ト ヒ ー タ</td> <td>126MJ/h (30,100kcal/h)</td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	機 械 名	規 格	ジ ェ ッ ト ヒ ー タ	126MJ/h (30,100kcal/h)	<p>語句の修正</p>
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																	
普 通 作 業 員	人	0.88	0.54	1.56																																																	
諸 雑 費 率	%	25	25	32																																																	
機 械 名	規 格																																																				
ジ ェ ッ ト ヒ ー タ	126MJ (30,100kcal)																																																				
名 称	単 位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																	
普 通 作 業 員	人	0.74	0.43	2.4																																																	
ジェットヒータ運転	h	30	28	157																																																	
諸 雑 費 率	%	13	28	33																																																	
名 称	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物																																																		
ジ ェ ッ ト ヒ ー タ 運 転	18.5	15.2	20.1																																																		
機 械 名	規 格																																																				
ジ ェ ッ ト ヒ ー タ	126MJ/h (30,100kcal/h)																																																				
頁	228	228																																																			

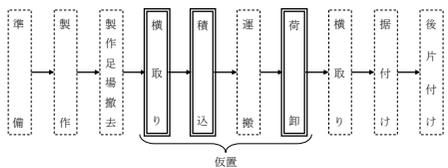
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																
<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 圧送管組立、撤去費 10 m³ 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.46 × L / B</td> <td>表 4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Lは、コンクリートポンプ車から作業範囲 30m を超えた部分の圧送管延長とする。 2. Bは、コンクリートの標準日打設とする。 3. 設計日打設量が 10m³ 以上 300m³ 未満の場合は、標準日打設量を 81m³ とする。 4. 設計日打設量が 300m³ 以上 600m³ 未満の場合は、標準日打設量を 400m³ とする。</p> <p>(2) 養生工 (一般養生) 10 m² 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 養生工 (特殊養生・練炭) 10 m² 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 養生工 (特殊養生・ジェットヒータ) 10 m² 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.8 摘要</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ運転</td> <td>126MJ (30, 100kcal)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表 4.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>126MJ/h (30, 100kcal/h)</td> <td>式 h</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) ジェットヒータ運転 1 時間当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>燃 料 名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料</td> <td>灯油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表 4.9 摘要</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ賃料</td> <td>126MJ (30, 100kcal)</td> <td>h</td> <td>1</td> <td>時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>126MJ/h (30, 100kcal/h)</td> <td>式 h</td> <td>1</td> <td>時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人	0.46 × L / B	表 4.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 4.4	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 4.6	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 4.8 摘要	ジェットヒータ運転	126MJ (30, 100kcal)	h		表 4.8	諸 雑 費	126MJ/h (30, 100kcal/h)	式 h	1	"	計					燃 料 名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃料	灯油	ℓ		表 4.9 摘要	ジェットヒータ賃料	126MJ (30, 100kcal)	h	1	時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9	諸 雑 費	126MJ/h (30, 100kcal/h)	式 h	1	時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9	計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(4) 養生工 (特殊養生・ジェットヒータ) 10 m² 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 4.8</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ運転</td> <td>126MJ/h (30, 100kcal/h)</td> <td>h</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) ジェットヒータ運転 1 時間当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料</td> <td>灯油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表 4.9</td> </tr> <tr> <td>ジェットヒータ賃料</td> <td>126MJ/h (30, 100kcal/h)</td> <td>h</td> <td>1</td> <td>時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普通作業員		人		表 4.8	ジェットヒータ運転	126MJ/h (30, 100kcal/h)	h		"	諸 雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃料	灯油	ℓ		表 4.9	ジェットヒータ賃料	126MJ/h (30, 100kcal/h)	h	1	時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9	諸 雑 費		式	1		計					<p>語句の修正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
普通作業員		人	0.46 × L / B	表 4.2																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
普通作業員		人		表 4.4																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
普通作業員		人		表 4.6																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
普通作業員		人		表 4.8 摘要																																																																																																																																																														
ジェットヒータ運転	126MJ (30, 100kcal)	h		表 4.8																																																																																																																																																														
諸 雑 費	126MJ/h (30, 100kcal/h)	式 h	1	"																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																		
燃 料 名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
燃料	灯油	ℓ		表 4.9 摘要																																																																																																																																																														
ジェットヒータ賃料	126MJ (30, 100kcal)	h	1	時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9																																																																																																																																																														
諸 雑 費	126MJ/h (30, 100kcal/h)	式 h	1	時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
普通作業員		人		表 4.8																																																																																																																																																														
ジェットヒータ運転	126MJ/h (30, 100kcal/h)	h		"																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	"																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																														
燃料	灯油	ℓ		表 4.9																																																																																																																																																														
ジェットヒータ賃料	126MJ/h (30, 100kcal/h)	h	1	時間当り賃料→賃料 × 1 / 表 4.9																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																		
頁	229	229																																																																																																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>4章.河 川 海 岸</p> <p>① 消波根固めブロック工</p> <p>①-1 消波根固めブロック工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、河川、砂防、海岸、道路工事に使用する消波根固めブロックの現地製作、陸上よりの敷設工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 消波根固めブロック製作</p> <p>(1) 11.0 t以下(実質量とする)の消波根固めブロックの現地製作の場合</p> <p>1-1-2 消波根固めブロック据付</p> <p>(1) 11.0 t以下(実質量とする)の消波根固めブロックの陸上よりの敷設の場合</p> <p>(2) 11.0 t以下(実質量とする)の消波根固めブロックの荷卸のみの場合</p> <p>1-1-3 消波根固めブロック運搬</p> <p>(1) 11.0 t以下(実質量とする)の消波根固めブロックのトラックによる運搬の場合</p> <p>1-1-4 消波根固めブロック仮置</p> <p>(1) 11.0 t以下(実質量とする)の消波根固めブロックの横取り～積込～運搬～荷卸の一連作業を行う場合</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 消波根固めブロック製作</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの現地製作の場合(「土木工事標準歩掛 7章 ③消波工」による)</p> <p>1-2-2 消波根固めブロック据付</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの陸上よりの敷設の場合</p> <p>1-2-3 消波根固めブロック運搬</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックのトラックによる運搬の場合</p> <p>1-2-4 消波根固めブロック仮置</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの横取り～積込～運搬～荷卸の一連作業を行う場合</p> </div>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 消波根固めブロック製作</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの現地製作の場合(「土木工事標準歩掛 7章 ③消波工」による)</p> <p>1-2-2 消波根固めブロック据付</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの陸上よりの敷設の場合</p> <p>(2) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの荷卸のみの場合</p> <p>1-2-3 消波根固めブロック運搬</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックのトラックによる運搬の場合</p> <p>1-2-4 消波根固めブロック仮置</p> <p>(1) 11.0 tを超える(実質量とする)消波根固めブロックの横取り～積込～運搬～荷卸の一連作業を行う場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	237	237

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																														
<p style="text-align: center;">2-2 仮置</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重床部分のみである。 2. 運搬については「2-1 製作、運搬、掃付」の運搬を計上する。 仮置：横取り～積込～運搬～荷卸の一連作業を行う場合の仮置き作業をいう。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 消波根固めブロック製作 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 消波根固めブロック製作 積算条件区分一覧 (積算単位：個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>型枠の種類</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>1個当りコンクリート設計量(m³/個)</th> <th>1個当り型枠面積(m²/個)</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2.5 t以下</td> <td>鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="6">(表 3.2)</td> <td rowspan="3">(表 3.3)</td> <td rowspan="3">(表 3.3)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.5tを超え5.5t以下</td> <td>鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="3">(表 3.4)</td> <td rowspan="3">(表 3.4)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5.5tを超え11.0t以下</td> <td>鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="3">(表 3.5)</td> <td rowspan="3">(表 3.5)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td>一般</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの製作(現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の組立・脱型及び清掃、はく離剤塗布)、養生(給熱養生を含む)の他、コンクリート打設小器材、型枠はく離剤、インパクトレンチ損料、養生シート、練炭火鉢及び養生囲い材料(シート、栈木等)、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. コンクリートの材料ロスを含む。 3. 鉄筋(連結用フック含む)の加工・組立費用及び材料費は、「市場単価 鉄筋工」による。 4. 給熱養生は、練炭を使用した場合である。 5. 給熱養生は、養生期間を3日程度としたもので、養生囲いの設置・撤去を含む。</p>	消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート設計量(m ³ /個)	1個当り型枠面積(m ² /個)	養生工の種類	2.5 t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	一般	直積ブロック用鋼製型枠	給熱	一般	2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.4)	(表 3.4)	一般	直積ブロック用鋼製型枠	給熱	一般	5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.5)	(表 3.5)	一般	直積ブロック用鋼製型枠	給熱	一般	<p style="text-align: center;">改定</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>消波根固めブロック規格</th> <th>型枠の種類</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>1個当りコンクリート体積(m³/個)</th> <th>1個当り型枠面積(m²/個)</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2.5 t以下</td> <td>鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="6">(表 3.2)</td> <td rowspan="3">(表 3.3)</td> <td rowspan="3">(表 3.3)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.5tを超え5.5t以下</td> <td>鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="3">(表 3.4)</td> <td rowspan="3">(表 3.4)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5.5tを超え11.0t以下</td> <td>鋼製型枠・FRP製型枠</td> <td rowspan="3">(表 3.5)</td> <td rowspan="3">(表 3.5)</td> <td>一般</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直積ブロック用鋼製型枠</td> <td>給熱</td> </tr> <tr> <td>一般</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート体積(m ³ /個)	1個当り型枠面積(m ² /個)	養生工の種類	2.5 t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	一般	直積ブロック用鋼製型枠	給熱	一般	2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.4)	(表 3.4)	一般	直積ブロック用鋼製型枠	給熱	一般	5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.5)	(表 3.5)	一般	直積ブロック用鋼製型枠	給熱	一般	<p>語句の修正</p>
消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート設計量(m ³ /個)	1個当り型枠面積(m ² /個)	養生工の種類																																																											
2.5 t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	一般																																																											
	直積ブロック用鋼製型枠				給熱																																																											
					一般																																																											
2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠		(表 3.4)	(表 3.4)	一般																																																											
	直積ブロック用鋼製型枠				給熱																																																											
					一般																																																											
5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.5)	(表 3.5)	一般																																																												
	直積ブロック用鋼製型枠			給熱																																																												
				一般																																																												
消波根固めブロック規格	型枠の種類	生コンクリート規格	1個当りコンクリート体積(m ³ /個)	1個当り型枠面積(m ² /個)	養生工の種類																																																											
2.5 t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.2)	(表 3.3)	(表 3.3)	一般																																																											
	直積ブロック用鋼製型枠				給熱																																																											
					一般																																																											
2.5tを超え5.5t以下	鋼製型枠・FRP製型枠		(表 3.4)	(表 3.4)	一般																																																											
	直積ブロック用鋼製型枠				給熱																																																											
					一般																																																											
5.5tを超え11.0t以下	鋼製型枠・FRP製型枠	(表 3.5)	(表 3.5)	一般																																																												
	直積ブロック用鋼製型枠			給熱																																																												
				一般																																																												
頁	239	239																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																											
<p style="text-align: center;">表3.1 根固めブロック撤去 積算条件区分一覧 (積算単位:個)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">ブロック質量</th> <th style="width: 20%;">作業区分</th> <th style="width: 10%;">堆砂の有無</th> <th style="width: 10%;">クレーン機種</th> <th style="width: 40%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">0.25 t 以上6.5 t 以下</td> <td rowspan="2">撤去・仮置き</td> <td>無し</td> <td rowspan="8">(表3.2)</td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・据付け(乱積)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・据付け(層積)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・積込み</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">6.5 t 超12.5 t 以下</td> <td rowspan="2">撤去・仮置き</td> <td>無し</td> <td rowspan="8">(表3.2)</td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・据付け(乱積)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・据付け(層積)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・積込み</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">12.5 t 超35.5 t 以下</td> <td rowspan="2">撤去・仮置き</td> <td>無し</td> <td rowspan="8">(表3.2)</td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・据付け(乱積)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・据付け(層積)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">撤去・積込み</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 「撤去・仮置き」: 撤去したブロックを直接河川敷等のヤードに仮置きする場合である。直接トレーラに積み込む場合は「撤去・積込み」を適用する。</p> <p>2. 「撤去・据付け」: 既設ブロック又は仮設的に設置(仮置きを含む)されたブロックを仮置きせずに直接据え直す(据付ける)場合である。「乱積、層積」の区分は、既存の積形状によらず、新たに据付ける積形状により判断する。</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3. 上表は、下記の費用が含まれる。</p> <p>(1) 撤去・仮置きの場合 ・消波根固めブロックの撤去・仮置きその他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 撤去・据付け(乱積)の場合 ・消波根固めブロックの撤去・据付け(乱積)その他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(3) 撤去・据付け(層積)の場合 ・消波根固めブロックの撤去・据付け(層積)その他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(4) 撤去・積込みの場合 ・消波根固めブロックの撤去・積込みその他、ワイヤーロープ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>4. 堆砂の有無の「有り」は、根固めブロック上に砂が堆積している場合に適用する。</p>	ブロック質量	作業区分	堆砂の有無	クレーン機種		0.25 t 以上6.5 t 以下	撤去・仮置き	無し	(表3.2)		有り	撤去・据付け(乱積)	無し	有り	撤去・据付け(層積)	無し	有り	撤去・積込み	無し	有り	6.5 t 超12.5 t 以下	撤去・仮置き	無し	(表3.2)		有り	撤去・据付け(乱積)	無し	有り	撤去・据付け(層積)	無し	有り	撤去・積込み	無し	有り	12.5 t 超35.5 t 以下	撤去・仮置き	無し	(表3.2)		有り	撤去・据付け(乱積)	無し	有り	撤去・据付け(層積)	無し	有り	撤去・積込み	無し	有り	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">作業区分</th> <th style="width: 15%;">ブロック質量</th> <th style="width: 10%;">堆砂の有無</th> <th style="width: 60%;">クレーン機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">撤去・仮置き</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> <td rowspan="8">(表3.2)</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・据付け(乱積)</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・据付け(層積)</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">撤去・積込み</td> <td>0.25 t 以上</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>6.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>6.5 t を超え</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>12.5 t 以下</td> <td>有り</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">3. 上表は、下記の費用<u>を含む</u>。</p>	作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種	撤去・仮置き	0.25 t 以上	無し	(表3.2)	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	撤去・据付け(乱積)	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	撤去・据付け(層積)	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	撤去・積込み	0.25 t 以上	無し	6.5 t 以下	有り	6.5 t を超え	無し	12.5 t 以下	有り	<p style="text-align: center;">備考</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
ブロック質量	作業区分	堆砂の有無	クレーン機種																																																																																										
0.25 t 以上6.5 t 以下	撤去・仮置き	無し	(表3.2)																																																																																										
		有り																																																																																											
	撤去・据付け(乱積)	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
	撤去・据付け(層積)	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
	撤去・積込み	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
6.5 t 超12.5 t 以下	撤去・仮置き	無し	(表3.2)																																																																																										
		有り																																																																																											
	撤去・据付け(乱積)	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
	撤去・据付け(層積)	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
	撤去・積込み	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
12.5 t 超35.5 t 以下	撤去・仮置き	無し	(表3.2)																																																																																										
		有り																																																																																											
	撤去・据付け(乱積)	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
	撤去・据付け(層積)	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
	撤去・積込み	無し																																																																																											
		有り																																																																																											
作業区分	ブロック質量	堆砂の有無	クレーン機種																																																																																										
撤去・仮置き	0.25 t 以上	無し	(表3.2)																																																																																										
	6.5 t 以下	有り																																																																																											
	6.5 t を超え	無し																																																																																											
	12.5 t 以下	有り																																																																																											
撤去・据付け(乱積)	0.25 t 以上	無し																																																																																											
	6.5 t 以下	有り																																																																																											
	6.5 t を超え	無し																																																																																											
	12.5 t 以下	有り																																																																																											
撤去・据付け(層積)	0.25 t 以上	無し																																																																																											
	6.5 t 以下	有り																																																																																											
	6.5 t を超え	無し																																																																																											
	12.5 t 以下	有り																																																																																											
撤去・積込み	0.25 t 以上	無し																																																																																											
	6.5 t 以下	有り																																																																																											
	6.5 t を超え	無し																																																																																											
	12.5 t 以下	有り																																																																																											
頁	251	251																																																																																											

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">5章.河 川 維 持</p> <p>① 堤防天端補修工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防の管理用通路における天端補修に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 不陸整正・締固め (1) 補修材厚さが325mm以下の場合</p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[機械搬入] --> B[不陸整正] B --> C["(補修材敷均し)"] C --> D[締固め] D --> E[機械搬出] </pre> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要に応じて計上する。</p>	<p style="text-align: center;">5章.河 川 維 持</p> <p>① 堤防天端補修工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防の管理用通路における天端補修に適用する。</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲 1-1-1 不陸整正・締固め (1) 補修材 <u>平均</u> 厚さが325mm以下の場合</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	257	257

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	→	改定	備 考																																																																																								
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 不陸整正・締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>モータグレーダ [土工用] ブレード幅 3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生クラッシャーラン RC-40</td> <td>・補修材数均し「有り」かつ材料が必要な場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	モータグレーダ [土工用] ブレード幅 3.1m		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手 (特殊)		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	・補修材数均し「有り」かつ材料が必要な場合	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—			<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 不陸整正・締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>モータグレーダ [土工用] ブレード幅 3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生クラッシャーラン RC-40</td> <td>・補修材数均し「有り」かつ材料が必要な場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	モータグレーダ [土工用] ブレード幅 3.1m		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手 (特殊)		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	再生 クラッシャーラン RC-40	・補修材数均し「有り」かつ材料が必要な場合	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K1	モータグレーダ [土工用] ブレード幅 3.1m																																																																																										
	K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労務	R1	普通作業員																																																																																										
	R2	運転手 (特殊)																																																																																										
	R3	土木一般世話役																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材料	Z1	再生クラッシャーラン RC-40	・補修材数均し「有り」かつ材料が必要な場合																																																																																									
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
項目	代表機材規格		備考																																																																																									
機械	K1	モータグレーダ [土工用] ブレード幅 3.1m																																																																																										
	K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t																																																																																										
	K3	—																																																																																										
労務	R1	普通作業員																																																																																										
	R2	運転手 (特殊)																																																																																										
	R3	土木一般世話役																																																																																										
	R4	—																																																																																										
材料	Z1	再生 クラッシャーラン RC-40	・補修材数均し「有り」かつ材料が必要な場合																																																																																									
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																										
	Z3	—																																																																																										
	Z4	—																																																																																										
市場単価	S	—																																																																																										
頁	259		259																																																																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>② 堤防芝養生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、主に芝の繁茂している河川堤防及び高水敷等において、芝育成を目的とした芝養生工のうち、施肥工、抜根工、集草・積込運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 抜根 (1) 芝養生工における抜根、集草、積込運搬の一連作業または、抜根と集草、もしくは各個別作業の場合 (2) 積込運搬作業を含む場合で、運搬距離が15km(片道)以下の場合</p> <p>1-1-2 施肥 (1) 化学肥料の散布量が300~1,000kg/10,000m²の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要に応じて計上する。</p>	<p>② 堤防芝養生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、主に芝の繁茂している河川堤防及び高水敷等において、芝育成を目的とした芝養生工のうち、施肥工、抜根工、集草、積込運搬に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 抜根 (1) 芝養生工における抜根、集草、積込運搬の一連作業又は抜根と集草、もしくは各個別作業の場合 (2) 積込運搬作業を含む場合で、運搬距離が15km(片道)以下の場合</p> <p>1-1-2 施肥 (1) 化学肥料の散布量が300~1,000kg/10,000m²の場合</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	260	260

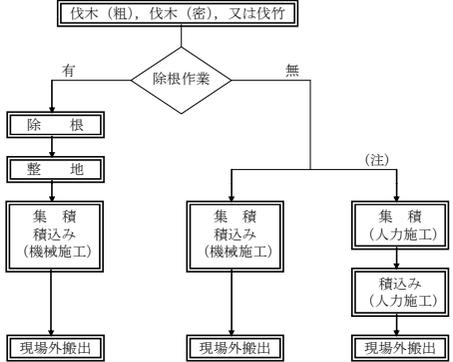
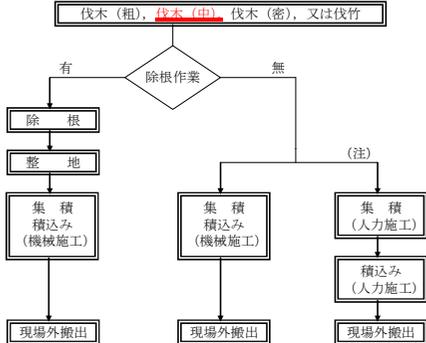
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																				
<p>3. 施工パッケージ 3-1 抜根 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 抜根 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">作業区分</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">抜根+集草+積込運搬</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">抜根+集草</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">抜根のみ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">集草のみ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">積込運搬のみ</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、芝の繁茂している河川堤防、高水敷等において、芝育成を目的とした芝養生工における抜根、集草、積込運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 廃棄、処分費用等が必要な場合は、別途計上する。 3. 危険物、空き缶、流木、石等の除去は、塵芥処理等で別途計上する。 4. 積込運搬は、運搬距離15km（片道）以下に適用し、15km（片道）を超える場合は別途考慮する。 5. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 6. 積込運搬はタイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 抜根 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>・積込運搬の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 軽作業員</td> <td>抜根の場合</td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td>集草の場合</td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(一般)</td> <td>積込運搬の場合</td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td>抜根の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>積込運搬の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	抜根+集草+積込運搬	抜根+集草	抜根のみ	集草のみ	積込運搬のみ	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込運搬の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 軽作業員	抜根の場合	R2 普通作業員	集草の場合	R3 運転手(一般)	積込運搬の場合	R4 土木一般世話役	抜根の場合	材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油	積込運搬の場合	Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、芝の繁茂している河川堤防、高水敷等において、芝育成を目的とした芝養生工における抜根、集草、積込運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 廃棄処分費用等が必要な場合は、別途計上する。 3. 危険物、空き缶、流木、石等の除去は、「5章④塵芥処理工」で別途計上する。 4. 積込運搬は、運搬距離15km（片道）以下に適用し、15km（片道）を超える場合は別途考慮する。 5. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 6. 積込運搬はタイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用出来る。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 抜根 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>・積込運搬の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 軽作業員</td> <td>抜根の場合</td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td>集草、積込運搬の場合</td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(一般)</td> <td>積込運搬の場合</td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td>抜根の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>積込運搬の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込運搬の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 軽作業員	抜根の場合	R2 普通作業員	集草、 積込運搬 の場合	R3 運転手(一般)	積込運搬の場合	R4 土木一般世話役	抜根の場合	材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油	積込運搬の場合	Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
作業区分																																																																						
抜根+集草+積込運搬																																																																						
抜根+集草																																																																						
抜根のみ																																																																						
集草のみ																																																																						
積込運搬のみ																																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																																				
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込運搬の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																				
	K2 -																																																																					
	K3 -																																																																					
労務	R1 軽作業員	抜根の場合																																																																				
	R2 普通作業員	集草の場合																																																																				
	R3 運転手(一般)	積込運搬の場合																																																																				
	R4 土木一般世話役	抜根の場合																																																																				
材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油	積込運搬の場合																																																																				
	Z2 -																																																																					
	Z3 -																																																																					
	Z4 -																																																																					
市場単価	S -																																																																					
項目	代表機材規格	備考																																																																				
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	・積込運搬の場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																				
	K2 -																																																																					
	K3 -																																																																					
労務	R1 軽作業員	抜根の場合																																																																				
	R2 普通作業員	集草、 積込運搬 の場合																																																																				
	R3 運転手(一般)	積込運搬の場合																																																																				
	R4 土木一般世話役	抜根の場合																																																																				
材料	Z1 軽油 1. 2号 バトロール給油	積込運搬の場合																																																																				
	Z2 -																																																																					
	Z3 -																																																																					
	Z4 -																																																																					
市場単価	S -																																																																					
頁	261	261																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																												
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-2 施肥 (1) 条件区分 施肥における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 堤防養生のための芝の施肥作業、肥料の現場内運搬の他、肥料の材料費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 化学肥料の散布量が 300~1,000kg/10,000m² の場合に適用し、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> </div> <p>(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 施肥 代表機劣材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">K1</th> <th style="width: 70%;">代表機劣材規格</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [普通型] 2 t 積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	K1	代表機劣材規格	備考	機械	K1	トラック [普通型] 2 t 積		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手 (一般)		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>3-2 施肥 (1) 条件区分 施肥における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 堤防養生のための芝の施肥作業、肥料の現場内小運搬の他、肥料の材料費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 化学肥料の散布量が 300~1,000kg/10,000m² の場合に適用し、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	K1	代表機劣材規格	備考																																											
機械	K1	トラック [普通型] 2 t 積																																												
	K2	—																																												
	K3	—																																												
労務	R1	普通作業員																																												
	R2	運転手 (一般)																																												
	R3	土木一般世話役																																												
	R4	—																																												
材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油																																												
	Z2	—																																												
	Z3	—																																												
	Z4	—																																												
市場単価	S	—																																												
頁	262	262																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>③ 伐木除根工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工のうち、伐木又は伐竹、除根、整地、集積、現場内小運搬、積み込み、現場外搬出に適用する。 1-1 適用できない範囲 1-1-1 運搬(伐木除根) (1) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 除根作業が無い場合の集積の機械施工と人力施工の選定は、集積機械であるバックホウが現地に入れるか否かで決定するものとする。</p>	<p>現行どおり</p> <p>本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工のうち、伐木又は伐竹、除根、整地、集積、現場内小運搬、積み込み、現場外搬出に適用する。 1-1 適用できない範囲 <u>1-1-1 伐木・伐竹(伐木除根)</u> <u>(1) 樹木と竹が混在する場合</u> <u>1-1-2 運搬(伐木除根)</u> (1) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	263	263

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																															
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 伐木・伐竹(伐木除根)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 伐木・伐竹(伐木除根) 積算条件区分一覧 (積算単位:m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>樹木・竹の区分</th><th>樹木密集度</th></tr> <tr><td>伐木(粗)</td><td>(50本/100m²未満)</td></tr> <tr><td>伐木(密)</td><td>(50本/100m²以上)</td></tr> <tr><td>伐竹</td><td></td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹、除草(下草刈)、伐木・伐竹を運搬可能な大きさに切断する作業の他、草刈り機(肩掛式)、チェーンソーの運転経費、損耗費等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 刈草及び伐木・伐竹の集積は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 伐木・伐竹(伐木除根) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>-</td></tr> <tr><td>K2</td><td>-</td></tr> <tr><td>K3</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>特殊作業員</td></tr> <tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td></tr> <tr><td>R3</td><td>普通作業員</td></tr> <tr><td>R4</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>-</td></tr> <tr><td>Z2</td><td>-</td></tr> <tr><td>Z3</td><td>-</td></tr> <tr><td>Z4</td><td>-</td></tr> <tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	樹木・竹の区分	樹木密集度	伐木(粗)	(50本/100m ² 未満)	伐木(密)	(50本/100m ² 以上)	伐竹		項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	特殊作業員	R2	土木一般世話役	R3	普通作業員	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><th>樹木・竹の区分</th><th>樹木密集度</th></tr> <tr><td>伐木(粗)</td><td>(10本/100m²未満)</td></tr> <tr><td>伐木(中)</td><td>(10本/100 m²以上 50本/100 m²未満)</td></tr> <tr><td>伐竹</td><td></td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹、除草(下草刈)、伐木・伐竹を運搬可能な大きさに切断する作業の他、草刈り機(肩掛式)、チェーンソーの運転経費、損耗費等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 刈草及び伐木・伐竹の集積は含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: right;">語句の修正</p>	樹木・竹の区分	樹木密集度	伐木(粗)	(10本/100m ² 未満)	伐木(中)	(10本/100 m ² 以上 50本/100 m ² 未満)	伐竹		
樹木・竹の区分	樹木密集度																																																
伐木(粗)	(50本/100m ² 未満)																																																
伐木(密)	(50本/100m ² 以上)																																																
伐竹																																																	
項目	代表機材規格	備考																																															
機械	K1	-																																															
	K2	-																																															
	K3	-																																															
労務	R1	特殊作業員																																															
	R2	土木一般世話役																																															
	R3	普通作業員																																															
	R4	-																																															
材料	Z1	-																																															
	Z2	-																																															
	Z3	-																																															
	Z4	-																																															
市場単価	S	-																																															
樹木・竹の区分	樹木密集度																																																
伐木(粗)	(10本/100m ² 未満)																																																
伐木(中)	(10本/100 m ² 以上 50本/100 m ² 未満)																																																
伐竹																																																	
頁	264	264																																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3-3 整地(伐木除根)</p> <p>(1) 条件区分 整地(伐木除根)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. 河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹・除根後の整地作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹(伐木除根)」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 整地(伐木除根) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>3-3 整地(伐木除根)</p> <p>(1) 条件区分 整地(伐木除根)における積算条件区分はない。 積算単位は、m²とする。 (注) 1. <u>河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の</u>伐木・伐竹・除根後の整地作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹(伐木除根)」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 整地(伐木除根) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)[標準型・<u>超低騒音型</u>・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																																																																							
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																								
	R 3	—																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[標準型・ <u>超低騒音型</u> ・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	賃料																																																																																							
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																								
	R 3	—																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	266	266																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																				
<p>3-4 集積積込み(機械施工)(伐木除根) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 集積積込み(機械施工)(伐木除根) 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">除根作業の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹・除根後の機械施工による集積、伐木、伐竹面積内の除草(下草刈)に関わる集積、人力による補助作業、現場内小運搬(200m程度)、現場外搬出の積込み作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹(伐木除根)」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 集積積込み(機械施工)(伐木除根) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置] 最大把持外径 0.7m級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 軽油 1、2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	除根作業の有無	有り	無し	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3)		K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置] 最大把持外径 0.7m級		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 軽油 1、2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>3-4 集積積込み(機械施工)(伐木除根) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 集積積込み(機械施工)(伐木除根) 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">除根作業の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、<u>河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の</u>伐木・伐竹・除根後の機械施工による集積、伐木、伐竹面積内の除草(下草刈)に関わる集積、人力による補助作業、現場内小運搬(200m程度)、現場外搬出の積込み作業の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹(伐木除根)」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> <p>(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 集積積込み(機械施工)(伐木除根) 代表機労材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機労材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 軽油 1、2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	除根作業の有無	有り	無し	項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3)		K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4 -		材料	Z1 軽油 1、2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
除根作業の有無																																																																						
有り																																																																						
無し																																																																						
項目	代表機労材規格	備考																																																																				
機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3)																																																																					
	K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置] 最大把持外径 0.7m級																																																																					
	K3 -																																																																					
労務	R1 運転手(特殊)																																																																					
	R2 土木一般世話役																																																																					
	R3 普通作業員																																																																					
	R4 -																																																																					
材料	Z1 軽油 1、2号 バトロール給油																																																																					
	Z2 -																																																																					
	Z3 -																																																																					
	Z4 -																																																																					
市場単価	S -																																																																					
除根作業の有無																																																																						
有り																																																																						
無し																																																																						
項目	代表機労材規格	備考																																																																				
機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3)																																																																					
	K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置] 最大把持外径(開口幅) 0.7m級																																																																					
	K3 -																																																																					
労務	R1 運転手(特殊)																																																																					
	R2 土木一般世話役																																																																					
	R3 普通作業員																																																																					
	R4 -																																																																					
材料	Z1 軽油 1、2号 バトロール給油																																																																					
	Z2 -																																																																					
	Z3 -																																																																					
	Z4 -																																																																					
市場単価	S -																																																																					
頁	267	267																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																															
<p>3-5 集積（人力施工）（伐木除根）</p> <p>(1) 条件区分 集積（人力施工）（伐木除根）における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> <p>(注) 1. 河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹・除根後の機械施工が困難な箇所での人力施工による集積作業、伐木、伐竹面積内の除草（下草刈）に関わる集積、現場内小運搬（100m程度）の他、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹（伐木除根）」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> <p>3. 現場外搬出時の積込作業は含まない。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 集積（人力施工）（伐木除根） 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機 械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労 務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>軽作業員</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機 械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労 務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	軽作業員	R 4	—	材 料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>3-5 集積（人力施工）（伐木除根）</p> <p>(1) 条件区分 集積（人力施工）（伐木除根）における積算条件区分はない。 積算単位は、m2とする。</p> <p>(注) 1. <u>河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の</u>伐木・伐竹・除根後の機械施工が困難な箇所での人力施工による集積作業、伐木、伐竹面積内の除草（下草刈）に関わる集積、現場内小運搬（100m程度）の他、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																															
機 械	K 1	—																															
	K 2	—																															
	K 3	—																															
労 務	R 1	普通作業員																															
	R 2	土木一般世話役																															
	R 3	軽作業員																															
	R 4	—																															
材 料	Z 1	—																															
	Z 2	—																															
	Z 3	—																															
	Z 4	—																															
市場単価	S	—																															
<p>頁</p> <p style="text-align: center;">268</p>	<p style="text-align: center;">268</p>																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																															
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-6 積込み(人力施工)(伐木除根)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>積込み(人力施工)(伐木除根)における積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. 河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木・伐竹・除根後の人力施工による集積作業時の現場外搬出に伴う積込み作業の他、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 対象面積は、「3-1 伐木・伐竹(伐木除根)」の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 積込み(人力施工)(伐木除根) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	—	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	<p>3-6 積込み(人力施工)(伐木除根)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>積込み(人力施工)(伐木除根)における積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は、m²とする。</p> <p>(注) 1. <u>河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹</u>の伐木・伐竹・除根後の人力施工による集積作業時の現場外搬出に伴う積込み作業の他、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																															
機械	K 1	—																															
	K 2	—																															
	K 3	—																															
労務	R 1	普通作業員																															
	R 2	土木一般世話役																															
	R 3	—																															
	R 4	—																															
材料	Z 1	—																															
	Z 2	—																															
	Z 3	—																															
	Z 4	—																															
市場単価	S	—																															
<p>頁</p> <p style="text-align: right;">269</p>	<p>現行どおり</p> <p style="text-align: right;">269</p>																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																					
<p>3-7 運搬(伐木除根) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 運搬(伐木除根) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積込条件</th> <th>除根作業の有無</th> <th>DID 区間の有無</th> <th>運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人力施工</td> <td rowspan="2">-</td> <td>無し</td> <td>(表 3.10)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.11)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">機械施工</td> <td rowspan="2">有り</td> <td>無し</td> <td>(表 3.12)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.13)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">無し</td> <td>無し</td> <td>(表 3.14)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表 3.15)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>(注) 1. 上表は、河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木除根工の現場外搬出に伴う運搬の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> </div> <p>2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 4. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものである。 5. 運搬距離が 60 km を超える場合は別途考慮する。 6. 集積物の処分費は、別途計上する。 7. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛かる費用を含む。 8. タイヤ損耗費の「良好」「普通」「不良」に関わらず適用できる。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 運搬距離(1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">運搬距離</td><td>1.0km 以下</td></tr> <tr><td>2.5km 以下</td></tr> <tr><td>4.0km 以下</td></tr> <tr><td>5.5km 以下</td></tr> <tr><td>7.5km 以下</td></tr> <tr><td>9.5km 以下</td></tr> <tr><td>12.0km 以下</td></tr> <tr><td>15.0km 以下</td></tr> <tr><td>19.0km 以下</td></tr> <tr><td>24.0km 以下</td></tr> <tr><td>31.0km 以下</td></tr> <tr><td>49.0km 以下</td></tr> <tr><td>60.0km 以下</td></tr> </tbody> </table>	積込条件	除根作業の有無	DID 区間の有無	運搬距離	人力施工	-	無し	(表 3.10)	有り	(表 3.11)	機械施工	有り	無し	(表 3.12)	有り	(表 3.13)	無し	無し	(表 3.14)	有り	(表 3.15)	積算条件	区分	運搬距離	1.0km 以下	2.5km 以下	4.0km 以下	5.5km 以下	7.5km 以下	9.5km 以下	12.0km 以下	15.0km 以下	19.0km 以下	24.0km 以下	31.0km 以下	49.0km 以下	60.0km 以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(注) 1. 上表は、河川堤防、高水敷等に繁茂する樹木や竹の伐木除根工の現場外搬出に伴う運搬の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
積込条件	除根作業の有無	DID 区間の有無	運搬距離																																				
人力施工	-	無し	(表 3.10)																																				
		有り	(表 3.11)																																				
機械施工	有り	無し	(表 3.12)																																				
		有り	(表 3.13)																																				
	無し	無し	(表 3.14)																																				
		有り	(表 3.15)																																				
積算条件	区分																																						
運搬距離	1.0km 以下																																						
	2.5km 以下																																						
	4.0km 以下																																						
	5.5km 以下																																						
	7.5km 以下																																						
	9.5km 以下																																						
	12.0km 以下																																						
	15.0km 以下																																						
	19.0km 以下																																						
	24.0km 以下																																						
	31.0km 以下																																						
	49.0km 以下																																						
60.0km 以下																																							
頁	270	270																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>④ 塵芥処理工</p> <p>1. 適用範囲 河川堤防、高水敷、又は中州等の陸上部にある塵芥の収集・集積、現場外搬出に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 散在塵芥収集</p> <p>(1) 散在している塵芥(空き缶・木片等)を人力によりビニール袋等に拾い集める場合</p> <p>(2) 作業場所の草丈が、0.5m程度以下の場合</p> <p>(3) 塵芥量が1m³/1000m²程度以下の場合</p> <p>(4) 散在塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-1-2 堆積塵芥収集(機械処理)</p> <p>(1) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以上を機械により収集・集積する場合</p> <p>(2) 堆積塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-1-3 堆積塵芥収集(人力処理)</p> <p>(1) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以上を人力により収集・集積する場合</p> <p>(2) 堆積塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>(1) 運搬距離が60kmを超える場合</p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD subgraph Scattered [散在塵芥] A[人力による収集・集積] end subgraph Accumulated [堆積塵芥] B[機械搬入] --> C[機械による収集・集積] end A --> D[現場外搬出] C --> D E[人力による収集・集積] --> D </pre> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>④ 塵芥処理工</p> <p>1. 適用範囲 <u>本資料は</u>、河川堤防、高水敷、又は中州等の陸上部にある塵芥の収集・集積、現場外搬出に適用する。</p> <p>1-1 適用<u>出来る</u>範囲</p> <p>1-1-1 散在塵芥収集</p> <p>(1) 散在している塵芥(空き缶・木片等)を人力によりビニール袋等に拾い集める場合</p> <p>(2) 作業場所の草丈が、0.5m程度以下の場合</p> <p>(3) 塵芥量が1m³/<u>1,000</u>m²程度以下の場合</p> <p>(4) 散在塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-1-2 堆積塵芥収集(機械処理)</p> <p>(1) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以上を機械により収集・集積する場合</p> <p>(2) 堆積塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-1-3 堆積塵芥収集(人力処理)</p> <p>(1) 塵芥量が1m³/1,000m²程度以上を人力により収集・集積する場合</p> <p>(2) 堆積塵芥収集により集積された塵芥を運搬する場合</p> <p>1-2 適用<u>出来ない</u>範囲</p> <p>(1) 運搬距離が60kmを超える場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	275	275

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																					
<p>3. 施工パッケージ 3-1 散在塵芥収集 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 散在塵芥収集 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック持込・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積のみ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収集・集積・運搬</td> <td>無し</td> <td>(表3.2)</td> <td rowspan="4">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運搬のみ</td> <td>無し</td> <td>(表3.2)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.3)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、散在塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、分別作業、運搬車への積込み、積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上する。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛る費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">表3.2 運搬距離(1)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14" style="text-align: left;">運搬距離</td><td>1.0km以下</td></tr> <tr><td>2.0km以下</td></tr> <tr><td>3.0km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>6.0km以下</td></tr> <tr><td>7.5km以下</td></tr> <tr><td>9.5km以下</td></tr> <tr><td>12.0km以下</td></tr> <tr><td>14.5km以下</td></tr> <tr><td>17.5km以下</td></tr> <tr><td>21.5km以下</td></tr> <tr><td>26.5km以下</td></tr> <tr><td>34.5km以下</td></tr> <tr><td>46.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table>	作業区分	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込・貸与	収集・集積のみ	-	-	-	収集・集積・運搬	無し	(表3.2)	(表3.4)	有り	(表3.3)	運搬のみ	無し	(表3.2)	有り	(表3.3)	積算条件	区分	運搬距離	1.0km以下	2.0km以下	3.0km以下	4.5km以下	6.0km以下	7.5km以下	9.5km以下	12.0km以下	14.5km以下	17.5km以下	21.5km以下	26.5km以下	34.5km以下	46.0km以下	60.0km以下	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">(注) 1. 上表は、散在塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、分別作業、運搬車への積込み、積込まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。<u>ただし、運搬のみの場合は、運搬車への積込みを別途計上する。</u> 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上する。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛る費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p>	<p>語句の修正</p>
作業区分	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込・貸与																																				
収集・集積のみ	-	-	-																																				
収集・集積・運搬	無し	(表3.2)	(表3.4)																																				
	有り	(表3.3)																																					
運搬のみ	無し	(表3.2)																																					
	有り	(表3.3)																																					
積算条件	区分																																						
運搬距離	1.0km以下																																						
	2.0km以下																																						
	3.0km以下																																						
	4.5km以下																																						
	6.0km以下																																						
	7.5km以下																																						
	9.5km以下																																						
	12.0km以下																																						
	14.5km以下																																						
	17.5km以下																																						
	21.5km以下																																						
	26.5km以下																																						
	34.5km以下																																						
	46.0km以下																																						
60.0km以下																																							
頁	276	276																																					

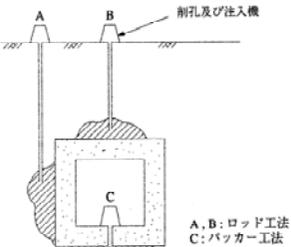
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																													
<p>3-2 堆積塵芥収集(機械処理) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 堆積塵芥収集(機械処理) 積算条件区分一覧 (積算単位:m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>塵芥の種類</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック 持込・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積のみ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収集・集積・運搬</td> <td>木片、空き缶、枯草等のかさ高物</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> <td rowspan="4">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊等の重量物</td> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運搬のみ</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等のかさ高物</td> <td>無し</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、堆積した塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、運搬車への積込み、分別作業、機械処理による堆積塵芥収集で積まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛る費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p> </div>	作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与	収集・集積のみ	-	-	-	-	収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.7)	(表3.4)	コンクリート塊等の重量物	有り	(表3.8)	運搬のみ	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.9)	有り	(表3.10)	コンクリート塊等の重量物	無し	(表3.7)	有り	(表3.8)	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、堆積した塵芥の収集・集積、現場内小運搬(30m程度)、<u>分別作業、運搬車への積込み</u>、機械処理による堆積塵芥収集で積まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。<u>ただし、運搬のみの場合は、運搬車への積込みを別途計上する。</u> 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛る費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p>	<p>語句の修正</p>
作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック 持込・貸与																											
収集・集積のみ	-	-	-	-																											
収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.7)	(表3.4)																											
	コンクリート塊等の重量物	有り	(表3.8)																												
運搬のみ	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.9)																												
		有り	(表3.10)																												
	コンクリート塊等の重量物	無し	(表3.7)																												
		有り	(表3.8)																												
頁 278	278																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																													
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 堆積塵芥収集(機械処理) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕山積0.28m³(平積0.20m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕2t 積積</td> <td>・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(一般)</td> <td>運搬を含む場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 堆積塵芥収集(人力処理) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 堆積塵芥収集(人力処理) 積算条件区分一覧 (積算単位:m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>塵芥の種類</th> <th>DID区間の有無</th> <th>運搬距離</th> <th>ダンプトラック持込・貸与</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集・集積のみ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">収集・集積・運搬</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等のかさ高物</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> <td rowspan="4">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">運搬のみ</td> <td rowspan="2">木片、空き缶、枯草等のかさ高物</td> <td>無し</td> <td>(表3.7)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート塊等の重量物</td> <td>無し</td> <td>(表3.9)</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>(表3.10)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、堆積した塵芥の収集・集積の他、運搬車への積込み、現場内小運搬及び分別作業、人力処理による堆積塵芥収集で積まれた塵芥の処分場までの運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。 6. 運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理に掛る費用を含む 7. タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 8. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕山積0.28m ³ (平積0.20m ³)		K 2	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕2t 積積	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	運転手(一般)	運搬を含む場合	R 3	普通作業員		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込・貸与	収集・集積のみ	—	—	—	—	収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.7)	(表3.4)	有り	(表3.8)	コンクリート塊等の重量物	無し	(表3.9)	有り	(表3.10)	運搬のみ	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.7)	有り	(表3.8)	コンクリート塊等の重量物	無し	(表3.9)	有り	(表3.10)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																												
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕山積0.28m ³ (平積0.20m ³)																																																																													
	K 2	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕2t 積積	・運搬を含む場合 ・タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																												
	K 3	—																																																																													
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																													
	R 2	運転手(一般)	運搬を含む場合																																																																												
	R 3	普通作業員																																																																													
	R 4	土木一般世話役																																																																													
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																													
	Z 2	—																																																																													
	Z 3	—																																																																													
	Z 4	—																																																																													
市場単価	S	—																																																																													
作業区分	塵芥の種類	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック持込・貸与																																																																											
収集・集積のみ	—	—	—	—																																																																											
収集・集積・運搬	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.7)	(表3.4)																																																																											
		有り	(表3.8)																																																																												
	コンクリート塊等の重量物	無し	(表3.9)																																																																												
		有り	(表3.10)																																																																												
運搬のみ	木片、空き缶、枯草等のかさ高物	無し	(表3.7)																																																																												
		有り	(表3.8)																																																																												
	コンクリート塊等の重量物	無し	(表3.9)																																																																												
		有り	(表3.10)																																																																												
頁	281	281																																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>⑤ ボーリンググラウト工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、注入設備2セット施工により、河川構造物（樋管・樋門・水門・堤防等）周辺の止水、空洞充填等を目的にセメントペントナイトを注入するボーリンググラウト工に適用する。なお、注入工法は図1-1に示すような堤体上から、土を削孔し注入するロッド工法及び構造物内空断面が、おおむね高さ1.2×幅1.5m以上の構造物（樋管等）内コンクリート床版を削孔してその裏側に注入するバッカー工法とする。</p>  <p style="text-align: center;">図1-1 施工法</p> <p>A, B: ロッド工法 C: バッカー工法</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 削孔</p> <p>(1) 削孔長が1.0m以上16.0m未満、土質係数が1.8以下のロッド工法の場合</p> <p>(2) 削孔長が2.0m未満のバッカー工法の場合</p> <p>1-1-2 注入</p> <p>(1) 注入工1m³当り注入日数が0.10日以上0.31日未満（1分間当り注入量が4ℓ/min以上12ℓ/min未満）の場合</p> </div>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲</p> <p>1-1-1 削孔</p> <p>(1) 削孔長が1.0m以上16.0m未満、土質係数が1.8以下のロッド工法の場合</p> <p>(2) 削孔長が2.0m未満のバッカー工法の場合</p> <p>1-1-2 注入</p> <p>(1) 注入工1m³当り注入日数が0.10日以上0.31日未満（1分間当り注入量が4ℓ/min以上12ℓ/min未満）の場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	283	283

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																
<p style="text-align: center;">表3.2 土質係数(α)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="9" style="text-align: center;">土質係数 (α)</td> <td>1.0</td> </tr> <tr><td>1.1</td> </tr> <tr><td>1.2</td> </tr> <tr><td>1.3</td> </tr> <tr><td>1.4</td> </tr> <tr><td>1.5</td> </tr> <tr><td>1.6</td> </tr> <tr><td>1.7</td> </tr> <tr><td>1.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 削孔 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級</td> <td>ロッド工法の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機 [電動式コアボーリングマシン] 穿孔径φ52~250mm</td> <td>バック工法の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1, 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 メタルクラウン φ46mm</td> <td>ロッド工法の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	土質係数 (α)	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級	ロッド工法の場合	コンクリート穿孔機 [電動式コアボーリングマシン] 穿孔径φ52~250mm	バック工法の場合	K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA	賃料	K3	—		労務	R1 特殊作業員		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4	—	材料	Z1 軽油 1, 2号 バトロール給油		Z2 メタルクラウン φ46mm	ロッド工法の場合	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">表3.3 削孔 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級</td> <td>ロッド工法の場合</td> </tr> <tr> <td>コンクリート穿孔機 [電動式コアボーリングマシン] (簡易仕様型) 最大穿孔径φ250mm</td> <td>バック工法の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1, 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 メタルクラウン φ46mm</td> <td>ロッド工法の場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級	ロッド工法の場合	コンクリート穿孔機 [電動式コアボーリングマシン] (簡易仕様型) 最大穿孔径φ250mm	バック工法の場合	K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA	賃料	K3	—		労務	R1 特殊作業員		R2 土木一般世話役		R3 普通作業員		R4	—	材料	Z1 軽油 1, 2号 バトロール給油		Z2 メタルクラウン φ46mm	ロッド工法の場合	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																	
土質係数 (α)	1.0																																																																																	
	1.1																																																																																	
	1.2																																																																																	
	1.3																																																																																	
	1.4																																																																																	
	1.5																																																																																	
	1.6																																																																																	
	1.7																																																																																	
	1.8																																																																																	
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級	ロッド工法の場合																																																																																
	コンクリート穿孔機 [電動式コアボーリングマシン] 穿孔径φ52~250mm	バック工法の場合																																																																																
	K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA	賃料																																																																																
K3	—																																																																																	
労務	R1 特殊作業員																																																																																	
	R2 土木一般世話役																																																																																	
	R3 普通作業員																																																																																	
	R4	—																																																																																
材料	Z1 軽油 1, 2号 バトロール給油																																																																																	
	Z2 メタルクラウン φ46mm	ロッド工法の場合																																																																																
	Z3	—																																																																																
	Z4	—																																																																																
市場単価	S	—																																																																																
項目	代表機材規格	備考																																																																																
機械	K1 ボーリングマシン [油圧式] 5.5kW 級	ロッド工法の場合																																																																																
	コンクリート穿孔機 [電動式コアボーリングマシン] (簡易仕様型) 最大穿孔径φ250mm	バック工法の場合																																																																																
	K2 発動発電機 [ディーゼル駆動・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 45kVA	賃料																																																																																
K3	—																																																																																	
労務	R1 特殊作業員																																																																																	
	R2 土木一般世話役																																																																																	
	R3 普通作業員																																																																																	
	R4	—																																																																																
材料	Z1 軽油 1, 2号 バトロール給油																																																																																	
	Z2 メタルクラウン φ46mm	ロッド工法の場合																																																																																
	Z3	—																																																																																
	Z4	—																																																																																
市場単価	S	—																																																																																
頁	286	286																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																										
<p>3-2 軟弱土等運搬 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 軟弱土等運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">DID区間の有無</th> <th style="width: 70%;">運搬距離</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">無し</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.8km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>6.5km以下</td></tr> <tr><td>9.0km以下</td></tr> <tr><td>13.0km以下</td></tr> <tr><td>19.5km以下</td></tr> <tr><td>40.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">有り</td><td>0.3km以下</td></tr> <tr><td>0.8km以下</td></tr> <tr><td>1.5km以下</td></tr> <tr><td>2.5km以下</td></tr> <tr><td>3.5km以下</td></tr> <tr><td>4.5km以下</td></tr> <tr><td>8.5km以下</td></tr> <tr><td>12.0km以下</td></tr> <tr><td>17.5km以下</td></tr> <tr><td>30.0km以下</td></tr> <tr><td>50.0km以下</td></tr> <tr><td>60.0km以下</td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 3. 現場条件により表3.3で想定する機械より難い場合は、別途考慮する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 軟弱土等運搬 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">代表機材規格</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]10t 積載</td> <td>タイヤ消耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 軽油 1, 2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	DID区間の有無	運搬距離	無し	0.3km以下	0.8km以下	1.5km以下	2.5km以下	3.5km以下	6.5km以下	9.0km以下	13.0km以下	19.5km以下	40.0km以下	60.0km以下	有り	0.3km以下	0.8km以下	1.5km以下	2.5km以下	3.5km以下	4.5km以下	8.5km以下	12.0km以下	17.5km以下	30.0km以下	50.0km以下	60.0km以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]10t 積載	タイヤ消耗費及び補修費(良好)を含む	K2 -		K3 -		労務	R1 運転手(一般)		R2 -		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1, 2号 バトルール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p>(注) 1. 上表は、河床等に堆積した沈殿物、底泥等の軟弱土を掘削除去した後の運搬作業及び道路、河川工事におけるほぐした土の運搬作業等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは平均値とする。 3. DID(人口集中地区)は、<u>経務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。</u> 4. 現場条件により表3.3で想定する機械により難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
DID区間の有無	運搬距離																																																											
無し	0.3km以下																																																											
	0.8km以下																																																											
	1.5km以下																																																											
	2.5km以下																																																											
	3.5km以下																																																											
	6.5km以下																																																											
	9.0km以下																																																											
	13.0km以下																																																											
	19.5km以下																																																											
	40.0km以下																																																											
60.0km以下																																																												
有り	0.3km以下																																																											
	0.8km以下																																																											
	1.5km以下																																																											
	2.5km以下																																																											
	3.5km以下																																																											
	4.5km以下																																																											
	8.5km以下																																																											
	12.0km以下																																																											
	17.5km以下																																																											
	30.0km以下																																																											
50.0km以下																																																												
60.0km以下																																																												
項目	代表機材規格	備考																																																										
機械	K1 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]10t 積載	タイヤ消耗費及び補修費(良好)を含む																																																										
	K2 -																																																											
	K3 -																																																											
労務	R1 運転手(一般)																																																											
	R2 -																																																											
	R3 -																																																											
	R4 -																																																											
材料	Z1 軽油 1, 2号 バトルール給油																																																											
	Z2 -																																																											
	Z3 -																																																											
	Z4 -																																																											
市場単価	S -																																																											
頁	291	291																																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑦ 巨石積(張)工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、河川における多自然護岸工事の施工で巨石張工(練・空)、巨石積工(練)について適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 巨石張(練)</p> <p>(1) 法勾配1:1以上、石材径40cm以上~100cm以下の場合</p> <p>1-1-2 巨石張(空)</p> <p>(1) 法勾配1:1以上、石材径40cm以上~100cm以下の場合</p> <p>1-1-3 巨石積(練)</p> <p>(1) 法勾配1:1未満、石材径40cm以上~100cm以下の場合</p> <p>1-1-4 巨石採取</p> <p>(1) 巨石材(径40cm以上~100cm以下)を機械により現地採取する場合</p> </div>	<p>⑦ 巨石積(張)工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、河川における多自然護岸型工事の施工で巨石張工(練・空)、巨石積工(練)について適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 巨石張(練)</p> <p>(1) 法勾配1:1以上、石材径40cm以上100cm以下の場合</p> <p>1-1-2 巨石張(空)</p> <p>(1) 法勾配1:1以上、石材径40cm以上100cm以下の場合</p> <p>1-1-3 巨石積(練)</p> <p>(1) 法勾配1:1未満、石材径40cm以上100cm以下の場合</p> <p>1-1-4 巨石採取</p> <p>(1) 巨石材(径40cm以上100cm以下)を機械により現地採取する場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁 292	292	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																													
<p>3. 施工パッケージ 3-1 巨石張(兼) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 巨石張(兼) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>石材径区分</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>止水シートの有無</th> <th>裏込材の有無</th> <th>裏込材規格</th> <th>胴込・裏込コンクリート使用量</th> <th>胴込・裏込コンクリート規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.4)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.5)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、巨石(法勾配1割以上)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、遮水シート・止水シート、水抜きパイプ、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、パイプレタ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。 2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。 3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。 4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm²当たり単価で別途計上する。 5. かみ合せによる石の加工を含む。 6. 遮水・止水シート、裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。 7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑割石等)とする。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>表3.2 石材径区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">石材径区分</td> <td style="text-align: center;">40 cm以上 60 cm未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">60 cm以上 80 cm未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">80 cm以上 100 cm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.3 胴込・裏込材規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">胴込・裏込材規格</td> <td style="text-align: center;">再生クラッシュ RC-40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">再生クラッシュ RC-80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">クラッシュ C-40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">クラッシュ C-80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">砕石各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.4 胴込・裏込コンクリート使用量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 使用量 (m³/10m²)</td> <td style="text-align: center;">0.5m³以上 1.0m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.0m³を超え 1.5m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.5m³を超え 2.0m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.0m³を超え 2.5m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2.5m³を超え 3.0m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.0m³を超え 3.5m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.5m³を超え 4.0m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4.0m³を超え 4.5m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4.5m³を超え 5.0m³以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.5 胴込・裏込コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">胴込・裏込コンクリート 規格</td> <td style="text-align: center;">18-8-25 (20)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18-8-40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19.5-8-40</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18-5-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18-8-25 (20) (高炉)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18-8-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19.5-8-40 (高炉)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生コンクリート各種</td> </tr> </tbody> </table> </div>	石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込コンクリート使用量	胴込・裏込コンクリート規格	(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)	無し	有り	(表3.3)	無し	有り	有り	(表3.3)	無し	有り	(表3.3)	積算条件	区分	石材径区分	40 cm以上 60 cm未満	60 cm以上 80 cm未満	80 cm以上 100 cm以下	積算条件	区分	胴込・裏込材規格	再生クラッシュ RC-40	再生クラッシュ RC-80	クラッシュ C-40	クラッシュ C-80	砕石各種	積算条件	区分	胴込・裏込コンクリート 使用量 (m ³ /10m ²)	0.5m ³ 以上 1.0m ³ 以下	1.0m ³ を超え 1.5m ³ 以下	1.5m ³ を超え 2.0m ³ 以下	2.0m ³ を超え 2.5m ³ 以下	2.5m ³ を超え 3.0m ³ 以下	3.0m ³ を超え 3.5m ³ 以下	3.5m ³ を超え 4.0m ³ 以下	4.0m ³ を超え 4.5m ³ 以下	4.5m ³ を超え 5.0m ³ 以下	積算条件	区分	胴込・裏込コンクリート 規格	18-8-25 (20)	18-8-40	19.5-8-40	18-5-40 (高炉)	18-8-25 (20) (高炉)	18-8-40 (高炉)	19.5-8-40 (高炉)	生コンクリート各種	<p style="text-align: center;">改定</p> <div style="margin-top: 100px;"> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> </div> <div style="margin-top: 100px;"> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>
石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込コンクリート使用量	胴込・裏込コンクリート規格																																																									
(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)																																																									
		無し	有り	(表3.3)																																																											
	無し	有り	有り	(表3.3)																																																											
		無し	有り	(表3.3)																																																											
積算条件	区分																																																														
石材径区分	40 cm以上 60 cm未満																																																														
	60 cm以上 80 cm未満																																																														
	80 cm以上 100 cm以下																																																														
積算条件	区分																																																														
胴込・裏込材規格	再生クラッシュ RC-40																																																														
	再生クラッシュ RC-80																																																														
	クラッシュ C-40																																																														
	クラッシュ C-80																																																														
	砕石各種																																																														
積算条件	区分																																																														
胴込・裏込コンクリート 使用量 (m ³ /10m ²)	0.5m ³ 以上 1.0m ³ 以下																																																														
	1.0m ³ を超え 1.5m ³ 以下																																																														
	1.5m ³ を超え 2.0m ³ 以下																																																														
	2.0m ³ を超え 2.5m ³ 以下																																																														
	2.5m ³ を超え 3.0m ³ 以下																																																														
	3.0m ³ を超え 3.5m ³ 以下																																																														
	3.5m ³ を超え 4.0m ³ 以下																																																														
	4.0m ³ を超え 4.5m ³ 以下																																																														
4.5m ³ を超え 5.0m ³ 以下																																																															
積算条件	区分																																																														
胴込・裏込コンクリート 規格	18-8-25 (20)																																																														
	18-8-40																																																														
	19.5-8-40																																																														
	18-5-40 (高炉)																																																														
	18-8-25 (20) (高炉)																																																														
	18-8-40 (高炉)																																																														
	19.5-8-40 (高炉)																																																														
	生コンクリート各種																																																														
頁	294	294																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption style="text-align: center;">表3.6 巨石張(線) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 再生クラッシュラン RC-40</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 パトロール給油</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td>遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 巨石張(空) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <caption style="text-align: center;">表3.7 巨石張(空) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</caption> <thead> <tr> <th>石材径区分</th> <th>吸出し防止材の有無</th> <th>裏込材の有無</th> <th>胴込材規格</th> <th>胴込材規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注)1. 上表は、巨石(法勾配1割以上)の設置、裏込材設置、胴込材設置、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、パイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。 2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。 3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。 4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm2当たり単価で別途計上する。 5. かみ合せによる石の加工を含む。 6. 吸出し防止材、裏込材、胴込材の材料ロスを含む。 7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑割石等)、胴込材とは、胴込砕石(玉石、割栗石、雑割石等)とする。</p> </div>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)	裏込材が有りの場合	材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		Z2 再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合	Z3 軽油 1.2号 パトロール給油	裏込材が有りの場合	Z4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合	市場単価	S -		石材径区分	吸出し防止材の有無	裏込材の有無	胴込材規格	胴込材規格	(表3.2)	有り	有り	(表3.3)	(表3.3)	無し	-	無し	有り	(表3.3)	無し	-	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">(注)1. 上表は、巨石(法勾配1割以上)の設置、裏込材設置、胴込材設置、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、<u>コンクリート</u>パイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。 2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。 3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。 4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm2当たり単価で別途計上する。 5. かみ合せによる石の加工を含む。 6. 吸出し防止材、裏込材、胴込材の材料ロスを含む。 7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑割石等)、胴込材とは、胴込砕石(玉石、割栗石、雑割石等)とする。</p>	<p style="text-align: center;">語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																
	K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合																																																
	K3 -																																																	
労務	R1 普通作業員																																																	
	R2 特殊作業員																																																	
	R3 土木一般世話役																																																	
	R4 運転手(特殊)	裏込材が有りの場合																																																
材料	Z1 生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%																																																	
	Z2 再生クラッシュラン RC-40	裏込材が有りの場合																																																
	Z3 軽油 1.2号 パトロール給油	裏込材が有りの場合																																																
	Z4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合																																																
市場単価	S -																																																	
石材径区分	吸出し防止材の有無	裏込材の有無	胴込材規格	胴込材規格																																														
(表3.2)	有り	有り	(表3.3)	(表3.3)																																														
		無し	-																																															
	無し	有り	(表3.3)																																															
		無し	-																																															
頁	295	295																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 巨石(空) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 吸出し防止材 合繊不織布 t≒10mm 9.8kN/m</td> <td>吸出し防止材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 再生クラッシュラン RC-40(裏込材)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油1,2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 再生クラッシュラン RC-40(胴込材)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 巨石積(純) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 巨石積(純) 積算条件区分一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>石材径区分</th> <th>遮水シートの有無</th> <th>止水シートの有無</th> <th>裏込材の有無</th> <th>裏込材規格</th> <th>胴込・裏込ツクリ→使用量</th> <th>胴込・裏込コンクリ→規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">有り</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.4)</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">(表3.5)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注)1. 上表は、巨石(法勾配1割未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、遮水シート・止水シート、水抜きパイプ、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、パイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。</p> <p>2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。</p> <p>3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。</p> <p>4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。石材を購入する場合は、購入費をm²当たり単価で別途計上する。</p> <p>5. かみ合せによる石の加工を含む。</p> <p>6. 遮水・止水シート、裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。</p> <p>7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑割石等)とする。</p> </div>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)		材料	Z1 吸出し防止材 合繊不織布 t≒10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合	Z2 再生クラッシュラン RC-40(裏込材)	裏込材が有りの場合	Z3 軽油1,2号 バトロール給油		Z4 再生クラッシュラン RC-40(胴込材)		市場単価	S -		石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込ツクリ→使用量	胴込・裏込コンクリ→規格	(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)	無し	-	有り	(表3.3)	無し	-	無し	有り	有り	(表3.3)	無し	-	無し	有り	(表3.3)	無し	-	<p style="text-align: center;">改定</p> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div> <p>(注)1. 上表は、巨石(法勾配1割未満)の設置、裏込材設置、胴込・裏込コンクリート打設、遮水シート・止水シート、水抜きパイプ、吸出し防止材、現場内小運搬の他、型枠、コンクリートバケット、パイプレータ、つき固め機械損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、石材(材料費)は含まない。</p> <p>2. 石材径とは、最大径と最小径の平均値とする。</p> <p>3. 20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。</p> <p>4. 石材を現地採取する場合は、「3-6 巨石採取」で別途計上する。また、石材を購入する場合は、購入費をm²当たり単価で別途計上する。</p> <p>5. かみ合せによる石の加工を含む。</p> <p>6. 遮水・止水シート、裏込材、胴込・裏込コンクリートの材料ロスを含む。</p> <p>7. 裏込材とは、裏込砕石(クラッシュラン、雑割石等)とする。</p>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: right; margin-top: 100px;">語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																														
	K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																															
	K3 -																																																															
労務	R1 普通作業員																																																															
	R2 特殊作業員																																																															
	R3 土木一般世話役																																																															
	R4 運転手(特殊)																																																															
材料	Z1 吸出し防止材 合繊不織布 t≒10mm 9.8kN/m	吸出し防止材が有りの場合																																																														
	Z2 再生クラッシュラン RC-40(裏込材)	裏込材が有りの場合																																																														
	Z3 軽油1,2号 バトロール給油																																																															
	Z4 再生クラッシュラン RC-40(胴込材)																																																															
市場単価	S -																																																															
石材径区分	遮水シートの有無	止水シートの有無	裏込材の有無	裏込材規格	胴込・裏込ツクリ→使用量	胴込・裏込コンクリ→規格																																																										
(表3.2)	有り	有り	有り	(表3.3)	(表3.4)	(表3.5)																																																										
			無し	-																																																												
		有り	(表3.3)																																																													
		無し	-																																																													
	無し	有り	有り	(表3.3)																																																												
			無し	-																																																												
		無し	有り	(表3.3)																																																												
			無し	-																																																												
頁	296	296																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 巨石積(積) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手(特殊)</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高伊 18-8-25(20)W/C 60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 再生クラッシュセラン RC-40</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1,2号 バトロール給油</td> <td>裏込材が有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 遮水シート 厚1.0+10.0mm</td> <td>遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 基礎コンクリート工 基礎コンクリート工は、「5章⑧護岸基礎ブロック工」又は「3章①コンクリート工」及び「3章②型枠工」により別途計上する。</p> <p>3-5 天端コンクリート工 天端コンクリート工は、「3章①コンクリート工」及び「3章②型枠工」により別途計上する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3-6 巨石採取 (1) 条件区分 巨石採取の条件区分はない。 積算単位は個とする。 (注)1. 巨石採取は、多自然型護岸工事における巨石材(径40cm以上~100cm以下)の掘削、採取、積込み、洗浄、選別、現場内小運搬の他、掴み装置、高圧洗浄機、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 機械による破砕作業や火薬類による発破作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 採取による20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 巨石採取 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置]最大把持外径1.0m級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 軽油 1,2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 土木一般世話役		R4 運転手(特殊)	裏込材が有りの場合	材料	Z1 生コンクリート 高伊 18-8-25(20)W/C 60%		Z2 再生クラッシュセラン RC-40	裏込材が有りの場合	Z3 軽油 1,2号 バトロール給油	裏込材が有りの場合	Z4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合	市場単価	S -		項目	代表機材規格	備考	機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)		K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置]最大把持外径1.0m級		K3 -		労務	R1 運転手(特殊)		R2 土木一般世話役		R3 -		R4 -		材料	Z1 軽油 1,2号 バトロール給油		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3-6 巨石採取 (1) 条件区分 巨石採取の条件区分はない。 積算単位は個とする。 (注)1. 巨石採取は、多自然型護岸工事における巨石材(径40cm以上~100cm以下)の掘削、採取、積込み、洗浄、選別、現場内小運搬の他、掴み装置、高圧洗浄機、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 機械による破砕作業や火薬類による発破作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 採取による20m程度の現場内小運搬を含むが、施工現場まで距離がある場合(20m超)の運搬費は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																														
	K2 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)	裏込材が有りの場合																																																														
	K3 -																																																															
労務	R1 普通作業員																																																															
	R2 特殊作業員																																																															
	R3 土木一般世話役																																																															
	R4 運転手(特殊)	裏込材が有りの場合																																																														
材料	Z1 生コンクリート 高伊 18-8-25(20)W/C 60%																																																															
	Z2 再生クラッシュセラン RC-40	裏込材が有りの場合																																																														
	Z3 軽油 1,2号 バトロール給油	裏込材が有りの場合																																																														
	Z4 遮水シート 厚1.0+10.0mm	遮水シートもしくは、止水シートが有りの場合																																																														
市場単価	S -																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.8m3(平積0.6m3)																																																															
	K2 バックホウ用アタッチメント[掴み装置]最大把持外径1.0m級																																																															
	K3 -																																																															
労務	R1 運転手(特殊)																																																															
	R2 土木一般世話役																																																															
	R3 -																																																															
	R4 -																																																															
材料	Z1 軽油 1,2号 バトロール給油																																																															
	Z2 -																																																															
	Z3 -																																																															
	Z4 -																																																															
市場単価	S -																																																															
6																																																																
頁	297	297																																																														

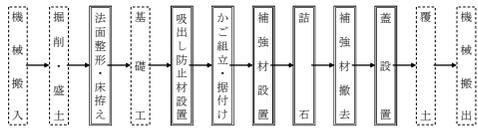
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">⑧ 護岸基礎ブロック工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、護岸工のプレキャスト基礎ブロック（ブロック長2m、3.3m、4m、5m）の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 プレキャスト基礎 (1) 中詰材の種類がコンクリートの場合 ・ブロック長が2m、3.3m、5mの場合 ・ブロック下幅が500mm以上、1,100mm以下の場合 (2) 中詰材の種類がコンクリート以外または無しの場合 ・ブロック長が2m、3.3m、4m、5mの場合 ・ブロック下幅が400mm以上、1,100mm以下の場合 ・中詰材にコンクリート以外のものを使用する場合 ・中詰作業を行わない場合（ただし、連結部分にだけ中詰作業を行うものは含む）</p> <p>1-1-2 中詰コンクリート打設 ・護岸基礎ブロック工における中詰（プレキャスト基礎）に適用できる。</p> <p>2. 施工概要 2-1 中詰材の種類（コンクリート） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図2-1 施工フロー</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. 一般養生、特殊養生に関わらず適用できる。</p> <p>2-2 中詰材の種類（コンクリート以外または無し） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図2-2 施工フロー</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. 目地材の有無に関わらず適用できる。 3. 一般養生、特殊養生に関わらず適用できる。 4. 中詰材は、必要に応じて計上する。</p> </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">⑧ 護岸基礎ブロック工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、護岸工のプレキャスト基礎ブロック（ブロック長2m、3.3m、4m、5m）の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 1-1-1 プレキャスト基礎 (1) 中詰材の種類がコンクリートの場合 ・ブロック長が2m、3.3m、5mの場合 ・ブロック下幅が500mm以上、1,100mm以下の場合 (2) 中詰材の種類がコンクリート以外又は無しの場合 ・ブロック長が2m、3.3m、4m、5mの場合 ・ブロック下幅が400mm以上、1,100mm以下の場合 ・中詰材にコンクリート以外のものを使用する場合 ・中詰作業を行わない場合（ただし、連結部分にだけ中詰作業を行うものは含む）</p> <p>1-1-2 中詰コンクリート打設 ・護岸基礎ブロック工における中詰（プレキャスト基礎）に適用出来る。</p> <p>2. 施工概要 2-1 中詰材の種類（コンクリート） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>2-1 施工フロー</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. 目地材設置の有無に関わらず適用出来る。 3. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用出来る。</p> <p>2-2 中詰材の種類（コンクリート以外又は無し） 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図2-2 施工フロー</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。 2. 目地材設置の有無に関わらず適用出来る。 3. 一般養生、特殊養生にかかわらず適用出来る。 4. 中詰材は、必要に応じて計上する。</p> </div>	<p>語句の修正</p>
頁	299	299

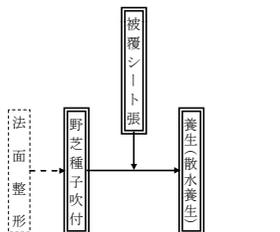
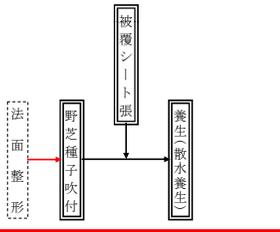
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																						
<p>3. 施工パッケージ 3-1 プレキャスト基礎 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.1 プレキャスト基礎 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>中詰材の種類</th> <th>ブロック製品長</th> <th>ブロック下幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリート</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="3">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">その他または無し</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(注) 1. 上表は、基礎材、プレキャスト基礎ブロック(据付け、連結、目地材)、中詰コンクリート投入、養生(中詰材の種類がコンクリートの場合)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、プレキャスト基礎(材料費)、中詰コンクリート(材料費)及び連結金具は含まない。 2. プレキャスト基礎ブロック、連結金具及び中詰コンクリートの材料費は別途計上する。</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p>表3.2 ブロック下幅(中詰材の種類がコンクリートの場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ブロック下幅</td> <td>500 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 700 mm未満</td> </tr> <tr> <td>700 mm以上 900 mm未満</td> </tr> <tr> <td>900 mm以上 1,100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>1,100 mm</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin: 10px 0;"> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>表3.3 ブロック下幅(中詰材の種類がその他または無しの場合)</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">ブロック下幅</td> <td>400mm 以上 500mm 未満</td> </tr> <tr> <td>500 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 700 mm未満</td> </tr> <tr> <td>700 mm以上 900 mm未満</td> </tr> <tr> <td>900 mm以上 1,100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>1,100 mm</td> </tr> </tbody> </table> </div>	中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅	コンクリート	2,000mm	(表 3.2)	3,300mm	5,000mm	その他または無し	2,000mm	(表 3.3)	3,300mm	4,000mm	5,000mm	積算条件	区 分	ブロック下幅	500 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 700 mm未満	700 mm以上 900 mm未満	900 mm以上 1,100 mm未満	1,100 mm	積算条件	区 分	ブロック下幅	400mm 以上 500mm 未満	500 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 700 mm未満	700 mm以上 900 mm未満	900 mm以上 1,100 mm未満	1,100 mm	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.1 プレキャスト基礎 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>中詰材の種類</th> <th>ブロック製品長</th> <th>ブロック下幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリート</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="3">(表 3.2)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート以外 又は無し</td> <td>2,000mm</td> <td rowspan="4">(表 3.3)</td> </tr> <tr> <td>3,300mm</td> </tr> <tr> <td>4,000mm</td> </tr> <tr> <td>5,000mm</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p>表3.3 ブロック下幅(中詰材の種類がコンクリート以外又は無しの場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">ブロック下幅</td> <td>400mm 以上 500mm 未満</td> </tr> <tr> <td>500 mm以上 600 mm未満</td> </tr> <tr> <td>600 mm以上 700 mm未満</td> </tr> <tr> <td>700 mm以上 900 mm未満</td> </tr> <tr> <td>900 mm以上 1,100 mm未満</td> </tr> <tr> <td>1,100 mm</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅	コンクリート	2,000mm	(表 3.2)	3,300mm	5,000mm	コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3.3)	3,300mm	4,000mm	5,000mm	積算条件	区 分	ブロック下幅	400mm 以上 500mm 未満	500 mm以上 600 mm未満	600 mm以上 700 mm未満	700 mm以上 900 mm未満	900 mm以上 1,100 mm未満	1,100 mm	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅																																																						
コンクリート	2,000mm	(表 3.2)																																																						
	3,300mm																																																							
	5,000mm																																																							
その他または無し	2,000mm	(表 3.3)																																																						
	3,300mm																																																							
	4,000mm																																																							
	5,000mm																																																							
積算条件	区 分																																																							
ブロック下幅	500 mm以上 600 mm未満																																																							
	600 mm以上 700 mm未満																																																							
	700 mm以上 900 mm未満																																																							
	900 mm以上 1,100 mm未満																																																							
	1,100 mm																																																							
積算条件	区 分																																																							
ブロック下幅	400mm 以上 500mm 未満																																																							
	500 mm以上 600 mm未満																																																							
	600 mm以上 700 mm未満																																																							
	700 mm以上 900 mm未満																																																							
	900 mm以上 1,100 mm未満																																																							
	1,100 mm																																																							
中詰材の種類	ブロック製品長	ブロック下幅																																																						
コンクリート	2,000mm	(表 3.2)																																																						
	3,300mm																																																							
	5,000mm																																																							
コンクリート以外 又は無し	2,000mm	(表 3.3)																																																						
	3,300mm																																																							
	4,000mm																																																							
	5,000mm																																																							
積算条件	区 分																																																							
ブロック下幅	400mm 以上 500mm 未満																																																							
	500 mm以上 600 mm未満																																																							
	600 mm以上 700 mm未満																																																							
	700 mm以上 900 mm未満																																																							
	900 mm以上 1,100 mm未満																																																							
	1,100 mm																																																							
頁 300	300																																																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																				
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑨ かごマット工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、一般部又は曲線部の鉄線かごを使用した護岸で中詰用石材が、栗石、割栗石で石径がかご厚さ30cmの場合概ね5～15cm、かご厚さ50cmの場合概ね15～20cmの法勾配1：2.0以上の施工に適用する。また、粗面のカゴ蓋を使用する場合にも適用する。なお、多段積には適用しない。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p style="font-size: small;">(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 吸出し防止材設置の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> <p style="text-align: center;">図2-1 施工フロー</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>3. 施工パッケージ 3-1 かごマット設置 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 かごマット設置 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>かご厚さ</th> <th>かご本体材質</th> <th>詰石種類</th> <th>詰石規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">t=30cm</td> <td rowspan="3">亜鉛アルミメッキ</td> <td>栗石</td> <td>5～15cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>5～15cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td>栗石</td> <td>5～15cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>5～15cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">t=50cm</td> <td rowspan="3">亜鉛アルミメッキ</td> <td>栗石</td> <td>15～20cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>15～20cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td>栗石</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>各種</td> </tr> </tbody> </table> </div>	かご厚さ	かご本体材質	詰石種類	詰石規格	t=30cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	5～15cm		各種	割栗石	5～15cm	各種	栗石	5～15cm		各種	割栗石	5～15cm	t=50cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	15～20cm		各種	割栗石	15～20cm	各種	栗石	各種		各種	割栗石	各種	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑨ かごマット工 (スロープ型)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、一般部又は曲線部の鉄線かごを使用した護岸でのかごマット (スロープ型) の施工に適用する。粗面のカゴ蓋を使用する場合にも適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 中詰用石材が、栗石、割栗石の場合 (2) 中詰用石材の石径がかご厚さ 30cmで概ね 5～15cm、かご厚さ 50cmで概ね 15～20cmの場合 (3) 法勾配 1：2.0以上の場合 1-2 適用出来ない範囲 (1) かごマット工 (多段積型) の場合</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>3. 施工パッケージ 3-1 かごマット設置 (スロープ型) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 かごマット設置 (スロープ型) 積算条件区分一覧 (積算単位：㎡)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th>かご厚さ</th> <th>かご本体材質</th> <th>詰石種類</th> <th>詰石規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">t=30cm</td> <td rowspan="3">亜鉛アルミメッキ</td> <td>栗石</td> <td>径5～15cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>径5～15cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td>栗石</td> <td>径5～15cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>径5～15cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">t=50cm</td> <td rowspan="3">亜鉛アルミメッキ</td> <td>栗石</td> <td>径15～20cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>径15～20cm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種</td> <td>栗石</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>割栗石</td> <td>径15～20cm</td> </tr> </tbody> </table> </div>	かご厚さ	かご本体材質	詰石種類	詰石規格	t=30cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径5～15cm		各種	割栗石	径5～15cm	各種	栗石	径5～15cm		各種	割栗石	径5～15cm	t=50cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径15～20cm		各種	割栗石	径15～20cm	各種	栗石	各種		各種	割栗石	径15～20cm	<p>かごマット工 (多段積式) の新規策定により、名称を変更</p> <p>適用範囲の記載を整理</p> <p>語句の修正</p>
かご厚さ	かご本体材質	詰石種類	詰石規格																																																																			
t=30cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	5～15cm																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	5～15cm																																																																			
	各種	栗石	5～15cm																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	5～15cm																																																																			
t=50cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	15～20cm																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	15～20cm																																																																			
	各種	栗石	各種																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	各種																																																																			
かご厚さ	かご本体材質	詰石種類	詰石規格																																																																			
t=30cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径5～15cm																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	径5～15cm																																																																			
	各種	栗石	径5～15cm																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	径5～15cm																																																																			
t=50cm	亜鉛アルミメッキ	栗石	径15～20cm																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	径15～20cm																																																																			
	各種	栗石	各種																																																																			
			各種																																																																			
		割栗石	径15～20cm																																																																			
頁	303	303																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>⑩ 野芝種子吹付工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における野芝種子吹付に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 野芝種子吹付 (1) 河川工事(堤防, 高水敷, 低水部法面及びこれに準ずる箇所)の法面保護工のうち, 種子吹付機を使用して野芝種子, 肥料等を吹付ける作業に適用する。</p> <p>1-1-2 被覆シート (1) 河川工事(堤防, 高水敷, 低水部法面及びこれに準ずる箇所)の法面保護工のうち, 長繊維不織布, ポリエチレンフィルム等で被覆する作業に適用する。</p> <p>1-1-3 養生(散水養生) (1) 河川工事(堤防, 高水敷, 低水部法面及びこれに準ずる箇所)の法面保護工のうち, 養生材を吹付ける作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。</p>  <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは, 二重実線部分のみである。 2. 土壌改良剤, 土壌安定剤の有無にかかわらず適用できる。 3. 土壌改良剤は, pH値4未満(H₂O)であるような酸性が強い場合に使用する。</p>	<p>現行どおり</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは, 下記を標準とする。</p>  <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
頁	305	305

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																		
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 野芝種子吹付</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 野芝種子吹付 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">養生材の有無</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">有り</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無し</td></tr> </table> <p>(注) 1. 法面部への野芝種子、肥料、養生材、土壌改良剤、土壌安定剤の吹付け、小型うず巻きポンプ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 法面清掃、被覆シート張、養生（散水養生）は含まない。</p> <p>3. 繊維ネット、法面整形、ラス張は含まない。</p> <p>4. 吹付材料のロスを含む。</p> <p>5. 吹付材料の配合は、表3.2を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 吹付材料の配合 (100㎡当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>吹付材料</td> <td>配合</td> <td>吹付材料</td> <td>配合</td> </tr> <tr> <td>種子（野芝）</td> <td>2kg</td> <td>^(B)土壌改良剤</td> <td>4kg</td> </tr> <tr> <td>肥料</td> <td>10kg</td> <td>土壌安定剤</td> <td>0.1kg</td> </tr> <tr> <td>養生材</td> <td>20kg</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 土壌改良剤は、pH値4未満（H₂O）であるような酸性が強い場合に使用する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 野芝種子吹付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 種子吹付機[車載式(種子専用)] タンク容量2.5m³ 搭載トラック3t車</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 トラック[普通型] 4.0~4.5t積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 法面工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 種子(野芝)発芽促進剤処理済</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 肥料 高度化成肥料N:P:K=15:15:15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	養生材の有無	有り	無し	吹付材料	配合	吹付材料	配合	種子（野芝）	2kg	^(B) 土壌改良剤	4kg	肥料	10kg	土壌安定剤	0.1kg	養生材	20kg			項目	代表機材規格	備考	機械	K1 種子吹付機[車載式(種子専用)] タンク容量2.5m ³ 搭載トラック3t車		K2 トラック[普通型] 4.0~4.5t積		K3 -		労務	R1 法面工		R2 普通作業員		R3 運転手(一般)		R4 土木一般世話役		材料	Z1 種子(野芝)発芽促進剤処理済		Z2 肥料 高度化成肥料N:P:K=15:15:15		Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 法面部への野芝種子、肥料、養生材、土壌改良剤、土壌安定剤の吹付け、小型<u>渦巻</u>ポンプ等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(100m²当り)</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
養生材の有無																																																				
有り																																																				
無し																																																				
吹付材料	配合	吹付材料	配合																																																	
種子（野芝）	2kg	^(B) 土壌改良剤	4kg																																																	
肥料	10kg	土壌安定剤	0.1kg																																																	
養生材	20kg																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																		
機械	K1 種子吹付機[車載式(種子専用)] タンク容量2.5m ³ 搭載トラック3t車																																																			
	K2 トラック[普通型] 4.0~4.5t積																																																			
	K3 -																																																			
労務	R1 法面工																																																			
	R2 普通作業員																																																			
	R3 運転手(一般)																																																			
	R4 土木一般世話役																																																			
材料	Z1 種子(野芝)発芽促進剤処理済																																																			
	Z2 肥料 高度化成肥料N:P:K=15:15:15																																																			
	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																			
	Z4 -																																																			
市場単価	S -																																																			
頁	306	306																																																		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-2 被覆シート張</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>被覆シート張における積算条件区分はない。 施工単位はm²とする。 (注) 1. 被覆シート張は、種子吹付施工後、風による種子の飛散や降雨等によるエロージョン等を防止するため、長繊維不織布、ポリエチレンフィルム等を被覆する作業等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 被覆シートのロスを含む。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 被覆シート張 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>法面工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>被覆シート 長繊維不織布 245N/5cm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 養生(散水養生)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>養生(散水養生)における積算条件区分はない。 施工単位はm²とする。 (注) 1. その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 回数については、必要に応じて計上すること。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 養生(散水養生) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>小型渦巻ポンプ[可搬・自吸・エンジン駆動型]口径 50mm 全揚程 30m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	法面工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	被覆シート 長繊維不織布 245N/5cm		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	小型渦巻ポンプ[可搬・自吸・エンジン駆動型]口径 50mm 全揚程 30m		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	ガソリン レギュラー スタンド		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>3-2 被覆シート張</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>被覆シート張における積算条件区分はない。 施工単位はm²とする。 (注) 1. 被覆シート張は、種子吹付施工後、風による種子の飛散や降雨等によるエロージョン等を防止するため、長繊維不織布、ポリエチレンフィルム等を被覆する作業等、その施工に要する全ての機械労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 被覆シートのロスを含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	—																																																																																								
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	法面工																																																																																								
	R 2	普通作業員																																																																																								
	R 3	土木一般世話役																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	被覆シート 長繊維不織布 245N/5cm																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	小型渦巻ポンプ[可搬・自吸・エンジン駆動型]口径 50mm 全揚程 30m																																																																																								
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	特殊作業員																																																																																								
	R 2	普通作業員																																																																																								
	R 3	—																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	307	307																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																															
<p>⑬ グラウトホール工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川工事における樋門・樋管のグラウトホール取付に適用する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 グラウトホール</p> <p>(1) 条件区分 グラウトホールに条件区分はない。 積算単位は組とする。 (注) 1. グラウトホール及び沈下板の設置の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、グラウト管(材料費)は含まない。 2. グラウト管の材料費は別途計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 グラウトホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-2 グラウト管(材料費)</p> <p>(1) 条件区分 グラウト管(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は組とする。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	特殊作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<div style="text-align: right; margin-right: 20px;">} 現行どおり</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 グラウトホール</p> <p>(1) 条件区分 グラウトホールにおける積算条件区分はない。 積算単位は、組とする。 (注) 1. グラウトホール及び沈下板の設置の他、その施工に必要な全ての労務労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、グラウト管(材料費)は含まない。 2. グラウト管の材料費は別途計上する。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">} 現行どおり</div>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																															
機械	K1	—																															
	K2	—																															
	K3	—																															
労務	R1	特殊作業員																															
	R2	—																															
	R3	—																															
	R4	—																															
材料	Z1	—																															
	Z2	—																															
	Z3	—																															
	Z4	—																															
市場単価	S	—																															
頁	312	312																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>⑭ 光ケーブル配管工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防に布設する光ケーブル配管工事に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 1-1-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 河川堤防に布設する光ケーブル配管工事の掘削(土の状態を問わない)を行う場合 1-1-2 埋戻し締固め (1) 土質が、レキ質、砂・砂質土、粘性土の場合 (2) 保護砂の有無にかかわらず適用出来る 1-1-3 配管設置(埋設部) (1) 設置条数(2~4条)のFEP管類(φ50~80程度)の埋設部における配管設置 1-1-4 配管設置(露出部) (1) 設置条数(2~4条)の厚鋼電線管類(φ50~80程度)の露出部における配管設置 (2) 設置箇所が、橋梁添架部、橋梁横断部、堤防露出部、管渠部の場合 1-1-5 ハンドホール (1) ハンドホール規格が、高さ1,500mm以下、質量2,500kg以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 1-2-1 配管設置(埋設部) (1) 露出部の配管 (2) 河川堤防における光ケーブル用以外の配管 1-2-2 配管設置(露出部) (1) 埋設部の配管</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、次図を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重表線部分のみである。 2. 舗装版破砕積込は、「10章②舗装版破砕工」による。 3. 基礎砕石工は、「2章④基礎・裏込砕石工、基礎・裏込砕石工」による。 4. 盛土法面整形は、「2章①法面整形工」による。 5. ダンプトラック運搬が必要な場合は、「1章②土工(土砂等運搬)」による。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 掘削(光ケーブル配管) (1) 条件区分 掘削(光ケーブル配管)の積算条件区分はない。 積算単位はm³とする。 (注) 掘削(光ケーブル配管)は河川堤防での光ケーブルの設置における掘削、基面整形(床揃え又は敷砂)の他、基面整正作業時に必要な締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p>	<p>現行どおり</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>現行どおり</p> <p>5. ダンプトラック運搬が必要な場合は、「1章②土工(土砂等運搬)」による。</p> <p>現行どおり</p> <p>掘削(光ケーブル配管)における積算条件区分はない。</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	313	313

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削(光ケーブル配管) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>3-2 埋戻し締固め (1) 条件区分 埋戻し締固めの積算条件区分はない。 積算単位はm³とする。 (注) 1. 埋戻し締固め、埋設表示シートの設置及び締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、敷砂、保護砂の材料費は含まない。 2. 埋戻し・締固めの土量は締固め後の土量とする。 3. 敷砂及び保護砂に購入土を使用する場合の材料費は別途計上する。 4. 水締め作業が必要な場合は別途計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 埋戻し締固め 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m³ (平積 0.2m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	特殊作業員		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手(特殊)		R 2	特殊作業員		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3-2 埋戻し締固め (1) 条件区分 埋戻し締固めにおける積算条件区分はない。 積算単位はm³とする。 (注) 1. 埋戻し締固め、埋設表示シートの設置及び締固め機械の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、敷砂、保護砂の材料費は含まない。 2. 埋戻し・締固めの土量は締固め後の土量とする。 3. 敷砂及び保護砂に購入土を使用する場合の材料費は、別途計上する。 4. 水締め作業が必要な場合は、別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料																																																																																							
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																								
	R 2	特殊作業員																																																																																								
	R 3	普通作業員																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	賃料																																																																																							
	K 2	—																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	運転手(特殊)																																																																																								
	R 2	特殊作業員																																																																																								
	R 3	普通作業員																																																																																								
	R 4	—																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	314	314																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																						
<p>3-3 敷砂, 保護砂 (材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>敷砂, 保護砂 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は, m³ とする。</p> <p>3-4 配管設置 (埋設部)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は, 次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 配管設置(埋設部) 積算条件区分一覧 (積算単位: 配管設置m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>多孔保護管の有無</th> <th>設置条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">2条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">2条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4条</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は, 埋設部における配管設置, 配管付属品と配管継手材等の取付け及び通線確認並びに管内清掃作業等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし, 配管付属品及び多孔保護管の材料費は含まない。 2. 対象延長(設計数量)は, 配管設置箇所の掘削延長(継手含む)とし, 配管の条数に関係なく算出する。(参考図参照) 3. 配管付属品及び多孔保護管の材料費については, 別途必要量を計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は, 当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 配管設置(埋設部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">F E P 8 0 m m</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	多孔保護管の有無	設置条数	無し	2条	3条	4条	有り	2条	3条	4条	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	-		K 2	-		K 3	-		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	-		R 4	-		材料	Z 1	F E P 8 0 m m		Z 2	-		Z 3	-		Z 4	-		市場単価	S	-		<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は, 埋設部における配管設置, 配管付属品と配管継手材等の取付け及び通線確認並びに管内清掃作業等, その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし, 配管付属品及び多孔保護管の材料費は含まない。 2. 対象延長(設計数量)は, 配管設置箇所の掘削延長(継手含む)とし, 配管の条数に関係なく算出する。(参考図1参照) 3. 配管付属品及び多孔保護管の材料費については, 別途必要量を計上する。</p>	<p style="font-size: 1.5em;">}</p> <p>語句の修正</p>
多孔保護管の有無	設置条数																																																							
無し	2条																																																							
	3条																																																							
	4条																																																							
有り	2条																																																							
	3条																																																							
	4条																																																							
項目	代表機材規格		備考																																																					
機械	K 1	-																																																						
	K 2	-																																																						
	K 3	-																																																						
労務	R 1	普通作業員																																																						
	R 2	土木一般世話役																																																						
	R 3	-																																																						
	R 4	-																																																						
材料	Z 1	F E P 8 0 m m																																																						
	Z 2	-																																																						
	Z 3	-																																																						
	Z 4	-																																																						
市場単価	S	-																																																						
頁	315	315																																																						

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																					
<p>3-5 配管設置(露出部) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 配管設置(露出部) 積算条件区分一覧 (積算単位: 配管設置m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">配管材設計数量/対象延長</th> <th style="text-align: center;">設置条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">2 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.95 以上 1.00 未満</td> <td style="text-align: center;">2 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.90 以上 0.95 未満</td> <td style="text-align: center;">2 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.85 以上 0.90 未満</td> <td style="text-align: center;">2 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 条</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.80 以上 0.85 未満</td> <td style="text-align: center;">2 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 条</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 条</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、露出部における配管設置、配管付属品、支持金具と配管付属品の取付け及び通線確認並びに管内清掃等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、配管付属品及び支持金具の材料費は含まない。 2. 対象延長(設計数量)は継手材及び配管付属品類を含んだ区間延長とし、配管の条数に関係なく算出する。(参考図参照) 3. 配管付属品及び支持金具の材料費については、別途必要量を計上する。 4. 高所作業車及び足場が必要な場合については現場条件に適合する足場費用を計上する。 5. 配管材設計数量/対象延長の条件区分は、参考図2における a/(a+b) の比率による。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 配管設置(露出部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">厚鋼電線管 G 54</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	配管材設計数量/対象延長	設置条数	1.00	2 条	3 条	4 条	0.95 以上 1.00 未満	2 条	3 条	4 条	0.90 以上 0.95 未満	2 条	3 条	4 条	0.85 以上 0.90 未満	2 条	3 条	4 条	0.80 以上 0.85 未満	2 条	3 条	4 条	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	厚鋼電線管 G 54	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場単価	S	-	<div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div> <div style="margin-top: 100px;"> <p>(注) 1. 上表は、露出部における配管設置、配管付属品、支持金具と配管付属品の取付け及び通線確認並びに管内清掃等、その施工に必要な全ての機械労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、配管付属品及び支持金具の材料費は含まない。 2. 対象延長(設計数量)は配管継手材及び配管付属品類を含んだ区間延長とし、配管の条数に関係なく算出する。(参考図2参照) 3. 配管付属品及び支持金具の材料費については、別途必要量を計上する。 4. 高所作業車及び足場が必要な場合については、現場条件に適合する足場費用を計上する。 5. 配管材設計数量/対象延長の条件区分は、参考図2における a/(a+b) の比率による。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>
配管材設計数量/対象延長	設置条数																																																						
1.00	2 条																																																						
	3 条																																																						
	4 条																																																						
0.95 以上 1.00 未満	2 条																																																						
	3 条																																																						
	4 条																																																						
0.90 以上 0.95 未満	2 条																																																						
	3 条																																																						
	4 条																																																						
0.85 以上 0.90 未満	2 条																																																						
	3 条																																																						
	4 条																																																						
0.80 以上 0.85 未満	2 条																																																						
	3 条																																																						
	4 条																																																						
項目	代表機材規格	備考																																																					
機械	K 1	-																																																					
	K 2	-																																																					
	K 3	-																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																					
	R 2	土木一般世話役																																																					
	R 3	-																																																					
	R 4	-																																																					
材料	Z 1	厚鋼電線管 G 54																																																					
	Z 2	-																																																					
	Z 3	-																																																					
	Z 4	-																																																					
市場単価	S	-																																																					
頁	316	316																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																															
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-12 ハンドホール (1) 条件区分 ハンドホールの積算条件区分はない。 積算単位は個とする。 (注) 上表は、ハンドホールの設置、ベルマウス等の取付け及び蓋の設置手間等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ハンドホール 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級・吊能力 2.9 t</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>ハンドホール 600×600×600mm R 2 K-60 蓋付</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1, 2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級・吊能力 2.9 t	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	運転手 (特殊)	R3	特殊作業員	R4	土木一般世話役	材料	Z1	ハンドホール 600×600×600mm R 2 K-60 蓋付	Z2	軽油 1, 2号 バトロール給油	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>3-12 ハンドホール (1) 条件区分 ハンドホール <u>における</u> 積算条件区分はない。 積算単位は、個とする。 (注) <u>上表は</u> ハンドホールの設置、ベルマウス等の取付け及び蓋の設置手間等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																															
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4t 級・吊能力 2.9 t																															
	K2	—																															
	K3	—																															
労務	R1	普通作業員																															
	R2	運転手 (特殊)																															
	R3	特殊作業員																															
	R4	土木一般世話役																															
材料	Z1	ハンドホール 600×600×600mm R 2 K-60 蓋付																															
	Z2	軽油 1, 2号 バトロール給油																															
	Z3	—																															
	Z4	—																															
市場単価	S	—																															
頁	318	318																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">6章. 砂 防</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">① 土 工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 掘削(砂防)</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁(擁壁)、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削</p> <p>(3) 作業土工における床掘りの場合</p> <p>1-1-2 土砂等運搬(砂防)</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁(擁壁)、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 運搬距離が片道7km以下の場合</p> <p>(3) 運搬路に一般道路を含む場合は、一般道路の走行距離が河床路より短い場合</p> <p>1-1-3 押土(ルース)(砂防)</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁(擁壁)、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 自工区内において60m以下の押土の場合</p> <p>(3) 自工区外を含む作業で、自工区内運搬距離が自工区外より長く、かつ、片道の合計運搬距離が60m以下の場合</p> <p>(4) 土砂、岩塊・玉石、破碎岩の運搬</p> <p>1-1-4 積込(ルース)(砂防)</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁(擁壁)、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土取場(仮置場)から採取する場合の土砂等の積込みの場合</p> <p>(3) 作業土工で生じ、仮置きされた土砂等の積込みの場合</p> <p>(4) 掘削工、作業土工で生じた残土の仮置場での積込みの場合</p> <p>(5) 掘削工、作業土工において地山掘削後、一度ルースな状態とした土砂等の積込みの場合</p> <p>(6) 締固めを伴わない埋戻作業の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲(土木工事標準歩掛等により別途計上するもの)</p> <p>1-2-1 掘削(砂防)</p> <p>(1) 軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合</p> <p>(2) 硬岩Ⅱの掘削の場合</p> <p>(3) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>1-2-2 押土(ルース)(砂防)</p> <p>(1) 地山の掘削を伴う押土の場合</p> <p>1-2-3 積込(ルース)(砂防)</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>1-3 適用できない範囲(別途考慮するもの)</p> <p>1-3-1 土砂等運搬(砂防)</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">6章. 砂 防</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">① 土 工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の施工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 掘削(砂防)</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁(擁壁)、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 土砂、岩塊・玉石、軟岩、硬岩、転石の掘削</p> <p>(3) 作業土工における床掘りの場合</p> <p>1-1-2 土砂等運搬(砂防)</p> <p>(1) 砂防工のうち、本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁(擁壁)、護岸を主たる作業とする場合</p> <p>(2) 運搬距離が片道7km以下の場合</p> <p>(3) 運搬路が砂利道、河床路等その他これに準ずる路路が主で、舗装道路を含む場合は、舗装道路の走行距離が全体走行距離の半分に満たない場合</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲(土木工事標準歩掛等により別途計上するもの)</p> <p>1-2-1 掘削(砂防)</p> <p>(1) 軟岩、硬岩、転石において集積・積込又は集積・押土を含む場合</p> <p>(2) 硬岩Ⅱの掘削の場合</p> <p>(3) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>1-2-2 押土(ルース)(砂防)</p> <p>(1) 地山の掘削を伴う押土の場合</p> <p>1-2-3 積込(ルース)(砂防)</p> <p>(1) 地山掘削した土砂等を、直接運搬車両等に投入する場合</p> <p>(2) 砂防工のうち、河道掘削等の場合</p> <p>1-3 適用出来ない範囲(別途考慮するもの)</p> <p>1-3-1 土砂等運搬(砂防)</p> <p>(1) 自動車専用道路を利用する場合</p> </div>	<p>語句の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>語句の修正</p>
頁	321	321

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>2-2 土の流れ概念図及び対応施工パッケージ</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> * 精選(砂防)等施工パッケージ名称を斜体で示した。 * 精選(砂防)、精選(6-ス)(砂防)、押土(6-ス)(砂防)、土砂等運搬(砂防)等を縦線で示した。 * 精選、精選(6-ス)、押土(6-ス)、土砂等運搬等を一点鎖線で示した。 * 土材料(購入)は各等集積場単位で分選別土材料に含まれるため縦線で示した。(図中⑥) * 土材料(購入)土を土壌改良単価で積算する場合は土砂等運搬(砂防)又は土砂等運搬を計上する。 * 作業土工(床廻り・埋戻し・工区内運搬)における土の流れを長二点鎖線で示した。 <p>注</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 精選(砂防)等の砂防現場独自施工パッケージは精選等の河川修繕等に適用される施工パッケージの相違については、各施工パッケージの条件区分における注釈の記述を参照。 ② 精選、精選(砂防)に含まれる自工区内の運搬について(図中①、②) <ul style="list-style-type: none"> (1)土量計土砂の場合 <ul style="list-style-type: none"> 精選において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内運搬を含む。 精選(砂防)において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内外運搬を含む。 (2)土量が軟岩又は硬岩の場合 <ul style="list-style-type: none"> 精選において、採取量300m³以上又は集積場1名以上を選択した場合、「軟岩」で工事数量(500m³以上)又は集積場1名以上を選択した場合、「硬岩」で火薬使用「可」又は集積押土「有り」を選択した場合 ③土砂等運搬・積込の場合 <ul style="list-style-type: none"> 精選(砂防)において、押土「有り」を選択した場合、60m以内の工区内外運搬を含む。 ④土砂等運搬、積込作業時の精選作業について(図中①～③) <ul style="list-style-type: none"> 精選、精選(砂防)において、条件区分により精選作業を含まない場合がある。 精選(6-ス)を別途計上する必要がある条件区分は、「(砂防)精選(6-ス)」の計上が必要なお精選の積算条件を参照のこと。 精選(6-ス)(砂防)を別途計上する必要がある条件区分は、「(参考)精選(6-ス)(砂防)」の計上が必要なお精選(砂防)の積算条件を参照のこと。 ⑤現場内集積場又は土取場等からの土砂等運搬作業等について(図中④、⑤) <ul style="list-style-type: none"> 土砂等運搬(砂防)を行う場合、別途精選(6-ス)(砂防)、精選(6-ス)を計上する。 押土(6-ス)(砂防)、押土(6-ス)は、60m以内の工区内運搬を含む。 ⑥土取場において、地山を掘削する場合は、精選(砂防)、精選を適用する。(図中④) 	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">「軟岩」で施工数量「500m³以上」又は集積押土「有り」を</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	323	323

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																																									
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 掘削(砂防) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>押土の有無</th> <th>掘削範囲</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">土砂 岩塊・玉石</td> <td rowspan="8">有り</td> <td rowspan="8">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型(第1次基準値)〕15t級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">軟岩 硬岩 転石</td> <td rowspan="8">無し</td> <td rowspan="8">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	押土の有無	掘削範囲	項目	代表機材規格	備考	土砂 岩塊・玉石	有り	-	機械	K1	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型(第1次基準値)〕15t級		K2	-		K3	-		労務	R1	運転手(特殊)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		軟岩 硬岩 転石	無し	-	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		K2	-		K3	-		労務	R1	運転手(特殊)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 掘削(砂防) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質</th> <th>押土の有無</th> <th>掘削範囲</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="16">土砂 岩塊・玉石</td> <td rowspan="8">有り</td> <td rowspan="8">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型(第1次基準値)〕15t級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="16">軟岩 硬岩 転石</td> <td rowspan="8">無し</td> <td rowspan="8">-</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土質	押土の有無	掘削範囲	項目	代表機材規格	備考	土砂 岩塊・玉石	有り	-	機械	K1	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型(第1次基準値)〕15t級		K2	-		K3	-		労務	R1	運転手(特殊)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		軟岩 硬岩 転石	無し	-	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)		K2	-		K3	-		労務	R1	運転手(特殊)		R2	-		R3	-		R4	-		材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油		Z2	-		Z3	-		Z4	-		市場単価	S	-		<p style="font-size: 2em;">→</p>	<p>語句の修正</p>
土質	押土の有無	掘削範囲	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																						
土砂 岩塊・玉石	有り	-	機械	K1	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型(第1次基準値)〕15t級																																																																																																																																																																																						
				K2	-																																																																																																																																																																																						
				K3	-																																																																																																																																																																																						
			労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																						
				R2	-																																																																																																																																																																																						
				R3	-																																																																																																																																																																																						
				R4	-																																																																																																																																																																																						
			材料	Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
	Z2	-																																																																																																																																																																																									
	Z3	-																																																																																																																																																																																									
	Z4	-																																																																																																																																																																																									
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																								
	軟岩 硬岩 転石	無し	-	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																																																																																					
					K2	-																																																																																																																																																																																					
					K3	-																																																																																																																																																																																					
				労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																					
R2					-																																																																																																																																																																																						
R3					-																																																																																																																																																																																						
R4					-																																																																																																																																																																																						
材料				Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
		Z2	-																																																																																																																																																																																								
		Z3	-																																																																																																																																																																																								
		Z4	-																																																																																																																																																																																								
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																								
土質		押土の有無	掘削範囲	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																					
土砂 岩塊・玉石		有り	-	機械	K1	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型(第1次基準値)〕15t級																																																																																																																																																																																					
					K2	-																																																																																																																																																																																					
					K3	-																																																																																																																																																																																					
	労務			R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																						
				R2	-																																																																																																																																																																																						
				R3	-																																																																																																																																																																																						
				R4	-																																																																																																																																																																																						
	材料			Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
		Z2	-																																																																																																																																																																																								
		Z3	-																																																																																																																																																																																								
		Z4	-																																																																																																																																																																																								
	市場単価	S	-																																																																																																																																																																																								
	軟岩 硬岩 転石	無し	-	機械	K1	バックホウ(クローラ型)〔標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																																																																																					
					K2	-																																																																																																																																																																																					
					K3	-																																																																																																																																																																																					
				労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																					
R2					-																																																																																																																																																																																						
R3					-																																																																																																																																																																																						
R4					-																																																																																																																																																																																						
材料				Z1	軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																																						
		Z2	-																																																																																																																																																																																								
		Z3	-																																																																																																																																																																																								
		Z4	-																																																																																																																																																																																								
市場単価		S	-																																																																																																																																																																																								
頁		326	326																																																																																																																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																										
<p>3-2 土砂等運搬(砂防) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 土砂等運搬(砂防) 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">運搬距離</th> <th style="width: 80%;">土質区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">0.5km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">1.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">1.5km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">2.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">2.5km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">3.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">4.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">5.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">6.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> <tr><td rowspan="3">7.0km以下</td><td>土砂(岩塊・玉石混り土含む)</td></tr> <tr><td>軟岩</td></tr> <tr><td>硬岩</td></tr> </tbody> </table> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">(注)1. 上表は、砂防工事における土砂等の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. 運搬土量は地山の土量とする。</p>	運搬距離	土質区分	0.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	1.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	1.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	2.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	2.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	3.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	4.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	5.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	6.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	7.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	軟岩	硬岩	<div style="text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注)1. 上表は、砂防工事における土砂等の運搬の他、運搬機械におけるタイヤの損耗及び修理にかかる費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。また、タイヤ損耗の「良好」、「普通」、「不良」にかかわらず適用できる。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 3. 運搬土量は地山の土量とする。</p>	<p>語句の修正</p>
運搬距離	土質区分																																											
0.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
1.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
1.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
2.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
2.5km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
3.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
4.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
5.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
6.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
7.0km以下	土砂(岩塊・玉石混り土含む)																																											
	軟岩																																											
	硬岩																																											
頁 328	328																																											

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考	
<p style="text-align: center;">7章.地すべり防止工</p> <p>① 地すべり防止工(集排水ボーリング工)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地表及び集水井内において、ロータリーパーカッション式ボーリングマシン(二重管方式)にて集排水ボーリング工を施工するものであり、呼び径 90~135 mm、削孔長 80m以下、削孔角度は水平±10 度以内の作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>① 地すべり防止工(集排水ボーリング工)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、地表及び集水井内において、ロータリーパーカッション式ボーリングマシン(二重管方式)にて集排水ボーリング工を施工するものであり、呼び径 90~135 mm、削孔長 80m以下、削孔角度は水平±10 度以内の作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. () 書きは必要な場合計上する。</p>	<p style="text-align: center;">語句の修正</p>	
<p>頁</p>	<p style="text-align: center;">331</p>	<p style="text-align: center;">331</p>	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																											
<p>3. 施工パッケージ 3-1 ボーリング (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ボーリング 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">施工場所</th> <th style="width: 10%;">土質区分</th> <th style="width: 10%;">呼び径</th> <th style="width: 70%;">削孔長区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">(表 3.2)</td> <td rowspan="6">(表 3.3)</td> <td rowspan="2">φ90mm</td> <td>50m/本以下</td> </tr> <tr> <td>50m/本を超え 80m/本以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ115mm</td> <td>50m/本以下</td> </tr> <tr> <td>50m/本を超え 80m/本以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ135mm</td> <td>50m/本以下</td> </tr> <tr> <td>50m/本を超え 80m/本以下</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、集排水ボーリング工における削孔、ドリルパイプの引き抜き、同一足場上での移動の他、削孔材料(シャンクロッド、クリーニングアダプタ、エクステンションロッド、ドリルパイプ、インナーロッド、リングビット、インナービット、ウォータースイベル)の損耗、ファン、水槽等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径(mm)をいう。</p> <p>3. 削孔する土質が異なる場合は、土質毎に計上する。</p> <p>4. 工事用水中ポンプ(給水用、排水用)を複数台で使用する場合にも適用できる。</p> <p>5. 施工場所は、施工機械の配置位置を示す。</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">表3.2 施工場所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">施工場所</td> <td>地 表</td> </tr> <tr> <td>集 水 井 内</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.3 土質区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土質区分</td> <td>粘 性 土 ・ 砂 質 土</td> </tr> <tr> <td>レ キ 質 土</td> </tr> <tr> <td>岩 塊 ・ 玉 石</td> </tr> <tr> <td>軟 岩</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	施工場所	土質区分	呼び径	削孔長区分	(表 3.2)	(表 3.3)	φ90mm	50m/本以下	50m/本を超え 80m/本以下	φ115mm	50m/本以下	50m/本を超え 80m/本以下	φ135mm	50m/本以下	50m/本を超え 80m/本以下	積算条件	区 分	施工場所	地 表	集 水 井 内	積算条件	区 分	土質区分	粘 性 土 ・ 砂 質 土	レ キ 質 土	岩 塊 ・ 玉 石	軟 岩	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="margin-top: 100px; text-align: center;"> <p>現行どおり</p> </div> <p>(注) 1. 上表は、集排水ボーリング工における削孔、ドリルパイプの引き抜き、同一足場上での移動の他、削孔材料(シャンクロッド、クリーニングアダプタ、エクステンションロッド、ドリルパイプ、インナーロッド、リングビット、インナービット、ウォータースイベル)の損料、<u>工事用水中モータポンプ(普通型(潜水ポンプ)口径50mm、全揚程30m)の賃料</u>、ファン損料、水槽等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径(mm)をいう。</p> <p>3. 削孔する土質が異なる場合は、土質毎に計上する。</p> <p>4. 工事用水中モータポンプ(給水用、排水用)を複数台で使用する場合にも適用できる。</p> <p>5. 施工場所は、施工機械の配置位置を示す。</p>	<p>語句の修正</p>
施工場所	土質区分	呼び径	削孔長区分																										
(表 3.2)	(表 3.3)	φ90mm	50m/本以下																										
			50m/本を超え 80m/本以下																										
		φ115mm	50m/本以下																										
			50m/本を超え 80m/本以下																										
		φ135mm	50m/本以下																										
			50m/本を超え 80m/本以下																										
積算条件	区 分																												
施工場所	地 表																												
	集 水 井 内																												
積算条件	区 分																												
土質区分	粘 性 土 ・ 砂 質 土																												
	レ キ 質 土																												
	岩 塊 ・ 玉 石																												
	軟 岩																												
頁	332	332																											

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																		
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.4 ボーリング 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ボーリングマシン [ロータリバーカッション式] スキッド型 55kW 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 200L/min</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="21">材料</td> <td>Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ90mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ90mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ115mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ115mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ135mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ135mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">Z2</td> <td>インナーロッドφ90mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ90mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ90mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ90mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ115mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ115mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ115mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ115mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ135mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ135mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ135mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ135mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z3</td> <td>リングビット φ90mm用</td> <td>呼び径がφ90mmの場合</td> </tr> <tr> <td>リングビット φ115mm用</td> <td>呼び径がφ115mmの場合</td> </tr> <tr> <td>リングビット φ135mm用</td> <td>呼び径がφ135mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ボーリングマシン [ロータリバーカッション式] スキッド型 55kW 級		K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA	賃料	K3 グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 200L/min		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 -		材料	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合	Z2	インナーロッドφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合	インナーロッドφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合	インナーロッドφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合	インナーロッドφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合	インナーロッドφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合	インナーロッドφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合	Z3	リングビット φ90mm用	呼び径がφ90mmの場合	リングビット φ115mm用	呼び径がφ115mmの場合	リングビット φ135mm用	呼び径がφ135mmの場合	Z4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S -		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.4 ボーリング 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ボーリングマシン [ロータリバーカッション式] スキッド型 55kW 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 吐出量200L/min</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="21">材料</td> <td>Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ90mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ90mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ115mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ115mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ135mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ135mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">Z2</td> <td>インナーロッドφ90mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ90mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ90mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ90mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ115mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ115mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ115mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ115mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ135mm用 (1.0m)</td> <td>呼び径がφ135mmで集水井内の場合</td> </tr> <tr> <td>インナーロッドφ135mm用 (1.5m)</td> <td>呼び径がφ135mmで地表の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">Z3</td> <td>リングビット φ90mm用</td> <td>呼び径がφ90mmの場合</td> </tr> <tr> <td>リングビット φ115mm用</td> <td>呼び径がφ115mmの場合</td> </tr> <tr> <td>リングビット φ135mm用</td> <td>呼び径がφ135mmの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ボーリングマシン [ロータリバーカッション式] スキッド型 55kW 級		K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA	賃料	K3 グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 吐出量200L/min		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 -		材料	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合	Z2	インナーロッドφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合	インナーロッドφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合	インナーロッドφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合	インナーロッドφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合	インナーロッドφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合	インナーロッドφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合	Z3	リングビット φ90mm用	呼び径がφ90mmの場合	リングビット φ115mm用	呼び径がφ115mmの場合	リングビット φ135mm用	呼び径がφ135mmの場合	Z4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																		
機械	K1 ボーリングマシン [ロータリバーカッション式] スキッド型 55kW 級																																																																																																																			
	K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA	賃料																																																																																																																		
	K3 グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 200L/min																																																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																																																			
	R2 土木一般世話役																																																																																																																			
	R3 特殊作業員																																																																																																																			
	R4 -																																																																																																																			
材料	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合																																																																																																																		
	Z2	インナーロッドφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合																																																																																																																	
	Z3	リングビット φ90mm用	呼び径がφ90mmの場合																																																																																																																	
		リングビット φ115mm用	呼び径がφ115mmの場合																																																																																																																	
		リングビット φ135mm用	呼び径がφ135mmの場合																																																																																																																	
	Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																			
	市場単価	S -																																																																																																																		
	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																	
	機械	K1 ボーリングマシン [ロータリバーカッション式] スキッド型 55kW 級																																																																																																																		
		K2 発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA	賃料																																																																																																																	
		K3 グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 吐出量200L/min																																																																																																																		
労務	R1 普通作業員																																																																																																																			
	R2 土木一般世話役																																																																																																																			
	R3 特殊作業員																																																																																																																			
	R4 -																																																																																																																			
材料	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合																																																																																																																		
	Z1 ドリルパイプφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合																																																																																																																		
	Z2	インナーロッドφ90mm用 (1.0m)	呼び径がφ90mmで集水井内の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ90mm用 (1.5m)	呼び径がφ90mmで地表の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ115mm用 (1.0m)	呼び径がφ115mmで集水井内の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ115mm用 (1.5m)	呼び径がφ115mmで地表の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ135mm用 (1.0m)	呼び径がφ135mmで集水井内の場合																																																																																																																	
		インナーロッドφ135mm用 (1.5m)	呼び径がφ135mmで地表の場合																																																																																																																	
	Z3	リングビット φ90mm用	呼び径がφ90mmの場合																																																																																																																	
		リングビット φ115mm用	呼び径がφ115mmの場合																																																																																																																	
		リングビット φ135mm用	呼び径がφ135mmの場合																																																																																																																	
	Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																			
	市場単価	S -																																																																																																																		
	頁	333	333																																																																																																																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																									
<p>3-2 保孔管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 保孔管 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>保孔管種別</th> <th>ストレーナ加工の有無</th> <th>保孔管種類 (VP)</th> <th>保孔管種類 (SGP)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(表 3.2)</td> <td>VP</td> <td>有り</td> <td>(表 3.6)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SGP</td> <td>有り</td> <td>-</td> <td>(表 3.7)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無し</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、集排水ボーリング工における保孔管加工・挿入の他、工事用水中ポンプ、ファンの運転経費及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 保孔管はVP管 (JISK6741) を標準とするが、活動中の地すべり地区で、挿入後剪断、よじれ等により保孔管破損のおそれのある場合はSGP管とする。 3. 保孔管材料のロスを含む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>表3.6 保孔管種類(VP)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">保孔管種類 (VP)</td> <td>VP40</td> </tr> <tr> <td>VP50</td> </tr> <tr> <td>VP65</td> </tr> <tr> <td>VP75</td> </tr> <tr> <td>各種 (VP)</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>表3.7 保孔管種類(SGP)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">保孔管種類 (SGP)</td> <td>SGP40A</td> </tr> <tr> <td>SGP50A</td> </tr> <tr> <td>SGP65A</td> </tr> <tr> <td>SGP80A</td> </tr> <tr> <td>SGP90A</td> </tr> <tr> <td>各種 (SGP)</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	施工場所	保孔管種別	ストレーナ加工の有無	保孔管種類 (VP)	保孔管種類 (SGP)	(表 3.2)	VP	有り	(表 3.6)	-	SGP	有り	-	(表 3.7)		無し			積算条件	区分	保孔管種類 (VP)	VP40	VP50	VP65	VP75	各種 (VP)	積算条件	区分	保孔管種類 (SGP)	SGP40A	SGP50A	SGP65A	SGP80A	SGP90A	各種 (SGP)	<p>3-2 保孔管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 保孔管 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>保孔管種別</th> <th>ストレーナ現場加工の有無</th> <th>保孔管種類 (VP)</th> <th>保孔管種類 (SGP)</th> <th>製品区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">(表 3.2)</td> <td rowspan="2">VP</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">(表 3.6)</td> <td rowspan="2">-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>工場加工品</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SGP</td> <td>有り</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">(表 3.7)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>既製保孔管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、集排水ボーリング工における保孔管加工・挿入の他、<u>工事用水中モータポンプ(普通型(潜水ポンプ) 口径50mm、全揚程30m)の賃料、ファン金網等経費材料及び電力に関する経費費用等</u>、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 保孔管はVP管 (JISK6741) を標準とするが、活動中の地すべり地区で、挿入後剪断、よじれ等により保孔管破損のおそれのある場合はSGP管とする。 3. 保孔管材料のロスを含む。 4. <u>VP管(ストレーナ現場加工無し)は、工場加工品又は、既製保孔管(既製品、外管がVPの二重管を含む)とする。</u></p>	施工場所	保孔管種別	ストレーナ現場加工の有無	保孔管種類 (VP)	保孔管種類 (SGP)	製品区分	(表 3.2)	VP	有り	(表 3.6)	-	-	無し	工場加工品	SGP	有り	-	(表 3.7)	-	無し	既製保孔管	<p>→</p> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
施工場所	保孔管種別	ストレーナ加工の有無	保孔管種類 (VP)	保孔管種類 (SGP)																																																							
(表 3.2)	VP	有り	(表 3.6)	-																																																							
	SGP	有り	-	(表 3.7)																																																							
		無し																																																									
積算条件	区分																																																										
保孔管種類 (VP)	VP40																																																										
	VP50																																																										
	VP65																																																										
	VP75																																																										
	各種 (VP)																																																										
積算条件	区分																																																										
保孔管種類 (SGP)	SGP40A																																																										
	SGP50A																																																										
	SGP65A																																																										
	SGP80A																																																										
	SGP90A																																																										
	各種 (SGP)																																																										
施工場所	保孔管種別	ストレーナ現場加工の有無	保孔管種類 (VP)	保孔管種類 (SGP)	製品区分																																																						
(表 3.2)	VP	有り	(表 3.6)	-	-																																																						
		無し			工場加工品																																																						
	SGP	有り	-	(表 3.7)	-																																																						
		無し			既製保孔管																																																						
頁	334	334																																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																				
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 保孔管 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機 械</td> <td>K1 ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級</td> <td>SGP の場合</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労 務</td> <td>R1 配管工</td> <td>SGP の場合</td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材 料</td> <td>Z1 配管用炭素鋼管 (SGP JIS G 3452) 黒ねじ無し管 80A</td> <td>SGP の場合</td> </tr> <tr> <td>Z1 硬質塩化ビニル管 (VP管 JIS K 6741) φ40mm</td> <td>VP の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 ボーリング仮設機材 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 ボーリング仮設機材 積算条件区分一覧 (積算単位:回)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 100%;">施 工 場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">地 表</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集水井内</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、ボーリングマシンの据付・撤去、集水井内の足場設置・撤去の他、足場材等の賃料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 同一足場上の移動は3-1ボーリングに含む。</p> </div>	項目	代表機材規格	備考	機 械	K1 ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級	SGP の場合	K2 -		K3 -		労 務	R1 配管工	SGP の場合	R2 特殊作業員		R3 普通作業員		R4 土木一般世話役		材 料	Z1 配管用炭素鋼管 (SGP JIS G 3452) 黒ねじ無し管 80A	SGP の場合	Z1 硬質塩化ビニル管 (VP管 JIS K 6741) φ40mm	VP の場合	Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		施 工 場 所	地 表	集水井内	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																				
機 械	K1 ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級	SGP の場合																																				
	K2 -																																					
	K3 -																																					
労 務	R1 配管工	SGP の場合																																				
	R2 特殊作業員																																					
	R3 普通作業員																																					
	R4 土木一般世話役																																					
材 料	Z1 配管用炭素鋼管 (SGP JIS G 3452) 黒ねじ無し管 80A	SGP の場合																																				
	Z1 硬質塩化ビニル管 (VP管 JIS K 6741) φ40mm	VP の場合																																				
	Z2 -																																					
	Z3 -																																					
	Z4 -																																					
市場単価	S -																																					
施 工 場 所																																						
地 表																																						
集水井内																																						
頁	335	335																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考									
<p style="text-align: center;">8章. 道 路 舗 装</p> <p style="text-align: center;">① 路 盤 工</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工(漚青安定処理路盤を含む)に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 路盤・路床面等の不陸整正 (2) 一層当りの仕上り厚さが20cmまでの下層路盤 (3) 一層当りの仕上り厚さが15cmまで(漚青安定処理路盤の場合は10cmまで)の上層路盤 (4) 舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤 <p>1-2 適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 漚青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満, 2.40t/m3以上の場合 </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <pre> graph LR A[機材搬入] --> B[不陸整正] B --> C[下層路盤工] C --> D[不陸整正] D --> E[上層路盤工] E --> F[機材搬出] </pre> </div> <p>(注)1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 不陸整正は、必要に応じて計上する。 3. 下層路盤工(下層路盤(車道部), 下層路盤(歩道部))は、凍上抑制層の施工にも適用する。 4. 現道における車道での情報ボックス工事及びこれに類する工事は、歩道部を適用する。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 不陸整正</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 不陸整正 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">補足材料の有無</th> <th style="width: 33%;">補足材料平均厚さ</th> <th style="width: 33%;">補足材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">無し</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有り</td> <td style="text-align: center;">(表3.2)</td> <td style="text-align: center;">(表3.3)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、路盤・路床面等の不陸整正(補足材料がある場合も含む)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 補足材料はロスを含む。</p>	補足材料の有無	補足材料平均厚さ	補足材料	無し	-	-	有り	(表3.2)	(表3.3)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工(漚青安定処理路盤を含む)に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 路盤・路床面等の不陸整正 (2) 一層当りの仕上り厚さが20cmまでの下層路盤 (3) 一層当りの仕上り厚さが15cmまで(漚青安定処理路盤の場合は10cmまで)の上層路盤 (4) 舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤 <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 漚青安定処理路盤の締固め後密度2.30t/m3未満, 2.40t/m3以上の場合 <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
補足材料の有無	補足材料平均厚さ	補足材料									
無し	-	-									
有り	(表3.2)	(表3.3)									
頁	337	337									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																		
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージ使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 不陸整正 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生クラッシュヤラン RC-40</td> <td>補足材料有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 下層路盤(車道・路肩部) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 下層路盤(車道・路肩部) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">平均厚さ</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="text-align: center;">(表3.6)</td> <td>クラッシュヤラン C-20</td> </tr> <tr> <td>クラッシュヤラン C-30</td> </tr> <tr> <td>クラッシュヤラン C-40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン RC-20</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン RC-30</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュヤラン RC-40</td> </tr> <tr> <td>路盤材(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、車道部及び路肩部の下層路盤(凍上抑制層がある場合も含む)の路盤材敷均し・締め等の他、散水等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 路盤材はロスを含む。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		労務	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	再生クラッシュヤラン RC-40	補足材料有りの場合	Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		平均厚さ	材料	(表3.6)	クラッシュヤラン C-20	クラッシュヤラン C-30	クラッシュヤラン C-40	再生クラッシュヤラン RC-20	再生クラッシュヤラン RC-30	再生クラッシュヤラン RC-40	路盤材(各種)	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージ使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 不陸整正 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] <u>運転質量</u> 10~12t <u>締固め幅2.1m</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] <u>運転質量</u> 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>再生<u>クラッシュヤラン</u> RC-40</td> <td>補足材料有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] <u>運転質量</u> 10~12t <u>締固め幅2.1m</u>		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] <u>運転質量</u> 8~20t		労務	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	再生 <u>クラッシュヤラン</u> RC-40	補足材料有りの場合	Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																	
機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m																																																																																																		
	K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t																																																																																																		
	K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																																		
労務	R1	運転手 (特殊)																																																																																																		
	R2	普通作業員																																																																																																		
	R3	—																																																																																																		
	R4	—																																																																																																		
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																		
	Z2	再生クラッシュヤラン RC-40	補足材料有りの場合																																																																																																	
	Z3	—																																																																																																		
	Z4	—																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																		
平均厚さ	材料																																																																																																			
(表3.6)	クラッシュヤラン C-20																																																																																																			
	クラッシュヤラン C-30																																																																																																			
	クラッシュヤラン C-40																																																																																																			
	再生クラッシュヤラン RC-20																																																																																																			
	再生クラッシュヤラン RC-30																																																																																																			
	再生クラッシュヤラン RC-40																																																																																																			
	路盤材(各種)																																																																																																			
項目	代表機材規格		備考																																																																																																	
機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m																																																																																																		
	K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] <u>運転質量</u> 10~12t <u>締固め幅2.1m</u>																																																																																																		
	K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] <u>運転質量</u> 8~20t																																																																																																		
労務	R1	運転手 (特殊)																																																																																																		
	R2	普通作業員																																																																																																		
	R3	—																																																																																																		
	R4	—																																																																																																		
材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																		
	Z2	再生 <u>クラッシュヤラン</u> RC-40	補足材料有りの場合																																																																																																	
	Z3	—																																																																																																		
	Z4	—																																																																																																		
市場単価	S	—																																																																																																		
頁	339	339																																																																																																		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備考																																																																																																																																																																										
<p>表3.6 平均厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>75mm以上125mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>125mm超175mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>175mm超200mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>200mm超225mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>225mm超275mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>275mm超325mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>325mm超375mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>375mm超400mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>400mm超425mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>425mm超475mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>475mm超525mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>525mm超575mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>575mm超600mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>600mm超625mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>625mm超675mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>675mm超725mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>725mm超775mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>775mm超800mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>800mm超825mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>825mm超875mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>875mm超925mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>925mm超975mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>975mm超1000mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>1000mm超1025mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>1025mm超1075mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>1075mm超1125mm以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.7 下層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】 ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ロードローラ【マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 クラッシュラン C-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分		75mm以上125mm以下		125mm超175mm以下		175mm超200mm以下		200mm超225mm以下		225mm超275mm以下		275mm超325mm以下		325mm超375mm以下		375mm超400mm以下		400mm超425mm以下		425mm超475mm以下		475mm超525mm以下		525mm超575mm以下		575mm超600mm以下		600mm超625mm以下		625mm超675mm以下		675mm超725mm以下		725mm超775mm以下		775mm超800mm以下		800mm超825mm以下		825mm超875mm以下		875mm超925mm以下		925mm超975mm以下		975mm超1000mm以下		1000mm超1025mm以下		1025mm超1075mm以下		1075mm超1125mm以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】 ブレード幅3.1m		K2 ロードローラ【マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 10~12t		K3 タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 8~20t		労務	R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 -		R4 -		材料	Z1 クラッシュラン C-40		Z2 軽油 1.2号 バトルール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>表3.6 平均厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>75mm以上125mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>125mmを超え175mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>175mmを超え200mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>200mmを超え225mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>225mmを超え275mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>275mmを超え325mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>325mmを超え375mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>375mmを超え400mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>400mmを超え425mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>425mmを超え475mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>475mmを超え525mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>525mmを超え575mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>575mmを超え600mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>600mmを超え625mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>625mmを超え675mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>675mmを超え725mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>725mmを超え775mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>775mmを超え800mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>800mmを超え825mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>825mmを超え875mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>875mmを超え925mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>925mmを超え975mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>975mmを超え1000mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>1000mmを超え1025mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>1025mmを超え1075mm以下</td></tr> <tr><td></td><td>1075mmを超え1125mm以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表3.7 下層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】 ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 ロードローラ【マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 10~12(給油め桶2.1m)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 クラッシュラン C-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトルール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分		75mm以上125mm以下		125mm を 超え175mm以下		175mm を 超え200mm以下		200mm を 超え225mm以下		225mm を 超え275mm以下		275mm を 超え325mm以下		325mm を 超え375mm以下		375mm を 超え400mm以下		400mm を 超え425mm以下		425mm を 超え475mm以下		475mm を 超え525mm以下		525mm を 超え575mm以下		575mm を 超え600mm以下		600mm を 超え625mm以下		625mm を 超え675mm以下		675mm を 超え725mm以下		725mm を 超え775mm以下		775mm を 超え800mm以下		800mm を 超え825mm以下		825mm を 超え875mm以下		875mm を 超え925mm以下		925mm を 超え975mm以下		975mm を 超え1000mm以下		1000mm を 超え1025mm以下		1025mm を 超え1075mm以下		1075mm を 超え1125mm以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】 ブレード幅3.1m		K2 ロードローラ【マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 10~12(給油め桶2.1m)		K3 タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 8~20t		労務	R1 運転手(特殊)		R2 普通作業員		R3 -		R4 -		材料	Z1 クラッシュラン C-40		Z2 軽油 1.2号 バトルール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
積算条件	区分																																																																																																																																																																											
	75mm以上125mm以下																																																																																																																																																																											
	125mm超175mm以下																																																																																																																																																																											
	175mm超200mm以下																																																																																																																																																																											
	200mm超225mm以下																																																																																																																																																																											
	225mm超275mm以下																																																																																																																																																																											
	275mm超325mm以下																																																																																																																																																																											
	325mm超375mm以下																																																																																																																																																																											
	375mm超400mm以下																																																																																																																																																																											
	400mm超425mm以下																																																																																																																																																																											
	425mm超475mm以下																																																																																																																																																																											
	475mm超525mm以下																																																																																																																																																																											
	525mm超575mm以下																																																																																																																																																																											
	575mm超600mm以下																																																																																																																																																																											
	600mm超625mm以下																																																																																																																																																																											
	625mm超675mm以下																																																																																																																																																																											
	675mm超725mm以下																																																																																																																																																																											
	725mm超775mm以下																																																																																																																																																																											
	775mm超800mm以下																																																																																																																																																																											
	800mm超825mm以下																																																																																																																																																																											
	825mm超875mm以下																																																																																																																																																																											
	875mm超925mm以下																																																																																																																																																																											
	925mm超975mm以下																																																																																																																																																																											
	975mm超1000mm以下																																																																																																																																																																											
	1000mm超1025mm以下																																																																																																																																																																											
	1025mm超1075mm以下																																																																																																																																																																											
	1075mm超1125mm以下																																																																																																																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																										
機械	K1 モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】 ブレード幅3.1m																																																																																																																																																																											
	K2 ロードローラ【マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 10~12t																																																																																																																																																																											
	K3 タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量 8~20t																																																																																																																																																																											
労務	R1 運転手(特殊)																																																																																																																																																																											
	R2 普通作業員																																																																																																																																																																											
	R3 -																																																																																																																																																																											
	R4 -																																																																																																																																																																											
材料	Z1 クラッシュラン C-40																																																																																																																																																																											
	Z2 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																											
	Z3 -																																																																																																																																																																											
	Z4 -																																																																																																																																																																											
市場単価	S -																																																																																																																																																																											
積算条件	区分																																																																																																																																																																											
	75mm以上125mm以下																																																																																																																																																																											
	125mm を 超え175mm以下																																																																																																																																																																											
	175mm を 超え200mm以下																																																																																																																																																																											
	200mm を 超え225mm以下																																																																																																																																																																											
	225mm を 超え275mm以下																																																																																																																																																																											
	275mm を 超え325mm以下																																																																																																																																																																											
	325mm を 超え375mm以下																																																																																																																																																																											
	375mm を 超え400mm以下																																																																																																																																																																											
	400mm を 超え425mm以下																																																																																																																																																																											
	425mm を 超え475mm以下																																																																																																																																																																											
	475mm を 超え525mm以下																																																																																																																																																																											
	525mm を 超え575mm以下																																																																																																																																																																											
	575mm を 超え600mm以下																																																																																																																																																																											
	600mm を 超え625mm以下																																																																																																																																																																											
	625mm を 超え675mm以下																																																																																																																																																																											
	675mm を 超え725mm以下																																																																																																																																																																											
	725mm を 超え775mm以下																																																																																																																																																																											
	775mm を 超え800mm以下																																																																																																																																																																											
	800mm を 超え825mm以下																																																																																																																																																																											
	825mm を 超え875mm以下																																																																																																																																																																											
	875mm を 超え925mm以下																																																																																																																																																																											
	925mm を 超え975mm以下																																																																																																																																																																											
	975mm を 超え1000mm以下																																																																																																																																																																											
	1000mm を 超え1025mm以下																																																																																																																																																																											
	1025mm を 超え1075mm以下																																																																																																																																																																											
	1075mm を 超え1125mm以下																																																																																																																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																										
機械	K1 モータグレーダ【土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)】 ブレード幅3.1m																																																																																																																																																																											
	K2 ロードローラ【マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 10~12(給油め桶2.1m)																																																																																																																																																																											
	K3 タイヤローラ【普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)】 運転質量 8~20t																																																																																																																																																																											
労務	R1 運転手(特殊)																																																																																																																																																																											
	R2 普通作業員																																																																																																																																																																											
	R3 -																																																																																																																																																																											
	R4 -																																																																																																																																																																											
材料	Z1 クラッシュラン C-40																																																																																																																																																																											
	Z2 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																																																																																																																											
	Z3 -																																																																																																																																																																											
	Z4 -																																																																																																																																																																											
市場単価	S -																																																																																																																																																																											
頁	340	340																																																																																																																																																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																							
<p>3-3 下層路盤(歩道部)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 下層路盤(歩道部) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">平均厚さ</th> <th style="width: 50%;">材 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3. 9)</td> <td>クッション C-20</td> </tr> <tr><td>クッション C-30</td> </tr> <tr><td>クッション C-40</td> </tr> <tr><td>再生クッション RC-20</td> </tr> <tr><td>再生クッション RC-30</td> </tr> <tr><td>再生クッション RC-40</td> </tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">路盤材(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、歩道部の下層路盤の路盤材敷均し・締固めの他、散水、補助機械等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 路盤材はロスを含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 平均厚さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="11" style="text-align: center;">平均厚さ</td> <td>25mm以上75mm以下</td> </tr> <tr><td>75mm超125mm以下</td> </tr> <tr><td>125mm超175mm以下</td> </tr> <tr><td>175mm超200mm以下</td> </tr> <tr><td>200mm超225mm以下</td> </tr> <tr><td>225mm超275mm以下</td> </tr> <tr><td>275mm超325mm以下</td> </tr> <tr><td>325mm超375mm以下</td> </tr> <tr><td>375mm超400mm以下</td> </tr> <tr><td>400mm超425mm以下</td> </tr> <tr><td>425mm超475mm以下</td> </tr> <tr><td>475mm超525mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 下層路盤(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.11m³ (平積 0.08m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 再生クッション RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均厚さ	材 料	(表3. 9)	クッション C-20	クッション C-30	クッション C-40	再生クッション RC-20	再生クッション RC-30	再生クッション RC-40	路盤材(各種)		積算条件	区 分	平均厚さ	25mm以上75mm以下	75mm超125mm以下	125mm超175mm以下	175mm超200mm以下	200mm超225mm以下	225mm超275mm以下	275mm超325mm以下	325mm超375mm以下	375mm超400mm以下	400mm超425mm以下	425mm超475mm以下	475mm超525mm以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³)	賃料	K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 運転手(特殊)		R3 特殊作業員		R4 -		材料	Z1 再生クッション RC-40		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.9 平均厚さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="11" style="text-align: center;">平均厚さ</td> <td>25mm以上75mm以下</td> </tr> <tr><td>75mmを超え125mm以下</td> </tr> <tr><td>125mmを超え175mm以下</td> </tr> <tr><td>175mmを超え200mm以下</td> </tr> <tr><td>200mmを超え225mm以下</td> </tr> <tr><td>225mmを超え275mm以下</td> </tr> <tr><td>275mmを超え325mm以下</td> </tr> <tr><td>325mmを超え375mm以下</td> </tr> <tr><td>375mmを超え400mm以下</td> </tr> <tr><td>400mmを超え425mm以下</td> </tr> <tr><td>425mmを超え475mm以下</td> </tr> <tr><td>475mmを超え525mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 下層路盤(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">代表機材規格</th> <th style="width: 80%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1 小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.11m³ (平積 0.08m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1 再生クラッション RC-40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区 分	平均厚さ	25mm以上75mm以下	75mm を 超え125mm以下	125mm を 超え175mm以下	175mm を 超え200mm以下	200mm を 超え225mm以下	225mm を 超え275mm以下	275mm を 超え325mm以下	325mm を 超え375mm以下	375mm を 超え400mm以下	400mm を 超え425mm以下	425mm を 超え475mm以下	475mm を 超え525mm以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³)	賃料	K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 運転手(特殊)		R3 特殊作業員		R4 -		材料	Z1 再生ク ラ ッション RC-40		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">句の修正</p>
平均厚さ	材 料																																																																																																								
(表3. 9)	クッション C-20																																																																																																								
	クッション C-30																																																																																																								
	クッション C-40																																																																																																								
	再生クッション RC-20																																																																																																								
	再生クッション RC-30																																																																																																								
	再生クッション RC-40																																																																																																								
路盤材(各種)																																																																																																									
積算条件	区 分																																																																																																								
平均厚さ	25mm以上75mm以下																																																																																																								
	75mm超125mm以下																																																																																																								
	125mm超175mm以下																																																																																																								
	175mm超200mm以下																																																																																																								
	200mm超225mm以下																																																																																																								
	225mm超275mm以下																																																																																																								
	275mm超325mm以下																																																																																																								
	325mm超375mm以下																																																																																																								
	375mm超400mm以下																																																																																																								
	400mm超425mm以下																																																																																																								
	425mm超475mm以下																																																																																																								
475mm超525mm以下																																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																																							
機械	K1 小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³)	賃料																																																																																																							
	K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	賃料																																																																																																							
	K3 -																																																																																																								
労務	R1 普通作業員																																																																																																								
	R2 運転手(特殊)																																																																																																								
	R3 特殊作業員																																																																																																								
	R4 -																																																																																																								
材料	Z1 再生クッション RC-40																																																																																																								
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																								
	Z3 -																																																																																																								
	Z4 -																																																																																																								
市場単価	S -																																																																																																								
積算条件	区 分																																																																																																								
平均厚さ	25mm以上75mm以下																																																																																																								
	75mm を 超え125mm以下																																																																																																								
	125mm を 超え175mm以下																																																																																																								
	175mm を 超え200mm以下																																																																																																								
	200mm を 超え225mm以下																																																																																																								
	225mm を 超え275mm以下																																																																																																								
	275mm を 超え325mm以下																																																																																																								
	325mm を 超え375mm以下																																																																																																								
	375mm を 超え400mm以下																																																																																																								
	400mm を 超え425mm以下																																																																																																								
	425mm を 超え475mm以下																																																																																																								
475mm を 超え525mm以下																																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																																							
機械	K1 小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.11m ³ (平積 0.08m ³)	賃料																																																																																																							
	K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	賃料																																																																																																							
	K3 -																																																																																																								
労務	R1 普通作業員																																																																																																								
	R2 運転手(特殊)																																																																																																								
	R3 特殊作業員																																																																																																								
	R4 -																																																																																																								
材料	Z1 再生ク ラ ッション RC-40																																																																																																								
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																								
	Z3 -																																																																																																								
	Z4 -																																																																																																								
市場単価	S -																																																																																																								
頁	341	341																																																																																																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																																																				
<p>3-4 上層路盤(車道・路肩部) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 上層路盤(車道・路肩部) 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">材料</th> <th style="width: 20%;">平均厚さ</th> <th style="width: 20%;">平均幅員</th> <th style="width: 45%;">瀝青材料種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.12)</td> <td rowspan="2">45mm以上55mm以下</td> <td>1.4m未満</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.14)</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">55mm超65mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">65mm超75mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">75mm超85mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">85mm超95mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">95mm超100mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.13)</td> <td>25mm以上75mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>75mm超125mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>125mm超150mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>150mm超175mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>175mm超225mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>225mm超275mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>275mm超300mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>300mm超325mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>325mm超375mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>375mm超425mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>425mm超450mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、上層路盤(車道・路肩部)の路盤材敷均し・締固め又はアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、散水、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 路盤材及びアスファルト混合物はロスを含む。 3. 瀝青安定処理材は一層分の施工となっており、100mmを超える施工の場合は、本施工パッケージを複数回計上する。</p>	材料	平均厚さ	平均幅員	瀝青材料種類	(表3.12)	45mm以上55mm以下	1.4m未満	(表3.14)	1.4m以上	55mm超65mm以下	1.4m未満	1.4m以上	65mm超75mm以下	1.4m未満	1.4m以上	75mm超85mm以下	1.4m未満	1.4m以上	85mm超95mm以下	1.4m未満	1.4m以上	95mm超100mm以下	1.4m未満	1.4m以上	(表3.13)	25mm以上75mm以下	-	-	75mm超125mm以下	-	-	125mm超150mm以下	-	-	150mm超175mm以下	-	-	175mm超225mm以下	-	-	225mm超275mm以下	-	-	275mm超300mm以下	-	-	300mm超325mm以下	-	-	325mm超375mm以下	-	-	375mm超425mm以下	-	-	425mm超450mm以下	-	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">材料</th> <th style="width: 20%;">平均厚さ</th> <th style="width: 20%;">平均幅員</th> <th style="width: 45%;">瀝青材料種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.12)</td> <td rowspan="2">45mm以上55mm以下</td> <td>1.4m未満</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.14)</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">55mmを超え65mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">65mmを超え75mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">75mmを超え85mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">85mmを超え95mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">95mmを超え100mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">(表3.13)</td> <td>25mm以上75mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>75mmを超え125mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>125mmを超え150mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>150mmを超え175mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>175mmを超え225mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>225mmを超え275mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>275mmを超え300mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>300mmを超え325mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>325mmを超え375mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>375mmを超え425mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>425mmを超え450mm以下</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	材料	平均厚さ	平均幅員	瀝青材料種類	(表3.12)	45mm以上55mm以下	1.4m未満	(表3.14)	1.4m以上	55mm を 超 え 65mm以下	1.4m未満	1.4m以上	65mm を 超 え 75mm以下	1.4m未満	1.4m以上	75mm を 超 え 85mm以下	1.4m未満	1.4m以上	85mm を 超 え 95mm以下	1.4m未満	1.4m以上	95mm を 超 え 100mm以下	1.4m未満	1.4m以上	(表3.13)	25mm以上75mm以下	-	-	75mm を 超 え 125mm以下	-	-	125mm を 超 え 150mm以下	-	-	150mm を 超 え 175mm以下	-	-	175mm を 超 え 225mm以下	-	-	225mm を 超 え 275mm以下	-	-	275mm を 超 え 300mm以下	-	-	300mm を 超 え 325mm以下	-	-	325mm を 超 え 375mm以下	-	-	375mm を 超 え 425mm以下	-	-	425mm を 超 え 450mm以下	-	-	<p>語句の修正</p>
材料	平均厚さ	平均幅員	瀝青材料種類																																																																																																																			
(表3.12)	45mm以上55mm以下	1.4m未満	(表3.14)																																																																																																																			
		1.4m以上																																																																																																																				
	55mm超65mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	65mm超75mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	75mm超85mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	85mm超95mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	95mm超100mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
(表3.13)	25mm以上75mm以下	-	-																																																																																																																			
	75mm超125mm以下	-	-																																																																																																																			
	125mm超150mm以下	-	-																																																																																																																			
	150mm超175mm以下	-	-																																																																																																																			
	175mm超225mm以下	-	-																																																																																																																			
	225mm超275mm以下	-	-																																																																																																																			
	275mm超300mm以下	-	-																																																																																																																			
	300mm超325mm以下	-	-																																																																																																																			
	325mm超375mm以下	-	-																																																																																																																			
	375mm超425mm以下	-	-																																																																																																																			
	425mm超450mm以下	-	-																																																																																																																			
	材料	平均厚さ	平均幅員	瀝青材料種類																																																																																																																		
(表3.12)	45mm以上55mm以下	1.4m未満	(表3.14)																																																																																																																			
		1.4m以上																																																																																																																				
	55mm を 超 え 65mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	65mm を 超 え 75mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	75mm を 超 え 85mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	85mm を 超 え 95mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
	95mm を 超 え 100mm以下	1.4m未満																																																																																																																				
		1.4m以上																																																																																																																				
(表3.13)	25mm以上75mm以下	-	-																																																																																																																			
	75mm を 超 え 125mm以下	-	-																																																																																																																			
	125mm を 超 え 150mm以下	-	-																																																																																																																			
	150mm を 超 え 175mm以下	-	-																																																																																																																			
	175mm を 超 え 225mm以下	-	-																																																																																																																			
	225mm を 超 え 275mm以下	-	-																																																																																																																			
	275mm を 超 え 300mm以下	-	-																																																																																																																			
	300mm を 超 え 325mm以下	-	-																																																																																																																			
	325mm を 超 え 375mm以下	-	-																																																																																																																			
	375mm を 超 え 425mm以下	-	-																																																																																																																			
	425mm を 超 え 450mm以下	-	-																																																																																																																			
	頁	342	342																																																																																																																			

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																															
<p style="text-align: center;">表3.12 材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> <th>標準締固め後密度 (t/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>瀝青安定処理材(25)</td> <td>2.35</td> </tr> <tr> <td>瀝青安定処理材(30)</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>瀝青安定処理材(40)</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>再生瀝青安定処理材(40)</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>路盤材(各種)</td> <td>2.30以上~2.40未満</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.13 材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td>再生粒度調整砕石 RM-25</td> </tr> <tr> <td>再生粒度調整砕石 RM-30</td> </tr> <tr> <td>再生粒度調整砕石 RM-40</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石 M-25</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石 M-30</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石 M-40</td> </tr> <tr> <td>路盤材(各種)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.14 瀝青材料種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">瀝青材料種類</td> <td>クックコートPK-4</td> </tr> <tr> <td>プラムコートPK-3</td> </tr> <tr> <td>クックコート(各種)</td> </tr> <tr> <td>プラムコート(各種)</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区分	標準締固め後密度 (t/m ³)	材料	瀝青安定処理材(25)	2.35	瀝青安定処理材(30)	"	瀝青安定処理材(40)	"	再生瀝青安定処理材(40)	"	路盤材(各種)	2.30以上~2.40未満	積算条件	区分	材料	再生粒度調整砕石 RM-25	再生粒度調整砕石 RM-30	再生粒度調整砕石 RM-40	粒度調整砕石 M-25	粒度調整砕石 M-30	粒度調整砕石 M-40	路盤材(各種)	積算条件	区分	瀝青材料種類	クックコートPK-4	プラムコートPK-3	クックコート(各種)	プラムコート(各種)	<p style="text-align: center;">表3.12 <u>瀝青安定処理種類</u></p> <p style="text-align: center;">表3.13 <u>粒度調整砕石種類</u></p> <p style="text-align: center;">表3.14 <u>瀝青材料種類</u></p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">語句の修正</p>
積算条件	区分	標準締固め後密度 (t/m ³)																															
材料	瀝青安定処理材(25)	2.35																															
	瀝青安定処理材(30)	"																															
	瀝青安定処理材(40)	"																															
	再生瀝青安定処理材(40)	"																															
	路盤材(各種)	2.30以上~2.40未満																															
積算条件	区分																																
材料	再生粒度調整砕石 RM-25																																
	再生粒度調整砕石 RM-30																																
	再生粒度調整砕石 RM-40																																
	粒度調整砕石 M-25																																
	粒度調整砕石 M-30																																
	粒度調整砕石 M-40																																
	路盤材(各種)																																
積算条件	区分																																
瀝青材料種類	クックコートPK-4																																
	プラムコートPK-3																																
	クックコート(各種)																																
	プラムコート(各種)																																
頁	343	343																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現 行	→	改 定	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧	(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.15 上層路盤(車道・路肩部) 代表機材規格一覧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
瀝青安定処理	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンパクト [前進型] 質量40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">粒度調整砕石</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生粒度調整砕石 RM-40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t		K2	振動コンパクト [前進型] 質量40~60 k g		K3	—		労務	R1	特殊作業員			R2	普通作業員			R3	土木一般世話役			R4	—			材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合		Z4	ガソリン レギュラー スタンド			市場単価	S	—			1.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t		労務	R1	普通作業員			R2	特殊作業員			R3	運転手(特殊)			R4	土木一般世話役			材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油			市場単価	S	—			粒度調整砕石	機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		労務	R1	運転手(特殊)			R2	普通作業員			R3	—			R4	—			材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-40			Z2	軽油 1.2号 バトロール給油			Z3	—			Z4	—			市場単価	S	—			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンパクト [前進型] 機械質量40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">瀝青安定処理</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">粒度調整砕石</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生粒度調整砕石 RM-40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量40~60 k g		K3	—		労務	R1	特殊作業員			R2	普通作業員			R3	土木一般世話役			R4	—			材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合		Z4	ガソリン レギュラー スタンド			市場単価	S	—			瀝青安定処理	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t		K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m		労務	R1	普通作業員			R2	特殊作業員			R3	運転手(特殊)			R4	土木一般世話役			材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油			市場単価	S	—			粒度調整砕石	機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t		労務	R1	運転手(特殊)			R2	普通作業員			R3	—			R4	—			材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-40			Z2	軽油 1.2号 バトロール給油			Z3	—			Z4	—			市場単価	S	—			語句の修正
材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K2	振動コンパクト [前進型] 質量40~60 k g																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	労務	R1	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z4	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
粒度調整砕石	機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材料	平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K2	振動コンパクト [前進型] 機械質量40~60 k g																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	労務	R1	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z4	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
瀝青安定処理	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 舗装幅 2.4~6.0m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R2	特殊作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS安定処理 (40)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
粒度調整砕石	機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第1次基準値)] ブレード幅3.1m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め幅 2.1m																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	労務	R1	運転手(特殊)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		R4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z3	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		Z4	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
頁	344		344																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																													
<p>3-5 上層路盤(歩道部) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.16 上層路盤(歩道部) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">平均厚さ</th> <th>材 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.17)</td><td>再生粒度調整砕石 RM-25</td></tr> <tr><td>再生粒度調整砕石 RM-30</td></tr> <tr><td>再生粒度調整砕石 RM-40</td></tr> <tr><td>粒度調整砕石 M-25</td></tr> <tr><td>粒度調整砕石 M-30</td></tr> <tr><td>粒度調整砕石 M-40</td></tr> <tr><td colspan="2">路盤材(各種)</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、歩道部の上層路盤の路盤材敷均し・締固めの他、散水、補助機械等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 路盤材はロスを含む。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.17 平均厚さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">平均厚さ</td><td>75mm以上125mm以下</td></tr> <tr><td>125mm超150mm以下</td></tr> <tr><td>150mm超175mm以下</td></tr> <tr><td>175mm超225mm以下</td></tr> <tr><td>225mm超275mm以下</td></tr> <tr><td>275mm超300mm以下</td></tr> <tr><td>300mm超325mm以下</td></tr> <tr><td>325mm超375mm以下</td></tr> <tr><td>375mm超425mm以下</td></tr> <tr><td>425mm超</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.18 上層路盤(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.11m³(平積0.08m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生粒度調整砕石 RM-30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均厚さ	材 料	(表3.17)	再生粒度調整砕石 RM-25	再生粒度調整砕石 RM-30	再生粒度調整砕石 RM-40	粒度調整砕石 M-25	粒度調整砕石 M-30	粒度調整砕石 M-40	路盤材(各種)		積算条件	区 分	平均厚さ	75mm以上125mm以下	125mm超150mm以下	150mm超175mm以下	175mm超225mm以下	225mm超275mm以下	275mm超300mm以下	300mm超325mm以下	325mm超375mm以下	375mm超425mm以下	425mm超	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	賃料	K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	賃料	K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	—		材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-30		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">表3.17 平均厚さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center;">平均厚さ</td><td>75mm以上125mm以下</td></tr> <tr><td>125mm超150mm以下</td></tr> <tr><td>150mm超175mm以下</td></tr> <tr><td>175mm超225mm以下</td></tr> <tr><td>225mm超275mm以下</td></tr> <tr><td>275mm超300mm以下</td></tr> <tr><td>300mm超325mm以下</td></tr> <tr><td>325mm超375mm以下</td></tr> <tr><td>375mm超425mm以下</td></tr> <tr><td>425mm超</td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.18 上層路盤(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.11m³(平積0.08m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>再生粒度調整砕石 RM-30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区 分	平均厚さ	75mm以上125mm以下	125mm 超 150mm以下	150mm 超 175mm以下	175mm 超 225mm以下	225mm 超 275mm以下	275mm 超 300mm以下	300mm 超 325mm以下	325mm 超 375mm以下	375mm 超 425mm以下	425mm 超	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	賃料	K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転 質量3~4t	賃料	K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(特殊)		R3	特殊作業員		R4	—		材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-30		Z2	軽油 1.2号 バトロール給油		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>現行どおり</p> <p style="text-align: right;">語句の修正</p>
平均厚さ	材 料																																																																																																																														
(表3.17)	再生粒度調整砕石 RM-25																																																																																																																														
	再生粒度調整砕石 RM-30																																																																																																																														
	再生粒度調整砕石 RM-40																																																																																																																														
	粒度調整砕石 M-25																																																																																																																														
	粒度調整砕石 M-30																																																																																																																														
	粒度調整砕石 M-40																																																																																																																														
路盤材(各種)																																																																																																																															
積算条件	区 分																																																																																																																														
平均厚さ	75mm以上125mm以下																																																																																																																														
	125mm超150mm以下																																																																																																																														
	150mm超175mm以下																																																																																																																														
	175mm超225mm以下																																																																																																																														
	225mm超275mm以下																																																																																																																														
	275mm超300mm以下																																																																																																																														
	300mm超325mm以下																																																																																																																														
	325mm超375mm以下																																																																																																																														
	375mm超425mm以下																																																																																																																														
	425mm超																																																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																												
機械	K1	小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	賃料																																																																																																																												
	K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 質量3~4t	賃料																																																																																																																												
	K3	—																																																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																																																													
	R2	運転手(特殊)																																																																																																																													
	R3	特殊作業員																																																																																																																													
	R4	—																																																																																																																													
材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-30																																																																																																																													
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																													
	Z3	—																																																																																																																													
	Z4	—																																																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																																																													
積算条件	区 分																																																																																																																														
平均厚さ	75mm以上125mm以下																																																																																																																														
	125mm 超 150mm以下																																																																																																																														
	150mm 超 175mm以下																																																																																																																														
	175mm 超 225mm以下																																																																																																																														
	225mm 超 275mm以下																																																																																																																														
	275mm 超 300mm以下																																																																																																																														
	300mm 超 325mm以下																																																																																																																														
	325mm 超 375mm以下																																																																																																																														
	375mm 超 425mm以下																																																																																																																														
	425mm 超																																																																																																																														
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																												
機械	K1	小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	賃料																																																																																																																												
	K2	振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転 質量3~4t	賃料																																																																																																																												
	K3	—																																																																																																																													
労務	R1	普通作業員																																																																																																																													
	R2	運転手(特殊)																																																																																																																													
	R3	特殊作業員																																																																																																																													
	R4	—																																																																																																																													
材料	Z1	再生粒度調整砕石 RM-30																																																																																																																													
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																													
	Z3	—																																																																																																																													
	Z4	—																																																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																																																													
頁	345	345																																																																																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																					
<p style="text-align: center;">② アスファルト舗装工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、舗装工における基層・中間層・表層および縁石工におけるアスカープに適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アスファルト混合物が購入方式の場合 (2) 施工箇所が車道・路肩部で平均厚さが25mm以上、70mm以下の場合 (3) 施工箇所が歩道部で平均厚さが25mm以上、70mm以下の場合 (4) 断面積が125cm²以上、300cm²未満のアスカープの場合 <p>1-2 適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m³未満、2.50t/m³以上の場合 <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注)1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 砂散布の有無にかかわらず本施工パッケージを適用出来る。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部)・表層(車道・路肩部)</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部)・表層(車道・路肩部) 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平均厚さ</th> <th>平均幅員</th> <th>材料</th> <th>瀝青材料種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">25mm以上35mm未満</td> <td>1.4m未満</td> <td rowspan="6">(表3. 2)</td> <td rowspan="6">(表3. 3)</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">35mm以上45mm未満</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">45mm以上55mm未満</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">55mm以上65mm未満</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">65mm以上70mm以下</td> <td>1.4m未満</td> </tr> <tr> <td>1.4m以上</td> </tr> </tbody> </table>	平均厚さ	平均幅員	材料	瀝青材料種類	25mm以上35mm未満	1.4m未満	(表3. 2)	(表3. 3)	1.4m以上	35mm以上45mm未満	1.4m未満	1.4m以上	45mm以上55mm未満	1.4m未満	1.4m以上	55mm以上65mm未満	1.4m未満	1.4m以上	65mm以上70mm以下	1.4m未満	1.4m以上	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-2 適用 <u>出来ない</u> 範囲</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
平均厚さ	平均幅員	材料	瀝青材料種類																				
25mm以上35mm未満	1.4m未満	(表3. 2)	(表3. 3)																				
	1.4m以上																						
35mm以上45mm未満	1.4m未満																						
	1.4m以上																						
45mm以上55mm未満	1.4m未満																						
	1.4m以上																						
55mm以上65mm未満	1.4m未満																						
	1.4m以上																						
65mm以上70mm以下	1.4m未満																						
	1.4m以上																						
頁	346	346																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																												
<p style="text-align: center;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.4 基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m未満</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m以上</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー[ホイール型]舗装幅2.4 ~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g		K3 -		R1 特殊作業員		労務	R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-	1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー[ホイール型]舗装幅2.4 ~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t		R1 普通作業員		労務	R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S	-	<p style="text-align: center;">(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.4 基層(車道・路肩部)・中間層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m未満</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m以上</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー[ホイール型]舗装幅2.4 ~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t 締固め部? 1m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.35t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度2.30t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 1.94t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンバクタ [前進型] 機械 質量 40~60 k g		K3 -		R1 特殊作業員		労務	R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-	1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー[ホイール型]舗装幅2.4 ~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 10~12t 締固め部? 1m		R1 普通作業員		労務	R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度2.30t/m ³	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 1.94t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価	S	-	<p>→</p> <p>語句の修正</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																											
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																												
		K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g																																																																																																																																																												
		K3 -																																																																																																																																																												
		R1 特殊作業員																																																																																																																																																												
	労務	R2 普通作業員																																																																																																																																																												
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																												
		R4 -																																																																																																																																																												
		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																										
	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度2.30t/m ³																																																																																																																																																											
	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																											
	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																											
	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合																																																																																																																																																											
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																													
Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																														
Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
市場単価	S	-																																																																																																																																																												
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー[ホイール型]舗装幅2.4 ~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]																																																																																																																																																												
		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																																																																																												
		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t																																																																																																																																																												
		R1 普通作業員																																																																																																																																																												
	労務	R2 特殊作業員																																																																																																																																																												
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																												
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																												
		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																										
	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度2.30t/m ³																																																																																																																																																											
	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																											
	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																											
	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合																																																																																																																																																											
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																													
Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
Z4 -																																																																																																																																																														
市場単価	S	-																																																																																																																																																												
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																											
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																												
		K2 振動コンバクタ [前進型] 機械 質量 40~60 k g																																																																																																																																																												
		K3 -																																																																																																																																																												
		R1 特殊作業員																																																																																																																																																												
	労務	R2 普通作業員																																																																																																																																																												
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																												
		R4 -																																																																																																																																																												
		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																										
	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度2.30t/m ³																																																																																																																																																											
	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																											
	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																											
	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合																																																																																																																																																											
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																													
Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																														
Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
市場単価	S	-																																																																																																																																																												
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー[ホイール型]舗装幅2.4 ~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]																																																																																																																																																												
		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t																																																																																																																																																												
		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 10~12t 締固め部? 1m																																																																																																																																																												
		R1 普通作業員																																																																																																																																																												
	労務	R2 特殊作業員																																																																																																																																																												
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																												
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																												
		材料	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.35t/m ³																																																																																																																																																										
	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度2.30t/m ³																																																																																																																																																											
	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)		標準締固め後密度 1.94t/m ³																																																																																																																																																											
	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)		標準締固め後密度 各種 (1.90以上2.50t/m ³ 未満)																																																																																																																																																											
	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		プライムコートの場合																																																																																																																																																											
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																													
Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																														
Z4 -																																																																																																																																																														
市場単価	S	-																																																																																																																																																												
頁	348	348																																																																																																																																																												

工 種	アスファルト舗装工
-----	-----------

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行		改定	備 考																																																																																																																																																																														
	<p style="font-size: small;">表3.5 表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">平均幅員</th> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 2.30t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 1.94t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 2.30t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 1.94t/m3	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	-		市場単価	S	-		→	<p style="font-size: small;">表3.5 表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">平均幅員</th> <th style="width: 5%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 2.30t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 1.94t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 2.35t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締め後密度 2.30t/m3</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンバクタ [前進型] 機械 質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3	アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 1.94t/m3	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)	Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z4	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	-		1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 10~12t		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	-		市場単価	S	-		<p>語句の修正</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																															
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																																
		K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g																																																																																																																																																																																
		K3 -																																																																																																																																																																																
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																																																
		R2 普通作業員																																																																																																																																																																																
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																																																
		R4 -																																																																																																																																																																																
	材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 1.94t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)																																																																																																																																																																														
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z4	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																															
Z4		軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																
市場単価	S	-																																																																																																																																																																																
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]																																																																																																																																																																																
		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																																																																																																																
		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t																																																																																																																																																																																
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																																
		R2 特殊作業員																																																																																																																																																																																
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																																																
	材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)																																																																																																																																																																														
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																															
		Z4	-																																																																																																																																																																															
市場単価		S	-																																																																																																																																																																															
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																															
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																																																
		K2 振動コンバクタ [前進型] 機械 質量 40~60 k g																																																																																																																																																																																
		K3 -																																																																																																																																																																																
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																																																
		R2 普通作業員																																																																																																																																																																																
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																																																
		R4 -																																																																																																																																																																																
	材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 開粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 1.94t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)																																																																																																																																																																														
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z4	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																															
Z4		軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																																
市場単価	S	-																																																																																																																																																																																
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m [排出ガス対策型 (第2次基準値)]																																																																																																																																																																																
		K2 タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t																																																																																																																																																																																
		K3 ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 10~12t																																																																																																																																																																																
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																																																
		R2 特殊作業員																																																																																																																																																																																
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																																																
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																																																
	材料	Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 2.35t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.30t/m3																																																																																																																																																																														
			アスファルト混合物 密粒度AS混合物 (20)	標準締め後密度 各種 (1.90 以上 2.50t/m3未満)																																																																																																																																																																														
			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																																														
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																															
		Z4	-																																																																																																																																																																															
市場単価		S	-																																																																																																																																																																															
頁	349		349																																																																																																																																																																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現 行	→	改 定	備 考																																																																																																																																																
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 基層(歩道部)・中間層(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価 S -		1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t	賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価 S -			<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 基層(歩道部)・中間層(歩道部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 2.20t/m³</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)</td> <td>標準締固め後密度 2.15t/m³</td> </tr> <tr> <td>再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)</td> <td>標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m³未満)</td> </tr> <tr> <td>Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用</td> <td>プライムコートの場合</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用</td> <td>タックコートの場合</td> </tr> <tr> <td>Z3 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価 S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t		K2 振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g		K3 -		労務	R1 特殊作業員		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価 S -		1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t	賃料	K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 特殊作業員		R3 運転手 (特殊)		R4 土木一般世話役		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³	アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)	Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合	Z3 軽油 1.2号 バトロール給油		Z4 -		市場単価 S -		<p>語句の修正</p>
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																	
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																		
		K2 振動コンバクタ [前進型] 質量 40~60 k g																																																																																																																																																		
		K3 -																																																																																																																																																		
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																		
		R2 普通作業員																																																																																																																																																		
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																		
		R4 -																																																																																																																																																		
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																	
		アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																	
		再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																	
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																	
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																	
Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																				
Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																				
市場単価 S -																																																																																																																																																				
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m																																																																																																																																																		
		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t	賃料																																																																																																																																																	
		K3 -																																																																																																																																																		
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																		
		R2 特殊作業員																																																																																																																																																		
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																		
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																		
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																	
		アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																	
		再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																	
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																	
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																	
Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																				
Z4 -																																																																																																																																																				
市場単価 S -																																																																																																																																																				
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																	
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6 t																																																																																																																																																		
		K2 振動コンバクタ [前進型] 機械質量 40~60 k g																																																																																																																																																		
		K3 -																																																																																																																																																		
	労務	R1 特殊作業員																																																																																																																																																		
		R2 普通作業員																																																																																																																																																		
		R3 土木一般世話役																																																																																																																																																		
		R4 -																																																																																																																																																		
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																	
		アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																	
		再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																	
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																	
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																	
Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																				
Z4 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																				
市場単価 S -																																																																																																																																																				
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m																																																																																																																																																		
		K2 振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t	賃料																																																																																																																																																	
		K3 -																																																																																																																																																		
	労務	R1 普通作業員																																																																																																																																																		
		R2 特殊作業員																																																																																																																																																		
		R3 運転手 (特殊)																																																																																																																																																		
		R4 土木一般世話役																																																																																																																																																		
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³																																																																																																																																																	
		アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³																																																																																																																																																	
		再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物 (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m ³ 未満)																																																																																																																																																	
		Z2 アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合																																																																																																																																																	
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合																																																																																																																																																	
Z3 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																				
Z4 -																																																																																																																																																				
市場単価 S -																																																																																																																																																				
頁	351		351																																																																																																																																																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	→	改定	備 考			
表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧	表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧		表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧	表3.9 表層(歩道部) 代表機材規格一覧			
平均幅員	項目		項目				
1.4m未満	機械	K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6 t	機械	K1 振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6 t	語句の修正		
		K2 振動コンパクト [前進型] 質量 40~60 k g		K2 振動コンパクト [前進型] 機械 質量 40~60 k g			
		K3 -		K3 -			
	労務	R1 特殊作業員	R1 特殊作業員	労務		R2 普通作業員	
		R2 普通作業員	R2 普通作業員			R3 土木一般世話役	
		R3 土木一般世話役	R3 土木一般世話役			R4 -	
		R4 -	R4 -				
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.20t/m3	材料		Z1 再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.20t/m3
		アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.15t/m3			アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.15t/m3
		再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m3未満)			再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m3未満)
		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z3 ガソリン レギュラー スタンド				Z3 ガソリン レギュラー スタンド	
		Z4 軽油 1.2号 バトロール給油				Z4 軽油 1.2号 バトロール給油	
		市場単価 S -				市場単価 S -	
1.4m以上	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m	機械	K1 アスファルトフィニッシャー [クローラ型] 舗装幅1.4~3.0m	語句の修正		
		K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t		賃料		K2 振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 3~4 t	賃料
		K3 -				K3 -	
	労務	R1 普通作業員		労務		R1 普通作業員	
		R2 特殊作業員				R2 特殊作業員	
		R3 運転手(特殊)				R3 運転手(特殊)	
		R4 土木一般世話役				R4 土木一般世話役	
	材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.20t/m3	材料		Z1 再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.20t/m3
		アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.15t/m3			アスファルト混合物 細粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 2.15t/m3
		再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m3未満)			再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (13)	標準締め後密度 各種 (1.90以上 2.40t/m3未満)
		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合			アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
		アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z3 軽油 1.2号 バトロール給油				Z3 軽油 1.2号 バトロール給油	
		Z4 -				Z4 -	
		市場単価 S -				市場単価 S -	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																		
<p>3-3 アスカーブ (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">断面積</th> <th style="width: 50%;">材 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>125cm²以上140cm²未満</td><td rowspan="10" style="text-align: center;">(表3.11)</td></tr> <tr><td>140cm²以上155cm²未満</td></tr> <tr><td>155cm²以上175cm²未満</td></tr> <tr><td>175cm²以上195cm²未満</td></tr> <tr><td>195cm²以上215cm²未満</td></tr> <tr><td>215cm²以上235cm²未満</td></tr> <tr><td>235cm²以上255cm²未満</td></tr> <tr><td>255cm²以上280cm²未満</td></tr> <tr><td>280cm²以上300cm²未満</td></tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、アスカーブ設置の他、瀝青材料、瀝青材料の散布及び加熱燃料等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 材 料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">積算条件</th> <th style="width: 50%;">積算条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">材 料</td> <td>細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>再生細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>再生細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>各種（締固め後密度2.10 t/m³）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption style="text-align: center;">表3.12 アスカーブ 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 4.0~4.5m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	断面積	材 料	125cm ² 以上140cm ² 未満	(表3.11)	140cm ² 以上155cm ² 未満	155cm ² 以上175cm ² 未満	175cm ² 以上195cm ² 未満	195cm ² 以上215cm ² 未満	215cm ² 以上235cm ² 未満	235cm ² 以上255cm ² 未満	255cm ² 以上280cm ² 未満	280cm ² 以上300cm ² 未満	積算条件	積算条件	材 料	細粒度アスファルト混合物(13)	細粒度アスファルト混合物(13F)	再生細粒度アスファルト混合物(13)	再生細粒度アスファルト混合物(13F)	各種（締固め後密度2.10 t/m ³ ）	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2 アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 4.0~4.5m ³ /h		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 運転手 (一般)		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 -		市場単価	S -		<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.12 アスカーブ 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級</td> <td>タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む</td> </tr> <tr> <td>K2 アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力4.0~4.5m³/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 運転手 (一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む	K2 アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力 4.0~4.5m ³ /h		K3 -		労務	R1 普通作業員		R2 土木一般世話役		R3 特殊作業員		R4 運転手 (一般)		材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)		Z2 軽油 1.2号 バトロール給油		Z3 ガソリン レギュラー スタンド		Z4 -		市場単価	S -		<p>語句の修正</p>
断面積	材 料																																																																																			
125cm ² 以上140cm ² 未満	(表3.11)																																																																																			
140cm ² 以上155cm ² 未満																																																																																				
155cm ² 以上175cm ² 未満																																																																																				
175cm ² 以上195cm ² 未満																																																																																				
195cm ² 以上215cm ² 未満																																																																																				
215cm ² 以上235cm ² 未満																																																																																				
235cm ² 以上255cm ² 未満																																																																																				
255cm ² 以上280cm ² 未満																																																																																				
280cm ² 以上300cm ² 未満																																																																																				
積算条件		積算条件																																																																																		
材 料	細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																			
	細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																			
	再生細粒度アスファルト混合物(13)																																																																																			
	再生細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																			
	各種（締固め後密度2.10 t/m ³ ）																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																		
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																		
	K2 アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 4.0~4.5m ³ /h																																																																																			
	K3 -																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																			
	R2 土木一般世話役																																																																																			
	R3 特殊作業員																																																																																			
	R4 運転手 (一般)																																																																																			
材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)																																																																																			
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																			
	Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																			
	Z4 -																																																																																			
市場単価	S -																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																		
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2t 積級	タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む																																																																																		
	K2 アスファルトカーバ[ガソリンエンジン駆動式] 能力 4.0~4.5m ³ /h																																																																																			
	K3 -																																																																																			
労務	R1 普通作業員																																																																																			
	R2 土木一般世話役																																																																																			
	R3 特殊作業員																																																																																			
	R4 運転手 (一般)																																																																																			
材料	Z1 再生アスファルト混合物 再生細粒度AS混合物 (13)																																																																																			
	Z2 軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																			
	Z3 ガソリン レギュラー スタンド																																																																																			
	Z4 -																																																																																			
市場単価	S -																																																																																			
頁	353	353																																																																																		

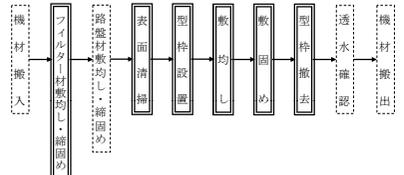
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																									
<p style="text-align: center;">③ 排水性アスファルト舗装工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、車道における排水性アスファルト舗装工事に適用する。なお、排水性アスファルト混合物の積算は、購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>1-1 適用できない範囲 (1) 平均施工幅員が1.4m未満の場合において、平均厚さが35mm未満の場合及び50mmを超える場合 (2) 平均施工幅員が2.4m以上の場合において、平均厚さが35mm未満の場合及び65mm以上の場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 排水性舗装・表層(車道・路肩部) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 積算条件区分一覧 (積算単位: nf)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>平均厚さ</th> <th>排水パイプの設置</th> <th>片側車線数</th> <th>材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1.4m未満</td> <td rowspan="2">35mm以上 45mm未満</td> <td>有り</td> <td>—</td> <td rowspan="8">(表3.2)</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">45mm以上 50mm以下</td> <td>有り</td> <td>片側1車線</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">2.4m以上</td> <td rowspan="4">35mm以上 45mm未満</td> <td>有り</td> <td>片側1車線</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>片側2車線以上</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">45mm以上 55mm未満</td> <td>有り</td> <td>片側1車線</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td>片側2車線以上</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">55mm以上 65mm未満</td> <td>有り</td> <td>片側1車線</td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	平均施工幅員	平均厚さ	排水パイプの設置	片側車線数	材料	1.4m未満	35mm以上 45mm未満	有り	—	(表3.2)	無し	—	45mm以上 50mm以下	有り	片側1車線	無し	—	2.4m以上	35mm以上 45mm未満	有り	片側1車線	無し	—	有り	片側2車線以上	無し	—	45mm以上 55mm未満	有り	片側1車線	無し	—	有り	片側2車線以上	無し	—	55mm以上 65mm未満	有り	片側1車線	無し	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">1-1 適用 <u>出来ない</u> 範囲</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
平均施工幅員	平均厚さ	排水パイプの設置	片側車線数	材料																																							
1.4m未満	35mm以上 45mm未満	有り	—	(表3.2)																																							
		無し	—																																								
	45mm以上 50mm以下	有り	片側1車線																																								
		無し	—																																								
2.4m以上	35mm以上 45mm未満	有り	片側1車線																																								
		無し	—																																								
		有り	片側2車線以上																																								
		無し	—																																								
	45mm以上 55mm未満	有り	片側1車線																																								
		無し	—																																								
		有り	片側2車線以上																																								
		無し	—																																								
55mm以上 65mm未満	有り	片側1車線																																									
	無し	—																																									
頁	354	354																																									

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現 行	→	改 定	備 考																																																																																																																																																																												
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンパクタ[前進型]質量40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 P K R ゴム入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">2.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 P K R ゴム入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18</td> <td>導水パイプの設置有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t		K2	振動コンパクタ[前進型]質量40~60kg		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り		Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	—		2.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t		K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t		労務	R1	普通作業員		R2	運転手 (特殊)		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合	市場単価	S	—			<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 排水性舗装・表層(車道・路肩部) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均施工幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">1.4m未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量 0.5~0.6t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>振動コンパクタ[前進型]機械質量40~60kg</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 P K R ゴム入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">2.4m以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 8~20t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転質量 10~12t</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>アスファルト乳剤 P K R ゴム入り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18</td> <td>導水パイプの設置有りの場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6t		K2	振動コンパクタ[前進型] 機械 質量40~60kg		K3	—		労務	R1	特殊作業員		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り		Z3	ガソリン レギュラー スタンド		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油		市場単価	S	—		2.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m		K2	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t		K3	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 10~12t		労務	R1	普通作業員		R2	運転手 (特殊)		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合	市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
平均施工幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																													
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																													
		K2	振動コンパクタ[前進型]質量40~60kg																																																																																																																																																																													
		K3	—																																																																																																																																																																													
	労務	R1	特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																													
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																													
		R4	—																																																																																																																																																																													
	材料	Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																													
		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り																																																																																																																																																																													
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																													
		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																													
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																													
	2.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m																																																																																																																																																																												
K2			タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 8~20t																																																																																																																																																																													
K3			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 質量 10~12t																																																																																																																																																																													
労務		R1	普通作業員																																																																																																																																																																													
		R2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																													
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																													
材料		Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																													
		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り																																																																																																																																																																													
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																													
		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合																																																																																																																																																																												
市場単価		S	—																																																																																																																																																																													
平均施工幅員		項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																												
1.4m未満	機械	K1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転 質量 0.5~0.6t																																																																																																																																																																													
		K2	振動コンパクタ[前進型] 機械 質量40~60kg																																																																																																																																																																													
		K3	—																																																																																																																																																																													
	労務	R1	特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R2	普通作業員																																																																																																																																																																													
		R3	土木一般世話役																																																																																																																																																																													
		R4	—																																																																																																																																																																													
	材料	Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																													
		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り																																																																																																																																																																													
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																																																													
		Z4	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																													
	市場単価	S	—																																																																																																																																																																													
	2.4m以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.4~6.0m																																																																																																																																																																												
K2			タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 8~20t																																																																																																																																																																													
K3			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第1次基準値)] 運転 質量 10~12t																																																																																																																																																																													
労務		R1	普通作業員																																																																																																																																																																													
		R2	運転手 (特殊)																																																																																																																																																																													
		R3	特殊作業員																																																																																																																																																																													
		R4	土木一般世話役																																																																																																																																																																													
材料		Z1	アスファルト混合物 ポーラスアスファルト混合物 (13)																																																																																																																																																																													
		Z2	アスファルト乳剤 P K R ゴム入り																																																																																																																																																																													
		Z3	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																													
		Z4	導水パイプ 排水性舗装用 ステンレス製φ18	導水パイプの設置有りの場合																																																																																																																																																																												
市場単価		S	—																																																																																																																																																																													
頁		356		356																																																																																																																																																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考										
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">④ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、歩道における透水性アスファルト舗装工事に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 フィルター層 (1) 透水性舗装におけるフィルター層の平均厚さが40mm以上220mm以下の場合</p> <p>1-1-2 透水性アスファルト舗装 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合で平均厚さは、平均幅員が1.4m未満では、25mm以上50mm以下、平均幅員が1.4m以上では、25mm以上70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 透水性アスファルト舗装 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト舗装工及び排水性舗装工における表層の施工 (3) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90 t/m³未満、2.10 t/m³以上の場合</p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 フィルター層</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 フィルター層 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">平均厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">40mm以上 60mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">60mm以上 80mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">80mm以上 100mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100mm以上 120mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">120mm以上 140mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">140mm以上 160mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">160mm以上 180mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">180mm以上 200mm未満</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">200mm以上 220mm以下</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 透水性舗装におけるフィルター材(歩道部)の敷均し・締固め等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. フィルター材料の材料ロスを含む。</p>	平均厚さ	40mm以上 60mm未満	60mm以上 80mm未満	80mm以上 100mm未満	100mm以上 120mm未満	120mm以上 140mm未満	140mm以上 160mm未満	160mm以上 180mm未満	180mm以上 200mm未満	200mm以上 220mm以下	<p style="text-align: center;">④ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、歩道における透水性アスファルト舗装工事に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 フィルター層 (1) 透水性舗装におけるフィルター層の平均厚さが40mm以上220mm以下の場合</p> <p>1-1-2 透水性アスファルト舗装 (1) アスファルト混合物が購入方式の場合で平均厚さは、平均幅員が1.4m未満では、25mm以上50mm以下、平均幅員が1.4m以上では、25mm以上70mm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 透水性アスファルト舗装 (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合 (2) アスファルト舗装工及び排水性舗装工における表層の施工 (3) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90 t/m³未満、2.10 t/m³以上の場合</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
平均厚さ												
40mm以上 60mm未満												
60mm以上 80mm未満												
80mm以上 100mm未満												
100mm以上 120mm未満												
120mm以上 140mm未満												
140mm以上 160mm未満												
160mm以上 180mm未満												
180mm以上 200mm未満												
200mm以上 220mm以下												
頁	357	357										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 フィルター層 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量3~4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>砂 再生砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 透水性アスファルト舗装 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 透水性アスファルト舗装 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>平均厚さ</th> <th>締固め後密度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1.4m未満</td> <td>25mm以上35mm未満</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.4)</td> </tr> <tr> <td>35mm以上45mm未満</td> </tr> <tr> <td>45mm以上50mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.4m以上</td> <td>25mm以上35mm未満</td> </tr> <tr> <td>35mm以上45mm未満</td> </tr> <tr> <td>45mm以上55mm未満</td> </tr> <tr> <td>55mm以上65mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>65mm以上70mm以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層(歩道部)の透水性アスファルト混合物敷均し・締固めの他、砂の散布、舗装器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。 3. サリつけに使用する混合物は、実状に応じて別途計上する。 4. 幅員に関わらず機械施工が困難な場合は平均幅員1.4m未満を適用する。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 締固め後密度</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">締固め後密度</td> <td>2.05t/m³(標準)</td> </tr> <tr> <td>各種 1.90 t/m³以上 2.00t/m³ 未満</td> </tr> <tr> <td>各種 2.00 t/m³以上 2.10t/m³ 未満</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量3~4t		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手(特殊)		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	砂 再生砂		Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		平均幅員	平均厚さ	締固め後密度	1.4m未満	25mm以上35mm未満	(表3.4)	35mm以上45mm未満	45mm以上50mm以下	1.4m以上	25mm以上35mm未満	35mm以上45mm未満	45mm以上55mm未満	55mm以上65mm未満		65mm以上70mm以下		積算条件	区 分	締固め後密度	2.05t/m ³ (標準)	各種 1.90 t/m ³ 以上 2.00t/m ³ 未満	各種 2.00 t/m ³ 以上 2.10t/m ³ 未満	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 フィルター層 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]運転質量3~4t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>砂 再生砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転 質量3~4t		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	運転手(特殊)		R 4	土木一般世話役		材料	Z 1	砂 再生砂		Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																													
機械	K 1	振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量3~4t																																																																																																														
	K 2	—																																																																																																														
	K 3	—																																																																																																														
労務	R 1	普通作業員																																																																																																														
	R 2	特殊作業員																																																																																																														
	R 3	運転手(特殊)																																																																																																														
	R 4	土木一般世話役																																																																																																														
材料	Z 1	砂 再生砂																																																																																																														
	Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																														
	Z 3	—																																																																																																														
	Z 4	—																																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																																														
平均幅員	平均厚さ	締固め後密度																																																																																																														
1.4m未満	25mm以上35mm未満	(表3.4)																																																																																																														
	35mm以上45mm未満																																																																																																															
	45mm以上50mm以下																																																																																																															
1.4m以上	25mm以上35mm未満																																																																																																															
	35mm以上45mm未満																																																																																																															
	45mm以上55mm未満																																																																																																															
	55mm以上65mm未満																																																																																																															
	65mm以上70mm以下																																																																																																															
積算条件	区 分																																																																																																															
締固め後密度	2.05t/m ³ (標準)																																																																																																															
	各種 1.90 t/m ³ 以上 2.00t/m ³ 未満																																																																																																															
	各種 2.00 t/m ³ 以上 2.10t/m ³ 未満																																																																																																															
項目	代表機材規格		備考																																																																																																													
機械	K 1	振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転 質量3~4t																																																																																																														
	K 2	—																																																																																																														
	K 3	—																																																																																																														
労務	R 1	普通作業員																																																																																																														
	R 2	特殊作業員																																																																																																														
	R 3	運転手(特殊)																																																																																																														
	R 4	土木一般世話役																																																																																																														
材料	Z 1	砂 再生砂																																																																																																														
	Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																														
	Z 3	—																																																																																																														
	Z 4	—																																																																																																														
市場単価	S	—																																																																																																														
頁	358	358																																																																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考																																																																																																																																
	(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。	(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。																																																																																																																																	
	<p style="text-align: center;">表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>振動ローラ[ハンドガイド型]質量 0.5~0.6t</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動コンパクト[前進型]質量 40~60kg</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>ガソリンレギュラー スタンド</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>アスファルトフィニッシャ[クローラ型]舗装幅 1.4~3.0m</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量 3~4t</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K 1	振動ローラ[ハンドガイド型]質量 0.5~0.6t	K 2	振動コンパクト[前進型]質量 40~60kg	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	—	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)	Z 2	ガソリンレギュラー スタンド	Z 3	軽油 1. 2号 バトロール給油	Z 4	—	市場単価	S	—		1.4m 以上	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ[クローラ型]舗装幅 1.4~3.0m	K 2	振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量 3~4t	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	運転手(特殊)	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)	Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">表3.5 透水性アスファルト舗装 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均幅員</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">1.4m 未満</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転質量 0.5~0.6t</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動コンパクト[前進型]機械質量 40~60kg</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>ガソリンレギュラー スタンド</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12">1.4m 以上</td> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>アスファルトフィニッシャ[クローラ型]舗装幅 1.4~3.0m</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量 3~4t</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>特殊作業員</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均幅員	項目	代表機材規格	備考	1.4m 未満	機械	K 1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転 質量 0.5~0.6t	K 2	振動コンパクト[前進型] 機械 質量 40~60kg	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	—	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)	Z 2	ガソリンレギュラー スタンド	Z 3	軽油 1. 2号 バトロール給油	Z 4	—	市場単価	S	—		1.4m 以上	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ[クローラ型]舗装幅 1.4~3.0m	K 2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量 3~4t	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	特殊作業員	R 3	土木一般世話役	R 4	運転手(特殊)	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)	Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—		語句の修正
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																
1.4m 未満	機械	K 1	振動ローラ[ハンドガイド型]質量 0.5~0.6t																																																																																																																																
		K 2	振動コンパクト[前進型]質量 40~60kg																																																																																																																																
		K 3	—																																																																																																																																
	労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																
		R 2	特殊作業員																																																																																																																																
		R 3	土木一般世話役																																																																																																																																
		R 4	—																																																																																																																																
	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)																																																																																																																																
		Z 2	ガソリンレギュラー スタンド																																																																																																																																
		Z 3	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																																																
		Z 4	—																																																																																																																																
	市場単価	S	—																																																																																																																																
1.4m 以上	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ[クローラ型]舗装幅 1.4~3.0m																																																																																																																																
		K 2	振動ローラ[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)]質量 3~4t																																																																																																																																
		K 3	—																																																																																																																																
	労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																
		R 2	特殊作業員																																																																																																																																
		R 3	土木一般世話役																																																																																																																																
		R 4	運転手(特殊)																																																																																																																																
	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)																																																																																																																																
		Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																																																
		Z 3	—																																																																																																																																
		Z 4	—																																																																																																																																
	市場単価	S	—																																																																																																																																
平均幅員	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																
1.4m 未満	機械	K 1	振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド型] 運転 質量 0.5~0.6t																																																																																																																																
		K 2	振動コンパクト[前進型] 機械 質量 40~60kg																																																																																																																																
		K 3	—																																																																																																																																
	労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																
		R 2	特殊作業員																																																																																																																																
		R 3	土木一般世話役																																																																																																																																
		R 4	—																																																																																																																																
	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)																																																																																																																																
		Z 2	ガソリンレギュラー スタンド																																																																																																																																
		Z 3	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																																																
		Z 4	—																																																																																																																																
	市場単価	S	—																																																																																																																																
1.4m 以上	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ[クローラ型]舗装幅 1.4~3.0m																																																																																																																																
		K 2	振動ローラ (舗装用) [搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第1次基準値)] 運転質量 3~4t																																																																																																																																
		K 3	—																																																																																																																																
	労務	R 1	普通作業員																																																																																																																																
		R 2	特殊作業員																																																																																																																																
		R 3	土木一般世話役																																																																																																																																
		R 4	運転手(特殊)																																																																																																																																
	材料	Z 1	アスファルト混合物 開粒度 A S 混合物(1 3)																																																																																																																																
		Z 2	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																																																																
		Z 3	—																																																																																																																																
		Z 4	—																																																																																																																																
	市場単価	S	—																																																																																																																																
頁	359	359																																																																																																																																	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																
<p>④ 防雪柵現地張出し・収納工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現地収納式防雪柵の張出し及び収納に適用する。また、防雪柵の種類及び高さ・支間長は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表1.1 防雪柵の種類及び高さ・支間長</caption> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>収納方式</th> <th>柵 高</th> <th>支 間 長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)</td> <td>4.3 m以下</td> <td>4.0 m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。 2. 支間長は、支柱の中心間長さとする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>張出し作業</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>収納作業</p> </div> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	種 類	収納方式	柵 高	支 間 長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下	<p>④ 防雪柵現地張出し・収納工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、現地収納式防雪柵の張出し及び収納に適用する。また、防雪柵の種類及び柵高・支間長は、次表を標準とする。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>表1.1 防雪柵の種類及び柵高・支間長</caption> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>収納方式</th> <th>柵 高</th> <th>支 間 長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)</td> <td>4.3 m以下</td> <td>4.0 m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。 2. 支間長は、支柱の中心間長さとする。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">} 現行どおり</p>	種 類	収納方式	柵 高	支 間 長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下	<p>語句の修正</p>
種 類	収納方式	柵 高	支 間 長															
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下															
種 類	収納方式	柵 高	支 間 長															
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下															
頁	373	373																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

頁	現行	改定	備 考
375	<p>4. 現地収納式防雪柵(吹払式)の概念図(参考)</p> <p>連動型 防雪板全数を同 時に張出し・取 納するタイプ</p> <p>単動型 防雪板を一枚ご とに張出し・取 納するタイプ</p>	<p>5. 参考図(現地収納式防雪柵(吹払式)の概念図)</p> <p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
375		375	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考
	<p>⑤ 雪崩予防柵設置工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、雪崩予防柵設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 雪崩予防柵</p> <p>(1) 固定基礎を有する固定柵及び固定アンカーを有しワイヤで柵を吊っている吊柵のうち1基当り柵長が6m以下、柵高が3m以下の鋼製の雪崩予防柵を設置する場合</p> <p>1-1-2 吊柵アンカー</p> <p>(1) 土質がレキ質土、砂質土、粘性土、岩塊・玉石混り土で吊柵アンカーにパイプアンカー(φ114.3mm、長さ2.0~3.0m)を設置する場合</p> <p>(2) 土質が軟岩、硬岩で吊柵アンカーに樹脂アンカー(φ32・36mm、長さ1.7m)を設置する場合</p> <p>1-1-3 簡易ケーブルクレーン(1t吊)設置・撤去</p> <p>(1) 簡易ケーブルクレーン(巻上げ能力1.0t)を設置・撤去する場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 雪崩予防柵</p> <p>(1) 吊柵を設置する場合</p> <p>(2) PC製の雪崩予防柵を設置する場合</p> <p>1-2-2 吊柵アンカー</p> <p>(1) 吊柵アンカーにコンクリートアンカー又は土中アンカーを設置する場合</p>	<p>⑤ 雪崩予防柵設置工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、雪崩予防柵設置工に適用する。</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲</p> <p>1-1-1 雪崩予防柵</p> <p>(1) 固定基礎を有する固定柵及び固定アンカーを有しワイヤで柵を吊っている吊柵のうち1基当り柵長が6m以下、柵高が3m以下の鋼製の雪崩予防柵を設置する場合</p> <p>1-1-2 吊柵アンカー</p> <p>(1) 土質がレキ質土、砂質土、粘性土、岩塊・玉石混り土で吊柵アンカーにパイプアンカー(φ114.3mm、長さ2.0~3.0m)を設置する場合</p> <p>(2) 土質が軟岩、硬岩で吊柵アンカーに樹脂アンカー(φ32・36mm、長さ1.7m)を設置する場合</p> <p>1-1-3 簡易ケーブルクレーン(1t吊)設置・撤去</p> <p>(1) 簡易ケーブルクレーン(巻上げ能力1.0t)を設置・撤去する場合</p> <p>1-2 適用 <u>出来ない</u> 範囲</p> <p>1-2-1 雪崩予防柵</p> <p>(1) 吊柵を設置する場合</p> <p>(2) PC製の雪崩予防柵を設置する場合</p> <p>1-2-2 吊柵アンカー</p> <p>(1) 吊柵アンカーにコンクリートアンカー又は土中アンカーを設置する場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	376	376	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																				
<p>3. 施工パッケージ 3-1 雪崩予防柵 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 雪崩予防柵 積算条件区分一覧 (積算単位: 基)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>柵種類</th> <th>クレーン機種</th> <th>持上範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">固定柵</td> <td>トラッククレーン</td> <td>15m 未満</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>15m 以上 20m 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20m 以上 45m 以下</td> </tr> <tr> <td>簡易ケーブルクレーン</td> <td>130m 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">吊柵</td> <td>トラッククレーン</td> <td>15m 未満</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>15m 以上 20m 未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20m 以上 45m 以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>簡易ケーブルクレーン</td> <td>130m 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、雪崩予防柵の組立・設置、ワイヤの加工・設置、資材持上げ用機械による構・ワイヤ・アンカー及び基礎部分の型枠・足場等資材の運搬作業等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、固定基礎工事に関する部分及び雪崩予防柵(材料費)は含まない。 2. 持上範囲は、トラッククレーン及びラフテレーンクレーンの場合は機械設置地盤からの最大持上げ高までの直高とし、簡易ケーブルクレーンの場合は資材設置面から最大持上げ高までの直高とする。 3. 基礎工事で土工、コンクリート工、型枠工、足場工等が必要な場合は、別途計上する。 4. 雪崩予防柵の材料費は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.2 雪崩予防柵 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">機械</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・トラッククレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊</td> <td>・賃料 ・トラッククレーンで持上範囲が15m 以上 20m 未満の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">K2</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊</td> <td>・賃料 ・トラッククレーンで持上範囲が20m 以上 45m 以下の場合</td> </tr> <tr> <td>簡易ケーブルクレーン エンジン付 1.0t</td> <td>簡易ケーブルクレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>法面工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td>簡易ケーブルクレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>簡易ケーブルクレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> </div>	柵種類	クレーン機種	持上範囲	固定柵	トラッククレーン	15m 未満	ラフテレーンクレーン	15m 以上 20m 未満		20m 以上 45m 以下	簡易ケーブルクレーン	130m 以下	吊柵	トラッククレーン	15m 未満	ラフテレーンクレーン	15m 以上 20m 未満		20m 以上 45m 以下		簡易ケーブルクレーン	130m 以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・トラッククレーンの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・トラッククレーンで持上範囲が15m 以上 20m 未満の場合	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・トラッククレーンで持上範囲が20m 以上 45m 以下の場合	簡易ケーブルクレーン エンジン付 1.0t	簡易ケーブルクレーンの場合	K3	—	—	労務	R1	法面工		R2	普通作業員		R3	特殊作業員	簡易ケーブルクレーンの場合	R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油	簡易ケーブルクレーンの場合	Z2	—	—	Z3	—	—	Z4	—	—	市場単価	S	—	—	<p style="text-align: center;">表3.2 雪崩予防柵 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">機械</td> <td rowspan="2">K1</td> <td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊</td> <td>・賃料 ・<u>持上範囲が15m 未満の場合</u></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊</td> <td>・賃料 ・<u>持上範囲が15m 以上 20m 未満の場合</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">K2</td> <td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊</td> <td>・賃料 ・<u>持上範囲が20m 以上 45m 以下の場合</u></td> </tr> <tr> <td>簡易ケーブルクレーン エンジン付 1.0t</td> <td>簡易ケーブルクレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>法面工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>特殊作業員</td> <td>簡易ケーブルクレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td>簡易ケーブルクレーンの場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・ <u>持上範囲が15m 未満の場合</u>	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・ <u>持上範囲が15m 以上 20m 未満の場合</u>	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・ <u>持上範囲が20m 以上 45m 以下の場合</u>	簡易ケーブルクレーン エンジン付 1.0t	簡易ケーブルクレーンの場合	K3	—	—	労務	R1	法面工		R2	普通作業員		R3	特殊作業員	簡易ケーブルクレーンの場合	R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油	簡易ケーブルクレーンの場合	Z2	—	—	Z3	—	—	Z4	—	—	市場単価	S	—	—	<p>現行どおり</p> <p style="text-align: right;">語句の修正</p>
柵種類	クレーン機種	持上範囲																																																																																																																				
固定柵	トラッククレーン	15m 未満																																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン	15m 以上 20m 未満																																																																																																																				
		20m 以上 45m 以下																																																																																																																				
	簡易ケーブルクレーン	130m 以下																																																																																																																				
吊柵	トラッククレーン	15m 未満																																																																																																																				
	ラフテレーンクレーン	15m 以上 20m 未満																																																																																																																				
		20m 以上 45m 以下																																																																																																																				
	簡易ケーブルクレーン	130m 以下																																																																																																																				
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																				
機械	K1	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・トラッククレーンの場合																																																																																																																			
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・トラッククレーンで持上範囲が15m 以上 20m 未満の場合																																																																																																																			
	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・トラッククレーンで持上範囲が20m 以上 45m 以下の場合																																																																																																																			
		簡易ケーブルクレーン エンジン付 1.0t	簡易ケーブルクレーンの場合																																																																																																																			
K3	—	—																																																																																																																				
労務	R1	法面工																																																																																																																				
	R2	普通作業員																																																																																																																				
	R3	特殊作業員	簡易ケーブルクレーンの場合																																																																																																																			
	R4	土木一般世話役																																																																																																																				
材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油	簡易ケーブルクレーンの場合																																																																																																																			
	Z2	—	—																																																																																																																			
	Z3	—	—																																																																																																																			
	Z4	—	—																																																																																																																			
市場単価	S	—	—																																																																																																																			
項目	代表機材規格	備考																																																																																																																				
機械	K1	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・ <u>持上範囲が15m 未満の場合</u>																																																																																																																			
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕20t 吊	・賃料 ・ <u>持上範囲が15m 以上 20m 未満の場合</u>																																																																																																																			
	K2	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)〕35t 吊	・賃料 ・ <u>持上範囲が20m 以上 45m 以下の場合</u>																																																																																																																			
		簡易ケーブルクレーン エンジン付 1.0t	簡易ケーブルクレーンの場合																																																																																																																			
K3	—	—																																																																																																																				
労務	R1	法面工																																																																																																																				
	R2	普通作業員																																																																																																																				
	R3	特殊作業員	簡易ケーブルクレーンの場合																																																																																																																			
	R4	土木一般世話役																																																																																																																				
材料	Z1	軽油 1. 2号 バトロール給油	簡易ケーブルクレーンの場合																																																																																																																			
	Z2	—	—																																																																																																																			
	Z3	—	—																																																																																																																			
	Z4	—	—																																																																																																																			
市場単価	S	—	—																																																																																																																			
頁	378	378																																																																																																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>⑥ ボックスビーム設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ボックスビームの設置に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> </div>	<p>⑥ ボックスビーム設置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ボックスビームの設置に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、<u>下</u>記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>語句の修正</p>
頁 382	382	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 落下物等防止柵</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>落下物等防止柵における積算条件区分はない。 積算単位はmとする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(注) 1. 落下物等防止柵のアンカーボルト設置、支柱立込、金網設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、落下物等防止柵（材料費）は含まない。</p> <p>2. 落下物等防止柵の材料費は別途計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 落下物等防止柵 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">K1</th> <th style="width: 10%;">K2</th> <th style="width: 10%;">K3</th> <th style="width: 10%;">R1</th> <th style="width: 10%;">R2</th> <th style="width: 10%;">R3</th> <th style="width: 10%;">R4</th> <th style="width: 10%;">Z1</th> <th style="width: 10%;">Z2</th> <th style="width: 10%;">Z3</th> <th style="width: 10%;">Z4</th> <th style="width: 10%;">S</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>普通作業員</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S	機械	—	—	—																																		労務	普通作業員	土木一般世話役																																															材料																																																	市場単価												<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 落下物等防止柵のアンカーボルト設置、支柱立込、金網設置、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、落下物等防止柵（材料費）は含まない。</p> <p>2. 落下物等防止柵の材料費は、<u>別途計上する</u>。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	S																																																																																																																																																						
機械	—	—	—																																																																																																																																																															
労務	普通作業員	土木一般世話役																																																																																																																																																																
材料																																																																																																																																																																		
市場単価																																																																																																																																																																		
頁	385	385																																																																																																																																																																

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>⑧ 路側工 (据付け)</p> <p>1. 適用 範囲 本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 歩車道境界ブロック 製品長2m以下の場合</p> <p>1-1-2 地先境界ブロック 製品長2m以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 歩車道境界ブロック 製品長が2mを超える場合</p> <p>1-2-2 地先境界ブロック 製品長が2mを超える場合</p> </div> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分である。 2. 基礎砕石の有無に関わらず適用できる。 3. () 書きについては、必要な場合計上する。</p>	<p>現行どおり</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u>範囲</p> <p>1-1-1 歩車道境界ブロック 製品長2m以下の場合</p> <p>1-1-2 地先境界ブロック 製品長2m以下の場合</p> <p>1-2 適用 <u>出来ない</u>範囲</p> <p>1-2-1 歩車道境界ブロック 製品長が2mを超える場合</p> <p>1-2-2 地先境界ブロック 製品長が2mを超える場合</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分である。 2. 養生の種類 (一般養生、特殊養生(補修)、特殊養生(ジェットホーダ)) に関わらず適用できる。 3. () 書きについては、必要な場合計上する。</p>	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
頁	386	386

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																														
<p>3. 施工パッケージ 3-1 歩車道境界ブロック (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1. 1 歩車道境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>均し基礎コンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>現場内小運搬の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24" style="text-align: center;">設置</td> <td rowspan="6">A種(150/170×200×600)</td> <td>無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">B種(180/205×250×600)</td> <td>無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">C種(180/210×300×600)</td> <td>無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(600mm以下, 50kg未満)</td> <td>無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)</td> <td>無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	ブロック規格	均し基礎コンクリートの有無	養生工の種類	現場内小運搬の有無	設置	A種(150/170×200×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	B種(180/205×250×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	C種(180/210×300×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	<p>3. 施工パッケージ 3-1 歩車道境界ブロック (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3. 1. 1 歩車道境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th><u>基礎基石の有無</u></th> <th>均し基礎コンクリートの有無</th> <th><u>養生工の有無</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24" style="text-align: center;">設置</td> <td rowspan="6">A種(150/170×200×600)</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>有り</u></td> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>- <u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">B種(180/205×250×600)</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>有り</u></td> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>- <u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">C種(180/210×300×600)</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>有り</u></td> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>- <u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(600mm以下, 50kg未満)</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>有り</u></td> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>- <u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>無し</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"><u>有り</u></td> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>無し</td> <td>- <u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> <tr> <td>有り</td> <td><u>無し</u> <u>有り</u></td> </tr> </tbody> </table>	作業区分	ブロック規格	<u>基礎基石の有無</u>	均し基礎コンクリートの有無	<u>養生工の有無</u>	設置	A種(150/170×200×600)	無し	無し	-	<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	B種(180/205×250×600)	無し	無し	無し	-	<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	C種(180/210×300×600)	無し	無し	無し	-	<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	無し	無し	-	<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	無し	無し	-	<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>	<p>語句の修正</p>
作業区分	ブロック規格	均し基礎コンクリートの有無	養生工の種類	現場内小運搬の有無																																																																																																																												
設置	A種(150/170×200×600)	無し	-	-																																																																																																																												
		有り	養生なし	無し 有り																																																																																																																												
			一般養生	無し 有り																																																																																																																												
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り																																																																																																																												
		B種(180/205×250×600)	無し	-	-																																																																																																																											
			有り	養生なし	無し 有り																																																																																																																											
	一般養生			無し 有り																																																																																																																												
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)			無し 有り																																																																																																																												
	C種(180/210×300×600)		無し	-	-																																																																																																																											
			有り	養生なし	無し 有り																																																																																																																											
		一般養生		無し 有り																																																																																																																												
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し 有り																																																																																																																												
		各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	-	-																																																																																																																											
			有り	養生なし	無し 有り																																																																																																																											
	一般養生			無し 有り																																																																																																																												
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)			無し 有り																																																																																																																												
	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)		無し	-	-																																																																																																																											
			有り	養生なし	無し 有り																																																																																																																											
		一般養生		無し 有り																																																																																																																												
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し 有り																																																																																																																												
		作業区分	ブロック規格	<u>基礎基石の有無</u>	均し基礎コンクリートの有無		<u>養生工の有無</u>																																																																																																																									
		設置	A種(150/170×200×600)	無し	無し		-																																																																																																																									
	<u>有り</u>			有り	<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																											
				無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																											
有り				<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
B種(180/205×250×600)	無し			無し	無し	-																																																																																																																										
	<u>有り</u>			有り	<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																											
			無し	- <u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
			有り	<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
	C種(180/210×300×600)		無し	無し	無し	-																																																																																																																										
			<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																											
無し				- <u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
有り				<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
各種(600mm以下, 50kg未満)			無し	無し	無し	-																																																																																																																										
			<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																											
	無し			- <u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
	有り			<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)		無し	無し	無し	-																																																																																																																										
			<u>有り</u>	有り	<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																											
無し				- <u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
有り				<u>無し</u> <u>有り</u>																																																																																																																												
頁			387	387																																																																																																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考																																																																																						
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 歩車道境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>型わく工 特殊作業員</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合 均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1, 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	型わく工 特殊作業員	均し基礎コンクリート有りの場合 均し基礎コンクリート無しの場合	材料	Z 1	歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)	設置の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	軽油 1, 2号 バトロール給油		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 歩車道境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td> <td>・賃料 ・<u>基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>型わく工 特殊作業員</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合 均し基礎コンクリート無しかつ、<u>基礎砕石有り</u>の場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) <u>歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600)</u></td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td><u>再生クラッシュラン RC=4.0</u></td> <td><u>基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td><u>軽油 1, 2号 バトロール給油</u></td> <td><u>基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・ <u>基礎砕石有りの場合</u>	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	型わく工 特殊作業員	均し基礎コンクリート有りの場合 均し基礎コンクリート無しかつ、 <u>基礎砕石有り</u> の場合	材料	Z 1	歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) <u>歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600)</u>	設置の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	<u>再生クラッシュラン RC=4.0</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>	Z 4	<u>軽油 1, 2号 バトロール給油</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>	市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																							
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料																																																																																						
	K 2	—																																																																																							
	K 3	—																																																																																							
労務	R 1	ブロック工																																																																																							
	R 2	普通作業員																																																																																							
	R 3	土木一般世話役																																																																																							
	R 4	型わく工 特殊作業員	均し基礎コンクリート有りの場合 均し基礎コンクリート無しの場合																																																																																						
材料	Z 1	歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)	設置の場合																																																																																						
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																						
	Z 3	軽油 1, 2号 バトロール給油																																																																																							
	Z 4	—																																																																																							
市場単価	S	—																																																																																							
項目	代表機材規格	備考																																																																																							
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)	・賃料 ・ <u>基礎砕石有りの場合</u>																																																																																						
	K 2	—																																																																																							
	K 3	—																																																																																							
労務	R 1	ブロック工																																																																																							
	R 2	普通作業員																																																																																							
	R 3	土木一般世話役																																																																																							
	R 4	型わく工 特殊作業員	均し基礎コンクリート有りの場合 均し基礎コンクリート無しかつ、 <u>基礎砕石有り</u> の場合																																																																																						
材料	Z 1	歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) <u>歩車道境界ブロック C種(180/210×300×600)</u>	設置の場合																																																																																						
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																						
	Z 3	<u>再生クラッシュラン RC=4.0</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>																																																																																						
	Z 4	<u>軽油 1, 2号 バトロール給油</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>																																																																																						
市場単価	S	—																																																																																							
頁	389	389																																																																																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行		改定					備 考																																																																																																						
<p>3-2 地先境界ブロック (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.3.1 地先境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位:m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>均し基礎コンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>現場内小運搬の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24">設置</td> <td rowspan="6">A種(120×120×600)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">B種(150×120×600)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">C種(150×150×600)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(600mm以下, 50kg未満)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>養生なし</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>一般養生</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td> <td>無し 有り</td> </tr> </tbody> </table>		作業区分	ブロック規格	均し基礎コンクリートの有無	養生工の種類	現場内小運搬の有無	設置	A種(120×120×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	B種(150×120×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	C種(150×150×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	-	-	有り	養生なし	無し 有り	一般養生	無し 有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り	<p>現行どおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均し基礎コンクリートの有無</th> <th>養生工の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24">設置</td> <td rowspan="6">A種(120×120×600)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">B種(150×120×600)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">C種(150×150×600)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(600mm以下, 50kg未満)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)</td> <td rowspan="3">無し</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有り</td> <td>無し</td> <td>無し 有り</td> </tr> </tbody> </table>					作業区分	ブロック規格	基礎砕石の有無	均し基礎コンクリートの有無	養生工の有無	設置	A種(120×120×600)	無し	無し	無し 有り	有り	無し	無し 有り	B種(150×120×600)	無し	無し	無し 有り	有り	無し	無し 有り	C種(150×150×600)	無し	無し	無し 有り	有り	無し	無し 有り	各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	無し	無し 有り	有り	無し	無し 有り	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	無し	無し 有り	有り	無し	無し 有り	<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>
作業区分	ブロック規格	均し基礎コンクリートの有無	養生工の種類	現場内小運搬の有無																																																																																																									
設置	A種(120×120×600)	無し	-	-																																																																																																									
			有り	養生なし	無し 有り																																																																																																								
				一般養生	無し 有り																																																																																																								
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し 有り																																																																																																									
		B種(150×120×600)	無し	-	-																																																																																																								
				有り	養生なし	無し 有り																																																																																																							
	一般養生				無し 有り																																																																																																								
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し 有り																																																																																																										
	C種(150×150×600)		無し	-	-																																																																																																								
				有り	養生なし	無し 有り																																																																																																							
		一般養生			無し 有り																																																																																																								
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り																																																																																																										
		各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	-	-																																																																																																								
				有り	養生なし	無し 有り																																																																																																							
	一般養生				無し 有り																																																																																																								
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し 有り																																																																																																										
	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)		無し	-	-																																																																																																								
				有り	養生なし	無し 有り																																																																																																							
		一般養生			無し 有り																																																																																																								
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し 有り																																																																																																										
		作業区分	ブロック規格	基礎砕石の有無	均し基礎コンクリートの有無	養生工の有無																																																																																																							
		設置	A種(120×120×600)	無し	無し	無し 有り																																																																																																							
	有り				無し	無し 有り																																																																																																							
					B種(150×120×600)	無し	無し	無し 有り																																																																																																					
有り				無し			無し 有り																																																																																																						
	C種(150×150×600)			無し			無し	無し 有り																																																																																																					
						有り	無し	無し 有り																																																																																																					
各種(600mm以下, 50kg未満)			無し				無し	無し 有り																																																																																																					
				有り			無し	無し 有り																																																																																																					
					各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	無し	無し 有り																																																																																																					
			有り				無し	無し 有り																																																																																																					
	頁			390			390																																																																																																						

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																										
<p style="text-align: center;">表3.3.2 地先境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位: m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>均し基礎コンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>現場内小運搬の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">再利用設置</td><td rowspan="6">A種(120×120×600)</td><td>無し</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>養生なし</td><td>無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td><td>有り</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="6">B種(150×120×600)</td><td>無し</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>養生なし</td><td>無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td><td>有り</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="6">C種(150×150×600)</td><td>無し</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>養生なし</td><td>無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td><td>有り</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="6">各種(600mm以下, 50kg未満)</td><td>無し</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>養生なし</td><td>無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td><td>有り</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="6">各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)</td><td>無し</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>養生なし</td><td>無し</td></tr> <tr><td>一般養生</td><td>有り</td></tr> <tr><td>特殊養生(練炭・ジェットヒータ)</td><td>無し</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">【以下は、表3.3.1、表3.3.2に共通】 (注)1. 上表は、地先境界ブロック(地先境界に道路の舗装止めとして用いる)の基礎材、均し基礎コンクリート型枠、均し基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、コンクリート現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 作業区分が「再利用設置」の場合、(注)1の地先境界ブロック本体の製品費は含まない費用とする。 3. ブロック規格で「各種」を選択した場合、ブロックは、m当りの単価とする。 $\text{ブロックm当り単価} = \text{ブロック単価(円/個)} \times \text{使用量(個/100m)} / 100 \text{ (m)}$ 4. 均し基礎コンクリートの厚さが15cmを超える場合または夜間施工の場合は、均し基礎コンクリートは無しとし、「3章①コンクリート工」よりコンクリートを別途計上する。</p>	作業区分	ブロック規格	均し基礎コンクリートの有無	養生工の種類	現場内小運搬の有無	再利用設置	A種(120×120×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し	B種(150×120×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し	C種(150×150×600)	無し	-	-	有り	養生なし	無し	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し	各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	-	-	有り	養生なし	無し	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	-	-	有り	養生なし	無し	一般養生	有り	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し	<p style="text-align: center;">表3.3.2 地先境界ブロック 積算条件区分一覧 (積算単位: m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>ブロック規格</th> <th>基礎砕石の有無</th> <th>均し基礎コンクリートの有無</th> <th>養生工の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">再利用設置</td><td rowspan="6">A種(120×120×600)</td><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="6">B種(150×120×600)</td><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="6">C種(150×150×600)</td><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="6">各種(600mm以下, 50kg未満)</td><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td rowspan="6">各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)</td><td>無し</td><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td rowspan="3">有り</td><td>有り</td><td>有り</td></tr> <tr><td>無し</td><td>無し</td></tr> <tr><td>有り</td><td>有り</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">【以下は、表3.3.1、表3.3.2に共通】 (注)1. 上表は、地先境界ブロック(地先境界に道路の舗装止めとして用いる)の基礎材、均し基礎コンクリート型枠、均し基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、<u>ブロック据付作業におけるバックホウ(クレーン機能付き)の賃料</u>、コンクリート現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small; color: red;">5. 基礎砕石の厚さが15cmを超える場合は、基礎砕石は無しとし、「2章⑥基礎・裏込砕石工、基礎・裏込砕石工」より基礎砕石を別途計上する。</p> </div>	作業区分	ブロック規格	基礎砕石の有無	均し基礎コンクリートの有無	養生工の有無	再利用設置	A種(120×120×600)	無し	無し	無し	有り	有り	有り	無し	無し	有り	有り	B種(150×120×600)	無し	無し	無し	有り	有り	有り	無し	無し	有り	有り	C種(150×150×600)	無し	無し	無し	有り	有り	有り	無し	無し	有り	有り	各種(600mm以下, 50kg未満)	無し	無し	無し	有り	有り	有り	無し	無し	有り	有り	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	無し	無し	有り	有り	有り	無し	無し	有り	有り	<p>語句の修正</p>
作業区分	ブロック規格	均し基礎コンクリートの有無	養生工の種類	現場内小運搬の有無																																																																																																																								
再利用設置	A種(120×120×600)	無し	-	-																																																																																																																								
		有り	養生なし	無し																																																																																																																								
			一般養生	有り																																																																																																																								
			特殊養生(練炭・ジェットヒータ)	無し																																																																																																																								
		B種(150×120×600)	無し	-	-																																																																																																																							
			有り	養生なし	無し																																																																																																																							
	一般養生			有り																																																																																																																								
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)			無し																																																																																																																								
	C種(150×150×600)		無し	-	-																																																																																																																							
			有り	養生なし	無し																																																																																																																							
		一般養生		有り																																																																																																																								
		特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し																																																																																																																								
各種(600mm以下, 50kg未満)		無し	-	-																																																																																																																								
		有り	養生なし	無し																																																																																																																								
	一般養生		有り																																																																																																																									
	特殊養生(練炭・ジェットヒータ)		無し																																																																																																																									
	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	-	-																																																																																																																								
		有り	養生なし	無し																																																																																																																								
一般養生			有り																																																																																																																									
特殊養生(練炭・ジェットヒータ)			無し																																																																																																																									
作業区分		ブロック規格	基礎砕石の有無	均し基礎コンクリートの有無	養生工の有無																																																																																																																							
再利用設置		A種(120×120×600)	無し	無し	無し																																																																																																																							
	有り		有り	有り																																																																																																																								
			無し	無し																																																																																																																								
			有り	有り																																																																																																																								
	B種(150×120×600)		無し	無し	無し																																																																																																																							
			有り	有り	有り																																																																																																																							
		無し		無し																																																																																																																								
		有り		有り																																																																																																																								
		C種(150×150×600)	無し	無し	無し																																																																																																																							
			有り	有り	有り																																																																																																																							
	無し			無し																																																																																																																								
	有り			有り																																																																																																																								
各種(600mm以下, 50kg未満)	無し		無し	無し																																																																																																																								
	有り		有り	有り																																																																																																																								
		無し	無し																																																																																																																									
		有り	有り																																																																																																																									
	各種(2000mm以下, 50kg以上550kg未満)	無し	無し	無し																																																																																																																								
		有り	有り	有り																																																																																																																								
無し			無し																																																																																																																									
有り			有り																																																																																																																									
頁		391	391																																																																																																																									

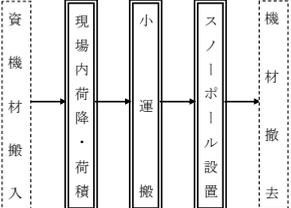
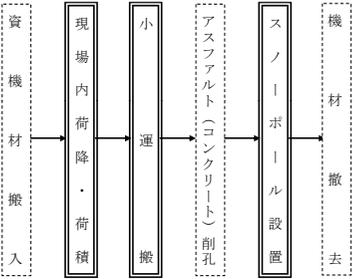
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考																																																																																												
	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 4 地先境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>型わく工</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特殊作業員</td> <td>均し基礎コンクリート無しの場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>地先境界ブロック A種(120×120×600)</td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>軽油 1. 2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合		特殊作業員	均し基礎コンクリート無しの場合	材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	軽油 1. 2号 バトロール給油		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3. 4 地先境界ブロック 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m³ (平積 0.6m³)</td> <td>・賃料 ・<u>基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>ブロック工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>型わく工</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特殊作業員</td> <td>均し基礎コンクリート無し <u>かつ、基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>地先境界ブロック A種(120×120×600) <u>地先境界ブロック B種(150×120×600)</u> <u>地先境界ブロック C種(150×150×600)</u></td> <td>設置の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%</td> <td>均し基礎コンクリート有りの場合</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td><u>再生クランシャラン R.C-4.0</u></td> <td><u>基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td><u>軽油 1. 2号 バトロール給油</u></td> <td><u>基礎砕石有りの場合</u></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・ <u>基礎砕石有りの場合</u>	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	ブロック工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合		特殊作業員	均し基礎コンクリート無し <u>かつ、基礎砕石有りの場合</u>	材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600) <u>地先境界ブロック B種(150×120×600)</u> <u>地先境界ブロック C種(150×150×600)</u>	設置の場合	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合	Z 3	<u>再生クランシャラン R.C-4.0</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>	Z 4	<u>軽油 1. 2号 バトロール給油</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>	市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	賃料																																																																																												
	K 2	—																																																																																													
	K 3	—																																																																																													
労務	R 1	ブロック工																																																																																													
	R 2	普通作業員																																																																																													
	R 3	土木一般世話役																																																																																													
	R 4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																												
	特殊作業員	均し基礎コンクリート無しの場合																																																																																													
材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600)	設置の場合																																																																																												
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																												
	Z 3	軽油 1. 2号 バトロール給油																																																																																													
	Z 4	—																																																																																													
市場単価	S	—																																																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・ <u>基礎砕石有りの場合</u>																																																																																												
	K 2	—																																																																																													
	K 3	—																																																																																													
労務	R 1	ブロック工																																																																																													
	R 2	普通作業員																																																																																													
	R 3	土木一般世話役																																																																																													
	R 4	型わく工	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																												
	特殊作業員	均し基礎コンクリート無し <u>かつ、基礎砕石有りの場合</u>																																																																																													
材料	Z 1	地先境界ブロック A種(120×120×600) <u>地先境界ブロック B種(150×120×600)</u> <u>地先境界ブロック C種(150×150×600)</u>	設置の場合																																																																																												
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C60%	均し基礎コンクリート有りの場合																																																																																												
	Z 3	<u>再生クランシャラン R.C-4.0</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>																																																																																												
	Z 4	<u>軽油 1. 2号 バトロール給油</u>	<u>基礎砕石有りの場合</u>																																																																																												
市場単価	S	—																																																																																													
頁	392	392																																																																																													

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑬ スノーポール設置・撤去工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、積雪寒冷地の冬期視線誘導対策におけるスノーポールの設置、撤去、設置撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 既存の視線誘導標にスノーポールを取り付ける「かぶせ型タイプ」の場合 (2) 単柱を土中に差し込む「土中単柱型タイプ」の場合 (3) 既存の視線誘導標支柱のサヤ管等に単柱を挿入する「挿入単柱型タイプ」の場合 <p>1-2 適用できない範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 二段式デリニュータポール等の引き上げの場合 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>図1.1 スノーポールの参考図</p> </div>	<p>⑬ スノーポール設置・撤去工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、積雪寒冷地の冬期視線誘導対策におけるスノーポールの設置、撤去、設置撤去に適用する。</p> <p>1-1 適用 <u>出来る</u> 範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 既存の視線誘導標にスノーポールを取り付ける「かぶせ型タイプ」の場合 (2) 単柱を土中に差し込む「土中単柱型タイプ」の場合 (3) 既存の視線誘導標支柱のサヤ管等に単柱を挿入する「挿入単柱型タイプ」の場合 <p>1-2 適用 <u>出来ない</u> 範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 二段式デリニュータポール等の引き上げの場合 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>現行どおり</p> </div>	<p>語句の修正</p>
頁	403	403

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>2. 施 工 概 要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 「かぶせ型タイプ」、「挿入単柱型タイプ」</p>  <p>2-2 「土中単柱型タイプ」</p>  <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. アスファルト(コンクリート)削孔は必要に応じて実施する。</p> </div>	<p>現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	404	404

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																							
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 スノーボール設置・撤去</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 スノーボール設置・撤去 積算条件区分一覧 (積算単位：本)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">スノーボール規格</th> <th style="text-align: center;">作業区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">かぶせ型</td> <td style="text-align: center;">設置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">土中単柱型</td> <td style="text-align: center;">設置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">挿入単柱型</td> <td style="text-align: center;">設置</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">撤去</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、スノーボール(かぶせ型、土中単柱型、挿入単柱型)の路側等への設置・撤去・設置撤去、現場内における荷卸、荷積及び小運搬等、その施工に必要な全ての労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、スノーボール(材料費)は含まない。</p> <p>2. 本施工パッケージは、スノーボールの長さに関係なく適用できる。</p> <p>3. スノーボールの材料費は別途計上する。</p> <p>4. 土中単柱型で、アスファルト(コンクリート)削孔が必要な場合は別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格</p> <p>下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 スノーボール設置・撤去 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td style="text-align: center;">トラック [普通型] 2t 積</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">運転手(一般)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">軽油 1、2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-2 スノーボール(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>スノーボール(材料費)における積算条件区分はない。</p> <p>積算単位は本とする。</p>	スノーボール規格	作業区分	かぶせ型	設置	撤去	土中単柱型	設置	撤去	挿入単柱型	設置	撤去	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	トラック [普通型] 2t 積		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	運転手(一般)		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 1、2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、スノーボール(かぶせ型、土中単柱型、挿入単柱型)の路側等への設置・撤去・設置撤去、現場内における荷卸、荷積及び小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、スノーボール(材料費)は含まない。</p>	<p>語句の修正</p>
スノーボール規格	作業区分																																																								
かぶせ型	設置																																																								
	撤去																																																								
土中単柱型	設置																																																								
	撤去																																																								
挿入単柱型	設置																																																								
	撤去																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																						
機械	K1	トラック [普通型] 2t 積																																																							
	K2	—																																																							
	K3	—																																																							
労務	R1	普通作業員																																																							
	R2	運転手(一般)																																																							
	R3	—																																																							
	R4	—																																																							
材料	Z1	軽油 1、2号 バトロール給油																																																							
	Z2	—																																																							
	Z3	—																																																							
	Z4	—																																																							
市場単価	S	—																																																							
頁	405	405																																																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">10章. 道路維持修繕</p> <p>① 路面切削工</p> <p>本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業に適用する。</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 路面切削</p> <p>(1) 路面切削機によるアスファルト舗装の切削作業で平均切削深さ12cm以下の場合</p> <p>1-1-2 殻運搬(路面切削)</p> <p>(1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬</p> <p>1-2 適用できない範囲(以下のいずれかの条件に該当する場合)</p> <p>1-2-1 路面切削</p> <p>(1) 複数の路面切削機による並列切削作業</p> <p>(2) 特殊結合材(エポキシ樹脂)及び特殊骨材(エメリー)を含むアスファルト舗装路面の切削作業</p> <p>(3) 道路打換え工のための舗装版とりこわし</p> <p>(4) 帯状切削作業に段差すりつけを含む場合</p> <p>1-2-2 殻運搬(路面切削)</p> <p>(1) 段差すりつけの撤去後に発生した殻運搬</p> <p>(2) 舗装版破砕工に伴い発生したコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬</p> <p>(3) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p> </div>	<p style="text-align: center;">10章. 道路維持修繕</p> <p>① 路面切削工</p> <p>本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業に適用する。</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>1-1 適用 出来る 範囲</p> <p>1-1-1 路面切削</p> <p>(1) 路面切削機によるアスファルト舗装の切削作業で平均切削深さ12cm以下の場合</p> <p>1-1-2 殻運搬(路面切削)</p> <p>(1) 路面切削作業で発生したアスファルト殻の運搬</p> <p>1-2 適用 出来ない 範囲(以下のいずれかの条件に該当する場合)</p> <p>1-2-1 路面切削</p> <p>(1) 複数の路面切削機による並列切削作業</p> <p>(2) 特殊結合材(エポキシ樹脂)及び特殊骨材(エメリー)を含むアスファルト舗装路面の切削作業</p> <p>現行どおり 打換え工のための舗装版とりこわし</p> <p>(4) 帯状切削作業に段差すりつけを含む場合</p> <p>1-2-2 殻運搬(路面切削)</p> <p>(1) 段差すりつけの撤去後に発生した殻運搬</p> <p>(2) 舗装版破砕工に伴い発生したコンクリート殻又はアスファルト殻の運搬</p> <p>(3) 運搬距離が60kmを超える場合</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p style="text-align: center;">語句の修正</p>
頁	407	407

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 路面切削 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 級		K 2	路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m3		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 路面切削 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1</td> <td>路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 級×深さ 23cm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>特殊作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K 1	路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 級× 深さ 23cm		K 2	路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m3		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 級																																																																																								
	K 2	路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m3																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																								
	R 3	特殊作業員																																																																																								
	R 4	運転手(特殊)																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K 1	路面切削機[ホイール式・廃材積込装置付] 切削幅 2.0m 級× 深さ 23cm																																																																																								
	K 2	路面清掃車[ブラシ・四輪式] ホッパ容量 1.5m3																																																																																								
	K 3	—																																																																																								
労務	R 1	普通作業員																																																																																								
	R 2	土木一般世話役																																																																																								
	R 3	特殊作業員																																																																																								
	R 4	運転手(特殊)																																																																																								
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																								
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
	Z 4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	409	409																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p style="text-align: center;">② 舗装版破砕工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの作業に適用する。 なお、急速施工の場合は、「土木工事標準歩掛 13章②道路打換え工」によるものとし、路盤・路床の掘削は、「1章②土工」によるものとする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>1-1 適用できる範囲 (1) 機械によるコンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (2) 人力によるアスファルト舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (3) 人力による橋梁舗装版撤去の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) 急速施工、機械による橋梁舗装版撤去の場合 (2) 人力によるコンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (3) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版において、全体厚が45cmを超える場合又は舗装版厚のうちアスファルト層が占める割合が50%を超える場合</p> </div> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 運搬は「2章④搬運機」による。 3. 舗装版切断は「10章③舗装版切断工」による。 4. 障害等の有無の「有り」とは、現場状況、作業量、障害物等により表3.2で想定する機械での施工が困難な場合をいう。 5. 騒音振動対策の「必要」とは、「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等の場合をいう。 6. 舗装版破砕：舗装版のみを破砕する作業。 掘削・積込：舗装版を破砕後、掘削し、積込む作業。 直接掘削・積込：直接舗装版を掘削し、積込む作業。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) 機械によるコンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (2) 人力によるアスファルト舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (3) 人力による橋梁舗装版撤去の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 (1) 急速施工、機械による橋梁舗装版撤去の場合 (2) 人力によるコンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の破砕作業及び掘削・積込みの場合 (3) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版において、全体厚が45cmを超える場合又は舗装版厚のうちアスファルト層が占める割合が50%を超える場合</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
頁	412	412

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗装版破砕 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>障害等の有無</th> <th>騒音振動対策</th> <th>舗装版厚</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">不要</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">15cm以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">必要</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">15cm超</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>大型ブレーカ 油圧式 600~800kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考	無し	不要	15cm以下	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		市場単価			S	—		必要	—	15cm超	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料	K2	大型ブレーカ 油圧式 600~800kg級		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		市場単価			S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗装版破砕 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>障害等の有無</th> <th>騒音振動対策</th> <th>舗装版厚</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24" style="text-align: center;">無し</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">不要</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">15cm以下</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">必要</td> <td rowspan="12" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">15cm超</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>大型ブレーカ 油圧式 600~800kg級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考	無し	不要	15cm以下	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料	K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		市場単価			S	—		必要	—	15cm超	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料	K2	大型ブレーカ 油圧式 600~800kg級		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	運転手(特殊)		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		市場単価			S	—		<p>語句の修正</p>
障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																																																					
無し	不要	15cm以下	機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料																																																																																																																																																																				
				K2	—																																																																																																																																																																					
				K3	—																																																																																																																																																																					
			労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																					
				R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																					
				R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																																					
		材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																						
			Z2	—																																																																																																																																																																						
			Z3	—																																																																																																																																																																						
		市場単価			S	—																																																																																																																																																																				
		必要	—	15cm超	機械	K1		バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料																																																																																																																																																																	
						K2		大型ブレーカ 油圧式 600~800kg級																																																																																																																																																																		
	K3					—																																																																																																																																																																				
	労務				R1	普通作業員																																																																																																																																																																				
					R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																				
					R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																																				
	材料			Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																					
				Z2	—																																																																																																																																																																					
				Z3	—																																																																																																																																																																					
	市場単価			S	—																																																																																																																																																																					
	障害等の有無			騒音振動対策	舗装版厚	項目		代表機材規格	備考																																																																																																																																																																	
	無し			不要	15cm以下	機械		K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料																																																																																																																																																																
		K2	—																																																																																																																																																																							
		K3	—																																																																																																																																																																							
労務		R1	普通作業員																																																																																																																																																																							
		R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																							
		R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																																							
材料		Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																							
		Z2	—																																																																																																																																																																							
		Z3	—																																																																																																																																																																							
市場単価			S		—																																																																																																																																																																					
必要		—	15cm超		機械	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3 (平積0.35m3)	賃料																																																																																																																																																																		
						K2	大型ブレーカ 油圧式 600~800kg級																																																																																																																																																																			
				K3		—																																																																																																																																																																				
				労務	R1	普通作業員																																																																																																																																																																				
					R2	土木一般世話役																																																																																																																																																																				
					R3	運転手(特殊)																																																																																																																																																																				
			材料	Z1	軽油 1.2号 バトロール給油																																																																																																																																																																					
				Z2	—																																																																																																																																																																					
				Z3	—																																																																																																																																																																					
			市場単価			S	—																																																																																																																																																																			
			頁	414	414																																																																																																																																																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																		
<p style="text-align: center;">③ 舗装版切断工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版における舗装版切断に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲 (1) アスファルト舗装版厚が40cm以下の場合 (2) コンクリート舗装版厚が30cm以下の場合 (3) 重複舗装版(コンクリート+アスファルト(カバー))厚が40cm以下の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲 (1) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50%を超える場合</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記のとおりとする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注)1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 舗装版切断 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版切断 積算条件区分一覧 (積算単位: m)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>アスファルト舗装版厚</th> <th>コンクリート舗装版厚</th> <th>コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">アスファルト舗装版</td> <td>15cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>30cmを超え40cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装版</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cm以下</td> <td>15cm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cm以下</td> <td>30cm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>30cm以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td>15cmを超え30cm以下</td> <td>40cm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 上表は、舗装版切断、水タンク等の運搬、濁水の収集、マーキング、切断補助、路面清掃、ブレード損耗費、水タンク、汚水タンク、ホース、ほうき等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 舗装版種別でコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版を選択した場合、コンクリート舗装版厚の選択版は、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版のうちコンクリート舗装版のみの厚さとする。 3. 舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理が必要な場合の処理等は別途計上する。</p>	舗装版種別	アスファルト舗装版厚	コンクリート舗装版厚	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚	アスファルト舗装版	15cm以下	—	—	15cmを超え30cm以下	—	—	30cmを超え40cm以下	—	—	コンクリート舗装版	—	15cm以下	—	—	15cmを超え30cm以下	—	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	—	15cm以下	15cm以下	—	15cm以下	30cm以下	—	15cmを超え30cm以下	30cm以下	—	15cmを超え30cm以下	40cm以下	<p style="text-align: center;">③ 舗装版切断工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版における舗装版切断に適用する。</p> <p>1-1 適用出来ない範囲 (1) アスファルト舗装版厚が40cm以下の場合 (2) コンクリート舗装版厚が30cm以下の場合 (3) 重複舗装版(コンクリート+アスファルト(カバー))厚が40cm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲 3. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50%を超える場合</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
舗装版種別	アスファルト舗装版厚	コンクリート舗装版厚	コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の全体厚																																	
アスファルト舗装版	15cm以下	—	—																																	
	15cmを超え30cm以下	—	—																																	
	30cmを超え40cm以下	—	—																																	
コンクリート舗装版	—	15cm以下	—																																	
	—	15cmを超え30cm以下	—																																	
コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版	—	15cm以下	15cm以下																																	
	—	15cm以下	30cm以下																																	
	—	15cmを超え30cm以下	30cm以下																																	
	—	15cmを超え30cm以下	40cm以下																																	
頁	416	416																																		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗装版切断 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">アスファルト 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 切削深30 c m級 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合 切削深40 c m級</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td>R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">コンクリート 舗装版</td> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 切削深30 c m級 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合 切削深40 c m級</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td>R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> </tr> </tbody> </table>	舗装版種別	項目	代表機材規格	備考	アスファルト 舗装版	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 切削深30 c m級 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合 切削深40 c m級	K2	—	K3	—	労務	R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —	コンクリート 舗装版	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合	Z2	ガソリン レギュラー スタンド	Z3	—	Z4	—	市場単価	S —	コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 切削深30 c m級 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合 切削深40 c m級	K2	—	K3	—	労務	R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —	材料	Z1	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合	Z2	ガソリン レギュラー スタンド	Z3	—	Z4	—	市場単価	S —	<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗装版切断 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>舗装版種別</th> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">アスファルト 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 <u>ブレード径56 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深30 c m級 <u>ブレード径75 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深40 c m級 <u>ブレード径96 c m</u></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td>R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">コンクリート 舗装版</td> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版</td> <td rowspan="4">機械</td> <td>K1</td> <td>コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 <u>ブレード径56 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深30 c m級 <u>ブレード径75 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深40 c m級 <u>ブレード径96 c m</u></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>労務</td> <td>R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">材料</td> <td rowspan="4">Z1</td> <td>Z1</td> <td>コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> </tr> </tbody> </table>	舗装版種別	項目	代表機材規格	備考	アスファルト 舗装版	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 <u>ブレード径56 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深30 c m級 <u>ブレード径75 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深40 c m級 <u>ブレード径96 c m</u>	K2	—	K3	—	労務	R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —	コンクリート 舗装版	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合	Z2	ガソリン レギュラー スタンド	Z3	—	Z4	—	市場単価	S —	コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 <u>ブレード径56 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深30 c m級 <u>ブレード径75 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深40 c m級 <u>ブレード径96 c m</u>	K2	—	K3	—	労務	R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —	材料	Z1	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合	Z2	ガソリン レギュラー スタンド	Z3	—	Z4	—	市場単価	S —	<p>語句の修正</p>
舗装版種別	項目	代表機材規格	備考																																																																																															
アスファルト 舗装版	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 切削深30 c m級 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合 切削深40 c m級																																																																																															
		K2	—																																																																																															
		K3	—																																																																																															
		労務	R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —																																																																																															
	コンクリート 舗装版	材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合																																																																																														
			Z2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																														
			Z3	—																																																																																														
			Z4	—																																																																																														
		市場単価	S —																																																																																															
		コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	K1		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 切削深30 c m級 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音型 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合 切削深40 c m級																																																																																												
				K2		—																																																																																												
	K3			—																																																																																														
	労務			R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —																																																																																														
材料	Z1		Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合																																																																																														
			Z2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																														
			Z3	—																																																																																														
			Z4	—																																																																																														
	市場単価		S —																																																																																															
	舗装版種別		項目	代表機材規格	備考																																																																																													
	アスファルト 舗装版		機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 <u>ブレード径56 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深30 c m級 <u>ブレード径75 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深40 c m級 <u>ブレード径96 c m</u>																																																																																													
K2				—																																																																																														
K3				—																																																																																														
労務		R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —																																																																																																
コンクリート 舗装版		材料	Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 舗装版厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 舗装版厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 舗装版厚が30cmを超え40cm以下の場合																																																																																														
			Z2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																														
			Z3	—																																																																																														
			Z4	—																																																																																														
		市場単価	S —																																																																																															
		コンクリート + アスファルト (カバー) 舗装版	機械	K1	コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20 c m級 <u>ブレード径56 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深30 c m級 <u>ブレード径75 c m</u> コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)・湿式] 切削深40 c m級 <u>ブレード径96 c m</u>																																																																																													
				K2	—																																																																																													
K3				—																																																																																														
労務				R1 特殊作業員 R2 普通作業員 R3 — R4 —																																																																																														
材料	Z1		Z1	コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ 全体厚が15cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径30インチ 全体厚が15cmを超え30cm以下の場合 コンクリートカッタ (ブレード) 径38インチ 全体厚が30cmを超え40cm以下の場合																																																																																														
			Z2	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																														
			Z3	—																																																																																														
			Z4	—																																																																																														
	市場単価		S —																																																																																															
	頁		417	417																																																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																								
<p style="text-align: center;">④ 道路付属構造物塗替工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物の現地塗替作業の素地調整及び塗装に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 素地調整</p> <p>(1) 下記構造物の3種ケレン作業の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大地上高12m以下のポール類(道路標識柱、道路照明柱等) ・防護柵類(ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等)、落石防護柵類(防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等)の現地塗替作業 <p>1-1-2 素地調整の種類と程度</p> <p>(1) さびが発生している場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3種A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td>15~30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td>5~15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変色などの塗膜異常がある場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>塗膜異常面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3種C</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。</td> <td>5以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-1-3 付属構造物塗替</p> <p>(1) 下記構造物の下塗、中塗、上塗の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大地上高12m以下のポール類(道路標識柱、道路照明柱等) ・防護柵類(ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等)、落石防護柵類(防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等)の現地塗替作業 <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 素地調整</p> <p>(1) 下記構造物の3種ケレン作業の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(横断歩道橋を含む)の場合 ・コンクリート構造物の塗替の場合 <p>1-2-2 付属構造物塗替</p> <p>(1) 下記構造物の下塗、中塗、上塗の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(横断歩道橋を含む)の場合 ・コンクリート構造物の塗替の場合 	素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容	3種A	点錆がかなり点在している。	15~30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。	3種B	点錆が少し点在している。	5~15	同上	3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上	素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容	3種C	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	5以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	<p style="text-align: center;">④ 道路付属構造物塗替工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、道路標識柱、道路照明柱、防護柵等の道路付属構造物の現地塗替作業の素地調整及び塗装に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 素地調整</p> <p>(1) 下記構造物の3種ケレン作業の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最大地上高12m以下のポール類(道路標識柱、道路照明柱等) ・防護柵類(ガードレール、ガードパイプ、ガードフェンス等)、落石防護柵類(防雪柵、落石防止柵、落石防止網、落石防護柵等)の現地塗替作業 <p style="text-align: center; margin: 20px 0;">} 現行どおり</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 素地調整</p> <p>(1) 下記構造物の3種ケレン作業の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(横断歩道橋を含む)の場合 ・コンクリート構造物の塗替の場合 <p>1-2-2 付属構造物塗替</p> <p>(1) 下記構造物の下塗、中塗、上塗の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁(横断歩道橋を含む)の場合 ・コンクリート構造物の塗替の場合 	<p>語句の修正</p>
素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容																							
3種A	点錆がかなり点在している。	15~30	活膜は残すが、それ以外の不良部(さび・われ・ふくれ)は除去する。																							
3種B	点錆が少し点在している。	5~15	同上																							
3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上																							
素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容																							
3種C	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	5以上	活膜は残すが、不良部は除去する。																							
頁	418	418																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																										
<p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 素地調整 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 素地調整 積算条件区分一覧 (積算単位: m2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>構造物区分</th> <th>機械使用区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全高 4m 未満のポール類</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全高 4m 以上 10m 未満のポール類</td> <td style="text-align: center;">持込</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貸与</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全高 10m 以上 12m 以下のポール類</td> <td style="text-align: center;">持込</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貸与</td> </tr> <tr> <td>防護柵類</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>落石防止柵類</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、塗装を行う際の素地調整(ケレン)、電力に関する経費、ディスクサンダ、ワイヤブラシ、ハンマ、タガネ等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 素地調整作業の種別は、3種ケレンを標準とする。 3. ポール類の高さは、路面からの高さとする。 4. 塗替作業にともない対象構造物の撤去・設置が必要な場合は、別途考慮する。 5. 全高 2 m 以上 4 m 未満のポール類において足場が必要な場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 素地調整 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K 1</td> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 8m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>塗装工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 2</td> <td>運転手(一般)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	構造物区分	機械使用区分	全高 4m 未満のポール類	—	全高 4m 以上 10m 未満のポール類	持込	貸与	全高 10m 以上 12m 以下のポール類	持込	貸与	防護柵類	—	落石防止柵類	—	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 8m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合	K 2	—	—	K 3	—	—	R 1	塗装工	—	労務	R 2	運転手(一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合	R 2	運転手(特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合	R 3	—	—	R 4	—	—	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	Z 2	—	—	Z 3	—	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 素地調整 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">機械</td> <td>K 1</td> <td>高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m 積載荷重 200kg 取付穴名</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 1</td> <td>塗装工</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 2</td> <td>運転手(一般)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z 1</td> <td>軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m 積載荷重 200kg 取付穴名	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合	K 2	—	—	K 3	—	—	R 1	塗装工	—	労務	R 2	運転手(一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合	R 2	運転手(特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合	R 3	—	—	R 4	—	—	材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	Z 2	—	—	Z 3	—	—	Z 4	—	—	市場単価	S	—	—	<p>語句の修正</p>
構造物区分	機械使用区分																																																																																																											
全高 4m 未満のポール類	—																																																																																																											
全高 4m 以上 10m 未満のポール類	持込																																																																																																											
	貸与																																																																																																											
全高 10m 以上 12m 以下のポール類	持込																																																																																																											
	貸与																																																																																																											
防護柵類	—																																																																																																											
落石防止柵類	—																																																																																																											
項目	代表機材規格	備考																																																																																																										
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 8m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合																																																																																																									
	K 2	—	—																																																																																																									
	K 3	—	—																																																																																																									
	R 1	塗装工	—																																																																																																									
労務	R 2	運転手(一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合																																																																																																									
	R 2	運転手(特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合																																																																																																									
	R 3	—	—																																																																																																									
	R 4	—	—																																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																																									
	Z 2	—	—																																																																																																									
	Z 3	—	—																																																																																																									
	Z 4	—	—																																																																																																									
市場単価	S	—	—																																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																																										
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 9.7m 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m 高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型 作業床高さ 12m 積載荷重 200kg 取付穴名	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 ・賃料 ・貸与の場合																																																																																																									
	K 2	—	—																																																																																																									
	K 3	—	—																																																																																																									
	R 1	塗装工	—																																																																																																									
労務	R 2	運転手(一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込)の場合																																																																																																									
	R 2	運転手(特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類(持込)の場合 及び貸与の場合																																																																																																									
	R 3	—	—																																																																																																									
	R 4	—	—																																																																																																									
材料	Z 1	軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																																									
	Z 2	—	—																																																																																																									
	Z 3	—	—																																																																																																									
	Z 4	—	—																																																																																																									
市場単価	S	—	—																																																																																																									
頁	419	419																																																																																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考																																																																																								
<p>(3) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 付属構造物塗替 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 8m</td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類 の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m</td> <td>・全高 10m 以上 12m 以下のポール類 の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高さ 12m</td> <td>・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 塗装工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (一般)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込) の場合</td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (特殊)</td> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類 (持込)の場合及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 鉛系錆止めペイント (JIS K5623 2種) 合成樹脂系 フェノール樹脂 MIO 塗料</td> <td>下塗の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色</td> <td>中塗、上塗の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 塩化ゴム系塗料淡彩色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 8m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類 の場合 ・賃料	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類 の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高さ 12m	・貸与の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1 塗装工		R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込) の場合	R 2 運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類 (持込)の場合及び貸与の場合	R 3	—	R 4	—		材料	Z 1 鉛系錆止めペイント (JIS K5623 2種) 合成樹脂系 フェノール樹脂 MIO 塗料	下塗の場合	Z 1 長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色	中塗、上塗の場合	Z 1 塩化ゴム系塗料淡彩色		Z 2	—	Z 3	—	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	市場単価	S —		<p>(3) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.8 付属構造物塗替 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ <u>9.7m</u></td> <td>・全高 4m 以上 10m 未満のポール類 の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m</td> <td>・全高 10m 以上 12m 以下のポール類 の場合 ・賃料</td> </tr> <tr> <td>高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 <u>作業床高 12m</u> <u>積載荷重 200kg 定員 2名</u></td> <td>・貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>K 2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K 3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R 1 塗装工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (一般)</td> <td>全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込) の場合</td> </tr> <tr> <td>R 2 運転手 (特殊)</td> <td>全高 10m 以上 12m 以下のポール類 (持込)の場合及び貸与の場合</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">材料</td> <td>Z 1 鉛系錆止めペイント (JIS K5623 2種) 合成樹脂系 フェノール樹脂 MIO 塗料</td> <td>下塗の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色</td> <td>中塗、上塗の場合</td> </tr> <tr> <td>Z 1 塩化ゴム系塗料淡彩色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油</td> <td>全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S —</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ <u>9.7m</u>	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類 の場合 ・賃料	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類 の場合 ・賃料	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 <u>作業床高 12m</u> <u>積載荷重 200kg 定員 2名</u>	・貸与の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1 塗装工		R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込) の場合	R 2 運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類 (持込)の場合及び貸与の場合	R 3	—	R 4	—		材料	Z 1 鉛系錆止めペイント (JIS K5623 2種) 合成樹脂系 フェノール樹脂 MIO 塗料	下塗の場合	Z 1 長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色	中塗、上塗の場合	Z 1 塩化ゴム系塗料淡彩色		Z 2	—	Z 3	—	Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合	市場単価	S —		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																																																																								
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 8m	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類 の場合 ・賃料																																																																																								
	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類 の場合 ・賃料																																																																																								
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 作業床高さ 12m	・貸与の場合																																																																																								
K 2	—																																																																																									
K 3	—																																																																																									
労務	R 1 塗装工																																																																																									
	R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込) の場合																																																																																								
	R 2 運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類 (持込)の場合及び貸与の場合																																																																																								
	R 3	—																																																																																								
R 4	—																																																																																									
材料	Z 1 鉛系錆止めペイント (JIS K5623 2種) 合成樹脂系 フェノール樹脂 MIO 塗料	下塗の場合																																																																																								
	Z 1 長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色	中塗、上塗の場合																																																																																								
	Z 1 塩化ゴム系塗料淡彩色																																																																																									
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																									
市場単価	S —																																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																																								
機械	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ <u>9.7m</u>	・全高 4m 以上 10m 未満のポール類 の場合 ・賃料																																																																																								
	K 1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型 標準デッキタイプ 作業床高さ 12m	・全高 10m 以上 12m 以下のポール類 の場合 ・賃料																																																																																								
	高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・ バスケット型 <u>作業床高 12m</u> <u>積載荷重 200kg 定員 2名</u>	・貸与の場合																																																																																								
K 2	—																																																																																									
K 3	—																																																																																									
労務	R 1 塗装工																																																																																									
	R 2 運転手 (一般)	全高 4m 以上 10m 未満のポール類(持込) の場合																																																																																								
	R 2 運転手 (特殊)	全高 10m 以上 12m 以下のポール類 (持込)の場合及び貸与の場合																																																																																								
	R 3	—																																																																																								
R 4	—																																																																																									
材料	Z 1 鉛系錆止めペイント (JIS K5623 2種) 合成樹脂系 フェノール樹脂 MIO 塗料	下塗の場合																																																																																								
	Z 1 長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色	中塗、上塗の場合																																																																																								
	Z 1 塩化ゴム系塗料淡彩色																																																																																									
	Z 2	—																																																																																								
	Z 3	—																																																																																								
Z 4 軽油 1.2号 バトロール給油	全高 4m 以上 12m 以下のポール類の場合																																																																																									
市場単価	S —																																																																																									
頁	422	422																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>⑥ 橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強に鋼板巻立てを行う場合に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 鋼板巻立て、シール材(材料費)、注入材(材料費)</p> <p>(1) 図1. 1に示す、矩形、小判型支柱(幅1~10m、奥行1~6m)の鋼板巻立て補強、及び図1. 2に示す、円形支柱(径1~6m)の鋼板巻立て補強の場合</p> <p>(2) シール材がエポキシ樹脂の場合</p> <p>(3) 注入材が無収縮モルタル又はエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-1-2 現場溶接</p> <p>(1) 被覆アーク溶接の現場溶接の場合</p> <p>(2) すみ肉脚長6mmの場合</p> <p>(3) 補強鋼板部の溶接(V型・レ型)で、板厚6mm~22mmの場合</p> <p>1-1-3 フーチングアンカー削孔・定着</p> <p>(1) 削孔深が0.8m以上1.6m未満の場合</p> <p>1-1-4 アンカー筋(材料費)</p> <p>(1) アンカー筋径がD16、D19、D22、D25、D29、D32、D35、D38の場合</p> <p>1-1-5 アンカー注入材(材料費)</p> <p>(1) アンカー注入材がエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 鋼板巻立て、シール材(材料費)、注入材(材料費)</p> <p>(1) 1-1-1(1)~(3)のいずれか1つでも該当しない場合</p> <p>(2) 梁の補強の場合</p> <p>また、本項の適用できる寸法の範囲を外れる場合は、橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)を適用する。</p> <p>1-2-2 現場溶接</p> <p>(1) 被覆アーク溶接以外の現場溶接の場合</p> <p>1-2-3 アンカー注入材(材料費)</p> <p>(1) アンカー注入材がエポキシ樹脂以外の場合</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">図1.1 矩形(小判形を含む)支柱の適用範囲</p> </div>	<p>⑥ 橋梁補強工(鋼板巻立て)(1)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強に鋼板巻立てを行う場合に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 鋼板巻立て、シール材(材料費)、注入材(材料費)</p> <p>(1) 図1. 1に示す、矩形、小判型支柱(幅1~10m、奥行1~6m)の鋼板巻立て補強、及び図1. 2に示す、円形支柱(径1~6m)の鋼板巻立て補強の場合</p> <p>(2) シール材がエポキシ樹脂の場合</p> <p>(3) 注入材が無収縮モルタル又はエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-1-2 現場溶接</p> <p>(1) 被覆アーク溶接の現場溶接の場合</p> <p>(2) すみ肉脚長6mmの場合</p> <p>(3) 補強鋼板部の溶接(V型・レ型)で、板厚6mm~22mmの場合</p> <p>1-1-3 フーチングアンカー削孔・定着</p> <p>(1) 削孔深が0.8m以上1.6m未満の場合</p> <p>1-1-4 アンカー材(材料費)</p> <p>(1) アンカー材径がD16、D19、D22、D25、D29、D32、D35、D38の場合</p> <p>1-1-5 アンカー注入材(材料費)</p> <p>(1) アンカー注入材がエポキシ樹脂の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 鋼板巻立て、シール材(材料費)、注入材(材料費)</p> <p>(1) 1-1-1(1)~(3)のいずれか1つでも該当しない場合</p> <p>(2) 梁の補強の場合</p> <p>また、本項の適用できる寸法の範囲を外れる場合は、橋梁補強工(鋼板巻立て)(2)を適用する。</p> <p>1-2-2 現場溶接</p> <p>(1) 被覆アーク溶接以外の現場溶接の場合</p> <p>1-2-3 アンカー注入材(材料費)</p> <p>(1) アンカー注入材がエポキシ樹脂以外の場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	425	425

}

現行どおり

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">鋼板巻立て工</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し及び土留設置・撤去工が必要な場合は、別途計上する。</p>	<p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">鋼板巻立て工</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し及び土留設置・撤去工が必要な場合は、別途計上する。</p>	<p>語句の修正</p>
頁	427	427

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

	現行	改定	備 考
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 鋼板巻立て(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>鋼板巻立て(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位はtとする。</p> <p>(注) 鋼板巻立て工に用いる鋼板材料費(製作費を含む)は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</p> <p>3-2 スタッドジベル(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>スタッドジベル(材料費)における積算条件区分はない。 積算単位は本とする。</p> <p>(注) 鋼板巻立て工に用いるスタッドジベル材料費は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</p> </div>	<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 鋼板巻立て(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>鋼板巻立てに用いる鋼板(材料費(製作費を含む))には、積算条件区分はなく、<u>共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</u></p> <p>積算単位はtとする。</p> <p>(注) 鋼板巻立て工に用いる鋼板材料費(製作費を含む)は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</p> <p>3-2 スタッドジベル(材料費)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>鋼板巻立てに用いるスタッドジベル(材料費)には、積算条件区分はなく、<u>共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</u></p> <p>積算単位は本とする。</p> <p>(注) 鋼板巻立て工に用いるスタッドジベル材料費は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。</p>	<p>語句の修正</p>
頁	428	428	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考														
<p>3-3 鋼板巻立て (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 鋼板巻立て 積算条件区分一覧 (積算単位：m2)</p> <table border="1" data-bbox="405 523 801 735"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>注入材材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td rowspan="8">(表3.2)</td></tr> <tr><td>B支柱</td></tr> <tr><td>C支柱</td></tr> <tr><td>D支柱</td></tr> <tr><td>E支柱</td></tr> <tr><td>F支柱</td></tr> <tr><td>G支柱</td></tr> <tr><td>H支柱</td></tr> </tbody> </table> <p>表3.2 注入材材質一覧</p> <table border="1" data-bbox="405 775 801 847"> <tbody> <tr><td>注入材材質</td></tr> <tr><td>無収縮モルタル</td></tr> <tr><td>エポキシ樹脂</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、鋼板巻立てにおける、足場設置、下地処理、鋼板取付、固定アンカー、シール、注入、仕上、足場撤去の他、諸雑費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、鋼板巻立て(材料費)、スタッドジベル(材料費)、シール材(材料費)、注入材(材料費)は含まない。 なお、枠組足場仮設材の内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺、手摺枠(二段手摺の機能を有する)、幅木、階段、養生ネット、安全ネット等の費用とする。</p> <p>2. 足場は枠組足場とし、手摺先行型とする。 3. 鋼板、スタッドジベル、シール材、注入材の材料費は別途計上する。 4. 諸雑費の内訳は下記によるものとする。 ① 注入材材質が無収縮モルタルの場合 諸雑費は、材料(皿ボルト、ホールインアンカー、寸切りボルト、注入パイプ)及び電力に関する経費、機械器具費(ディスクサンダ、振動ドリル、グラウトポンプ、グラウトミキサ、トラック(クレーン装置付)、ラフテレーンクレーン)、枠組足場仮設材等の費用である。 ② 注入材材質がエポキシ樹脂の場合 諸雑費は、材料(皿ボルト、ホールインアンカー、寸切りボルト、注入パイプ)及び電力に関する経費、機械器具費(ディスクサンダ、振動ドリル、グラウト注入機、ハンドミキサ、トラッククレーン、ラフテレーンクレーン)、枠組足場仮設材等の費用である。</p>	支柱区分	注入材材質	A支柱	(表3.2)	B支柱	C支柱	D支柱	E支柱	F支柱	G支柱	H支柱	注入材材質	無収縮モルタル	エポキシ樹脂	<p>現行どおり</p> <p>(注) 1. 上表は、鋼板巻立てにおける、足場設置、下地処理、鋼板取付、固定アンカー、シール、注入、仕上、足場撤去の他、諸雑費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、鋼板巻立て(材料費)、スタッドジベル(材料費)、シール材(材料費)、注入材(材料費)は含まない。 なお、枠組足場仮設材の内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺、手摺枠(二段手摺の機能を有する)、幅木、階段、養生ネット、安全ネット等の費用とする。</p> <p>現行どおり</p>	<p>品 句 の</p>
支柱区分	注入材材質															
A支柱	(表3.2)															
B支柱																
C支柱																
D支柱																
E支柱																
F支柱																
G支柱																
H支柱																
注入材材質																
無収縮モルタル																
エポキシ樹脂																
<p>頁</p>	<p>429</p>	<p>429</p>														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																														
<p>3-5 注入材(材料費) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 注入材(材料費) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">注入材材質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無収縮モルタル</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">エポキシ樹脂</td></tr> </table> <p>(注) 1. 注入材の数量は、下記によるものとする。 ① 無収縮モルタルの場合は下記の式より必要数量を計上する。 「(鋼板取付面積10(m2)×注入厚0.03(m)-裏当て鋼板体積)×単位質量1,850(kg/m3)×(1+割増率)」より算出し、割増率は、表3.6に示す値とする。 ② エポキシ樹脂の場合は下記の式より必要数量を計上する。 「(鋼板取付面積10(m2)×注入厚0.005(m)-裏当て鋼板体積)×単位質量1,200(kg/m3)×(1+割増率)」より算出し、割増率、表3.7に示す値とする。 2. 割増率の内訳は、諸雑費と注入材のロスである。 3. 諸雑費の内訳は、3-3鋼板巻立て(注)4に示す。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.6 割増率一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>支柱区分</th><th>割増率</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.54</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.52</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.61</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.54</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.7 割増率一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>支柱区分</th><th>割増率</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.41</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.36</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.39</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.38</td></tr> </tbody> </table> </div>	注入材材質	無収縮モルタル	エポキシ樹脂	支柱区分	割増率	A支柱	0.58	B支柱	0.55	C支柱	0.54	D支柱	0.52	E支柱	0.61	F支柱	0.58	G支柱	0.55	H支柱	0.54	支柱区分	割増率	A支柱	0.42	B支柱	0.41	C支柱	0.38	D支柱	0.36	E支柱	0.44	F支柱	0.42	G支柱	0.39	H支柱	0.38	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表3.5 注入材(材料費) 積算条件区分一覧 (積算単位:m2)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">注入材材質</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">無収縮モルタル</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">エポキシ樹脂</td></tr> </table> <p>(注) 1. 注入材の数量は、下記によるものとする。 ① 無収縮モルタルの場合は下記の式より必要数量を計上する。 「(鋼板取付面積10(m2)×注入厚0.03(m)-裏当て鋼板体積)×単位質量1,850(kg/m3)×(1+割増率)」より算出し、割増率は、表3.6に示す値とする。 ② エポキシ樹脂の場合は下記の式より必要数量を計上する。 「(鋼板取付面積10(m2)×注入厚0.005(m)-裏当て鋼板体積)×単位質量1,200(kg/m3)×(1+割増率)」より算出し、割増率は、表3.7に示す値とする。 2. 割増率の内訳は、諸雑費と注入材のロスである。 3. 諸雑費の内訳は、3-3鋼板巻立て(注)4に示す。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表3.6 割増率一覧(無収縮モルタルの場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>支柱区分</th><th>割増率</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.54</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.52</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.61</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.58</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.55</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.54</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.7 割増率一覧(エポキシ樹脂の場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th>支柱区分</th><th>割増率</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>B支柱</td><td>0.41</td></tr> <tr><td>C支柱</td><td>0.38</td></tr> <tr><td>D支柱</td><td>0.36</td></tr> <tr><td>E支柱</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>F支柱</td><td>0.42</td></tr> <tr><td>G支柱</td><td>0.39</td></tr> <tr><td>H支柱</td><td>0.38</td></tr> </tbody> </table> </div>	注入材材質	無収縮モルタル	エポキシ樹脂	支柱区分	割増率	A支柱	0.58	B支柱	0.55	C支柱	0.54	D支柱	0.52	E支柱	0.61	F支柱	0.58	G支柱	0.55	H支柱	0.54	支柱区分	割増率	A支柱	0.42	B支柱	0.41	C支柱	0.38	D支柱	0.36	E支柱	0.44	F支柱	0.42	G支柱	0.39	H支柱	0.38	<p>語句の修正</p>
注入材材質																																																																																
無収縮モルタル																																																																																
エポキシ樹脂																																																																																
支柱区分	割増率																																																																															
A支柱	0.58																																																																															
B支柱	0.55																																																																															
C支柱	0.54																																																																															
D支柱	0.52																																																																															
E支柱	0.61																																																																															
F支柱	0.58																																																																															
G支柱	0.55																																																																															
H支柱	0.54																																																																															
支柱区分	割増率																																																																															
A支柱	0.42																																																																															
B支柱	0.41																																																																															
C支柱	0.38																																																																															
D支柱	0.36																																																																															
E支柱	0.44																																																																															
F支柱	0.42																																																																															
G支柱	0.39																																																																															
H支柱	0.38																																																																															
注入材材質																																																																																
無収縮モルタル																																																																																
エポキシ樹脂																																																																																
支柱区分	割増率																																																																															
A支柱	0.58																																																																															
B支柱	0.55																																																																															
C支柱	0.54																																																																															
D支柱	0.52																																																																															
E支柱	0.61																																																																															
F支柱	0.58																																																																															
G支柱	0.55																																																																															
H支柱	0.54																																																																															
支柱区分	割増率																																																																															
A支柱	0.42																																																																															
B支柱	0.41																																																																															
C支柱	0.38																																																																															
D支柱	0.36																																																																															
E支柱	0.44																																																																															
F支柱	0.42																																																																															
G支柱	0.39																																																																															
H支柱	0.38																																																																															
頁	431	431																																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																				
<p>3-7 フーチングアンカー削孔・定着 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 フーチングアンカー削孔・定着 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">削孔深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0.8m以上 1.0m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.0m以上 1.2m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.2m以上 1.4m未満</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.4m以上 1.6m未満</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、フーチングの削孔及びエポキシ樹脂系注入材による定着作業の他、ハンドハンマ、ロッド、ビット、定着アンカー削孔用ガイド装置、空気圧縮機、電力に関する経費、グラウト注入機の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、アンカー筋(材料費)、アンカー注入材(材料費)は含まない。 2. アンカー筋、アンカー注入材の材料費は別途計上する。</p> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 フーチングアンカー削孔・定着 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	削孔深	0.8m以上 1.0m未満	1.0m以上 1.2m未満	1.2m以上 1.4m未満	1.4m以上 1.6m未満	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	-	K2	-	K3	-	労務	R1	特殊作業員	R2	普通作業員	R3	土木一般世話役	R4	-	材料	Z1	-	Z2	-	Z3	-	Z4	-	市場単価	S	-	<div style="text-align: center; margin-top: 100px;">} 現行どおり</div> <div style="margin-top: 100px;"> <p>(注) 1. 上表は、フーチングの削孔及びエポキシ樹脂系注入材による定着作業の他、ハンドハンマ、ロッド、ビット、定着アンカー削孔用ガイド装置、空気圧縮機、電力に関する経費、グラウト注入機の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、アンカー材(材料費)、アンカー注入材(材料費)は含まない。 2. アンカー材、アンカー注入材の材料費は別途計上する。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;">} 現行どおり</div>	<p>語句の修正</p>
削孔深																																						
0.8m以上 1.0m未満																																						
1.0m以上 1.2m未満																																						
1.2m以上 1.4m未満																																						
1.4m以上 1.6m未満																																						
項目	代表機材規格	備考																																				
機械	K1	-																																				
	K2	-																																				
	K3	-																																				
労務	R1	特殊作業員																																				
	R2	普通作業員																																				
	R3	土木一般世話役																																				
	R4	-																																				
材料	Z1	-																																				
	Z2	-																																				
	Z3	-																																				
	Z4	-																																				
市場単価	S	-																																				
頁	433	433																																				

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																						
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>3-8 アンカー筋 (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 アンカー筋 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は本とする。</p> <p>3-9 アンカー注入材 (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 アンカー注入材 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は本とする。</p> <p>(注) 1. アンカー注入材 (材料費) の 100 箇所当りの数量は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 アンカー注入材使用量一覧 (削孔深 1m・100 箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>アンカー筋径</th> <th>削孔径 (mm)</th> <th>注入材使用量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>D16</td><td>26</td><td>46</td></tr> <tr><td>D19</td><td>29</td><td>52</td></tr> <tr><td>D22</td><td>32</td><td>59</td></tr> <tr><td>D25</td><td>35</td><td>65</td></tr> <tr><td>D29</td><td>39</td><td>74</td></tr> <tr><td>D32</td><td>42</td><td>80</td></tr> <tr><td>D35</td><td>45</td><td>87</td></tr> <tr><td>D38</td><td>48</td><td>93</td></tr> </tbody> </table> <p>ただし、これにより難い場合は、次式によるものとする。 使用量 (kg) = [(D² - d²) × π × 1 / 4 × L × 100 箇所] × M × (1 + K) D: 削孔径 (m) d: アンカー筋径 (m) L: 削孔深 (m) M: 単価質量は 1,200 kg/m³ とする。 K: ロス率は +0.14 とする。</p> </div> <p>3-10 現場塗装工 現場塗装工は、別途計上する。</p> <p>3-11 鉄筋加工・組立工 鉄筋工は、「市場単価 鉄筋工」により別途計上する。</p> <p>3-12 型枠製作設置工 型枠製作設置工は、「3章②型枠工」により別途計上する。</p> <p>3-13 根巻きコンクリート工 根巻きコンクリート工は、「3章①コンクリート工」により別途計上する。</p>	アンカー筋径	削孔径 (mm)	注入材使用量 (kg)	D16	26	46	D19	29	52	D22	32	59	D25	35	65	D29	39	74	D32	42	80	D35	45	87	D38	48	93	<p>3-8 <u>アンカー材</u> (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 <u>アンカー材</u> (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は本とする。</p> <p>3-9 アンカー注入材 (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 アンカー注入材 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は本とする。</p> <p>(注) 1. <u>アンカー注入材</u> (材料費) の 100 箇所当りの数量は、<u>次表を標準とする</u>。</p> <p style="text-align: center;">表3.12 アンカー注入材使用量一覧 (削孔深 1m・100 箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th><u>アンカー材径</u></th> <th>削孔径 (mm)</th> <th>注入材使用量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>D16</td><td>26</td><td>46</td></tr> <tr><td>D19</td><td>29</td><td>52</td></tr> <tr><td>D22</td><td>32</td><td>59</td></tr> <tr><td>D25</td><td>35</td><td>65</td></tr> <tr><td>D29</td><td>39</td><td>74</td></tr> <tr><td>D32</td><td>42</td><td>80</td></tr> <tr><td>D35</td><td>45</td><td>87</td></tr> <tr><td>D38</td><td>48</td><td>93</td></tr> </tbody> </table> <p>ただし、これにより難い場合は、次式によるものとする。 使用量 (kg) = [(D² - d²) × π × 1 / 4 × L × 100 箇所] × M × (1 + K) D: 削孔径 (m) d: <u>アンカー材径</u> (m) L: 削孔深 (m) M: 単価質量は 1,200 kg/m³ とする。 K: ロス率は +0.14 とする。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> </div>	<u>アンカー材径</u>	削孔径 (mm)	注入材使用量 (kg)	D16	26	46	D19	29	52	D22	32	59	D25	35	65	D29	39	74	D32	42	80	D35	45	87	D38	48	93	語句の修正
アンカー筋径	削孔径 (mm)	注入材使用量 (kg)																																																						
D16	26	46																																																						
D19	29	52																																																						
D22	32	59																																																						
D25	35	65																																																						
D29	39	74																																																						
D32	42	80																																																						
D35	45	87																																																						
D38	48	93																																																						
<u>アンカー材径</u>	削孔径 (mm)	注入材使用量 (kg)																																																						
D16	26	46																																																						
D19	29	52																																																						
D22	32	59																																																						
D25	35	65																																																						
D29	39	74																																																						
D32	42	80																																																						
D35	45	87																																																						
D38	48	93																																																						
頁	434	434																																																						

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<p style="text-align: center;">⑧ 橋梁補強工(コンクリート巻立て)(1)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強用コンクリート巻立て工を行う場合に適用する。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート削孔</p> <p>(1) フーチング及び支柱のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合</p> <p>(3) アンカー材径がD16~D35の場合</p> <p>1-1-2 コンクリート巻立て</p> <p>(1) 図1.1に示す、矩形、小判型支柱(幅0.8~15.0m、奥行0.7~4.0m)の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合</p> <p>(2) 図1.2に示す、円形支柱(径1.5~4.0m)の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリート削孔</p> <p>(1) 梁及びフーチングの補強のためのコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) PC中間貫通鋼材貫入のための削孔の場合</p> <p>(3) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合</p> <p>(4) アンカー注入材がエポキシ樹脂以外の場合</p> <p>1-2-2 コンクリート巻立て</p> <p>(1) 梁の補強の場合</p> <p>また、本項の適用を外れる場合は、橋梁補強工(コンクリート巻立て)(2)を適用する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">図1.1 矩形(小判型を含む)支柱の適用範囲</p> </div>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本資料は、RC橋脚(既設の鉄筋コンクリート橋脚)の補強用コンクリート巻立て工を行う場合に適用する。なお、支柱の断面形状が鉛直方向に一定の構造物を対象とし、梁及びフーチングの補強には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1) 図1.1に示す、矩形、小判型支柱(幅1.0~15.0m、奥行1.0~4.0m)の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合</p> <p>(2) 図1.2に示す、円形支柱(径1.5~4.0m)の巻立て厚0.25mのコンクリート巻立て補強の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">(1) 矩形(小判型を含む)支柱</p> <p style="text-align: center;">図1.2 矩形(小判型を含む)支柱の適用範囲</p> </div>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">記載の追記</p> <p style="text-align: center;">区分の改定</p> <p style="text-align: center;">区分の改定</p>
頁	440	440

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: small;">(注) 支柱幅・支柱奥行・支柱径は、補強前の支柱寸法とする。</p> <p style="text-align: center;">図1.2 円形支柱の適用範囲</p> </div> <p>2. 施 工 概 要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">コンクリート巻立て工</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">準備</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">掘削・土留設置工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">足場設置工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">下地処理工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">コンクリート削孔工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">アンカー定着工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">鉄筋加工・組立工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">型枠設置工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">コンクリート打設工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">コンクリート養生工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">型枠撤去工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">足場撤去工</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">土留撤去・埋戻し</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">後片付け</div> </div> <p style="text-align: center;">コンクリート削孔工</p> </div> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 掘削・埋戻し、土留設置・撤去工は、別途計上する。 3. 鉄筋加工・組立工は、「市場準備 鉄筋工」により別途計上する。</p>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: red;">(2) 円形支柱</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>区分の改定</p>
頁	441	441

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																					
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 コンクリート削孔</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 コンクリート削孔 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">アンカー材径</th> <th style="text-align: center;">削 孔 深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">D16</td><td>200mm 以上 250mm 未満</td></tr> <tr><td>250mm 以上 300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上 360mm 以下</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">D19</td><td>200mm 以上 250mm 未満</td></tr> <tr><td>250mm 以上 300mm 未満</td></tr> <tr><td>300mm 以上 350mm 未満</td></tr> <tr><td>350mm 以上 400mm 以下</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">D22</td><td>300mm 以上 350mm 未満</td></tr> <tr><td>350mm 以上 420mm 未満</td></tr> <tr><td>420mm 以上 500mm 未満</td></tr> <tr><td>500mm 以上 580mm 以下</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">D25</td><td>320mm 以上 390mm 未満</td></tr> <tr><td>390mm 以上 460mm 未満</td></tr> <tr><td>460mm 以上 540mm 未満</td></tr> <tr><td>540mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">D29</td><td>400mm 以上 460mm 未満</td></tr> <tr><td>460mm 以上 530mm 未満</td></tr> <tr><td>530mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td>600mm 以上 700mm 以下</td></tr> <tr><td rowspan="3" style="text-align: center;">D32</td><td>400mm 以上 460mm 未満</td></tr> <tr><td>460mm 以上 530mm 未満</td></tr> <tr><td>530mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="text-align: center;">D35</td><td>600mm 以上 690mm 以下</td></tr> <tr><td>480mm 以上 540mm 未満</td></tr> <tr><td>540mm 以上 600mm 未満</td></tr> <tr><td>600mm 以上 670mm 未満</td></tr> <tr><td></td><td>670mm 以上 760mm 以下</td></tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、フーチング及び支柱のコンクリート削孔、エポキシ樹脂注入材によるアンカー定着までの作業(エポキシ樹脂の材料費を含む)の他、ハンドハンマ、ハンマドリル、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料、エポキシ樹脂注入器具費、ロッド・ビットの消耗費及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、アンカー筋(材料費)は含まない。</p> <p>2. 削孔径は、アンカー材径+10mmとする。</p> <p>3. エポキシ樹脂のロスを含む。</p> <p>4. アンカー筋の材料費は別途計上する。</p> </div>	アンカー材径	削 孔 深	D16	200mm 以上 250mm 未満	250mm 以上 300mm 未満	300mm 以上 360mm 以下	D19	200mm 以上 250mm 未満	250mm 以上 300mm 未満	300mm 以上 350mm 未満	350mm 以上 400mm 以下	D22	300mm 以上 350mm 未満	350mm 以上 420mm 未満	420mm 以上 500mm 未満	500mm 以上 580mm 以下	D25	320mm 以上 390mm 未満	390mm 以上 460mm 未満	460mm 以上 540mm 未満	540mm 以上 600mm 未満	D29	400mm 以上 460mm 未満	460mm 以上 530mm 未満	530mm 以上 600mm 未満	600mm 以上 700mm 以下	D32	400mm 以上 460mm 未満	460mm 以上 530mm 未満	530mm 以上 600mm 未満	D35	600mm 以上 690mm 以下	480mm 以上 540mm 未満	540mm 以上 600mm 未満	600mm 以上 670mm 未満		670mm 以上 760mm 以下	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、フーチング及び支柱のコンクリート削孔、エポキシ樹脂注入材によるアンカー定着までの作業(エポキシ樹脂の材料費を含む)の他、ハンマハンマドリル(空圧式)、電動ハンマドリル、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料、エポキシ樹脂注入器具費、ロッド・ビットの消耗費及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、アンカー筋(材料費)は含まない。</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>5. 橋脚基礎の主鉄筋を切断しないよう事前に鉄筋位置の確認を行う場合には、共通仮設費の技術管理費にて別途計上する。</p> <p>6. 不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。</p> <p>7. 不達孔の補修費用は別途計上する。</p> </div>	<p>語句の修正</p> <p>記載の追加</p>
アンカー材径	削 孔 深																																						
D16	200mm 以上 250mm 未満																																						
	250mm 以上 300mm 未満																																						
	300mm 以上 360mm 以下																																						
D19	200mm 以上 250mm 未満																																						
	250mm 以上 300mm 未満																																						
	300mm 以上 350mm 未満																																						
	350mm 以上 400mm 以下																																						
D22	300mm 以上 350mm 未満																																						
	350mm 以上 420mm 未満																																						
	420mm 以上 500mm 未満																																						
	500mm 以上 580mm 以下																																						
D25	320mm 以上 390mm 未満																																						
	390mm 以上 460mm 未満																																						
	460mm 以上 540mm 未満																																						
	540mm 以上 600mm 未満																																						
D29	400mm 以上 460mm 未満																																						
	460mm 以上 530mm 未満																																						
	530mm 以上 600mm 未満																																						
	600mm 以上 700mm 以下																																						
D32	400mm 以上 460mm 未満																																						
	460mm 以上 530mm 未満																																						
	530mm 以上 600mm 未満																																						
D35	600mm 以上 690mm 以下																																						
	480mm 以上 540mm 未満																																						
	540mm 以上 600mm 未満																																						
	600mm 以上 670mm 未満																																						
	670mm 以上 760mm 以下																																						
頁	442	442																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																												
<p>3-3 コンクリート巻立て (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 コンクリート巻立て 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>支柱区分</th> <th>施工内容</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">(表 3.5)</td> <td>a 施工</td> <td rowspan="4">(表 3.6)</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>b 施工</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>c 施工</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>d 施工</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート巻立て工における下地処理、足場・型枠設置、コンクリート打設・養生、足場・型枠撤去までの作業、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務の他、下地処理に使用するビックハンマ、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料、コンクリート打設に使用するコンクリートパイプレタ損料、ポンプ損料及び養生マット等、枠組足場仮設材、一般型枠及び合板円形型枠仮設材、既設排水管の撤去設置（新設は含まない）等及び電力に関する経費等、その施工に必要な機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 各施工内容に含まれている施工区分・施工内容は、次表とする。</p> </div> <p style="text-align: center;">表3.4 施工区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工区分・施工内容</th> <th>a 施工</th> <th>b 施工</th> <th>c 施工</th> <th>d 施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足 場 設 置 ・ 撤 去 工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下 地 処 理 工</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>型 枠 設 置 ・ 撤 去 工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>コンクリート養生工</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)「○」が施工パッケージに含んでいる。</p> <p>3. 下地処理は、チッピングを標準とする。</p> <p>4. 足場は、枠組足場（手摺先行型）を標準とし、単管足場及び単管傾斜足場を使用する場合については別途計上する。</p> <p>5. 枠組足場仮設材の内訳は、壁つなぎ、敷板、建枠、筋違、板付布枠、連結ピン、アームロック、ジャッキベース、手摺柱、手摺、手摺枠（二段手摺の機能を有する）、幅木、階段、養生ネット（メッシュシート）、安全ネット等、及び仮設材の持上（下）げ機械に要する費用とする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>6. 一般型枠及び合板円形型枠仮設材の内訳は、型枠用合板、鋼製型枠、さん木、電動工具、電力に関する経費、組立支持材及びはく離剤等及び仮設材の持上（下）げ機械に要する費用とする。</p> </div> <p>7. コンクリートのロスを含む。</p> <p>8. コンクリート養生は、一般養生、特殊養生（練炭）及び特殊養生（ゼットヒド）にかかわらず適用できる。</p> <p>9. 保温養生等の特別な養生を必要とする場合は養生工無しを選択し、養生費は、「3章 ①コンクリート工」により別途計上する。</p>	支柱区分	施工内容	生コンクリート規格	養生工の有無	(表 3.5)	a 施工	(表 3.6)	有り	b 施工	無し	c 施工	有り	d 施工	無し	施工区分・施工内容	a 施工	b 施工	c 施工	d 施工	足 場 設 置 ・ 撤 去 工	○	○	—	—	下 地 処 理 工	○	—	○	—	型 枠 設 置 ・ 撤 去 工	○	○	○	○	コンクリート打設工	○	○	○	○	コンクリート養生工	○	○	○	○	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(注) 1. 上表は、コンクリート巻立て工における下地処理、足場・型枠設置、コンクリート打設・養生、足場・型枠撤去までの作業、<u>足場設置・撤去に使用するラフテラークレーン賃料</u>、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務の他、下地処理に使用するビックハンマ、空気圧縮機の機械損料及び空気圧縮機の燃料、コンクリート打設に使用するコンクリートパイプレタ損料、ポンプ損料及び養生マット等、枠組足場仮設材、一般型枠及び合板円形型枠仮設材、既設排水管の撤去設置（新設は含まない）等及び電力に関する経費等、その施工に必要な機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。</p> <p>2. 各施工内容に含まれている施工区分・施工内容は、次表とする。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>6. 一般型枠及び合板円形型枠仮設材の内訳は、型枠用合板、鋼製型枠、さん木、電動工具、電力に関する経費、組立支持材及びはく離剤等及び仮設材の持上（下）げに必要な機械（トラック（クレーン装置付））に要する費用とする。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p></p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">}</p> <p style="text-align: center;">語句の追加</p> <p></p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">}</p> <p style="text-align: center;">語句の追加</p>
支柱区分	施工内容	生コンクリート規格	養生工の有無																																											
(表 3.5)	a 施工	(表 3.6)	有り																																											
	b 施工		無し																																											
	c 施工		有り																																											
	d 施工		無し																																											
施工区分・施工内容	a 施工	b 施工	c 施工	d 施工																																										
足 場 設 置 ・ 撤 去 工	○	○	—	—																																										
下 地 処 理 工	○	—	○	—																																										
型 枠 設 置 ・ 撤 去 工	○	○	○	○																																										
コンクリート打設工	○	○	○	○																																										
コンクリート養生工	○	○	○	○																																										
頁	444	444																																												

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																															
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.5 支柱区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">支柱区分</td><td>A支柱</td></tr> <tr><td>B支柱</td></tr> <tr><td>C支柱</td></tr> <tr><td>D支柱</td></tr> <tr><td>E支柱</td></tr> <tr><td>F支柱</td></tr> <tr><td>G支柱</td></tr> <tr><td>H支柱</td></tr> <tr><td>I支柱</td></tr> <tr><td>J支柱</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.6 生コンクリート規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="text-align: center; vertical-align: middle;">生コンクリート規格</td><td>21-8-20 (25) (普通)</td></tr> <tr><td>21-8-20 (25) (高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-20 (25) (普通)</td></tr> <tr><td>24-8-20 (25) (高炉)</td></tr> <tr><td>24-8-40 (普通)</td></tr> <tr><td>24-8-40 (高炉)</td></tr> <tr><td>各種</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 コンクリート巻立て 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 70%;">代表機材規格</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">機械</td> <td>K1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 65~85m³/h</td> <td></td> </tr> <tr><td>K2 -</td><td></td></tr> <tr><td>K3 -</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">労務</td> <td>R1 型枠工</td> <td></td> </tr> <tr><td>R2 普通作業員</td><td></td></tr> <tr><td>R3 土木一般世話役</td><td></td></tr> <tr><td>R4 特殊作業員</td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">材料</td> <td>Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%</td> <td></td> </tr> <tr><td>Z2 軽油 1.2号 バトルール給油</td><td></td></tr> <tr><td>Z3 -</td><td></td></tr> <tr><td>Z4 -</td><td></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	積算条件	区 分	支柱区分	A支柱	B支柱	C支柱	D支柱	E支柱	F支柱	G支柱	H支柱	I支柱	J支柱	積算条件	区 分	生コンクリート規格	21-8-20 (25) (普通)	21-8-20 (25) (高炉)	24-8-20 (25) (普通)	24-8-20 (25) (高炉)	24-8-40 (普通)	24-8-40 (高炉)	各種	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 65~85m ³ /h		K2 -		K3 -		労務	R1 型枠工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 特殊作業員		材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%		Z2 軽油 1.2号 バトルール給油		Z3 -		Z4 -		市場単価	S	-	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表3.5 支柱区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">積算条件</th> <th style="width: 70%;">区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">支柱区分</td><td style="text-decoration: underline;">A支柱</td></tr> <tr><td style="text-decoration: underline;">B支柱</td></tr> <tr><td style="text-decoration: underline;">C支柱</td></tr> <tr><td style="text-decoration: underline;">D支柱</td></tr> <tr><td style="text-decoration: underline;">E支柱</td></tr> <tr><td style="text-decoration: underline;">F支柱</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> </div>	積算条件	区 分	支柱区分	A支柱	B支柱	C支柱	D支柱	E支柱	F支柱	<p style="text-align: center;">区分の改定</p>
積算条件	区 分																																																																
支柱区分	A支柱																																																																
	B支柱																																																																
	C支柱																																																																
	D支柱																																																																
	E支柱																																																																
	F支柱																																																																
	G支柱																																																																
	H支柱																																																																
	I支柱																																																																
	J支柱																																																																
積算条件	区 分																																																																
生コンクリート規格	21-8-20 (25) (普通)																																																																
	21-8-20 (25) (高炉)																																																																
	24-8-20 (25) (普通)																																																																
	24-8-20 (25) (高炉)																																																																
	24-8-40 (普通)																																																																
	24-8-40 (高炉)																																																																
	各種																																																																
	項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 コンクリートポンプ車〔トラック架装・ブーム式〕 圧送能力 65~85m ³ /h																																																																
	K2 -																																																																
	K3 -																																																																
労務	R1 型枠工																																																																
	R2 普通作業員																																																																
	R3 土木一般世話役																																																																
	R4 特殊作業員																																																																
材料	Z1 生コンクリート 高炉 24-8-25 (20) W/C 55%																																																																
	Z2 軽油 1.2号 バトルール給油																																																																
	Z3 -																																																																
	Z4 -																																																																
市場単価	S	-																																																															
積算条件	区 分																																																																
支柱区分	A支柱																																																																
	B支柱																																																																
	C支柱																																																																
	D支柱																																																																
	E支柱																																																																
	F支柱																																																																
頁	445	445																																																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																														
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <table border="1" style="border: 2px solid red;"> <caption>表3.1 足場(適用範囲外コンクリート巻立て) 代表機材規格一覧</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 とび工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 -		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <table border="1" style="border: 2px solid red;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊</td> <td>賃料</td> </tr> <tr> <td>K2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1 とび工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2 普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3 土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4 -</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料	K2 -		K3 -		労務	R1 とび工		R2 普通作業員		R3 土木一般世話役		R4 -		材料	Z1 -		Z2 -		Z3 -		Z4 -		市場単価	S -		<p>代表機械の改定</p>
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t吊	賃料																																																														
	K2 -																																																															
	K3 -																																																															
労務	R1 とび工																																																															
	R2 普通作業員																																																															
	R3 土木一般世話役																																																															
	R4 -																																																															
材料	Z1 -																																																															
	Z2 -																																																															
	Z3 -																																																															
	Z4 -																																																															
市場単価	S -																																																															
項目	代表機材規格	備考																																																														
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	賃料																																																														
	K2 -																																																															
	K3 -																																																															
労務	R1 とび工																																																															
	R2 普通作業員																																																															
	R3 土木一般世話役																																																															
	R4 -																																																															
材料	Z1 -																																																															
	Z2 -																																																															
	Z3 -																																																															
	Z4 -																																																															
市場単価	S -																																																															
頁	447	447																																																														

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現行	改定	備 考
<p>① 落橋防止装置工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、落橋防止装置設置(けたかかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造)に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工及び充填補修作業に適用する。なお、「10 章⑥～⑨橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用できる範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート削孔(コアボーリングマシン)</p> <p>(1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) 削孔径 20mm 以上 110mm 以下かつ削孔深 1,300mm 以下の場合</p> <p>1-1-2 コンクリート削孔(ハンマドリル)</p> <p>(1) 沓座拉幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔(削孔径 20mm 以上 30mm 以下かつ削孔深 200mm 以下)の場合</p> <p>1-1-3 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドハンマ))</p> <p>(1) 沓座拉幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔(削孔径 20mm 以上 50mm 以下かつ削孔深 200mm を超え 800mm 以下)の場合</p> <p>(2) 作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害が無く、さく岩機(ハンドハンマ)による施工が可能な場合</p> <p>1-1-4 アンカー</p> <p>(1) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合</p> <p>1-1-5 充填補修</p> <p>(1) セメント系グラウト材による不達孔の充填補修作業の場合</p> <p>1-2 適用できない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリート削孔(ハンマドリル)、コンクリート削孔(さく岩機(ハンドハンマ))</p> <p>(1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) 上方向のコンクリート削孔の場合</p> <p>1-2-2 アンカー</p> <p>(1) 上方向のアンカー施工の場合</p> <p>(2) アンカー注入材がエポキシ樹脂系以外の場合</p> <p>(3) PC中間貫通鋼材の場合</p> <p>(4) 沓座拉幅のアンカーボルト挿入工の場合</p> <p>(5) 注入材が不要なアンカー材を使用する場合</p> <p>1-2-3 充填補修</p> <p>(1) 不達孔の補修材がセメント系グラウト材以外の場合</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは下記を標準とする。</p> <p>(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。</p>	<p>① 落橋防止装置工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、落橋防止装置設置(けたかかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造)に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工及び充填補修作業に適用する。なお、「10 章⑥～⑨橋梁補強工」には適用しない。</p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 コンクリート削孔(コアボーリングマシン)</p> <p>(1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) 削孔径 20mm 以上 110mm 以下かつ削孔深 1,300mm 以下の場合</p> <p>1-1-2 コンクリート削孔(ハンマドリル)</p> <p>(1) 沓座拉幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔(削孔径 20mm 以上 30mm 以下かつ削孔深 200mm 以下)の場合</p> <p>1-1-3 コンクリート削孔(さく岩機 ハンドハンマ)</p> <p>(1) 沓座拉幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔(削孔径 20mm 以上 50mm 以下かつ削孔深 200mm を超え 800mm 以下)の場合</p> <p>(2) 作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害が無く、さく岩機 ハンドハンマによる施工が可能な場合</p> <p>1-1-4 アンカー</p> <p>(1) エポキシ樹脂系注入材によるアンカー定着作業の場合</p> <p>1-1-5 充填補修</p> <p>(1) セメント系グラウト材による不達孔の充填補修作業の場合</p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 コンクリート削孔(ハンマドリル)、コンクリート削孔(さく岩機 ハンドハンマ)</p> <p>(1) 鋼製ブラケット用アンカー又は中間貫通孔のコンクリート削孔の場合</p> <p>(2) 上方向のコンクリート削孔の場合</p>	<p>語句の修正</p>
頁	456	456

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3. コンクリート削孔工法の選定 コンクリート削孔工法の選定フローは、下記による。</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">D : 削孔径 (mm) ℓ : 削孔深 (mm)</p> <p>※ 現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。</p> <p style="text-align: center;">図3-1 コンクリート削孔工法の選定</p> </div>	<p>3. コンクリート削孔工法の選定 コンクリート削孔工法の選定フローは、下記による。</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">D : 削孔径 (mm) ℓ : 削孔深 (mm)</p> <p>※ 現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。</p> <p style="text-align: center;">図3-1 コンクリート削孔工法の選定</p>	<p>語句の修正</p>
頁	457	457

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																															
<p>4. 施工パッケージ</p> <p>4-1 コンクリート削孔(コアボーリングマシン)</p> <p>(1) 条件区分</p> <p>条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 コンクリート削孔(コアボーリングマシン) 積算条件区分一覧 (積算単位：孔)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>アンカー材径</th> <th>削孔深さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">17mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17mm を超え 23mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">23mm を超え 30mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">30mm を超え 43mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">43mm を超え 54mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">54mm を超え 67mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">67mm を超え 80mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">80mm を超え 100mm 以下</td> <td>500mm 以下</td> </tr> <tr> <td>500mm を超え 1,000mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,000mm を超え 1,300mm 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、落橋防止装置工におけるコンクリート穿孔機(コアボーリングマシン)によるコンクリート削孔の他、削孔機損料、工事用水中モータポンプ損料、コンクリート穿孔機(コアボーリングマシン)固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 不連続(削孔ロス)を含み、不連続の有無にかかわらず適用出来る。 3. コンクリート穿孔機(コアボーリングマシン)の施工に伴う泥水処理(産業廃棄物の運搬、処理費)が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。 5. アンカー材径に適用する削孔径と使用ビット径は表4.2を標準とする。</p>	アンカー材径	削孔深さ	17mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	17mm を超え 23mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	23mm を超え 30mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	30mm を超え 43mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	43mm を超え 54mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	54mm を超え 67mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	67mm を超え 80mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	80mm を超え 100mm 以下	500mm 以下	500mm を超え 1,000mm 以下	1,000mm を超え 1,300mm 以下	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(注) 削孔径はアンカー材径+10mm以上を確保出来るビット径とする。</p>	<p>パッケージの内容を明確化</p> <p>語句の修正</p>
アンカー材径	削孔深さ																																
17mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
17mm を超え 23mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
23mm を超え 30mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
30mm を超え 43mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																
43mm を超え 54mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																
54mm を超え 67mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																
67mm を超え 80mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																
80mm を超え 100mm 以下	500mm 以下																																
	500mm を超え 1,000mm 以下																																
	1,000mm を超え 1,300mm 以下																																
<p style="text-align: center;">表4.2 アンカー材径と適用削孔径及び使用ビット径</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>アンカー材径(mm)</th> <th>17以下</th> <th>17を超え 23以下</th> <th>23を超え 30以下</th> <th>30を超え 43以下</th> <th>43を超え 54以下</th> <th>54を超え 67以下</th> <th>67を超え 80以下</th> <th>80を超え 100以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用削孔径(mm)</td> <td>27以下</td> <td>27を超え 33以下</td> <td>33を超え 40以下</td> <td>40を超え 53以下</td> <td>53を超え 64以下</td> <td>64を超え 77以下</td> <td>77を超え 90以下</td> <td>90を超え 110以下</td> </tr> <tr> <td>使用ビット径(mm)</td> <td>27.6</td> <td>33.1</td> <td>40.0</td> <td>53.1</td> <td>64.7</td> <td>77.4</td> <td>90.8</td> <td>110.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 削孔径はアンカー材径+10mm以上を確保出来るビット径とする。</p>	アンカー材径(mm)	17以下	17を超え 23以下	23を超え 30以下	30を超え 43以下	43を超え 54以下	54を超え 67以下	67を超え 80以下	80を超え 100以下	適用削孔径(mm)	27以下	27を超え 33以下	33を超え 40以下	40を超え 53以下	53を超え 64以下	64を超え 77以下	77を超え 90以下	90を超え 110以下	使用ビット径(mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">(注) 削孔径はアンカー材径+10mm以上を確保出来るビット径とする。</p>	<p>パッケージの内容を明確化</p> <p>語句の修正</p>				
アンカー材径(mm)	17以下	17を超え 23以下	23を超え 30以下	30を超え 43以下	43を超え 54以下	54を超え 67以下	67を超え 80以下	80を超え 100以下																									
適用削孔径(mm)	27以下	27を超え 33以下	33を超え 40以下	40を超え 53以下	53を超え 64以下	64を超え 77以下	77を超え 90以下	90を超え 110以下																									
使用ビット径(mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110.0																									
頁	458	458																															

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																					
<p>4-3 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドハンマ))</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドハンマ)) 積算条件区分一覧 (積算単位: 孔)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">削孔深さ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">200mmを超え500mm以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">500mmを超え800mm以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、沓座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるさく岩機(ハンドハンマ)によるコンクリート削孔の他、ロッド、ビット、さく岩機損料及び空気圧縮機の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドハンマ)) 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td style="text-align: center;">K 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">K 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td style="text-align: center;">R 1</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 2</td> <td style="text-align: center;">土木一般世話役</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td style="text-align: center;">Z 1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 2</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Z 4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場準備</td> <td style="text-align: center;">S</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	削孔深さ	200mmを超え500mm以下	500mmを超え800mm以下	項目	代表機材規格	備考	機械	K 1	-	K 2	-	K 3	-	労務	R 1	特殊作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	-	R 4	-	材料	Z 1	-	Z 2	-	Z 3	-	Z 4	-	市場準備	S	-	<p>4-3 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドドリル))</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドドリル)) 積算条件区分一覧 (積算単位: 孔)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">削孔深さ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">200mmを超え500mm以下</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">500mmを超え800mm以下</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、沓座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるさく岩機(ハンドドリル)によるコンクリート削孔の他、ロッド、ビット、さく岩機損料及び空気圧縮機の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 不達孔(削孔ロス)を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来る。 3. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 コンクリート削孔(さく岩機(ハンドドリル)) 代表機材規格一覧</p>	削孔深さ	200mmを超え500mm以下	500mmを超え800mm以下	<p>現行どおり</p> <p>語句の修正</p>
削孔深さ																																							
200mmを超え500mm以下																																							
500mmを超え800mm以下																																							
項目	代表機材規格	備考																																					
機械	K 1	-																																					
	K 2	-																																					
	K 3	-																																					
労務	R 1	特殊作業員																																					
	R 2	土木一般世話役																																					
	R 3	-																																					
	R 4	-																																					
材料	Z 1	-																																					
	Z 2	-																																					
	Z 3	-																																					
	Z 4	-																																					
市場準備	S	-																																					
削孔深さ																																							
200mmを超え500mm以下																																							
500mmを超え800mm以下																																							
頁	461	461																																					

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																									
<p>⑮ 集水樹清掃工(人力清掃工)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、人力による集水樹及び街渠樹の清掃作業に適用し、樹の内寸法は□70cm以下、樹深さは100cm以下とする。</p> <p>2. 施工パッケージ 2-1 樹清掃(人力清掃工) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表2.1 樹清掃(人力清掃工) 積算条件区分一覧 (積算単位:箇所)</p> <table border="1"> <tr><td>蓋の有無及び土砂厚</td></tr> <tr><td>無蓋 25cm未満</td></tr> <tr><td>無蓋 25cm以上</td></tr> <tr><td>有蓋 25cm未満</td></tr> <tr><td>有蓋 25cm以上</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、人力による集水樹及び街渠樹の清掃作業の他、蓋の取り外し、設置、土砂のダンプトラック等への積込み、蓋設置後の清掃、後片付け等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 残土の運搬作業に使用する機械は、ダンプトラック2t積積を標準とし、「1章土工②土工 土砂等運搬」の積算条件区分「現場制約あり」により、別途計上する。ただし、貸与機械とする場合は、貸与機械規格とすることができる。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p>表2.2 樹清掃(人力清掃工) 代表機材規格一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	蓋の有無及び土砂厚	無蓋 25cm未満	無蓋 25cm以上	有蓋 25cm未満	有蓋 25cm以上	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	—	R3	—	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	<p>現行どおり</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>図 2-1 施工フロー</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 有蓋の場合は、蓋の取り外し・設置を含む。 3. 泥土の運搬作業は、別途計上する。</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1 樹清掃(人力清掃工) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 樹清掃(人力清掃工) 積算条件区分一覧 (積算単位:箇所)</p> <table border="1"> <tr><td>蓋の有無及び土砂厚</td></tr> <tr><td>有蓋 25cm未満</td></tr> <tr><td>有蓋 25cm以上</td></tr> <tr><td>無蓋 25cm未満</td></tr> <tr><td>無蓋 25cm以上</td></tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、人力による集水樹及び街渠樹の清掃作業の他、蓋の取り外し、設置、土砂泥土のダンプトラック等への積込み、蓋設置後の清掃、後片付け、スコップ及びホウキ等その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 残土の運搬作業に使用する機械は、ダンプトラック2t積積を標準とし、「第2編第1章土工②土工 土砂等運搬」の積算条件区分「現場制約あり」により、別途計上する。ただし、貸与機械とする場合は、貸与機械規格とすることができる。 2. 泥土運搬車両は、ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】2t積積を標準とし、別途計上する。</p> <p>現行どおり</p>	蓋の有無及び土砂厚	有蓋 25cm未満	有蓋 25cm以上	無蓋 25cm未満	無蓋 25cm以上	<p>施工概要の追加</p> <p>施工概要の追加</p>
蓋の有無及び土砂厚																																											
無蓋 25cm未満																																											
無蓋 25cm以上																																											
有蓋 25cm未満																																											
有蓋 25cm以上																																											
項目	代表機材規格	備考																																									
機械	K1	—																																									
	K2	—																																									
	K3	—																																									
労務	R1	普通作業員																																									
	R2	—																																									
	R3	—																																									
	R4	—																																									
材料	Z1	—																																									
	Z2	—																																									
	Z3	—																																									
	Z4	—																																									
市場単価	S	—																																									
蓋の有無及び土砂厚																																											
有蓋 25cm未満																																											
有蓋 25cm以上																																											
無蓋 25cm未満																																											
無蓋 25cm以上																																											
<p>頁</p> <p>469</p>	<p>469</p>																																										

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考
<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">⑪ 桁 連 結 工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、桁連結工における芯出し素地調整、現場孔明、連結板取付、現場溶接、ボルト締に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 現場溶接は必要に応じて別途計上する。</p> </div>	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">⑪ 桁 連 結 工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、桁連結工における芯出し素地調整、現場孔明、連結板取付、現場溶接 <u>(溶接脚長 8~12mm の場合)</u>、ボルト締めに適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 現場溶接は必要に応じて別途計上する。</p> </div>	<p>語句の修正</p>
頁 474	474	

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																		
<p>3. 施工パッケージ</p> <p>3-1 桁連結装置 (材料費)</p> <p>(1) 条件区分 桁連結装置 (材料費) における積算条件区分はない。 積算単位は t とする。 (注) 桁連結装置の材料費 (製作費含む) は、共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。但し、取付用アンカーボルト・高力ボルト類は別途計上とし、共通仮設費及び現場管理費の対象とする。</p> <p>3-2 芯出し素地調整</p> <p>(1) 条件区分 芯出し素地調整における積算条件区分はない。 積算単位は m² とする。 (注) 1. 桁連結工における芯出し素地調整の他、工具損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 鋼材の取付部等は 1 種ケレン相当、その他の部分については 3 種程度のケレン作業を標準とする。なお、これによりがたい場合は、別途考慮するものとする。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 芯出し素地調整 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>普通作業員</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう特殊工</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>橋りょう世話役</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-3 現場孔明</p> <p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 現場孔明 積算条件区分一覧 (積算単位: 本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>作業条件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 本以上/箇所</td> </tr> <tr> <td>作業性の悪い箇所等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、桁連結工における現場孔明の他、電気ドリル及びドリル刃損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 作業条件の「作業性の悪い箇所等」は、作業性の悪い箇所その他、構造的に複雑なもの、1 箇所当りの孔明本数の少ない場合 (10 本未満/箇所) とする。</p>	項目	代表機材規格	備考	機械	K1	—	K2	—	K3	—	労務	R1	普通作業員	R2	橋りょう特殊工	R3	橋りょう世話役	R4	—	材料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	作業条件	10 本以上/箇所	作業性の悪い箇所等	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(注) 1. 桁連結工における芯出し素地調整の他、工具損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。 2. 鋼材の取付部等は 2 種ケレン相当、その他の部分については 3 種程度のケレン作業を標準とする。なお、これによりがたい場合は、別途考慮するものとする。</p> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>現場実態にあわせ 1種を2種に修正</p>
項目	代表機材規格	備考																																		
機械	K1	—																																		
	K2	—																																		
	K3	—																																		
労務	R1	普通作業員																																		
	R2	橋りょう特殊工																																		
	R3	橋りょう世話役																																		
	R4	—																																		
材料	Z1	—																																		
	Z2	—																																		
	Z3	—																																		
	Z4	—																																		
市場単価	S	—																																		
作業条件																																				
10 本以上/箇所																																				
作業性の悪い箇所等																																				
頁	475	475																																		

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																																																																				
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 現場孔明 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 連結板取付 (1) 条件区分 連結板取付における積算条件区分はない。 積算単位は箇所とする。 (注) 桁連結工における連結板の取付け、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 連結板取付 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	橋りょう世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	橋りょう世話役		R3	普通作業員		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 現場孔明 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] <u>定格容量</u> 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>橋りょう世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-4 連結板取付 (1) 条件区分 連結板取付における積算条件区分はない。 積算単位は箇所とする。 (注) 桁連結工における連結板の取付け、現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] <u>定格容量</u> 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	橋りょう世話役		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																			
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA																																																																																																																																				
	K2	—																																																																																																																																				
	K3	—																																																																																																																																				
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																																																																				
	R2	橋りょう世話役																																																																																																																																				
	R3	—																																																																																																																																				
	R4	—																																																																																																																																				
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																				
	Z2	—																																																																																																																																				
	Z3	—																																																																																																																																				
	Z4	—																																																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																																																				
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																			
機械	K1	—																																																																																																																																				
	K2	—																																																																																																																																				
	K3	—																																																																																																																																				
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																																																																				
	R2	橋りょう世話役																																																																																																																																				
	R3	普通作業員																																																																																																																																				
	R4	—																																																																																																																																				
材料	Z1	—																																																																																																																																				
	Z2	—																																																																																																																																				
	Z3	—																																																																																																																																				
	Z4	—																																																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																																																				
項目	代表機材規格		備考																																																																																																																																			
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] <u>定格容量</u> 1kVA																																																																																																																																				
	K2	—																																																																																																																																				
	K3	—																																																																																																																																				
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																																																																				
	R2	橋りょう世話役																																																																																																																																				
	R3	—																																																																																																																																				
	R4	—																																																																																																																																				
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																																																																				
	Z2	—																																																																																																																																				
	Z3	—																																																																																																																																				
	Z4	—																																																																																																																																				
市場単価	S	—																																																																																																																																				
頁	476	476																																																																																																																																				

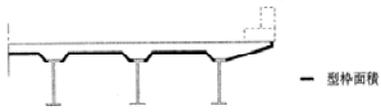
施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																																																																								
<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ボルト締 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-7 塗装工 塗装は「市場単価 橋梁塗装工」によるものとし下塗1回、中塗1回、上塗1回を標準とするが、ケレンの度合によって下塗2回を考慮すること。</p> <p>3-8 足場工及び防護工 「第10章◎沓座拡幅工」3-6 足場工及び防護工と同様にするが、面積は橋台中×1.5mとする。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 ボルト締 代表機材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">代表機材規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">機械</td> <td>K1</td> <td>発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA 1kVA</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">労務</td> <td>R1</td> <td>橋りょう特殊工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材料</td> <td>Z1</td> <td>ガソリン レギュラー スタンド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-7 塗装工 塗装は「市場単価 橋梁塗装工」によるものとし下塗1回、中塗1回、上塗1回を標準とするが、ケレンの度合によって下塗2回を考慮すること。</p> <p>3-8 足場工及び防護工 「第10章◎沓座拡幅工」3-6 足場工及び防護工と同様にするが、面積は橋台幅×1.5mとする。</p>	項目	代表機材規格		備考	機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA 1kVA		K2	—		K3	—		労務	R1	橋りょう特殊工		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p>語句の修正</p>
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																								
	R2	普通作業員																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
項目	代表機材規格		備考																																																																																							
機械	K1	発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 1kVA 1kVA																																																																																								
	K2	—																																																																																								
	K3	—																																																																																								
労務	R1	橋りょう特殊工																																																																																								
	R2	普通作業員																																																																																								
	R3	—																																																																																								
	R4	—																																																																																								
材料	Z1	ガソリン レギュラー スタンド																																																																																								
	Z2	—																																																																																								
	Z3	—																																																																																								
	Z4	—																																																																																								
市場単価	S	—																																																																																								
頁	478	478																																																																																								

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																							
<p style="text-align: center;">12章 橋 梁 工</p> <p>① 鋼橋床版工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。</p> <p>2. 施工パッケージ</p> <p>2-1 足場工及び防護工 「土木工事標準歩掛 16章②鋼橋架設工 13. 足場工、防護工及び登り棧橋工」による。</p> <p>2-2 型枠(鋼橋床版) (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 型枠(鋼橋床版) 積算条件区分一覧 (積算単位:m²)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>型枠の補正係数(K)</th> <th>吊金具取付(材料費含む)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補正なし</td> <td>工場</td> </tr> <tr> <td>現場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.05以下</td> <td>工場</td> </tr> <tr> <td>現場</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">0.06以上0.10以下</td> <td>工場</td> </tr> <tr> <td>現場</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、型枠の製作、設置、撤去及びケレン、はく離剤塗布の他、セパレータ、フォームタイ、パイプサポート、吊チェーン、ターンバックル、パイプ、鋼製ビームの経費及び現場で吊金具(ボルトを含む)取付を行う場合に要する費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。</p> <p>2. 型枠用合板、正割材の償却率を考慮している。</p> <p>3. 吊金具取付で工場を選択する場合は、吊金具取付の費用(材料費含む)は計上されない。</p> <p>4. 型枠材料は合板製とし、鋼製ビームによる吊金具支保とする。</p> <p>5. 橋梁型式による補正係数 補正係数 = K K = K₁ + K₂ K₁, K₂: 橋梁形式による補正係数</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>橋 梁 型 式</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K₁ 斜橋(斜角75°未満)</td> <td>+0.05</td> </tr> <tr> <td>K₂ 曲線橋(曲率半径500m未満)</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>(1) 斜橋による補正 橋端部が斜である橋梁(平面的に斜である橋梁(図2-1 参照))では斜角(α)によるものとし、一番小さい斜角で対処する。 また、橋端部で斜角が一方の場合のみでも補正の対象とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>図2-1 鉄橋の例</p> </div>	型枠の補正係数(K)	吊金具取付(材料費含む)	補正なし	工場	現場	0.05以下	工場	現場	0.06以上0.10以下	工場	現場	橋 梁 型 式	補正係数	K ₁ 斜橋(斜角75°未満)	+0.05	K ₂ 曲線橋(曲率半径500m未満)	+0.05	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>橋 梁 型 式</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K₁ 斜橋(斜角α=75°未満)</td> <td>+0.05</td> </tr> <tr> <td>K₂ 曲線橋(曲率半径500m未満)</td> <td>+0.05</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	橋 梁 型 式	補正係数	K ₁ 斜橋(斜角α=75°未満)	+0.05	K ₂ 曲線橋(曲率半径500m未満)	+0.05	<p>語句の修正</p>
型枠の補正係数(K)	吊金具取付(材料費含む)																								
補正なし	工場																								
	現場																								
0.05以下	工場																								
	現場																								
0.06以上0.10以下	工場																								
	現場																								
橋 梁 型 式	補正係数																								
K ₁ 斜橋(斜角75°未満)	+0.05																								
K ₂ 曲線橋(曲率半径500m未満)	+0.05																								
橋 梁 型 式	補正係数																								
K ₁ 斜橋(斜角α=75°未満)	+0.05																								
K ₂ 曲線橋(曲率半径500m未満)	+0.05																								
頁	497	497																							

施工パッケージ型積算基準(平成28年4月1日以降に入札書提出期限日を設定している工事から適用) 改定表

現 行	改 定	備 考																																											
<p>(2) 曲線橋による補正 曲線半径 (R) は、道路中心線による。</p> <p>(3) 補正係数がスパンによって異なる場合は、スパンごとの補正係数を平均する。 なお、補正係数は小数点以下3位を四捨五入する。</p> $\text{平均補正係数} = \frac{L_1 \times K_1 \times n_1 + L_2 \times K_2 \times n_2 + \dots + L_m \times K_m \times n_m}{L_1 \times n_1 + L_2 \times n_2 + \dots + L_m \times n_m}$ <p>L : 桁長 K : 補正係数 n : 径間数</p> <p>6. 型枠面積 橋梁床版工の型枠工の面積数量は、下図のとおり計上する。</p>  <p style="text-align: center;">図2-2 標準床版断面</p> <p>7. 仮設支保材供用日数 仮設支保材（鋼製ビーム等）の供用日数は42日を標準とする。</p> <p>8. 地覆型枠が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>9. 足場工が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 代表機材材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。</p> <p style="text-align: center;">表 2.3 型枠(鋼橋床版) 代表機材材規格一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th> <th style="text-align: center;">代表機材材規格</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機械</td> <td>K1</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">労務</td> <td>R1</td> <td>型わく工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>普通作業員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>土木一般世話役</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">材料</td> <td>Z1</td> <td>正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z2</td> <td>コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質B-C 1200×1800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Z4</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市場単価</td> <td>S</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	代表機材材規格	備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	型わく工		R2	普通作業員		R3	土木一般世話役		R4	—		材料	Z1	正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等		Z2	コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質B-C 1200×1800		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(3) 補正係数がスパンによって異なる場合は、スパンごとの補正係数を平均する。 なお、補正係数は小数点以下3位を四捨五入する。</p> $\text{平均補正係数} = \frac{L_1 \times K_1 \times n_1 + L_2 \times K_2 \times n_2 + \dots + L_m \times K_m \times n_m}{L_1 \times n_1 + L_2 \times n_2 + \dots + L_m \times n_m}$ <p>L : 桁長 K : 補正係数 n : 径間数 <u>m : スパン数</u></p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	<p>語句の修正</p>
項目	代表機材材規格	備考																																											
機械	K1	—																																											
	K2	—																																											
	K3	—																																											
労務	R1	型わく工																																											
	R2	普通作業員																																											
	R3	土木一般世話役																																											
	R4	—																																											
材料	Z1	正割材 杉 4m×6cm×6cm 特1等																																											
	Z2	コンクリート型枠用合板 JAS 板面品質B-C 1200×1800																																											
	Z3	—																																											
	Z4	—																																											
市場単価	S	—																																											
頁	498	498																																											